

第 6 次山元町総合計画策定に向けた
町民意向調査報告書

速報

平成 30 年 12 月

目次

I 第6次山元町総合計画策定に向けた町民意向調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査方法	1
4 調査期間	1
5 配布回収状況（10月17日現在）	1
6 アンケートの回収数の信頼性について	2
（1）回答者の属性	3
（2）回答者の世帯について	4
（3）山元町での【暮らし】について	7
（4）地域での【助け合いや諸活動】について	26
（5）山元町の【今後のまちづくり】について	40
II 第6次山元町総合計画策定に向けた町民意向調査の概要(若者意向調査)	78
1 調査目的	78
2 調査対象	78
3 調査方法	78
4 調査期間	78
5 配布回収状況（10月17日現在）	78
（1）回答者の属性について	79
（2）将来について	80
III 第6次山元町総合計画策定に向けた町民意向調査の概要(中学生意向調査)	93
1 調査目的	93
2 調査対象	93
3 調査方法	93
4 調査期間	93
5 配布回収状況	93
（1）回答者の属性について	94
（2）山元町について	95
（3）山元町のまちづくりについて	98
（4）あなたの夢や進路について	103
（5）これからの山元町について	104
IV 居住継続意向について	107
1 一般町民と若者の居住継続意向の比較	107
V まちづくりに対する町民の現在の満足度、将来の必要度の分析	108
1 分析の目的	108
2 アンケート記入方法	108

3	分析フロー.....	109
4	平均得点算出方法.....	109
5	まちづくりに対する満足度評価の概要.....	110
6	まちづくりに対する必要度評価の概要.....	111
7	マトリクス分析.....	119
8	一般町民と中学生のまちづくりに対する満足度の比較.....	122
VI	若者が求める将来像の把握.....	123
1	10年後にしていきたい暮らしのイメージ（再掲）.....	123
2	山元町で暮らし続けるために必要な条件（再掲）.....	124
3	一般町民と若者における理想とする町の将来像の違い.....	125
VII	アンケート調査結果総括.....	126

第6次山元町総合計画策定に向けた町民意向調査の概要

1 調査目的

本調査は、震災からの復旧・復興期を越えて、人口減少・少子高齢化を十分に踏まえながら新たな10年後の町の将来像の提示とその実現に向けた施策体系を内容とする「第6次山元町総合計画」の策定に向けて、現行施策の成果や町の将来像等に関する町民の考え・意見を把握し、計画に反映させることを目的に実施する。

2 調査対象

山元町全世帯、4,732世帯（平成30年7月末時点）

3 調査方法

行政文書配達による配布、及び郵送による回収

4 調査期間

平成30年8月15日から平成30年10月17日（現在）

5 配布回収状況（10月17日現在）

配布数	回収数	有効票数	回収率
4,732票	1,733票	1,730票	36.6%

※全設問に対し無回答であった3票については、無効票として扱う

報告書に関する説明・読む際の留意点

- ・調査結果の図表は、原則として回答者の構成比、百分率（%）で表す。
- ・図表の百分率は回答者を100%として算出しているが、本文及び図表は、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、比率の合計が100%とならない場合がある。また、複数回答の設問の場合、その比率の合計が100%を超える場合がある
- ・図表内に示されている「n」は構成比算出の母数（集計された人数の合計）を表す。
- ・設問の中には限定設問（条件の合った回答者のみが回答する設問）があり、その設問の場合、「n」は回答者全数より少ない場合がある。
- ・回答者が皆無の設問項目は、数表中では0.0%と表記されるが、図表中では表記しない。
- ・設問同士を掛け合わせ、回答比率を分析するクロス集計を行うが、その際に構成比算出の母数が少数になる場合があり、各比率に大きな偏り・特徴が発生することがあるため、図表の読み取りには注意が必要である。
- ・集計結果に対する説明文・分析文が設問ごとに記載されているが、具体的な項目に対する回答の特徴を重視するため、原則的に「その他」「無回答」の比率の結果に対しては、特別記載することはない。また、クロス集計において双方の回答が「無回答」であった場合、図表中では表記しない。
- ・図表のタイトルや設問の選択肢の語句はそのまま記載しているが、語句の長いものについては、省略して記載する場合がある。
- ・「その他」を含む自由記入に対しては、文章の書き方に相違があっても内容が同じものであれば同じ意見として扱い、その場合、集計番号の若い意見を代表として記入する。またその際、理解しやすい文章にするため、内容に変化のないように語尾の修正や文章の並び替え・補足・省略を行う場合がある。

6 アンケートの回収数の信頼性について

アンケートに必要な回答者数は、アンケートの目的やアンケート結果の信頼度を、どのくらい高めたいかによって異なる。必要なサンプル数を、算出するにあたっては、誤差範囲や信頼度を検討しながら、算出を行う。

【サンプル数算出方法と記号の定義】

$$\frac{\frac{z^2 \times p(1-p)}{e^2}}{1 + \left(\frac{z^2 \times p(1-p)}{e^2 N}\right)}$$

文字	要素
N	人口サイズ
e	誤差範囲
z	信頼度
p	パーセント値

山元町の人口 12,276 人（平成 30 年 10 月末現在）を適用し、サンプル数を算出すると、以下の通りになる。

必要サンプル数		誤差範囲		
		3%	5%	10%
信 頼 度	90%	713	267	68
	95%	982	373	96
	99%	1,607	632	165

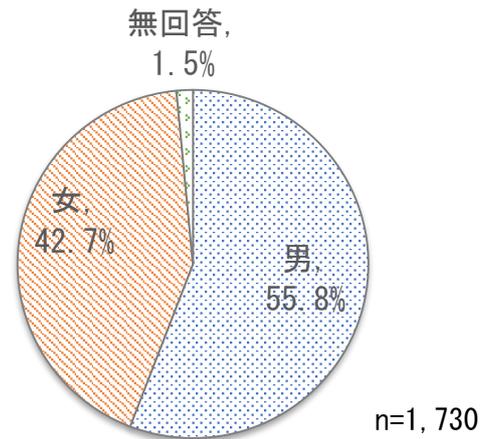
本調査では、1,730（有効票数）が得られており、山元町の人口に対する必要なサンプル数について、信頼度 99%として設定した場合の 1,607 を上回っており、高水準の信頼性が確保されているといえる。

(1) 回答者の属性

問1 性別

回答者の性別について、男性 55.8%、女性 42.7%となった。

	人数	割合
男	966	55.8%
女	738	42.7%
無回答	26	1.5%
総数	1,730	100.0%

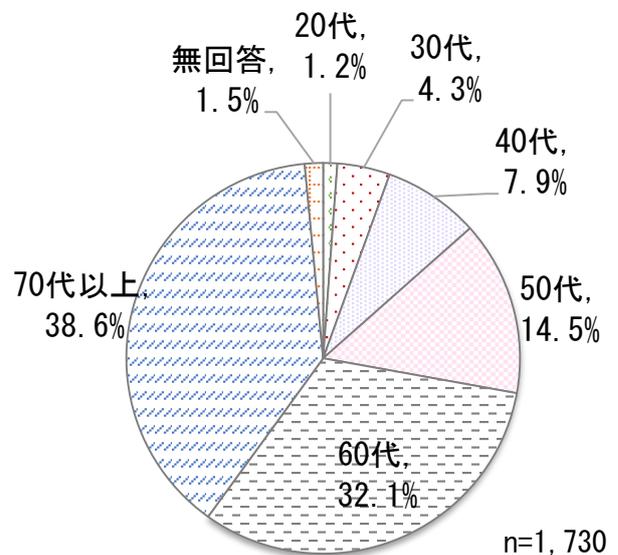


問2 年齢

回答者の年齢について、「70代以上」が 38.6%と最も高く、次いで「60代以上」が 32.1%となった。

「20代」は 1.2%と低く、「10代」の回答者はいなかった。

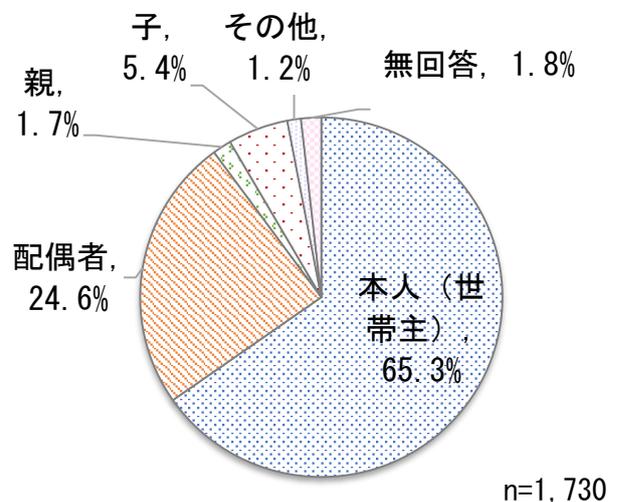
	人数	割合
10代	0	0.0%
20代	20	1.2%
30代	75	4.3%
40代	137	7.9%
50代	250	14.5%
60代	555	32.1%
70代以上	667	38.6%
無回答	26	1.5%
総数	1,730	100.0%



問3 世帯主からみた続柄

回答者の世帯主からみた続柄について、「本人（世帯主）」が 65.3%と最も高く、次いで「配偶者」が 24.6%となった。

	人数	割合
本人（世帯主）	1,130	65.3%
配偶者	425	24.6%
親	29	1.7%
子	93	5.4%
その他	21	1.2%
無回答	32	1.8%
総数	1,730	100.0%

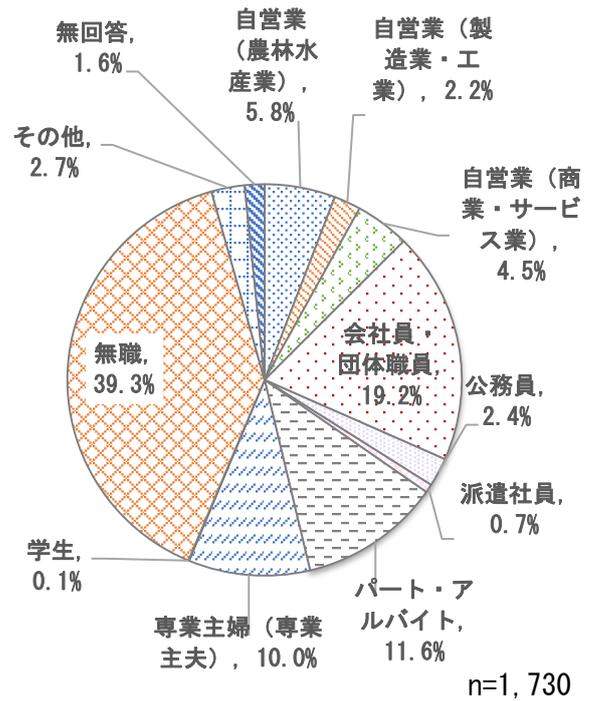


問4 職業

回答者の職業について、「無職」が39.3%と最も高く、次いで「会社員・団体職員」が19.2%となった。

「派遣社員」や「学生」は1%未満と低くなった。

	回答数	割合
自営業（農林水産業）	101	5.8%
自営業（製造業・工業）	38	2.2%
自営業（商業・サービス業）	77	4.5%
会社員・団体職員	332	19.2%
公務員	41	2.4%
派遣社員	12	0.7%
パート・アルバイト	200	11.6%
専業主婦（専業主夫）	172	9.9%
学生	1	0.1%
無職	680	39.3%
その他	47	2.7%
無回答	29	1.7%
総数	1,730	100.0%



その他の回答として以下のようなものがあった。

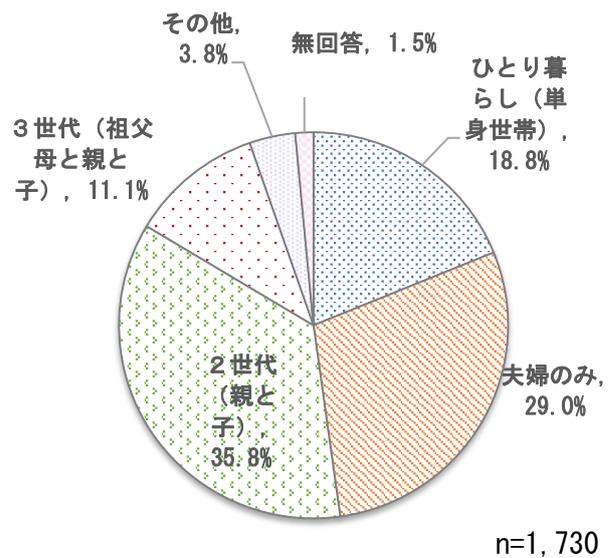
・パートナースタッフ	・会社員と兼業農家	・家事手伝い
・医療関係	・臨時職員	

(2) 回答者の世帯について

問5 世帯（家族構成）

回答者の世帯について、「2世代（親と子）」が35.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」29.0%となった。

	回答数	割合
ひとり暮らし（単身世帯）	326	18.8%
夫婦のみ	501	29.0%
2世代（親と子）	619	35.8%
3世代（祖父母と親と子）	192	11.1%
その他	66	3.8%
無回答	26	1.5%
総数	1,730	100.0%



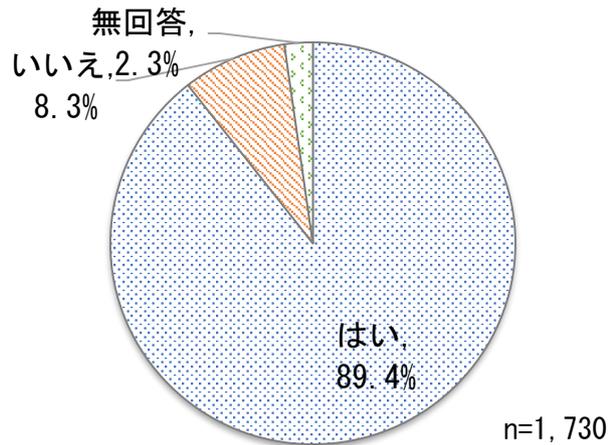
その他の回答として以下のようなものがあった。

・叔父や叔母、兄弟など同居	・4世代
・施設入居	

問6 震災以前に山元町に住んでいたか

震災以前の居住について、89.4%が震災前から山元町に住んでいると答えた。

	回答数	割合
はい	1,547	89.4%
いいえ	144	8.3%
無回答	39	2.3%
総数	1,730	100.0%

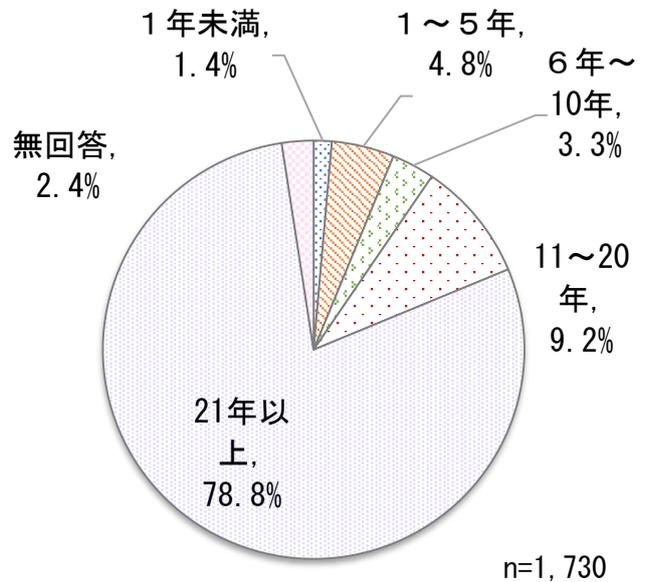


問7 居住年数

山元町での居住年数について、「21年以上」が78.8%と最も高く、次いで「11から20年」が9.2%となった。

「1年未満」「1から5年」「6年から10年」は5%未満と低くなった。

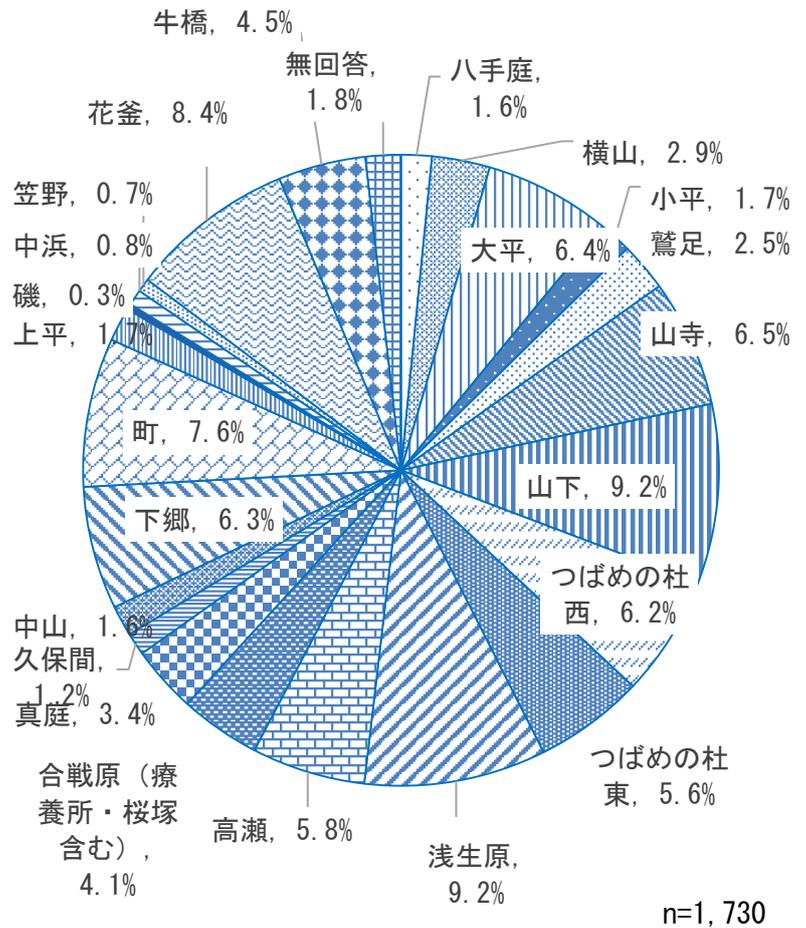
	回答数	割合
1年未満	24	1.4%
1から5年	83	4.8%
6年から10年	57	3.3%
11から20年	160	9.2%
21年以上	1,364	78.8%
無回答	42	2.4%
総数	1,730	100.0%



問8 居住地区

回答者の居住地区については、以下のようになった。

	世帯数	回答数	割合
八手庭	71	27	1.6%
横山	138	51	2.9%
大平	257	111	6.4%
小平	98	29	1.7%
鷲足	122	43	2.5%
山寺	264	113	6.5%
山下	549	159	9.2%
つばめの杜西	264	107	6.2%
つばめの杜東	265	97	5.6%
浅生原	403	160	9.2%
高瀬	266	100	5.8%
合戦原（療養所・桜塚含む）	106	71	4.1%
真庭	180	59	3.4%
久保間	77	20	1.2%
中山	71	27	1.6%
下郷	281	109	6.3%
町	298	132	7.6%
上平	90	30	1.7%
磯	20	5	0.3%
中浜	29	14	0.8%
笠野	30	12	0.7%
花釜	456	146	8.4%
牛橋	234	77	4.5%
無回答		31	1.8%
総数	4,732	1,730	100.0%

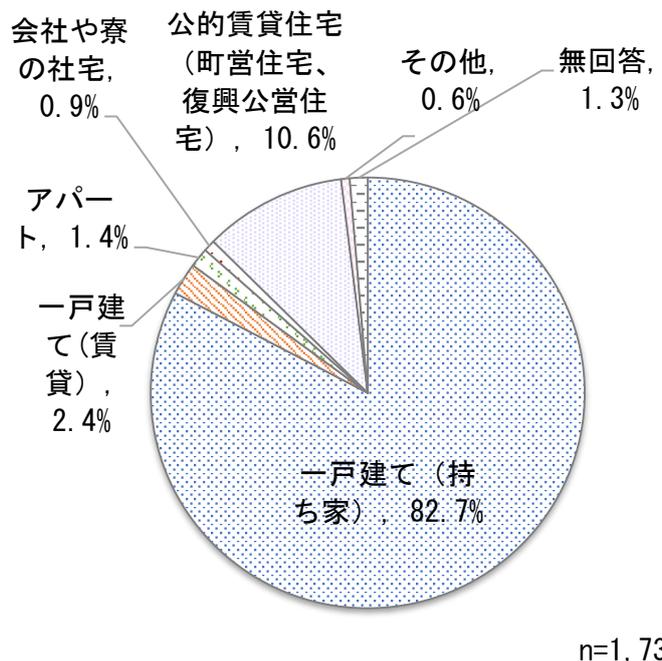


※割合は、回収総数に占める各居住地区の回答数の割合を示す。

問9 住宅の形式

住んでいる住宅の形式について、「一戸建て（持ち家）」が82.7%と特に高く、次いで「公的賃貸住宅（町営住宅、復興公営住宅）」が10.6%となり、それ以外の項目は3%以下となった。

	回答数	割合
一戸建て（持ち家）	1,430	82.7%
一戸建て（賃貸）	42	2.4%
アパート	25	1.4%
会社や寮の社宅	15	0.9%
公的賃貸住宅（町営住宅、復興公営住宅）	184	10.6%
その他	11	0.6%
無回答	23	1.3%
総数	1,730	100.0%



(3) 山元町での【暮らし】について

問 10 今後の居留意向

居住継続意向について、70.9%が「今後も山元町に住み続けたい」との意向を示す結果となった。

年齢別にみると、20代以外の全ての年代で「今後も住み続けたい」の回答割合が50%を超える結果となった。「今後も住み続けたい」と答えた割合は年齢が上がるほど高くなり、70代以上では77.4%の高い割合が「今後も住み続けたい」と答えた。一方で、20代から40代の若い世代では「わからない」の回答割合が高くなり、20代では「住み続けたくない」の回答割合も高くなった。

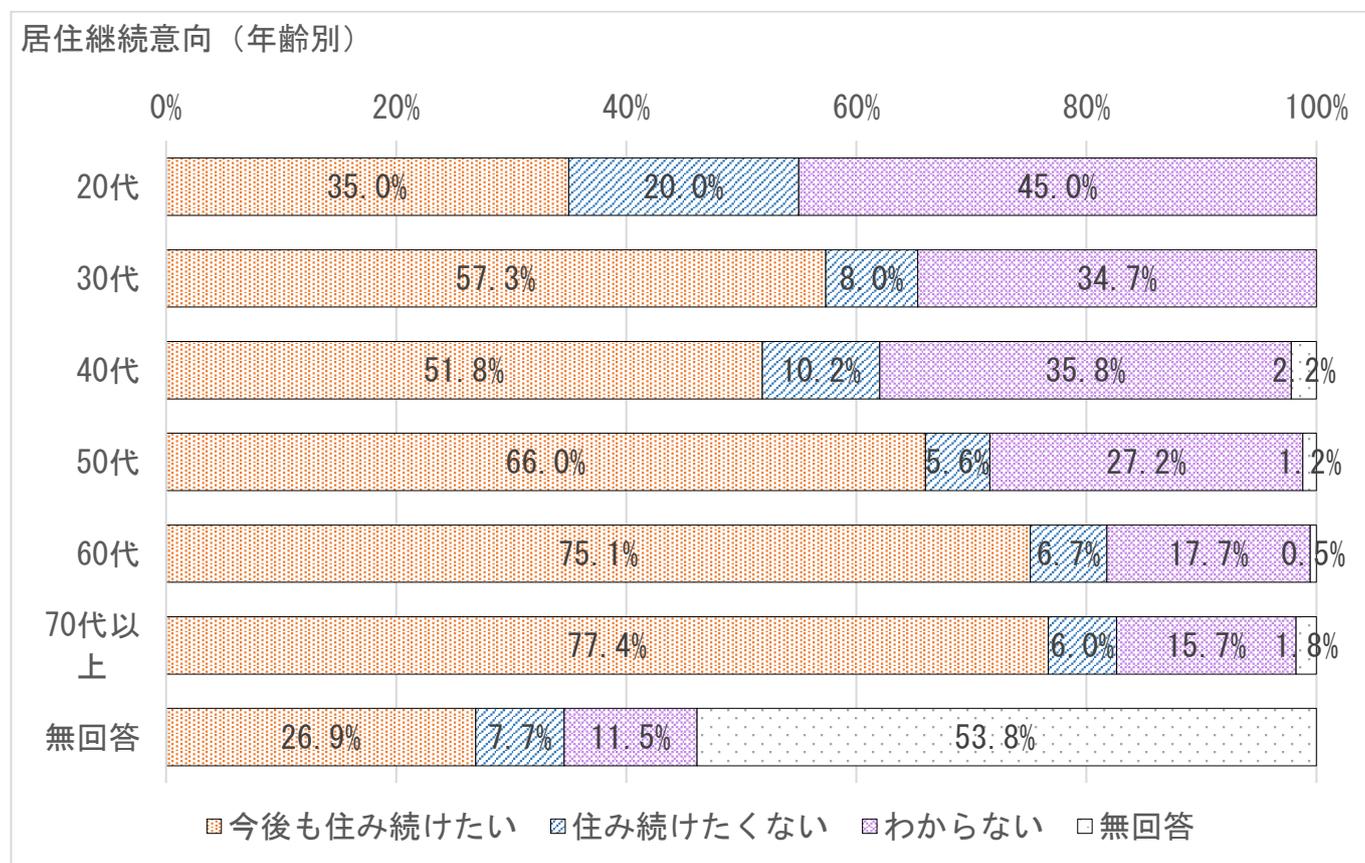
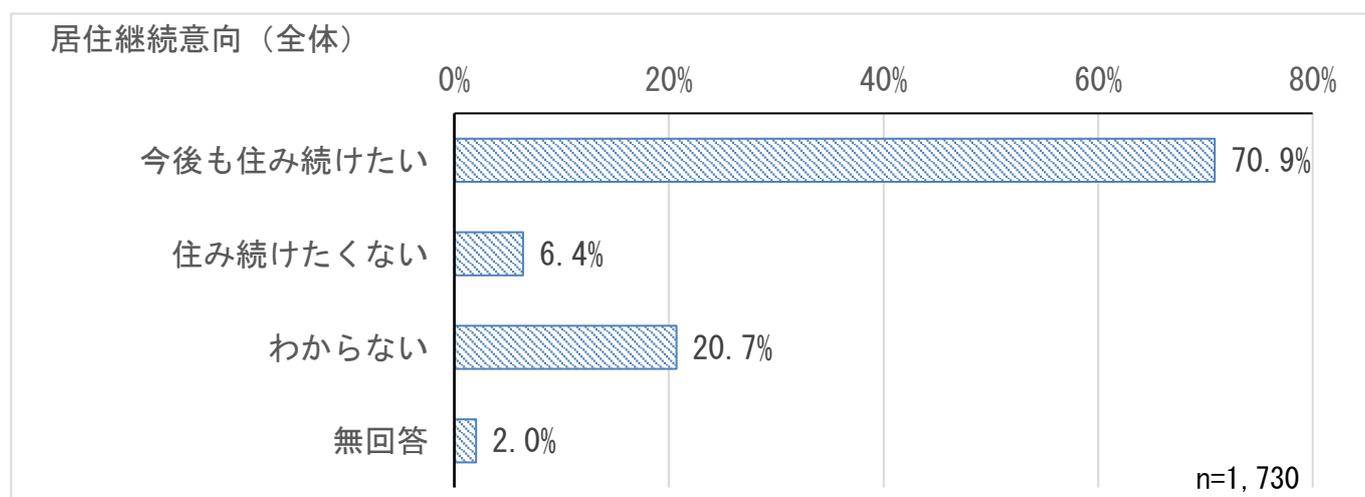


表 居住継続意向（属性別）

		合計	今後も住み 続けたい	住み続け たくない	わからない	無回答
合計		1,730	1,226	111	358	35
		100%	70.9%	6.4%	20.7%	2.0%
性別	男性	966	731	56	170	9
		100%	75.7%	5.8%	17.6%	0.9%
	女性	738	489	53	185	11
		100%	66.3%	7.2%	25.1%	1.5%
無回答		26	6	2	3	15
		100%	23.1%	7.7%	11.5%	57.7%
年齢別	10代	0	0	0	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%
	20代	20	7	4	9	0
		100%	35.0%	20.0%	45.0%	0.0%
	30代	75	43	6	26	0
		100%	57.3%	8.0%	34.7%	0.0%
	40代	137	71	14	49	3
		100%	51.8%	10.2%	35.8%	2.2%
	50代	250	165	14	68	3
		100%	66.0%	5.6%	27.2%	1.2%
	60代	555	417	37	98	3
		100%	75.1%	6.7%	17.7%	0.5%
70代以上	667	516	34	105	12	
	100%	77.4%	5.1%	15.7%	1.8%	
無回答		26	7	2	3	14
		100%	26.9%	7.7%	11.5%	53.8%
世帯構成別	一人暮らし	326	220	11	89	6
		100%	67.5%	3.4%	27.3%	1.8%
	夫婦のみ	501	385	31	82	3
		100%	76.8%	6.2%	16.4%	0.6%
	2世代（親と子）	619	434	47	132	6
		100%	70.1%	7.6%	21.3%	1.0%
	3世代 （祖父母と親と子）	192	139	14	37	2
		100%	72.4%	7.3%	19.3%	1.0%
その他		66	42	6	14	4
		100%	63.6%	9.1%	21.2%	6.1%
無回答		26	6	2	4	14
		100%	23.1%	7.7%	15.4%	53.8%

問11 暮らしやすさ

暮らしやすさについて、「暮らしやすい」と「まあまあ暮らしやすい」を合わせ、58.8%の町民が山元町は暮らしやすいと考えている。

年代別に見ると、40代を除いて、すべての年代で「暮らしやすい」と「まあまあ暮らしやすい」合わせて50%を超える結果となった。50代から70代の年齢が高い層で「暮らしやすい」が他の年代と比べ比較的高くなっており、40代では「暮らしやすい」と「まあまあ暮らしやすい」の回答が他の年代に比べ少なくなった。また、20代と40代では「暮らしにくい」が10%以上となった。

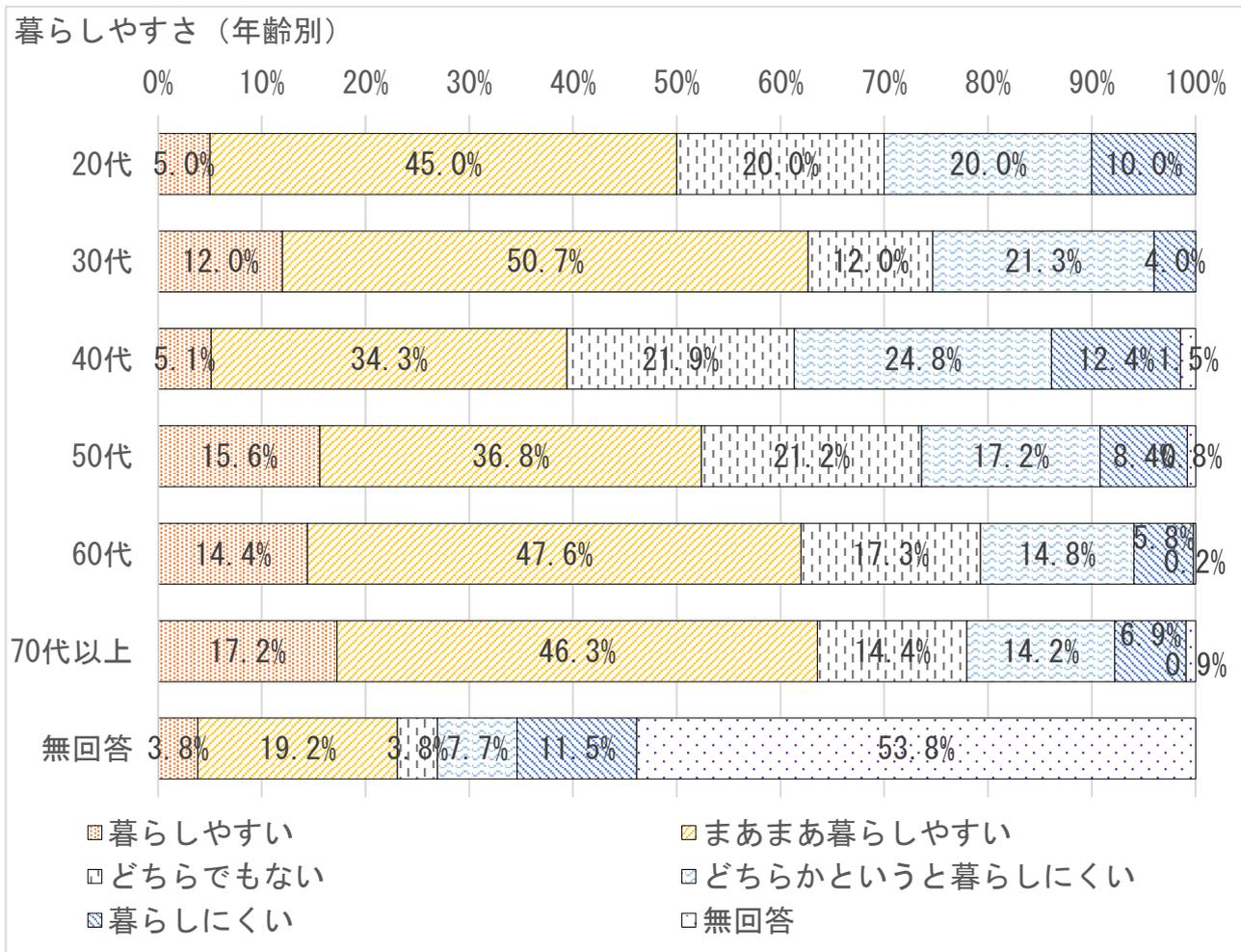
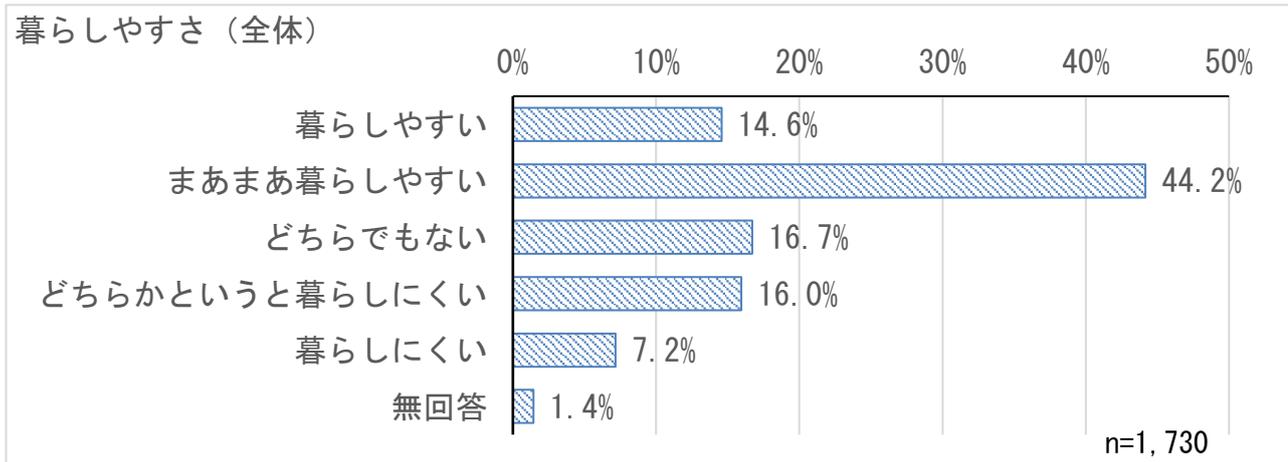


表 暮らしやすさ（属性別）

		合計	暮らしやすい	まあまあ 暮らしやすい	どちらでもない	どちらかという 暮らしにくい	暮らしにくい	無回答
合計		1,730	252	764	289	276	124	25
		100.0%	14.6%	44.2%	16.7%	16.0%	7.2%	1.4%
性別	男	966	155	431	172	137	67	4
		100.0%	16.0%	44.6%	17.8%	14.2%	6.9%	0.4%
	女	738	97	327	113	138	56	7
		100.0%	13.1%	44.3%	15.3%	18.7%	7.6%	0.9%
	無回答	26	0	6	4	1	1	14
		100.0%	0.0%	23.1%	15.4%	3.8%	3.8%	53.8%
年齢	20代	20	1	9	4	4	2	0
		100.0%	5.0%	45.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	30代	75	9	38	9	16	3	0
		100.0%	12.0%	50.7%	12.0%	21.3%	4.0%	0.0%
	40代	137	7	47	30	34	17	2
		100.0%	5.1%	34.3%	21.9%	24.8%	12.4%	1.5%
	50代	250	39	92	53	43	21	2
		100.0%	15.6%	36.8%	21.2%	17.2%	8.4%	0.8%
60代	555	80	264	96	82	32	1	
	100.0%	14.4%	47.6%	17.3%	14.8%	5.8%	0.2%	
70代以上	667	115	309	96	95	46	6	
	100.0%	17.2%	46.3%	14.4%	14.2%	6.9%	0.9%	
	無回答	26	1	5	1	2	3	14
		100.0%	3.8%	19.2%	3.8%	7.7%	11.5%	53.8%
世帯構成	ひとり暮らし （単身世帯）	326	44	147	56	53	22	4
		100.0%	13.5%	45.1%	17.2%	16.3%	6.7%	1.2%
	夫婦のみ	501	75	242	75	70	35	4
		100.0%	15.0%	48.3%	15.0%	14.0%	7.0%	0.8%
	2世代 （親と子）	619	90	264	113	104	48	0
		100.0%	14.5%	42.6%	18.3%	16.8%	7.8%	0.0%
3世代（祖父 母と親と子）	192	30	85	31	32	12	2	
	100.0%	15.6%	44.3%	16.1%	16.7%	6.3%	1.0%	
その他	66	9	23	13	14	6	1	
	100.0%	13.6%	34.8%	19.7%	21.2%	9.1%	1.5%	
	無回答	26	4	3	1	3	1	14
		100.0%	15.4%	11.5%	3.8%	11.5%	3.8%	53.8%

問 12 町が実施している施策について

①平成 23 年度～現在のまちづくりの満足度

全体の傾向を見ると、くらし・環境の分野において「満足」「やや満足」の回答割合が全体的に高く、一方で産業の分野において「不満」「やや不満」の回答割合が高くなった。

「満足」「やや満足」の回答が多かった項目として、「高速道路の利便性」「ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備」が挙げられ、これらの項目は「満足」「やや満足」を合わせた回答割合が 50%以上となった。

「不満」「やや不満」の回答が多かった項目として、「町民バスなどの公共交通の便利さ」「日常の買い物の便利さ」「空き家・空き地活用の推進」「雇用の場の確保」が挙げられ、これらの項目は「不満」と「やや不満」を合わせた回答割合が 40%以上となった。

くらし・環境に関する満足度については、「高速道路の利便性」「ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備」に対し、「満足」「やや満足」の回答割合が 51.0%と最も高くなっており、「町民バスなどの公共交通の便利さ」に対しては、「不満」「やや不満」の回答割合が 47.4%と最も高くなっている。

健康・福祉に関する項目では、「健康づくりの推進」に対し、「満足」「やや満足」の回答割合が 29.1%と最も高くなっており、「保健・医療サービスの充実」に対しては、「不満」「やや不満」の回答割合が 25.0%と最も高くなっている。

子育て・教育に関する項目では、「子育て支援サービスの充実」に対し、「満足」「やや満足」の回答割合が 18.4%と最も高くなっており、「仕事と子育ての両立の促進」に対しては、「不満」「やや不満」の回答割合が 23.3%と最も高くなっている。

産業に関する項目では、「特産品の開発・PR」に対し、「満足」「やや満足」の回答割合が 17.4%と最も高くなっており、「雇用の場の確保」に対しては、「不満」「やや満足」の回答割合が 40.3%と最も高くなっている。

まちづくり・行政に関する項目では、「イベントなどによるにぎわいの創出」に対し、「満足」「やや満足」の回答割合が 22.7%と最も高くなっており、「行政経営・財政運営」に対しては、「不満」「やや不満」の回答割合が 24.3%と最も高くなっている。

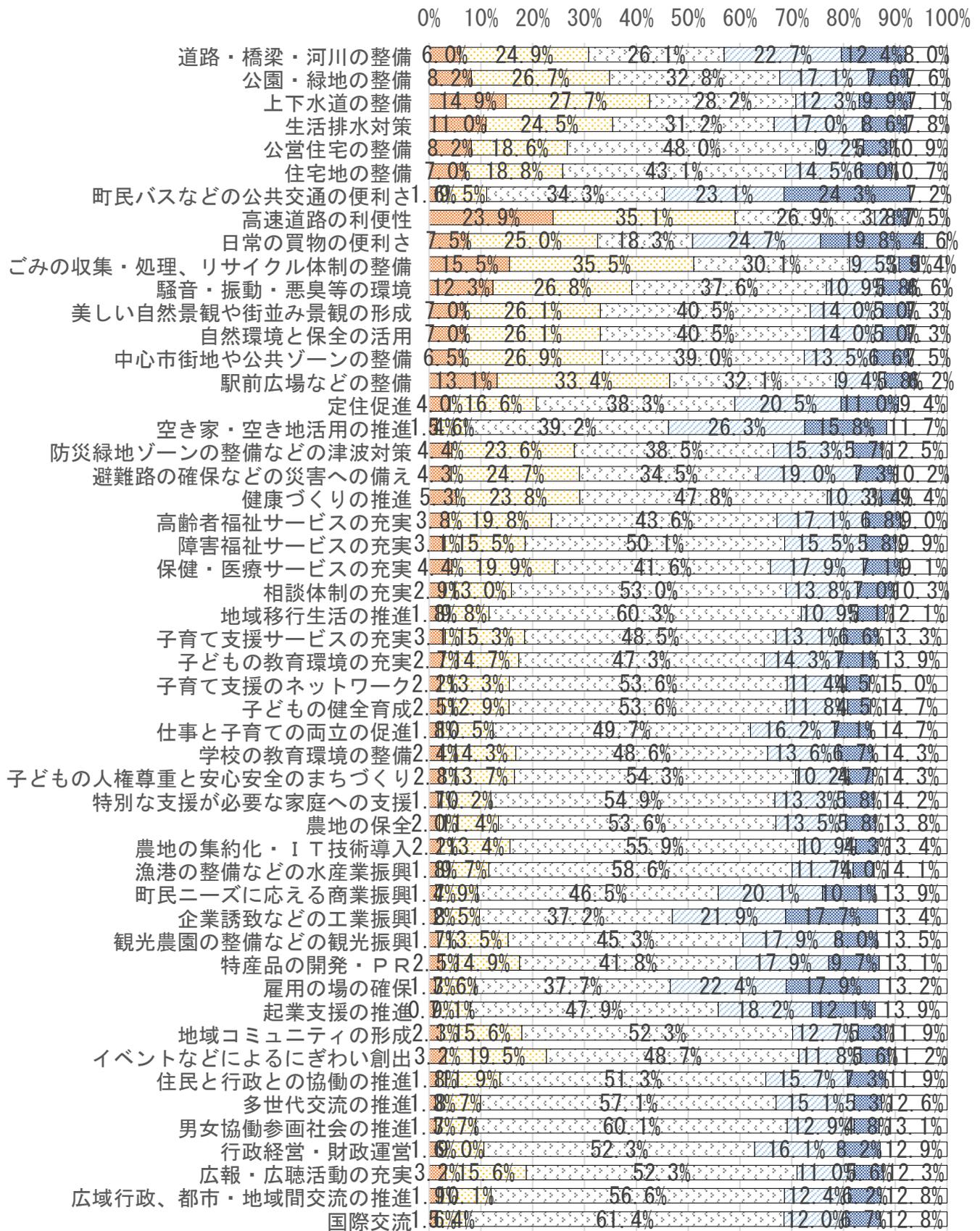
表 平成23年～現在のまちづくりの満足度の割合

項目		満足		やや満足		どちらでもない		やや不満		不満		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
くらし・環境	道路・橋梁・河川の整備	103	6.0%	430	24.9%	452	26.1%	392	22.7%	215	12.4%	138	8.0%
	公園・緑地の整備	141	8.2%	462	26.7%	568	32.8%	296	17.1%	132	7.6%	131	7.6%
	上下水道の整備	257	14.9%	480	27.7%	488	28.2%	212	12.3%	171	9.9%	122	7.1%
	生活排水対策	190	11.0%	423	24.5%	540	31.2%	294	17.0%	148	8.6%	135	7.8%
	公営住宅の整備	141	8.2%	321	18.6%	830	48.0%	159	9.2%	91	5.3%	188	10.9%
	住宅地の整備	121	7.0%	325	18.8%	745	43.1%	250	14.5%	104	6.0%	185	10.7%
	町民バスなどの公共交通の便利さ	28	1.6%	164	9.5%	594	34.3%	399	23.1%	421	24.3%	124	7.2%
	高速道路の利便性	414	23.9%	608	35.1%	466	26.9%	66	3.8%	46	2.7%	130	7.5%
	日常の買物の便利さ	130	7.5%	433	25.0%	317	18.3%	428	24.7%	342	19.8%	80	4.6%
	ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備	269	15.5%	615	35.5%	520	30.1%	165	9.5%	67	3.9%	94	5.4%
	騒音・振動・悪臭等の環境	213	12.3%	464	26.8%	650	37.6%	188	10.9%	100	5.8%	115	6.6%
	美しい自然景観や街並み景観の形成	121	7.0%	451	26.1%	701	40.5%	243	14.0%	87	5.0%	127	7.3%
	自然環境と保全の活用	96	7.0%	359	26.1%	772	40.5%	268	14.0%	98	5.0%	137	7.3%
	中心市街地や公共ゾーンの整備	113	6.5%	466	26.9%	674	39.0%	233	13.5%	115	6.6%	129	7.5%
	駅前広場などの整備	227	13.1%	577	33.4%	555	32.1%	162	9.4%	101	5.8%	108	6.2%
	定住促進	70	4.0%	288	16.6%	663	38.3%	355	20.5%	191	11.0%	163	9.4%
	空き家・空き地活用の推進	25	1.4%	97	5.6%	678	39.2%	455	26.3%	273	15.8%	202	11.7%
防災緑地ゾーンの整備などの津波対策	76	4.4%	409	23.6%	666	38.5%	264	15.3%	98	5.7%	217	12.5%	
避難路の確保などの災害への備え	74	4.3%	428	24.7%	596	34.5%	328	19.0%	127	7.3%	177	10.2%	

項目		満足		やや満足		どちらでもない		やや不満		不満		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
健康・福祉	健康づくりの推進	91	5.3%	412	23.8%	827	47.8%	179	10.3%	59	3.4%	162	9.4%
	高齢者福祉サービスの充実	66	3.8%	342	19.8%	754	43.6%	296	17.1%	117	6.8%	155	9.0%
	障害福祉サービスの充実	53	3.1%	268	15.5%	867	50.1%	269	15.5%	101	5.8%	172	9.9%
	保健・医療サービスの充実	76	4.4%	344	19.9%	720	41.6%	310	17.9%	123	7.1%	157	9.1%
	相談体制の充実	50	2.9%	225	13.0%	917	53.0%	239	13.8%	121	7.0%	178	10.3%
	地域移行生活の推進	31	1.8%	169	9.8%	1043	60.3%	189	10.9%	89	5.1%	209	12.1%
子育て・教育	子育て支援サービスの充実	54	3.1%	265	15.3%	839	48.5%	227	13.1%	115	6.6%	230	13.3%
	子どもの教育環境の充実	46	2.7%	254	14.7%	819	47.3%	248	14.3%	122	7.1%	241	13.9%
	子育て支援のネットワーク	38	2.2%	230	13.3%	928	53.6%	197	11.4%	78	4.5%	259	15.0%
	子どもの健全育成	44	2.5%	223	12.9%	927	53.6%	204	11.8%	77	4.5%	255	14.7%
	仕事と子育ての両立の促進	31	1.8%	182	10.5%	860	49.7%	281	16.2%	122	7.1%	254	14.7%
	学校の教育環境の整備	42	2.4%	248	14.3%	841	48.6%	235	13.6%	116	6.7%	248	14.3%
	子どもの人権尊重と安心安全のまちづくり	48	2.8%	237	13.7%	939	54.3%	176	10.2%	82	4.7%	248	14.3%
	特別な支援が必要な家庭への支援	30	1.7%	176	10.2%	949	54.9%	230	13.3%	100	5.8%	245	14.2%
産業	農地の保全	34	2.0%	197	11.4%	927	53.6%	233	13.5%	100	5.8%	239	13.8%
	農地の集約化・IT技術導入	38	2.2%	232	13.4%	967	55.9%	188	10.9%	74	4.3%	231	13.4%
	漁港の整備などの水産業振興	31	1.8%	168	9.7%	1014	58.6%	203	11.7%	70	4.0%	244	14.1%
	町民ニーズに応える商業振興	24	1.4%	137	7.9%	805	46.5%	348	20.1%	175	10.1%	241	13.9%
	企業誘致などの工業振興	21	1.2%	147	8.5%	644	37.2%	379	21.9%	307	17.7%	232	13.4%
	観光農園の整備などの観光振興	30	1.7%	234	13.5%	784	45.3%	309	17.9%	139	8.0%	234	13.5%
	特産品の開発・PR	44	2.5%	258	14.9%	724	41.8%	309	17.9%	168	9.7%	227	13.1%
	雇用の場の確保	22	1.3%	131	7.6%	652	37.7%	387	22.4%	310	17.9%	228	13.2%
起業支援の推進	15	0.9%	122	7.1%	829	47.9%	314	18.2%	210	12.1%	240	13.9%	

項目		満足		やや満足		どちらでもない		やや不満		不満		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
まちづくり・行政	地域コミュニティの形成	40	2.3%	270	15.6%	904	52.3%	219	12.7%	91	5.3%	206	11.9%
	イベントなどによるにぎわい創出	55	3.2%	337	19.5%	843	48.7%	205	11.8%	97	5.6%	193	11.2%
	住民と行政との協働の推進	31	1.8%	206	11.9%	888	51.3%	272	15.7%	127	7.3%	206	11.9%
	多世代交流の推進	22	1.3%	150	8.7%	987	57.1%	261	15.1%	92	5.3%	218	12.6%
	男女協働参画社会の推進	23	1.3%	133	7.7%	1040	60.1%	224	12.9%	83	4.8%	227	13.1%
	行政経営・財政運営	28	1.6%	155	9.0%	904	52.3%	278	16.1%	141	8.2%	224	12.9%
	広報・広聴活動の充実	55	3.2%	270	15.6%	904	52.3%	191	11.0%	97	5.6%	213	12.3%
	広域行政、都市・地域間交流の推進	33	1.9%	174	10.1%	980	56.6%	214	12.4%	108	6.2%	221	12.8%
国際交流	28	1.6%	94	5.4%	1063	61.4%	207	12.0%	116	6.7%	222	12.8%	

平成23年～現在のまちづくりの満足度



■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満 □無回答

n=1,730

②将来の必要度

全体の傾向として、「必要」と「やや必要」の回答割合が多く項目で50%以上を超えており、また、「不要」「やや不要」の回答割合は全体的に低く、すべての項目において「不要」と「やや不要」の合計は10%以下となっていることから、「不要である」は少数にとどまり、全体的にすべての項目で「必要性」の高い結果となった。

分野別の傾向を見ると、健康・福祉の分野や、子育て・教育の分野において「必要」「やや必要」の回答割合が比較的高くなり、まちづくり・行政の分野では「必要」「やや必要」の回答割合は、わずかではあるが比較的低くなった。

「必要」と「やや必要」を合わせた回答において、全体の中で最も回答割合が高かったのは、「日常の買い物の便利さ」の71.1%となり、次いで「道路・橋梁・河川の整備」が69.8%となった。

くらし・環境に関する必要度については、「日常の買い物の便利さ」に対し、「必要」「やや必要」の回答割合が71.1%と最も高くなっており、「公営住宅の整備」に対しては、「不要」「やや不要」の回答割合が9.6%と最も高くなっている。

健康・福祉に関する必要度については、「保健・医療サービスの充実」に対し、「必要」「やや必要」の回答割合が63.2%と最も高くなっており、「不要」「やや不要」の回答割合はどの項目も3%以下と低かった。

子育て・教育に関する必要度については、「仕事と子育ての両立の促進」に対し、「必要」「やや必要」の回答割合が最も高くなっており、すべての項目で、「不要」「やや不要」の回答割合は3%以下と低かった。

産業に関する必要度については、「雇用の場の確保」に対し、「必要」「やや必要」の回答割合が63.3%と最も高くなっており、「農地の集約化・IT技術の導入」に対しては、「不要」「やや不要」の回答割合が4.0%と、最も高くなっている。

まちづくり・行政に関する必要度については、「住民と行政の協働の推進」に対し、「必要」「やや必要」の回答割合が50.9%と最も高くなっており、「国際交流」に対しては、「不要」「やや不要」の回答割合が4.9%と、最も高くなっている。

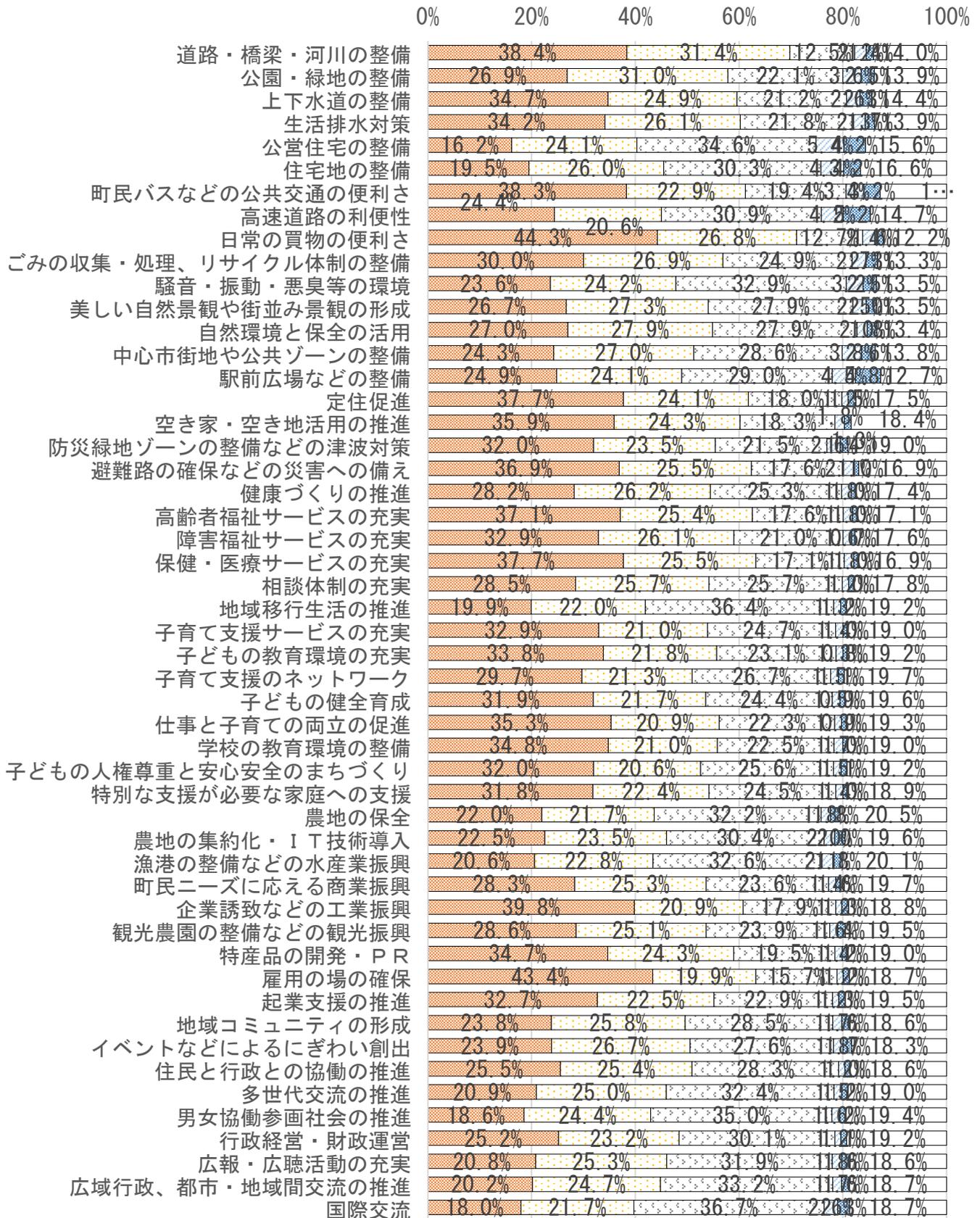
表 将来の必要度の割合

項目		必要		やや必要		どちらでもない		やや不要		不要		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
くらし・環境	道路・橋梁・河川の整備	664	38.4%	544	31.4%	216	12.5%	38	2.2%	25	1.4%	243	14.0%
	公園・緑地の整備	465	26.9%	536	31.0%	383	22.1%	62	3.6%	43	2.5%	241	13.9%
	上下水道の整備	601	34.7%	430	24.9%	366	21.2%	45	2.6%	39	2.3%	249	14.4%
	生活排水対策	591	34.2%	451	26.1%	378	21.8%	39	2.3%	30	1.7%	241	13.9%
	公営住宅の整備	280	16.2%	417	24.1%	598	34.6%	93	5.4%	72	4.2%	270	15.6%
	住宅地の整備	337	19.5%	450	26.0%	524	30.3%	76	4.4%	56	3.2%	287	16.6%
	町民バスなどの公共交通の便利さ	662	38.3%	397	22.9%	336	19.4%	59	3.4%	55	3.2%	221	12.8%
	高速道路の利便性	422	24.4%	357	20.6%	534	30.9%	73	4.2%	90	5.2%	254	14.7%
	日常の買物の便利さ	766	44.3%	464	26.8%	220	12.7%	41	2.4%	28	1.6%	211	12.2%
	ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備	519	30.0%	465	26.9%	431	24.9%	46	2.7%	39	2.3%	230	13.3%
	騒音・振動・悪臭等の環境	409	23.6%	418	24.2%	569	32.9%	56	3.2%	44	2.5%	234	13.5%
	美しい自然景観や街並み景観の形成	462	26.7%	473	27.3%	483	27.9%	44	2.5%	35	2.0%	233	13.5%
	自然環境と保全の活用	467	27.0%	482	27.9%	483	27.9%	34	2.0%	32	1.8%	232	13.4%
	中心市街地や公共ゾーンの整備	420	24.3%	467	27.0%	495	28.6%	65	3.8%	45	2.6%	238	13.8%
	駅前広場などの整備	430	24.9%	417	24.1%	502	29.0%	78	4.5%	83	4.8%	220	12.7%
	定住促進	652	37.7%	417	24.1%	312	18.0%	21	1.2%	26	1.5%	302	17.5%
	空き家・空き地活用の推進	621	35.9%	420	24.3%	317	18.3%	32	1.8%	22	1.3%	318	18.4%
防災緑地ゾーンの整備などの津波対策	553	32.0%	406	23.5%	372	21.5%	45	2.6%	25	1.4%	329	19.0%	
避難路の確保などの災害への備え	638	36.9%	441	25.5%	304	17.6%	36	2.1%	18	1.0%	293	16.9%	

項目		必要		やや必要		どちらでもない		やや不要		不要		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
健康・福祉	健康づくりの推進	488	28.2%	454	26.2%	438	25.3%	32	1.8%	17	1.0%	301	17.4%
	高齢者福祉サービスの充実	642	37.1%	440	25.4%	304	17.6%	31	1.8%	17	1.0%	296	17.1%
	障害福祉サービスの充実	569	32.9%	452	26.1%	364	21.0%	28	1.6%	12	0.7%	305	17.6%
	保健・医療サービスの充実	652	37.7%	442	25.5%	295	17.1%	32	1.8%	17	1.0%	292	16.9%
	相談体制の充実	493	28.5%	445	25.7%	445	25.7%	21	1.2%	18	1.0%	308	17.8%
	地域移行生活の推進	345	19.9%	380	22.0%	629	36.4%	23	1.3%	20	1.2%	333	19.2%
子育て・教育	子育て支援サービスの充実	570	32.9%	363	21.0%	427	24.7%	25	1.4%	17	1.0%	328	19.0%
	子どもの教育環境の充実	585	33.8%	378	21.8%	399	23.1%	23	1.3%	13	0.8%	332	19.2%
	子育て支援のネットワーク	514	29.7%	368	21.3%	462	26.7%	26	1.5%	19	1.1%	341	19.7%
	子どもの健全育成	552	31.9%	375	21.7%	422	24.4%	26	1.5%	16	0.9%	339	19.6%
	仕事と子育ての両立の促進	611	35.3%	361	20.9%	385	22.3%	23	1.3%	16	0.9%	334	19.3%
	学校の教育環境の整備	602	34.8%	364	21.0%	389	22.5%	29	1.7%	17	1.0%	329	19.0%
	子どもの人権尊重と安心安全のまちづくり	553	32.0%	357	20.6%	443	25.6%	26	1.5%	19	1.1%	332	19.2%
	特別な支援が必要な家庭への支援	550	31.8%	388	22.4%	423	24.5%	24	1.4%	18	1.0%	327	18.9%
産業	農地の保全	380	22.0%	375	21.7%	557	32.2%	32	1.8%	32	1.8%	354	20.5%
	農地の集約化・IT技術導入	390	22.5%	406	23.5%	526	30.4%	35	2.0%	34	2.0%	339	19.6%
	漁港の整備などの水産業振興	356	20.6%	395	22.8%	564	32.6%	36	2.1%	32	1.8%	347	20.1%
	町民ニーズに応える商業振興	490	28.3%	438	25.3%	409	23.6%	24	1.4%	28	1.6%	341	19.7%
	企業誘致などの工業振興	689	39.8%	362	20.9%	310	17.9%	20	1.2%	23	1.3%	326	18.8%
	観光農園の整備などの観光振興	494	28.6%	434	25.1%	413	23.9%	27	1.6%	25	1.4%	337	19.5%
	特産品の開発・PR	600	34.7%	420	24.3%	338	19.5%	24	1.4%	20	1.2%	328	19.0%
	雇用の場の確保	750	43.4%	344	19.9%	271	15.7%	21	1.2%	20	1.2%	324	18.7%
起業支援の推進	565	32.7%	389	22.5%	396	22.9%	21	1.2%	22	1.3%	337	19.5%	

項目		必要		やや必要		どちらでもない		やや不要		不要		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
まちづくり・行政	地域コミュニティの形成	412	23.8%	446	25.8%	493	28.5%	30	1.7%	27	1.6%	322	18.6%
	イベントなどによるにぎわい創出	413	23.9%	462	26.7%	478	27.6%	32	1.8%	29	1.7%	316	18.3%
	住民と行政との協働の推進	442	25.5%	439	25.4%	489	28.3%	21	1.2%	18	1.0%	321	18.6%
	多世代交流の推進	362	20.9%	433	25.0%	560	32.4%	26	1.5%	21	1.2%	328	19.0%
	男女協働参画社会の推進	321	18.6%	422	24.4%	605	35.0%	27	1.6%	20	1.2%	335	19.4%
	行政経営・財政運営	436	25.2%	402	23.2%	520	30.1%	20	1.2%	19	1.1%	333	19.2%
	広報・広聴活動の充実	360	20.8%	437	25.3%	552	31.9%	32	1.8%	27	1.6%	322	18.6%
	広域行政、都市・地域間交流の推進	349	20.2%	427	24.7%	575	33.2%	29	1.7%	27	1.6%	323	18.7%
国際交流	311	18.0%	376	21.7%	635	36.7%	45	2.6%	39	2.3%	324	18.7%	

将来の必要度



■必要 □やや必要 □どちらでもない □やや不要 ■不要 □無回答

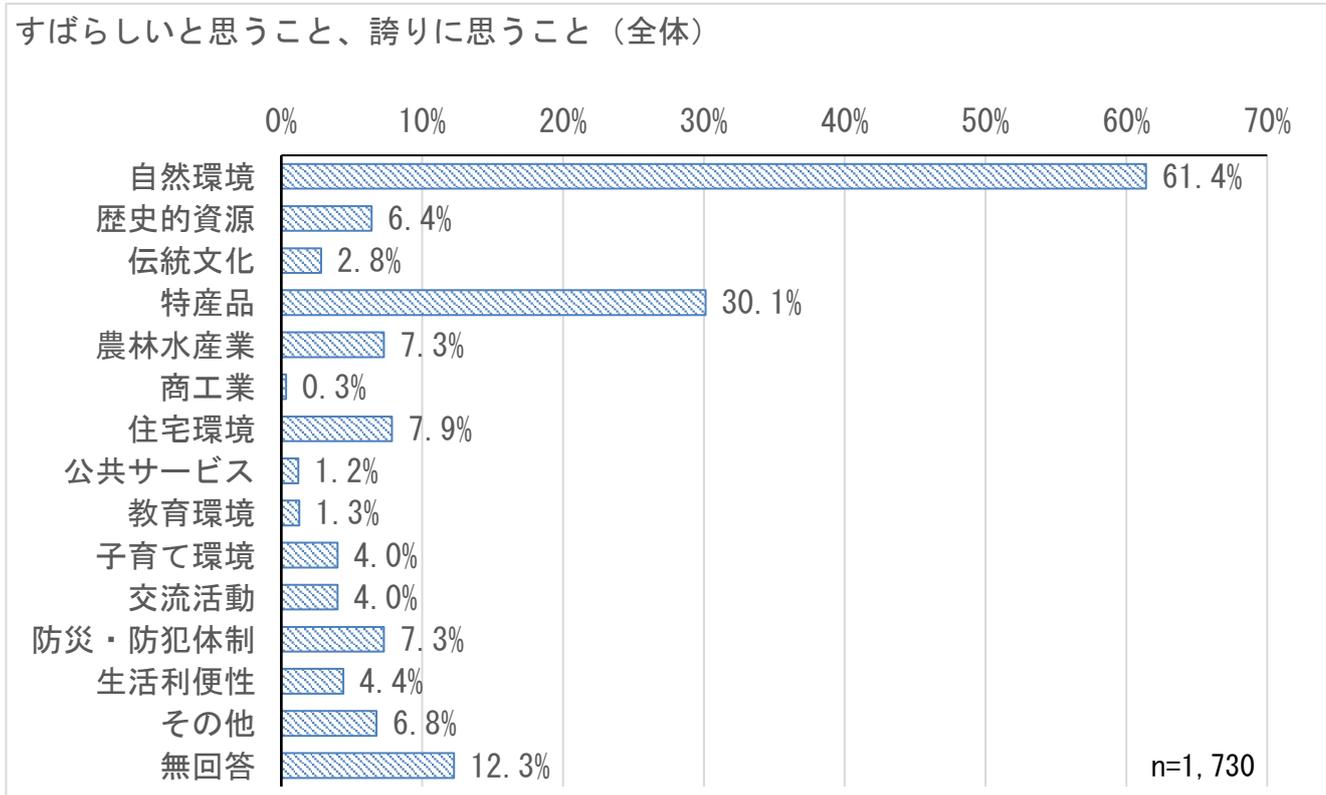
n=1,730

問 13 すばらしいと思うこと・誇りに思うこと（2つまで選択）

山元町のすばらしいと思うこと・誇りに思うことについて、「自然環境」の項目が 61.4%と最も高くなり、次いで「特産品」が 30.1%となった。

低かった項目としては、「商工業」が 0.3%と最も低く、次いで「公共サービス」「教育環境」「伝統文化」が、1%程度となった。

年齢別に見ると、「自然環境」はすべての年代で高い回答割合となった。20代から30代の若い世代で「特産品」の回答割合が高く、60代から70代以上の高齢層では「歴史的資源」の回答割合が比較的高くなった。

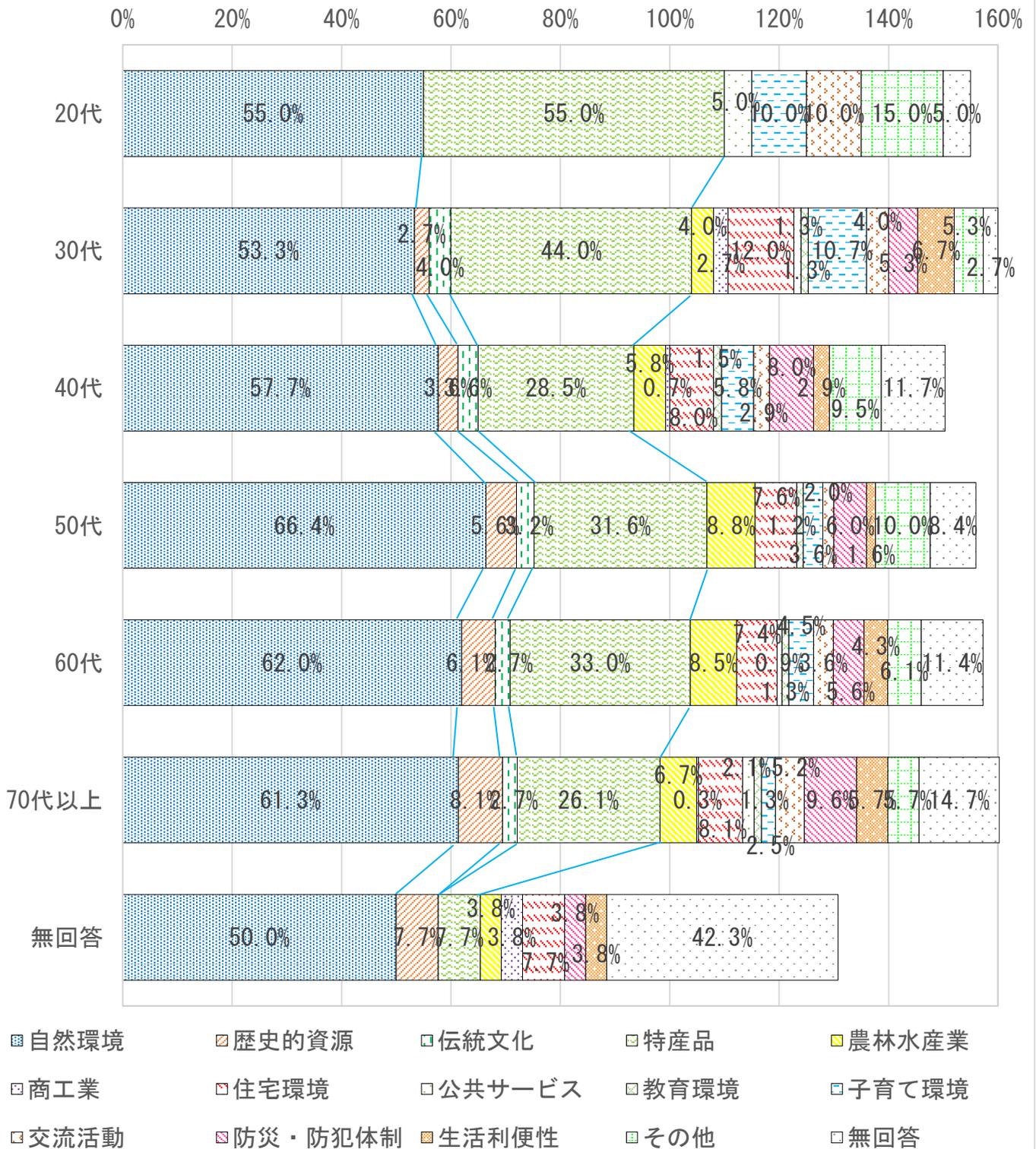


※複数回答のため合計 100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・顔が見える関係 ・コミュニティ ・人とのつながり ・役場職員が親切 ・仙台まで乗り替えなしで行ける事 | <ul style="list-style-type: none"> ・となり同士の信頼性 ・すばらしいとも誇りにも思わない。 ・交通の便、JR、NEXCO ・家の回りにあまり家が無い事 ・新山下駅前の環境 |
|---|--|

すばらしいと思うこと・誇りに思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計が100%にならない

表 すばらしいと思うこと・誇りに思うこと

		合計	環境自然	歴史的資源	文化伝統	特産品	水産業農林	商工業	環境住宅	公共サービス	環境教育	子育て環境	活動交流	本制防犯・防災	利便性生活	その他	無回答
全体		1,730	1,062	111	49	521	126	6	136	21	22	69	69	126	76	117	212
			61.4%	6.4%	2.8%	30.1%	7.3%	0.3%	7.9%	1.2%	1.3%	4.0%	4.0%	7.3%	4.4%	6.8%	12.3%
性別	男性	966	604	70	27	242	91	3	85	15	15	40	33	66	50	69	113
			62.5%	7.2%	2.8%	25.1%	9.4%	0.3%	8.8%	1.6%	1.6%	4.1%	3.4%	6.8%	5.2%	7.1%	11.7%
	女性	738	447	40	22	279	32	2	49	6	7	29	36	57	25	47	87
		60.6%	5.4%	3.0%	37.8%	4.3%	0.3%	6.6%	0.8%	0.9%	3.9%	4.9%	7.7%	3.4%	6.4%	11.8%	
	無回答	26	11	1	0	0	3	1	2	0	0	0	0	3	1	1	12
		42.3%	3.8%	0.0%	0.0%	11.5%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	3.8%	3.8%	46.2%	
年齢別	20代	20	11	0	0	11	0	0	0	1	0	2	2	0	0	3	1
			55.0%	0.0%	0.0%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	15.0%	5.0%
	30代	75	40	2	3	33	3	2	9	1	1	8	3	4	5	4	2
			53.3%	2.7%	4.0%	44.0%	4.0%	2.7%	12.0%	1.3%	1.3%	10.7%	4.0%	5.3%	6.7%	5.3%	2.7%
	40代	137	79	5	5	39	8	1	11	0	2	8	4	11	4	13	16
			57.7%	3.6%	3.6%	28.5%	5.8%	0.7%	8.0%	0.0%	1.5%	5.8%	2.9%	8.0%	2.9%	9.5%	11.7%
	50代	250	166	14	8	79	22	0	19	0	3	9	5	15	4	25	21
			66.4%	5.6%	3.2%	31.6%	8.8%	0.0%	7.6%	0.0%	1.2%	3.6%	2.0%	6.0%	1.6%	10.0%	8.4%
	60代	555	344	34	15	183	47	0	41	5	7	25	20	31	24	34	63
			62.0%	6.1%	2.7%	33.0%	8.5%	0.0%	7.4%	0.9%	1.3%	4.5%	3.6%	5.6%	4.3%	6.1%	11.4%
70代以上	667	409	54	18	174	45	2	54	14	9	17	35	64	38	38	98	
		61.3%	8.1%	2.7%	26.1%	6.7%	0.3%	8.1%	2.1%	1.3%	2.5%	5.2%	9.6%	5.7%	5.7%	14.7%	
	無回答	26	13	2	0	2	1	1	2	0	0	0	1	1	0	11	
		50.0%	7.7%	0.0%	7.7%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%	42.3%	

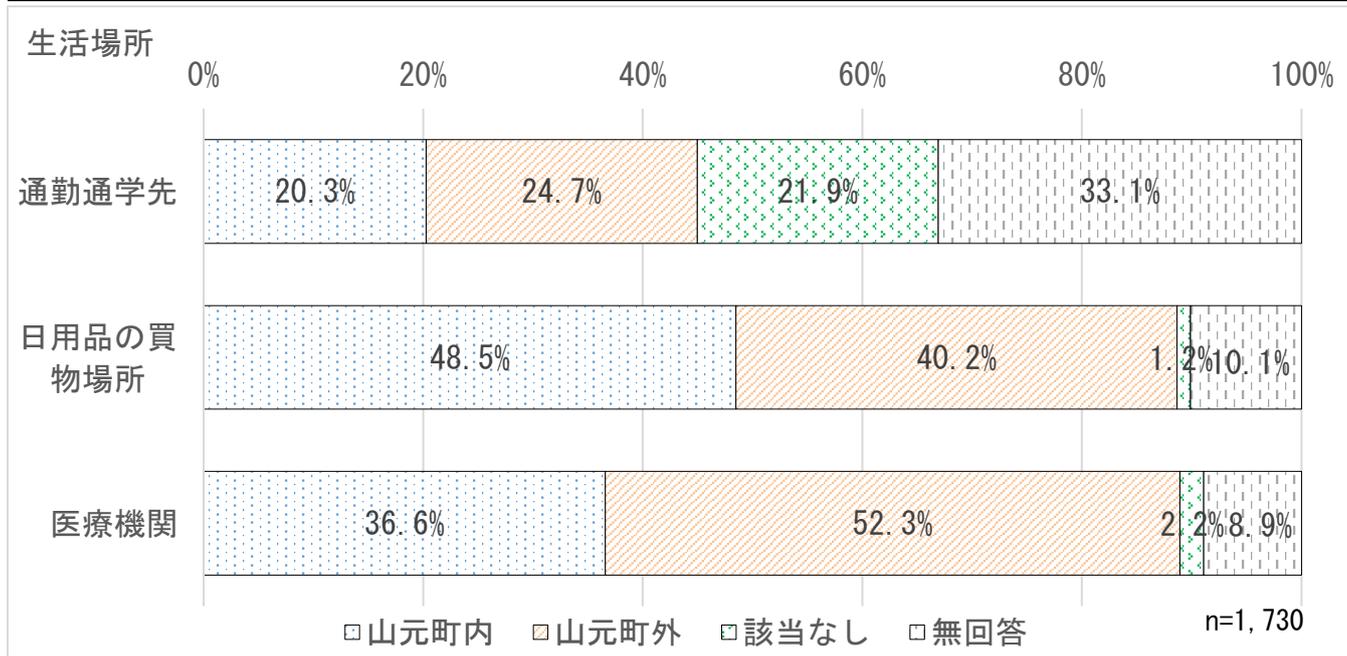
※複数回答のため合計が100%にならない

問 14 生活場所と主な交通手段

生活場所について、「通勤通学先」「日用品の買い物場所」「医療機関」が山元町内と山元町外だという割合は同程度であった。「通勤通学先」の項目では「該当しない」や「無回答」の回答割合が高かった。

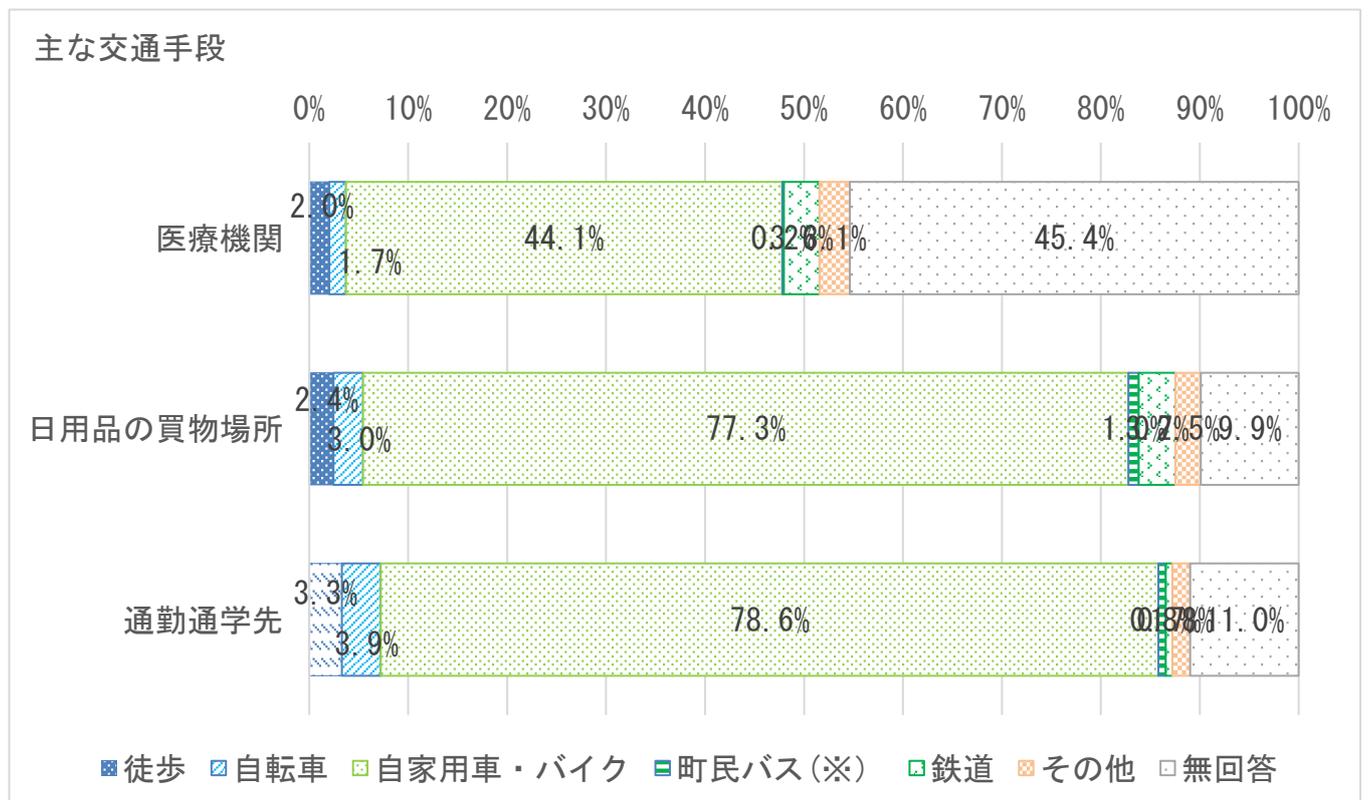
用いる交通手段は、いずれの場所に行く際も「自家用車・バイク」の割合が高く、その一方で「町民バス（※）」の利用はいずれの場所も1%以下と低くなった。

生活場所	山元町内		山元町外		該当なし		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
通勤通学先	362	20.3%	441	24.7%	369	21.9%	554	33.1%
日用品の買い物場所	836	48.4%	704	40.8%	20	1.2%	166	9.6%
医療機関	615	35.6%	929	53.8%	35	2.0%	148	8.6%



交通手段	徒歩		自転車		自家用車・バイク		町民バス(※)		鉄道		その他		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
通勤通学先	35	3.3%	29	3.9%	761	78.6%	3	0.8%	62	0.7%	53	1.8%	783	11.0%
日用品の買物場所	57	2.4%	68	3.0%	1,356	77.3%	13	1.0%	12	3.7%	31	2.5%	189	9.9%
医療機関	42	2.0%	52	1.7%	1,335	44.1%	18	0.2%	64	3.6%	44	3.1%	171	45.4%

※デマンド型乗合タクシー含む



※デマンド型乗合タクシー含む

(4) 地域での【助け合いや諸活動】について

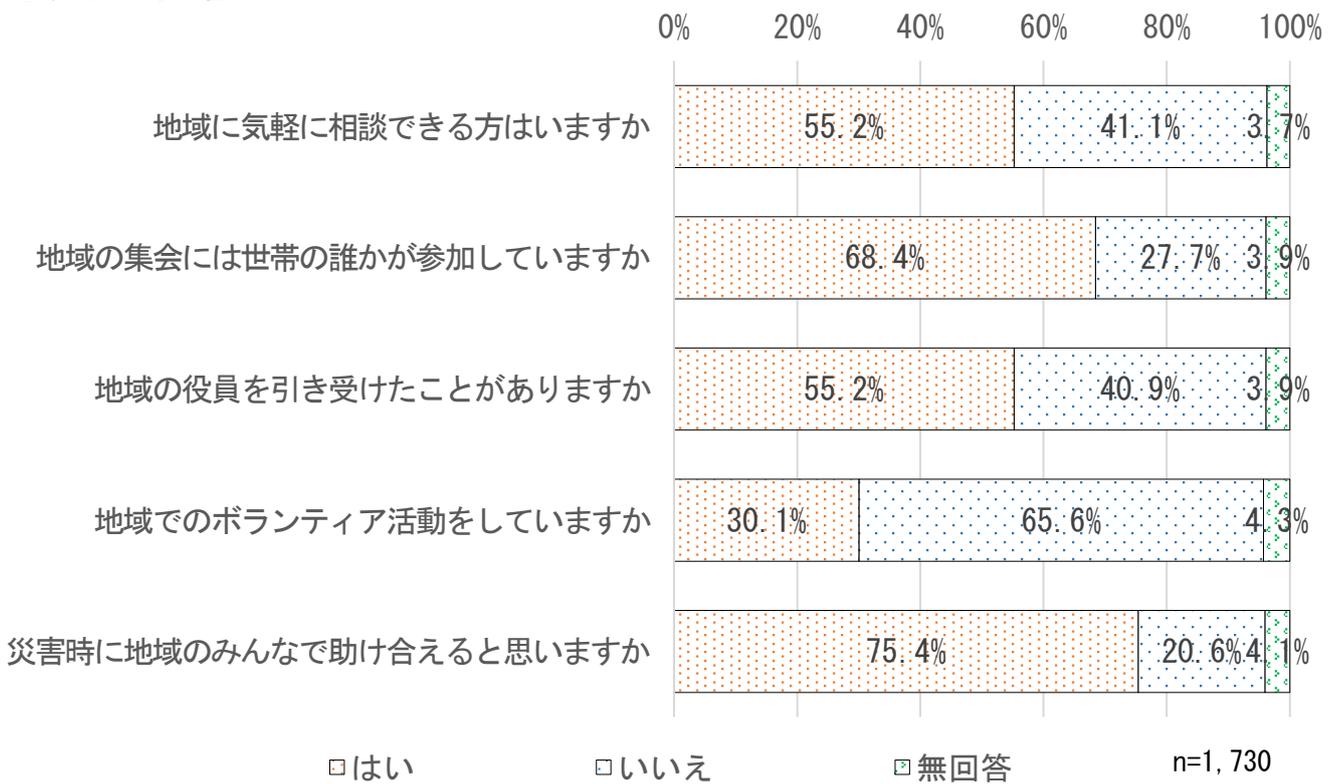
問 15 地域での助け合いについて

地域での助け合いについて、「災害時に地域の人みんなで助け合える」という回答が75.4%と最も高く、次いで「地域の集会には世帯の誰かが参加している」が68.4%となっている。

一方、「地域でのボランティア活動へ参加」については、「はい」の回答が30.1%と他の項目に比べ低く、「いいえ」の回答が「はい」を上回った。地域での助け合いにおいて、これ以外の項目は「はい」の回答が過半数を超えているが、この項目のみ「いいえ」の回答割合が「はい」を大きく上回っている。

	はい		いいえ		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
地域に気軽に相談できる方はいますか	953	55.2%	709	41.1%	64	3.7%
地域の集会には世帯の誰かが参加していますか	1,181	68.4%	478	27.7%	67	3.9%
地域の役員を引き受けたことがありますか	953	55.2%	706	40.9%	67	3.9%
地域でのボランティア活動をしていますか	519	30.1%	1,133	65.6%	74	4.3%
災害時に地域の人みんなで助け合えると思いますか	1,301	75.4%	355	20.6%	70	4.1%

地域での助け合いについて



地域に気軽に相談できる人はいますか

地域に気軽に相談できる人はいますかの回答について属性別に見ると、以下のような結果となった。

・年齢

年齢別に見ると、「はい（気軽に相談できる人がいる）」の回答割合が最も高かったのは、「20代」の65.0%となり、次いで「70代以上」の58.3%となった。すべての年齢層において半数以上が地域に気軽に相談できる人がいる結果となった。

・世帯構成

世帯構成別に見ると、「はい」の回答割合が最も高かったのは、「3世代」の62.5%となり、次いで「一人暮らし」と「2世代」が54.6%と並んだ。すべての世帯構成において半数以上が地域に気軽に相談できる人がいる結果となった。

・居住年数

居住年数別に見ると、「はい」の回答割合が最も高かったのは、「21年以上」の56.8%となり、次いで「6年～10年」の49.1%となった。わずかだが、居住年数が長いほど、気軽に相談できる人がいる傾向となった。

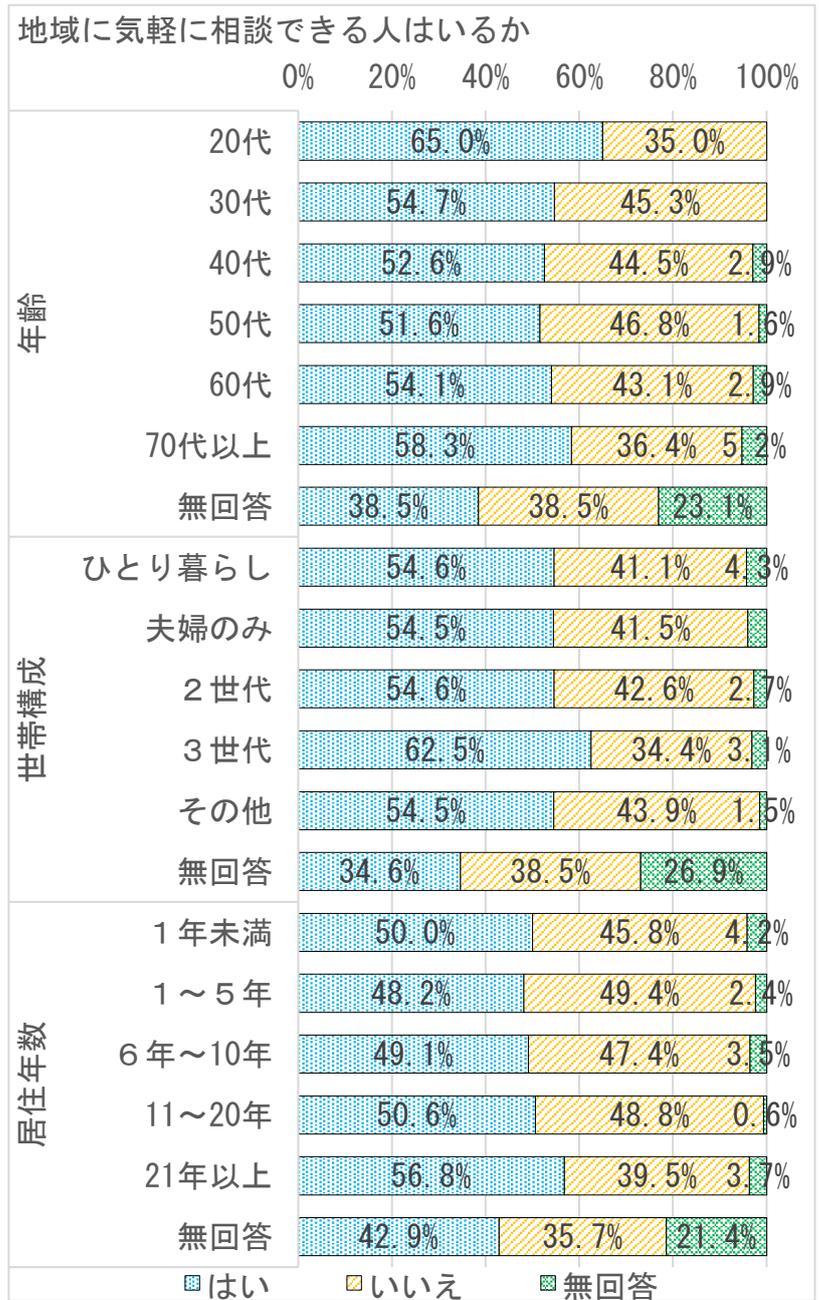


表 地域に気軽に相談できる人はいるか

		総数		はい		いいえ		無回答	
総数		1,730	100%	954	55.1%	711	41.1%	65	3.8%
年齢	20代	20	100%	13	65.0%	7	35.0%	0	0.0%
	30代	75	100%	41	54.7%	34	45.3%	0	0.0%
	40代	137	100%	72	52.6%	61	44.5%	4	2.9%
	50代	250	100%	129	51.6%	117	46.8%	4	1.6%
	60代	555	100%	300	54.1%	239	43.1%	16	2.9%
	70代以上	667	100%	389	58.3%	243	36.4%	35	5.2%
	無回答	26	100%	10	38.5%	10	38.5%	6	23.1%
世帯構成	ひとり暮らし（単身世帯）	326	100%	178	54.6%	134	41.1%	14	4.3%
	夫婦のみ	501	100%	273	54.5%	208	41.5%	20	4.0%
	2世代（親と子）	619	100%	338	54.6%	264	42.6%	17	2.7%
	3世代（祖父母と親と子）	192	100%	120	62.5%	66	34.4%	6	3.1%
	その他	66	100%	36	54.5%	29	43.9%	1	1.5%
	無回答	26	100%	9	34.6%	10	38.5%	7	26.9%
居住年数	1年未満	24	100%	12	50.0%	11	45.8%	1	4.2%
	1から5年	83	100%	40	48.2%	41	49.4%	2	2.4%
	6年から10年	57	100%	28	49.1%	27	47.4%	2	3.5%
	11から20年	160	100%	81	50.6%	78	48.8%	1	0.6%
	21年以上	1,364	100%	775	56.8%	539	39.5%	50	3.7%
	無回答	42	100%	18	42.9%	15	35.7%	9	21.4%

地域の集会には世帯の誰かが参加していますか

地域の集会には世帯の誰かが参加しているかについて、属性別に見ると以下ようになった。

・年齢

年齢別に見ると、「40代」から「70代以上」で「はい（地域の集会に参加している）」の回答割合が7割と高くなったが、「20代」では地域の集会への参加率は40%と低くなった。

・世帯構成

世帯構成別に見ると、「はい」の回答割合は「3世代」が83.9%と最も高く、次いで「2世代」の73.3%となった。一方、「はい」の回答割合が最も低かったのは「一人暮らし」の46.6%となり、「いいえ（参加していない）」を下回った。

・居住年数

居住年数別に見ると、「6年から10年」以上山元町に住んでいると答えた人は、約7割が「はい（参加している）」と回答したが、居住年数が「1年未満」の人は「はい」の回答割合が33.3%と低くなり、「いいえ」が半数以上となった。

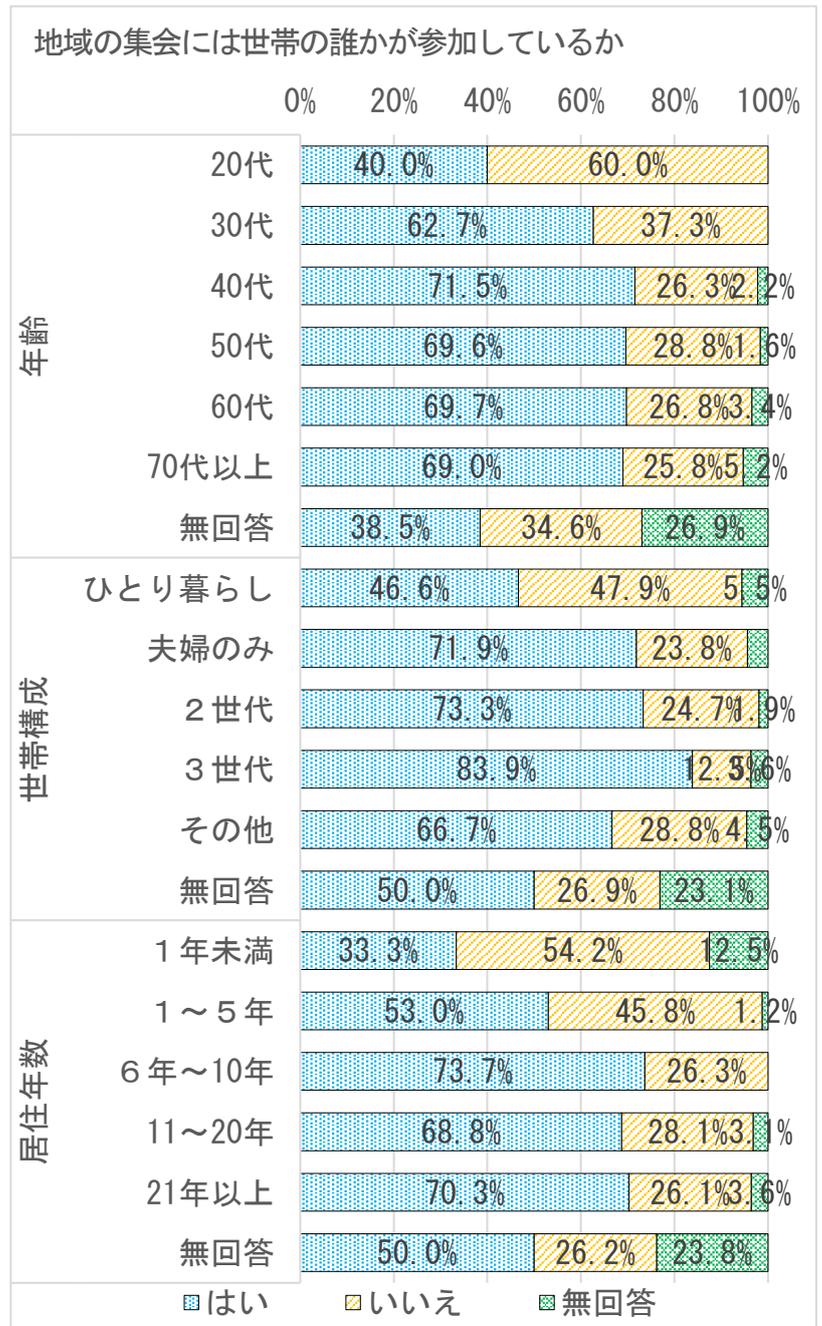


表 地域の集会には世帯の誰かが参加しているか

		総数		はい		いいえ		無回答	
総数		1,730	100%	1184	68.4%	478	27.6%	68	3.9%
年齢	20代	20	100%	8	40.0%	12	60.0%	0	0.0%
	30代	75	100%	47	62.7%	28	37.3%	0	0.0%
	40代	137	100%	98	71.5%	36	26.3%	3	2.2%
	50代	250	100%	174	69.6%	72	28.8%	4	1.6%
	60代	555	100%	387	69.7%	149	26.8%	19	3.4%
	70代以上	667	100%	460	69.0%	172	25.8%	35	5.2%
	無回答	26	100%	10	38.5%	9	34.6%	7	26.9%
世帯構成	ひとり暮らし（単身世帯）	326	100%	152	46.6%	156	47.9%	18	5.5%
	夫婦のみ	501	100%	360	71.9%	119	23.8%	22	4.4%
	2世代（親と子）	619	100%	454	73.3%	153	24.7%	12	1.9%
	3世代（祖父母と親と子）	192	100%	161	83.9%	24	12.5%	7	3.6%
	その他	66	100%	44	66.7%	19	28.8%	3	4.5%
	無回答	26	100%	13	50.0%	7	26.9%	6	23.1%
居住年数	1年未満	24	100%	8	33.3%	13	54.2%	3	12.5%
	1から5年	83	100%	44	53.0%	38	45.8%	1	1.2%
	6年から10年	57	100%	42	73.7%	15	26.3%	0	0.0%
	11から20年	160	100%	110	68.8%	45	28.1%	5	3.1%
	21年以上	1,364	100%	959	70.3%	356	26.1%	49	3.6%
	無回答	42	100%	21	50.0%	11	26.2%	10	23.8%

地域の役員を引き受けたことがありますか

地域の役員を引き受けたことがあるかについて、属性別に見ると、以下ようになった。

・年齢

年齢別に見ると、「はい（引き受けたことがある）」の回答割合が最も高かったのは、「70代以上」の59.8%となり、最も低かったのは「20代」の15.0%となった。年齢層が上がるごとに引き受けたことがある割合は上昇する傾向となった。

・世帯構成

世帯構成別に見ると、「はい」の回答割合が最も高くなったのは「3世代」の60.9%となり、次いで「夫婦のみ」の60.7%、「3世代」の60.1%となった。最も「はい」の回答割合が低かったのは「一人暮らし」の36.5%となった。

・居住年数

居住年数別に見ると、「はい」の回答割合が最も高かったのは「11年から20年」の58.8%となり、次いで「21年以上」の57.8%となった。居住年数が6年から10年以上で、引き受けたことのある割合は50%を超えている。

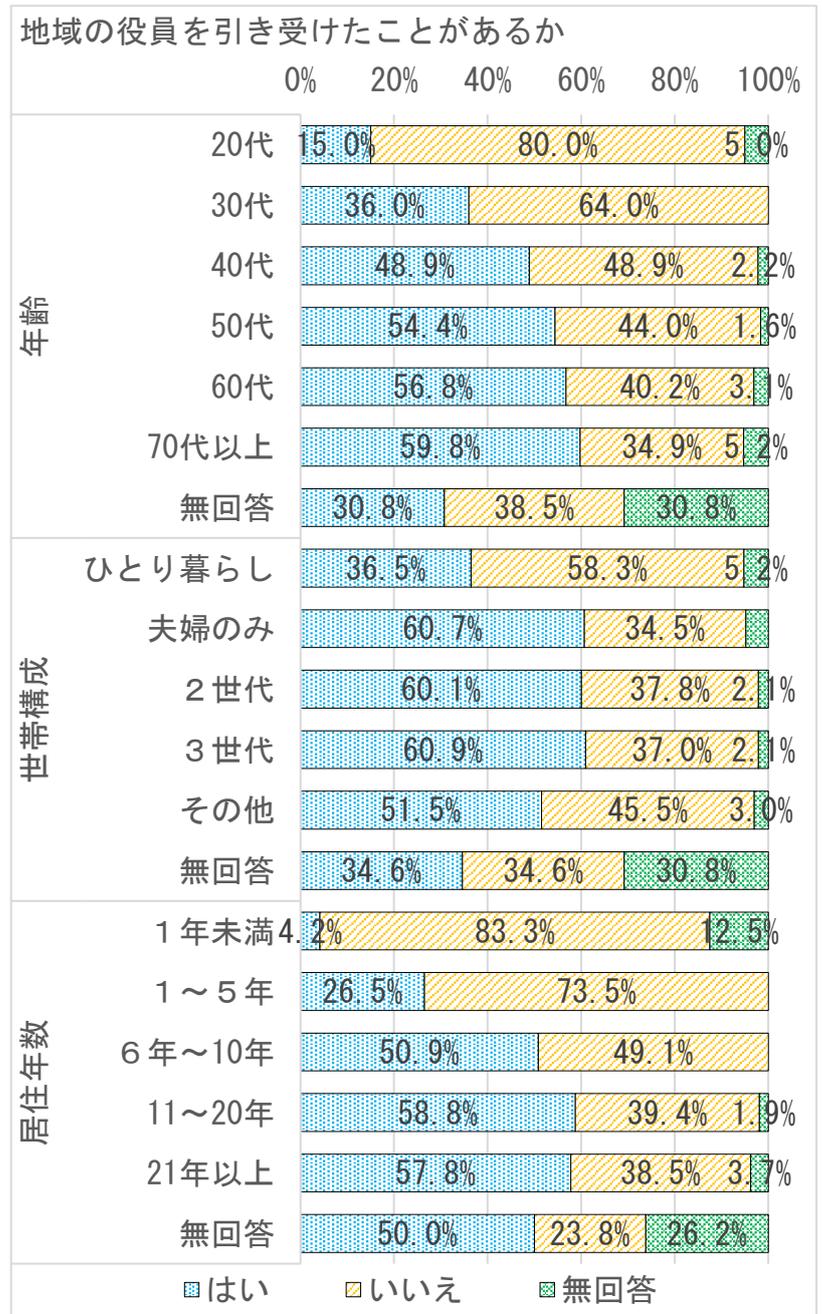


表 地域の役員を引き受けたことがあるか

		総数		はい		いいえ		無回答	
総数		1,730	100%	955	55.2%	707	40.9%	68	3.9%
年齢	20代	20	100%	3	15.0%	16	80.0%	1	5.0%
	30代	75	100%	27	36.0%	48	64.0%	0	0.0%
	40代	137	100%	67	48.9%	67	48.9%	3	2.2%
	50代	250	100%	136	54.4%	110	44.0%	4	1.6%
	60代	555	100%	315	56.8%	223	40.2%	17	3.1%
	70代以上	667	100%	399	59.8%	233	34.9%	35	5.2%
	無回答	26	100%	8	30.8%	10	38.5%	8	30.8%
世帯構成	ひとり暮らし（単身世帯）	326	100%	119	36.5%	190	58.3%	17	5.2%
	夫婦のみ	501	100%	304	60.7%	173	34.5%	24	4.8%
	2世代（親と子）	619	100%	372	60.1%	234	37.8%	13	2.1%
	3世代（祖父母と親と子）	192	100%	117	60.9%	71	37.0%	4	2.1%
	その他	66	100%	34	51.5%	30	45.5%	2	3.0%
	無回答	26	100%	9	34.6%	9	34.6%	8	30.8%
居住年数	1年未満	24	100%	1	4.2%	20	83.3%	3	12.5%
	1から5年	83	100%	22	26.5%	61	73.5%	0	0.0%
	6年から10年	57	100%	29	50.9%	28	49.1%	0	0.0%
	11から20年	160	100%	94	58.8%	63	39.4%	3	1.9%
	21年以上	1,364	100%	788	57.8%	525	38.5%	51	3.7%
	無回答	42	100%	21	50.0%	10	23.8%	11	26.2%

地域でのボランティア活動に参加していますか

地域でのボランティア活動に参加しているかについて、属性別に見ると以下ようになった。

・年齢

年齢別に見ると、「はい（参加している）」の回答割合が最も高かったのは「60代」の35.0%となり、次いで「40代」31.4%となった。最も低かったのは「50代」の20.8%となった。

・世帯構成

世帯構成別に見ると、「はい」の回答割合が最も高かったのは「3世代」の37.0%となり、次いで「2世代」の33.6%となった。最も低かったのは「一人暮らし」の16.9%となり、他の世帯構成と比べ、参加率は半分程度となった。

・居住年数

居住年数別に見ると、「はい」の回答割合が最も高かったのは「21年以上」の30.7%となり、次いで「11から20年」の30.0%となった。最も低かったのは「1年未満」の12.5%となり、居年数が長いほど、参加率が上がる傾向となった。

地域のボランティアに参加しているか

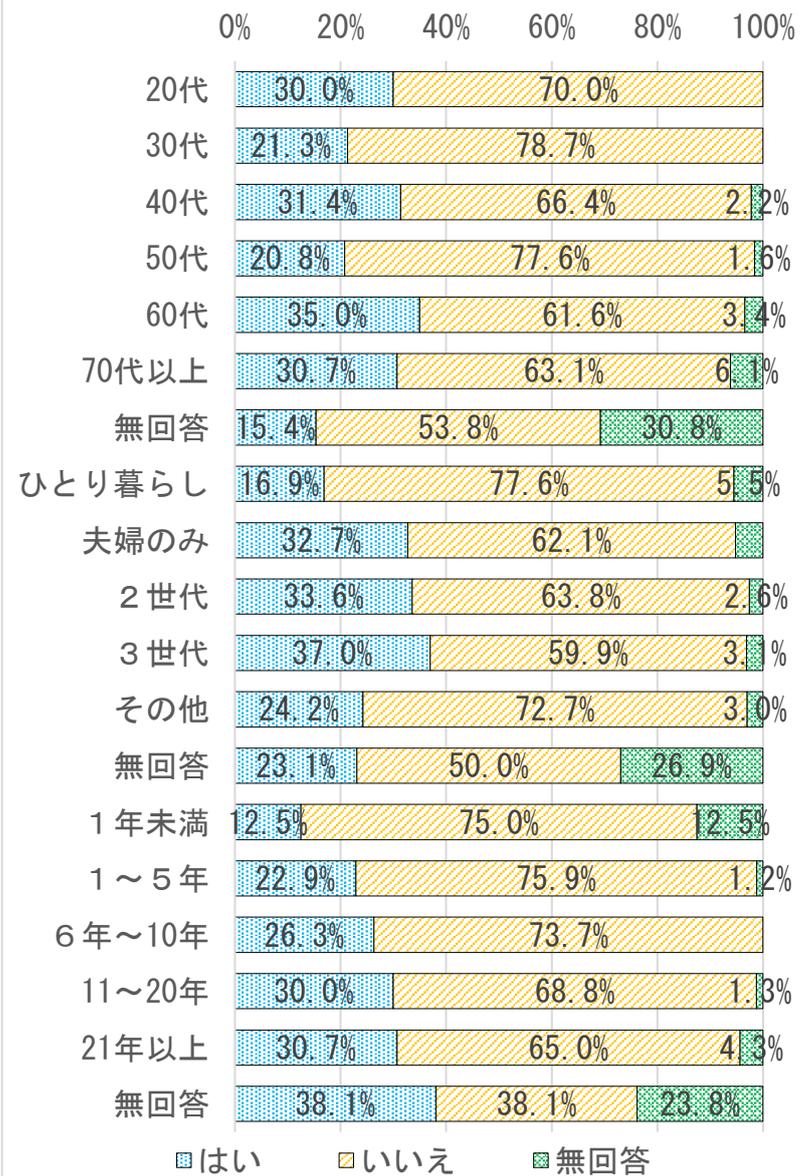


表 地域でのボランティア活動に参加しているか

		総数		はい		いいえ		無回答	
総数		1,730	100%	520	30.1%	1135	65.6%	75	4.3%
年齢	20代	20	100%	6	30.0%	14	70.0%	0	0.0%
	30代	75	100%	16	21.3%	59	78.7%	0	0.0%
	40代	137	100%	43	31.4%	91	66.4%	3	2.2%
	50代	250	100%	52	20.8%	194	77.6%	4	1.6%
	60代	555	100%	194	35.0%	342	61.6%	19	3.4%
	70代以上	667	100%	205	30.7%	421	63.1%	41	6.1%
	無回答	26	100%	4	15.4%	14	53.8%	8	30.8%
世帯構成	ひとり暮らし（単身世帯）	326	100%	55	16.9%	253	77.6%	18	5.5%
	夫婦のみ	501	100%	164	32.7%	311	62.1%	26	5.2%
	2世代（親と子）	619	100%	208	33.6%	395	63.8%	16	2.6%
	3世代（祖父母と親と子）	192	100%	71	37.0%	115	59.9%	6	3.1%
	その他	66	100%	16	24.2%	48	72.7%	2	3.0%
	無回答	26	100%	6	23.1%	13	50.0%	7	26.9%
居住年数	1年未満	24	100%	3	12.5%	18	75.0%	3	12.5%
	1から5年	83	100%	19	22.9%	63	75.9%	1	1.2%
	6年から10年	57	100%	15	26.3%	42	73.7%	0	0.0%
	11から20年	160	100%	48	30.0%	110	68.8%	2	1.3%
	21年以上	1,364	100%	419	30.7%	886	65.0%	59	4.3%
	無回答	42	100%	16	38.1%	16	38.1%	10	23.8%

災害時に地域のみみんなで助け合えると思いますか

災害時に地域のみみんなで助け合えるかについて、属性別に見ると以下のようになった。

・年齢

年齢別に見ると、「はい（震災時に助け合うことができる）」の回答割合が最も高くなったのは「20代」の80.0%となり、次いで「60代」の78.2%となった。すべての年齢層で7割以上が災害時に地域のみみんなで助け合えると答えた。

・世帯構成

世帯構成別に見ると、「はい」の回答割合が最も高くなったのは「3世代」の84.9%となり、次いで「その他」の83.3%となった。最も低かったのは「ひとり暮らし」の67.2%となった。

・居住年数

居住年数別に見ると、「はい」の回答割合が最も高くなったのは「21年以上」の77.6%となり、次いで「6年から10年」の75.4%となった。わずかだが居住年数が長い程、地域のみみんなで助け合えると答える傾向となった。

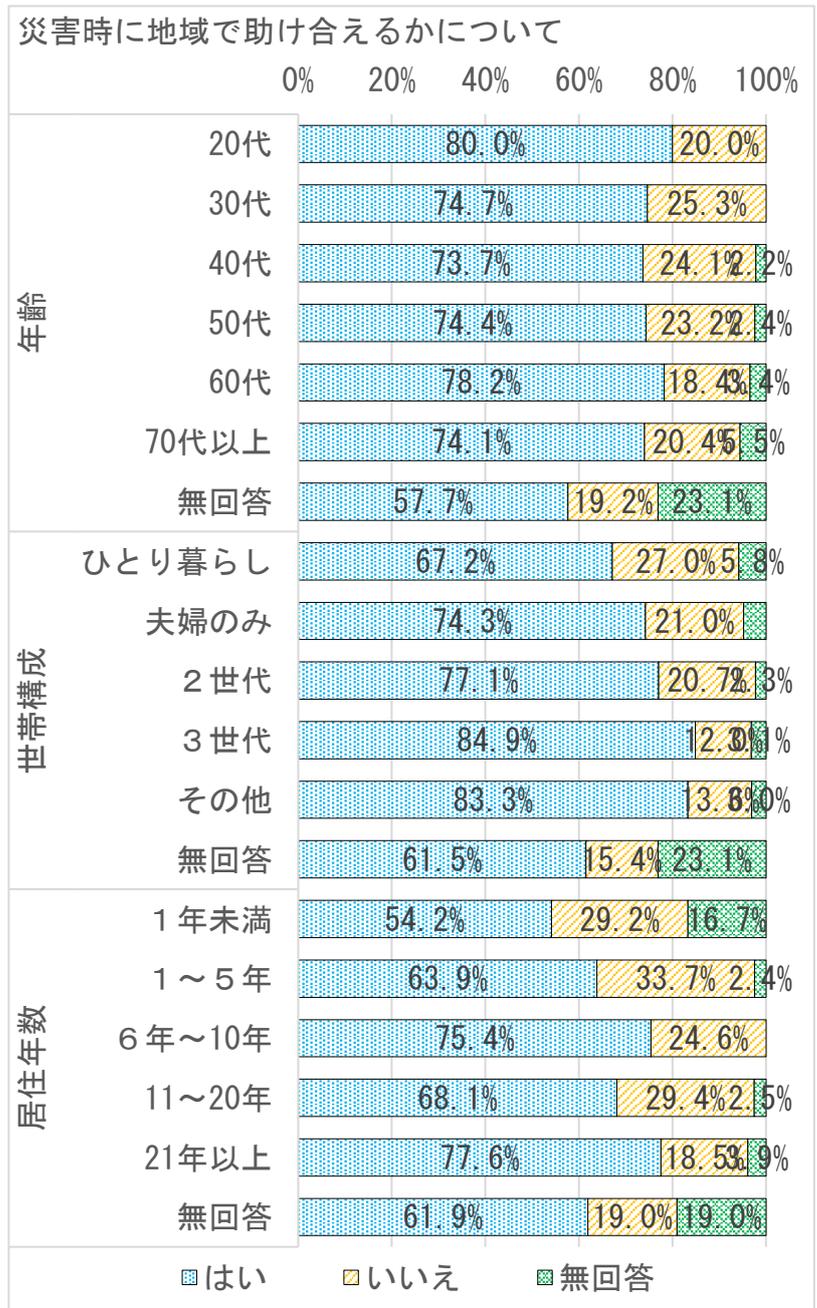


表 災害時に地域のみなと助け合えると思うか

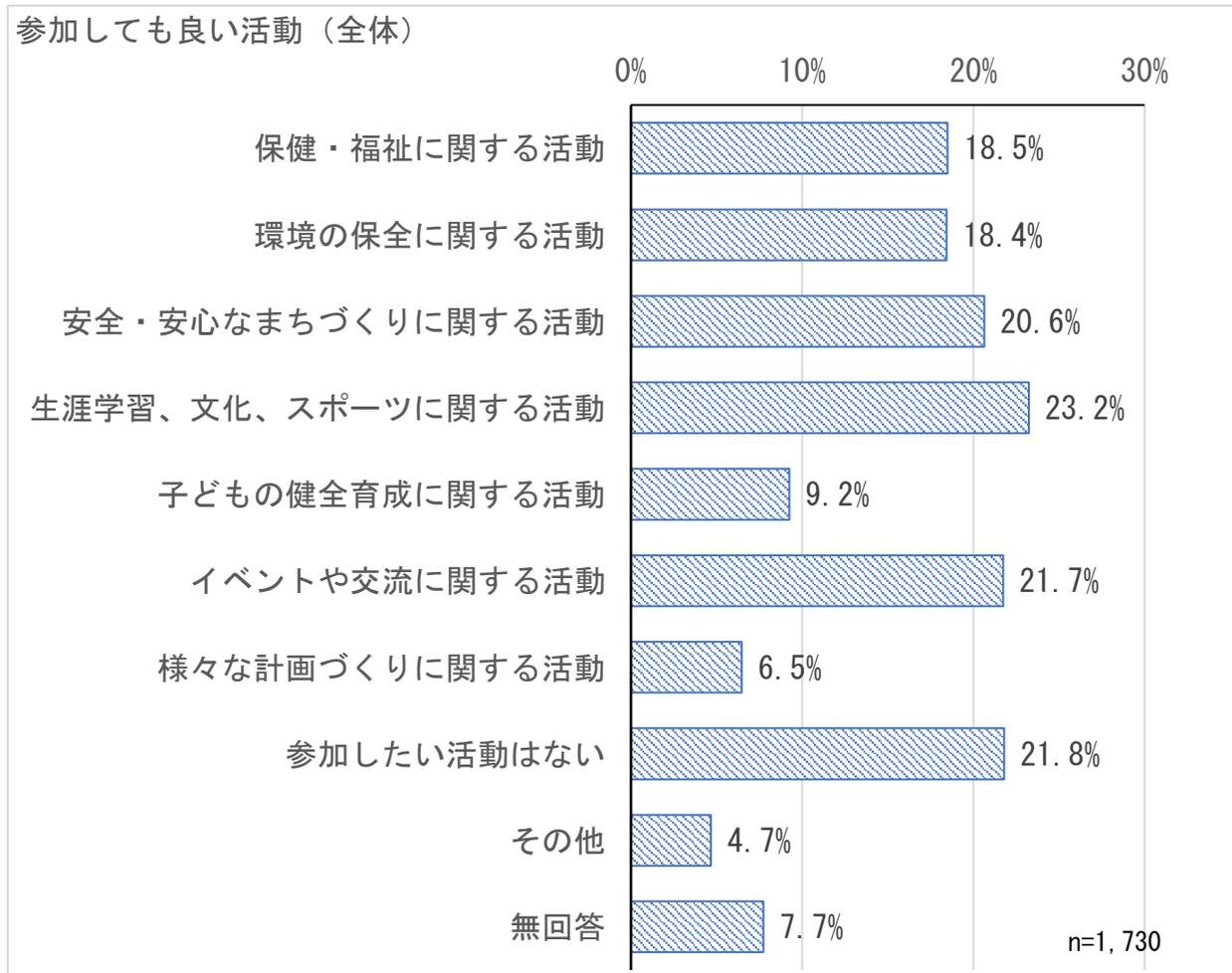
		総数		はい		いいえ		無回答	
総数		1,730	100%	1302	75.3%	357	20.6%	71	4.1%
年齢	20代	20	100%	16	80.0%	4	20.0%	0	0.0%
	30代	75	100%	56	74.7%	19	25.3%	0	0.0%
	40代	137	100%	101	73.7%	33	24.1%	3	2.2%
	50代	250	100%	186	74.4%	58	23.2%	6	2.4%
	60代	555	100%	434	78.2%	102	18.4%	19	3.4%
	70代以上	667	100%	494	74.1%	136	20.4%	37	5.5%
	無回答	26	100%	15	57.7%	5	19.2%	6	23.1%
世帯構成	ひとり暮らし（単身世帯）	326	100%	219	67.2%	88	27.0%	19	5.8%
	夫婦のみ	501	100%	372	74.3%	105	21.0%	24	4.8%
	2世代（親と子）	619	100%	477	77.1%	128	20.7%	14	2.3%
	3世代（祖父母と親と子）	192	100%	163	84.9%	23	12.0%	6	3.1%
	その他	66	100%	55	83.3%	9	13.6%	2	3.0%
	無回答	26	100%	16	61.5%	4	15.4%	6	23.1%
居住年数	1年未満	24	100%	13	54.2%	7	29.2%	4	16.7%
	1から5年	83	100%	53	63.9%	28	33.7%	2	2.4%
	6年から10年	57	100%	43	75.4%	14	24.6%	0	0.0%
	11から20年	160	100%	109	68.1%	47	29.4%	4	2.5%
	21年以上	1,364	100%	1,058	77.6%	253	18.5%	53	3.9%
	無回答	42	100%	26	61.9%	8	19.0%	8	19.0%

問 16 参加してもよいと思う活動（2つまで選択）

参加してもよいと思う活動について、「生涯学習、文化、スポーツに関する活動」が23.2%と最も高く、次いで「参加したい活動はない」の21.8%となった。

「子どもの健全育成に関する活動」「様々な計画づくりに関する活動」は10%未満と低くなった。

年齢別に見ると、20代と30代の若い年代で「子どもの健全育成に関する活動」「イベントや交流に関する活動」が高く、50代から70代以上では「環境の保全に関する活動」の回答割合が比較的高くなった。

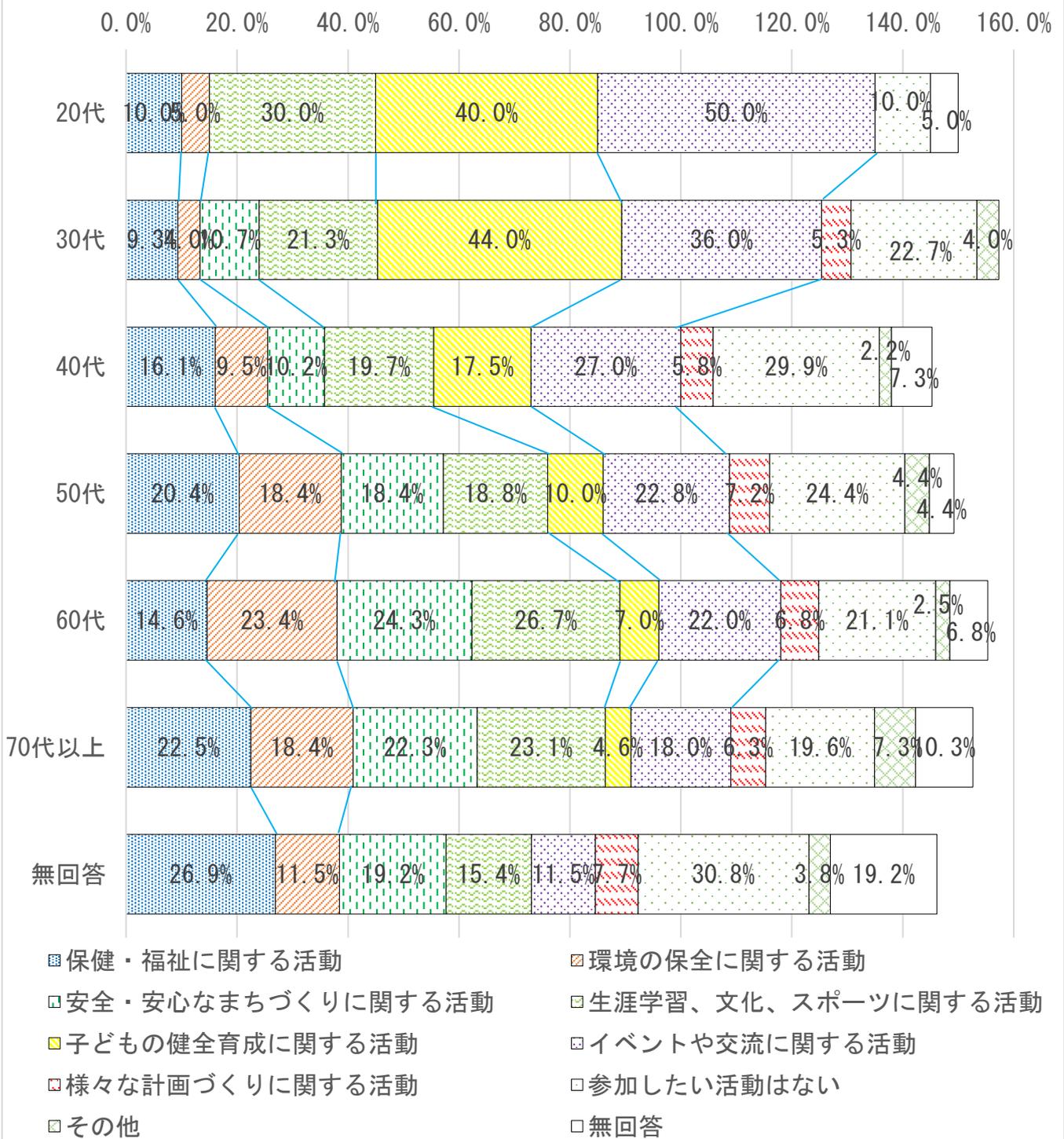


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・声掛けがあれば何でも
- ・高齢などで体が不自由なので参加できない
- ・図書館設立に関する活動
- ・自然の宝を生かす活動
- ・自分にできることであれば少しでも参加したい
- ・動物保護活動、(犬、ねこ)等…いじめをなくす町づくり活動等…
- ・仕事や介護などで忙しく、参加が難しい状況であるため考えられない
- ・非協力者が多く、へたに声を上げるととんでも無い事になる
- ・ボランティア活動
- ・交通指導
- ・海岸に木をうえるなど

参加しても良いと思う活動（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 参加しても良いと思う活動

	総数	保健・福祉に関する活動	環境の保全に関する活動	安全・安心なまちづくりに関する活動	生涯学習、文化、スポーツに関する活動	子どもの健全育成に関する活動	イベントや交流に関する活動	様々な計画づくりに関する活動	参加したい活動はない	その他	無回答
総数	1,730	320	319	357	402	160	376	112	377	81	134
		18.5%	18.4%	20.6%	23.2%	9.2%	21.7%	6.5%	21.8%	4.7%	7.7%
20代	20	2	1	0	6	8	10	0	2	0	1
		10.0%	5.0%	0.0%	30.0%	40.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	5.0%
30代	75	7	3	8	16	33	27	4	17	3	0
		9.3%	4.0%	10.7%	21.3%	44.0%	36.0%	5.3%	22.7%	4.0%	0.0%
40代	137	22	13	14	27	24	37	8	41	3	10
		16.1%	9.5%	10.2%	19.7%	17.5%	27.0%	5.8%	29.9%	2.2%	7.3%
50代	250	51	46	46	47	25	57	18	61	11	11
		20.4%	18.4%	18.4%	18.8%	10.0%	22.8%	7.2%	24.4%	4.4%	4.4%
60代	555	81	130	135	148	39	122	38	117	14	38
		14.6%	23.4%	24.3%	26.7%	7.0%	22.0%	6.8%	21.1%	2.5%	6.8%
70代以上	667	150	123	149	154	31	120	42	131	49	69
		22.5%	18.4%	22.3%	23.1%	4.6%	18.0%	6.3%	19.6%	7.3%	10.3%
無回答	26	7	3	5	4	0	3	2	8	1	5
		26.9%	11.5%	19.2%	15.4%	0.0%	11.5%	7.7%	30.8%	3.8%	19.2%

※複数回答のため合計が100%にならない

(5) 山元町の【今後のまちづくり】について

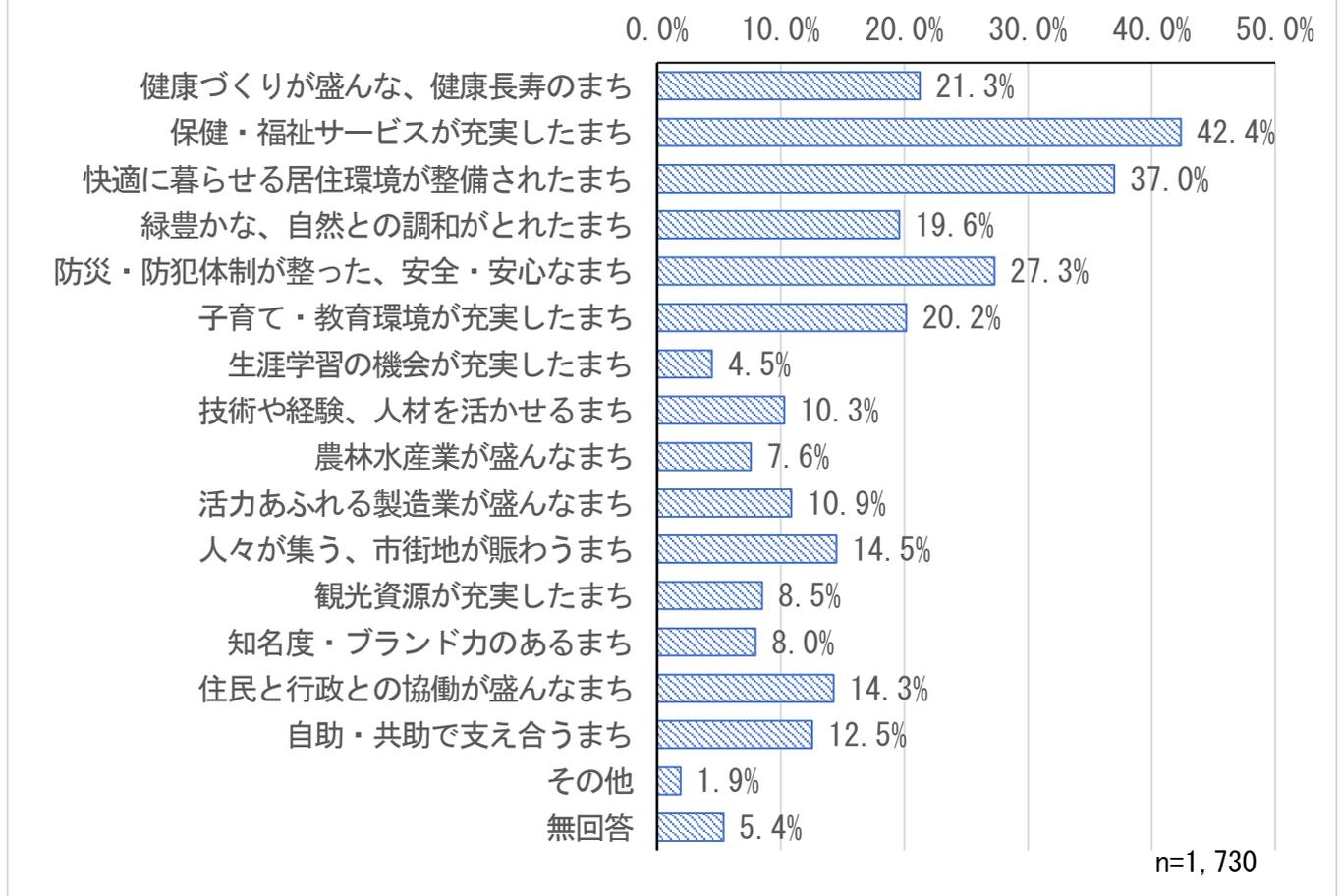
問 17 10年後になっていてほしい山元町の姿（3つまで選択）

10年後の山元町になっていてほしい姿について、「保健・福祉サービスが充実したまち」になっていてほしいという回答が42.4%と最も高く、次いで「快適に暮らせる居住環境が整備されたまち」になってほしいが37.0%となった。

最も低かったのは「生涯学習の機会が充実したまち」の4.5%であった。

年齢別に見ると、20代と30代の若年層で「子育て・教育環境が充実したまち」が高く、60代と70代以上の高齢層では、他の年代と比べ、「保健・福祉サービスが充実したまち」が高くなった。

10年後、どのような町になったらよいと思うか（全体）

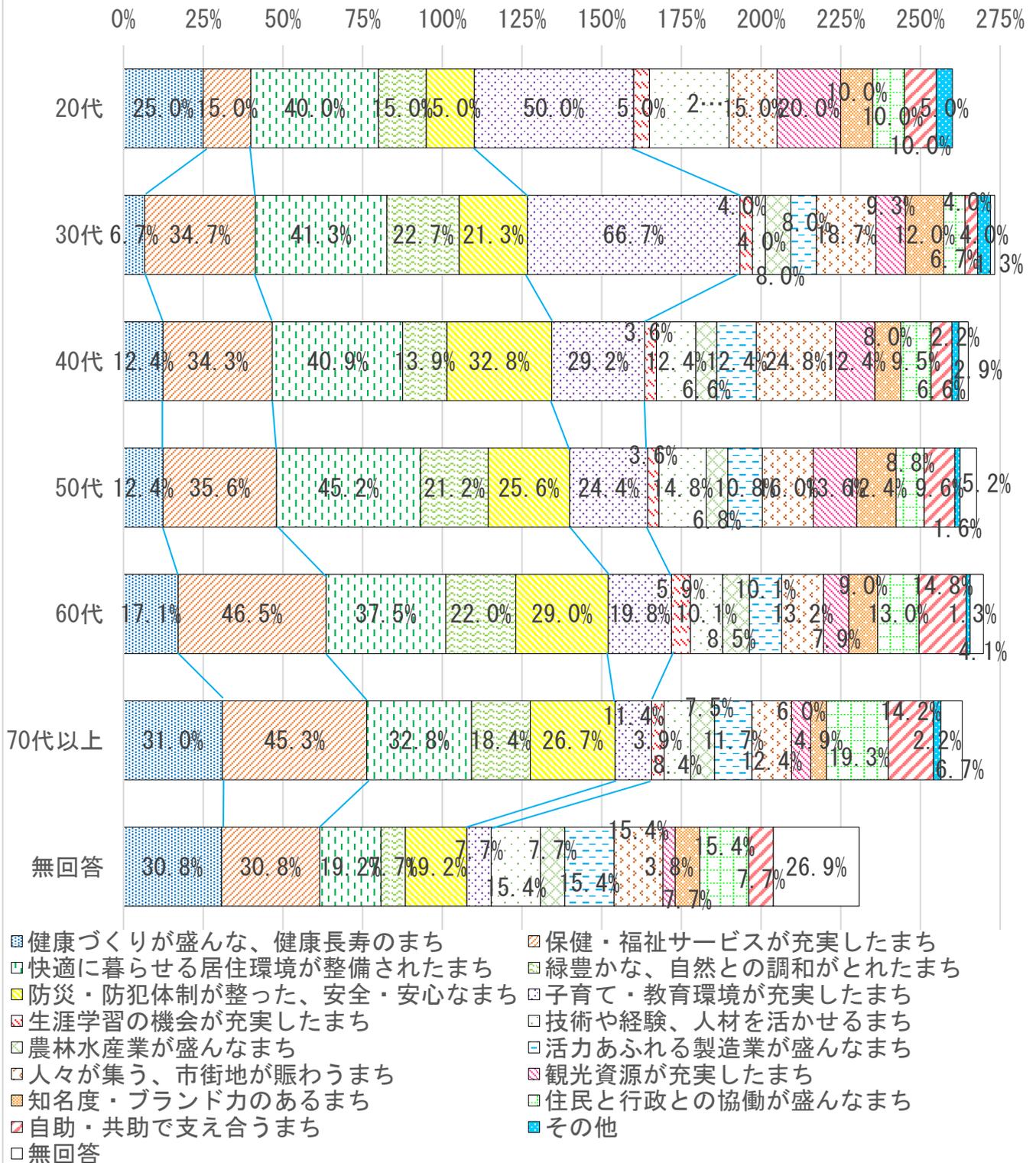


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 産業活性化によって定住促進がされたまち 夜間・休日の診察など医療が整ったまち 10年では変わらないでしょう 土日も役場が開設できる多望な町 山、川、海環境がととのった遊ぶ所のある町 笑顔あふれるまち | <ul style="list-style-type: none"> 生活が便利な町 大学、専門学校の設置 働く場があるまち 交通のべんりな町 町内で就職可能な企業が多い町 若者が多く若者が働ける町 |
|--|---|

10年後、どのような町になったらよいと思うか（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 10年後、どのような町になってほしいか

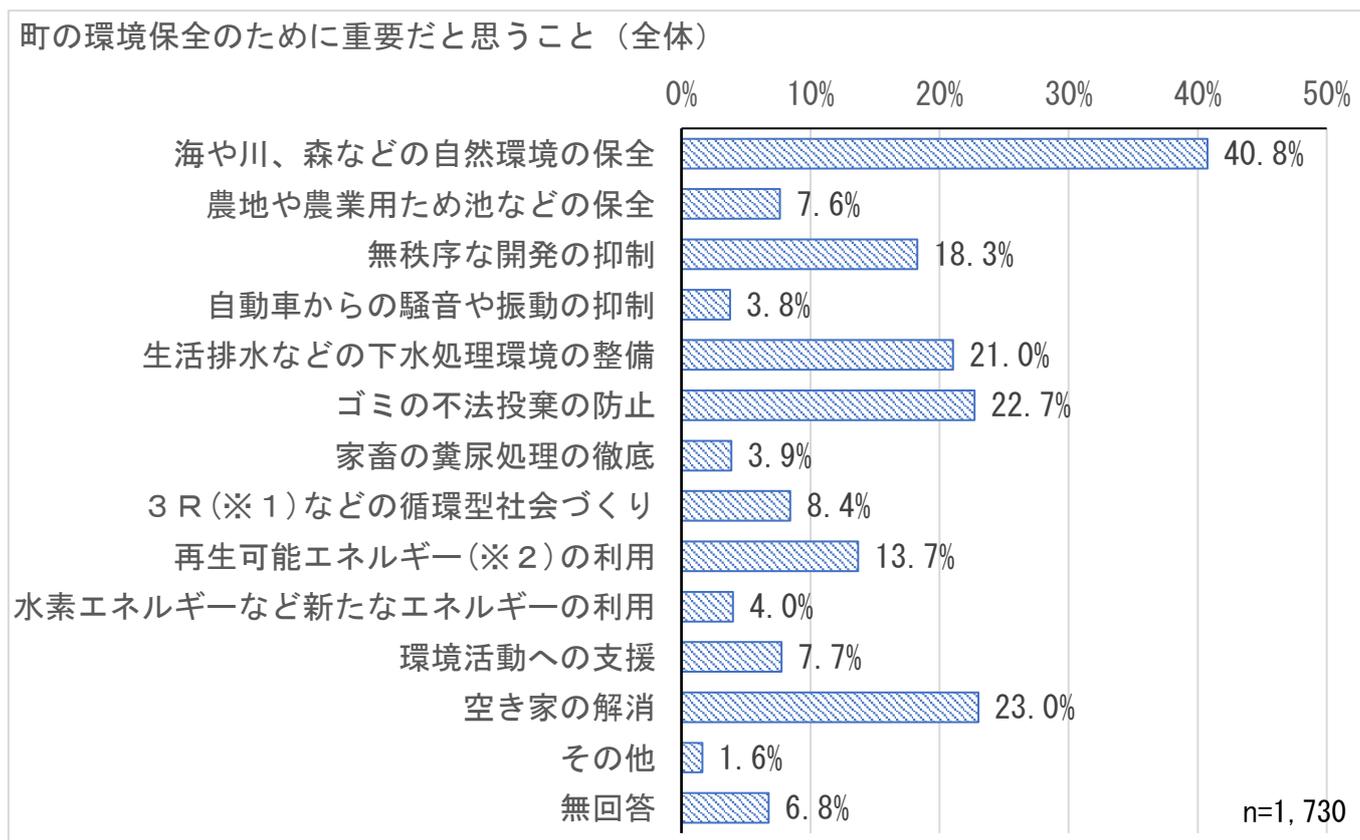
	健康づくりが盛んな、健康長寿のまち	保健・福祉サービスが充実したまち	快適に暮らせる居住環境が整備されたまち	緑豊かな、自然との調和がとれたまち	防災・防犯体制が整った、安全・安心なまち	子育て・教育環境が充実したまち	生涯学習の機会が充実したまち	技術や経験、人材を活かせるまち	農林水産業が盛んなまち	活力あふれる製造業が盛んなまち	人々が集う、市街地が賑わうまち	観光資源が充実したまち	知名度・ブランド力のあるまち	住民と行政との協働が盛んなまち	自助・共助で支え合うまち	その他	無回答
総数	368 21.3%	733 42.4%	640 37.0%	339 19.6%	472 27.3%	349 20.2%	77 4.5%	178 10.3%	131 7.6%	188 10.9%	251 14.5%	147 8.5%	138 8.0%	247 14.3%	217 12.5%	33 1.9%	93 5.4%
20代	5 25.0%	3 15.0%	8 40.0%	3 15.0%	3 15.0%	10 50.0%	1 5.0%	5 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	4 20.0%	2 10.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%
30代	5 6.7%	26 34.7%	31 41.3%	17 22.7%	16 21.3%	50 66.7%	3 4.0%	3 4.0%	6 8.0%	6 8.0%	14 18.7%	7 9.3%	9 12.0%	5 6.7%	3 4.0%	3 4.0%	1 1.3%
40代	17 12.4%	47 34.3%	56 40.9%	19 13.9%	45 32.8%	40 29.2%	5 3.6%	17 12.4%	9 6.6%	17 12.4%	34 24.8%	17 12.4%	11 8.0%	13 9.5%	9 6.6%	3 2.2%	4 2.9%
50代	31 12.4%	89 35.6%	113 45.2%	53 21.2%	64 25.6%	61 24.4%	9 3.6%	37 14.8%	17 6.8%	27 10.8%	40 16.0%	34 13.6%	31 12.4%	22 8.8%	24 9.6%	4 1.6%	13 5.2%
60代	95 17.1%	258 46.5%	208 37.5%	122 22.0%	161 29.0%	110 19.8%	33 5.9%	56 10.1%	47 8.5%	56 10.1%	73 13.2%	44 7.9%	50 9.0%	72 13.0%	82 14.8%	7 1.3%	23 4.1%
70代以上	207 31.0%	302 45.3%	219 32.8%	123 18.4%	178 26.7%	76 11.4%	26 3.9%	56 8.4%	50 7.5%	78 11.7%	83 12.4%	40 6.0%	33 4.9%	129 19.3%	95 14.2%	15 2.2%	45 6.7%
無回答	8 30.8%	8 30.8%	5 19.2%	2 7.7%	5 19.2%	2 7.7%	0 0.0%	4 15.4%	2 7.7%	4 15.4%	4 15.4%	1 3.8%	2 7.7%	4 15.4%	2 7.7%	0 0.0%	7 26.9%

※複数回答のため合計が100%にならない

問 18 町の環境保全のために重要だと思うこと（2つまで選択）

町の環境保全に重要だと思うことについて、「海や川、森などの自然環境の保全」が40.8%と最も高く、次いで「空き家の解消」の23.0%となった。「自動車からの騒音や振動の抑制」「家畜の糞尿処理の徹底」「水素エネルギーなど新たなエネルギーの活用」は、いずれも5%未満と低くなった。

年齢別に見ると、すべての年代で「海や川、森などの自然環境の保全」の回答割合が高くなった。20代で「自動車からの騒音や振動の抑制」「家畜の糞尿処理の徹底」「空き家の解消」が、それ以外の年代と比べて高くなり、逆に20代以外の年代では「ゴミの不法投棄の防止」の回答が多くなった。



※複数回答のため合計100%にならない

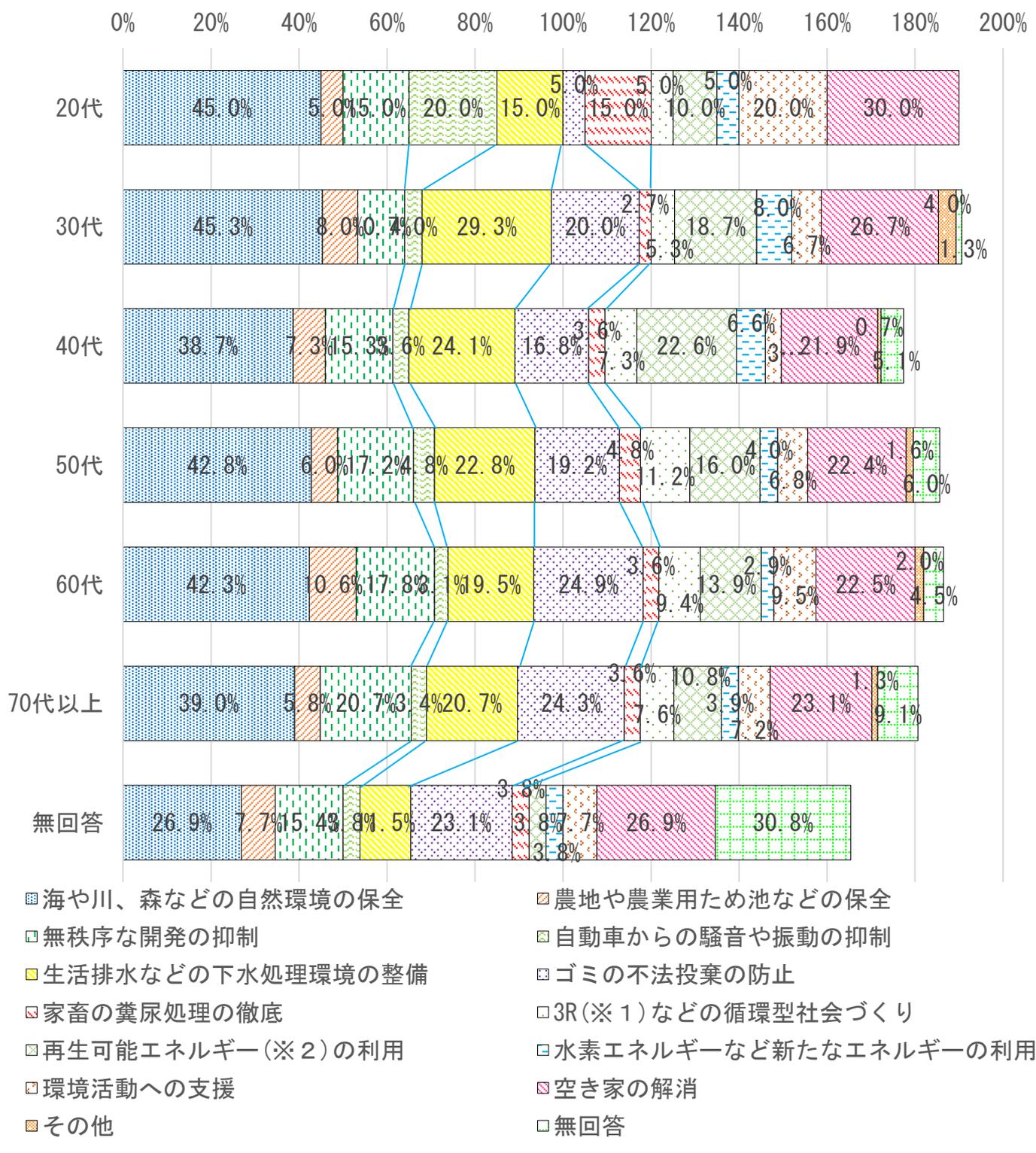
※1 3R：リデュース（ゴミの削減）、リユース（再使用）、リサイクル（再利用）

※2 再生可能エネルギー：太陽光や水力、風力など

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・環境保全についての住民意識の向上（啓発活動）
- ・公営住宅のかべがうすい。まわりの人の大きな声の騒音。
- ・空き地の草刈り、道路に張り出している樹木等の伐採
- ・のら猫の駆除

町の環境保全のために重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 環境保全のために重要だと思うこと（年齢別）

	総数	海や川、森などの 自然環境の保全	農地や農業用 ため池などの保全	無秩序な開発の抑制	自動車からの騒音や 振動の抑制	生活排水などの下水処理 環境の整備	ゴミの不法投棄の防止	家畜の糞尿処理の徹底	3Rなどの循環型社会 づくり	再生可能エネルギー（※2） の利用	水素エネルギーなど 新たなエネルギーの利用	環境活動への支援	空き家の解消	その他	無回答
総数	1,730	705	132	316	65	364	393	67	146	237	69	134	398	28	117
		40.8%	7.6%	18.3%	3.8%	21.0%	22.7%	3.9%	8.4%	13.7%	4.0%	7.7%	23.0%	1.6%	6.8%
20代	20	9	1	3	4	3	1	3	1	2	1	4	6	0	0
		45.0%	5.0%	15.0%	20.0%	15.0%	5.0%	15.0%	5.0%	10.0%	5.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%
30代	75	34	6	8	3	22	15	2	4	14	6	5	20	3	1
		45.3%	8.0%	10.7%	4.0%	29.3%	20.0%	2.7%	5.3%	18.7%	8.0%	6.7%	26.7%	4.0%	1.3%
40代	137	53	10	21	5	33	23	5	10	31	9	5	30	1	7
		38.7%	7.3%	15.3%	3.6%	24.1%	16.8%	3.6%	7.3%	22.6%	6.6%	3.6%	21.9%	0.7%	5.1%
50代	250	107	15	43	12	57	48	12	28	40	10	17	56	4	15
		42.8%	6.0%	17.2%	4.8%	22.8%	19.2%	4.8%	11.2%	16.0%	4.0%	6.8%	22.4%	1.6%	6.0%
60代	555	235	59	99	17	108	138	20	52	77	16	53	125	11	25
		42.3%	10.6%	17.8%	3.1%	19.5%	24.9%	3.6%	9.4%	13.9%	2.9%	9.5%	22.5%	2.0%	4.5%
70代 以上	667	260	39	138	23	138	162	24	51	72	26	48	154	9	61
		39.0%	5.8%	20.7%	3.4%	20.7%	24.3%	3.6%	7.6%	10.8%	3.9%	7.2%	23.1%	1.3%	9.1%
無回 答	26	7	2	4	1	3	6	1	0	1	1	2	7	0	8
		26.9%	7.7%	15.4%	3.8%	11.5%	23.1%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%	7.7%	26.9%	0.0%	30.8%

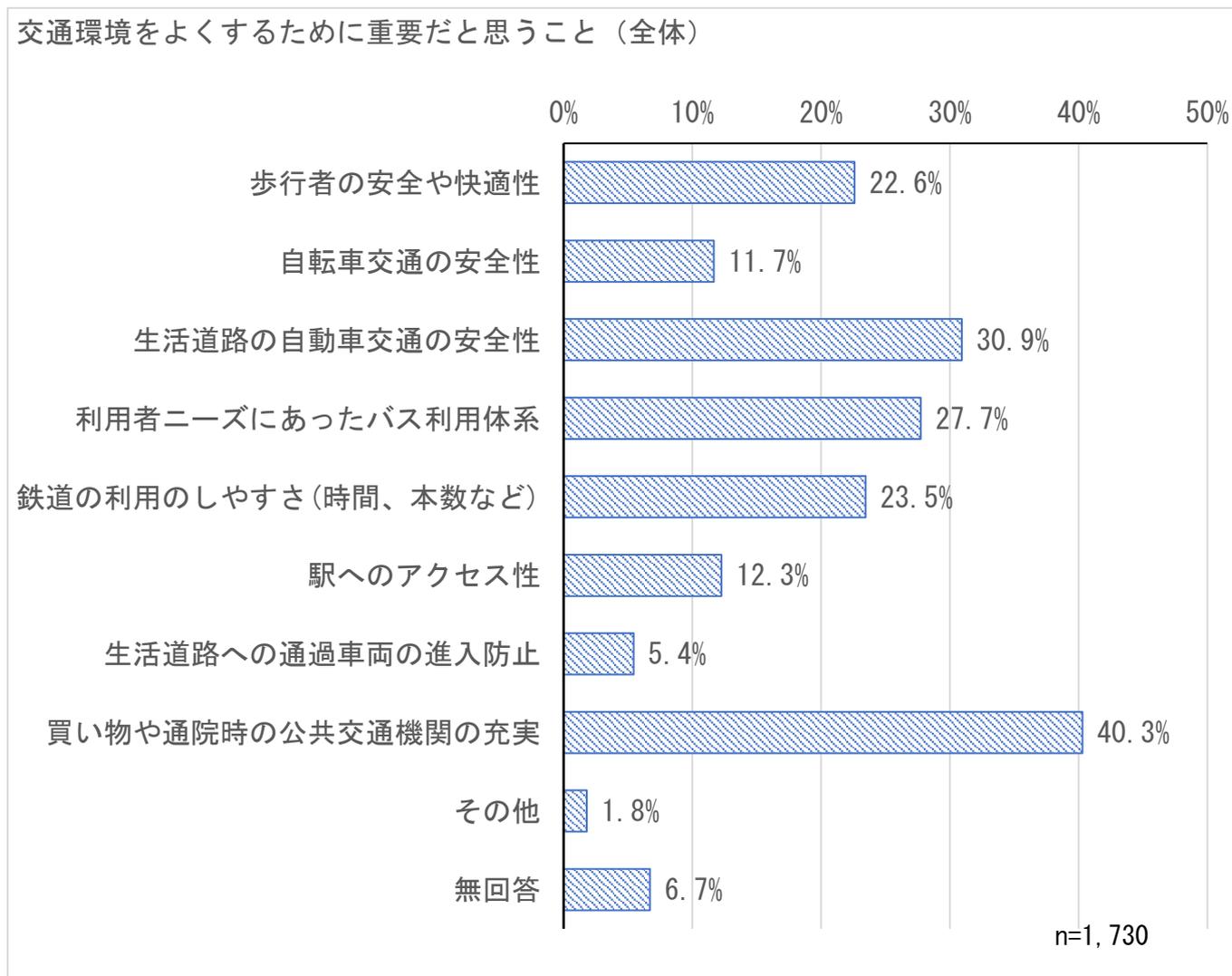
※複数回答のため合計が100%にならない

問 19 交通環境をよくするために重要だと思うこと（2つまで選択）

山元町の交通環境をよくするために重要だと思うことについて、「買い物や通院時の公共交通機関の充実」が40.3%と最も高く、次いで「生活道路の自動車交通の安全性」が30.9%となった。

最も低かったのは「生活道路への通過車両の侵入防止」の5.4%であった。

年齢別に見ると、若い年代で「生活道路の自動車交通の安全性」や「鉄道の利用のしやすさ（時間・本数など）」が高く、高齢の世代では「買い物や通院時の公共交通機関の充実」の回答割合が高くなった。

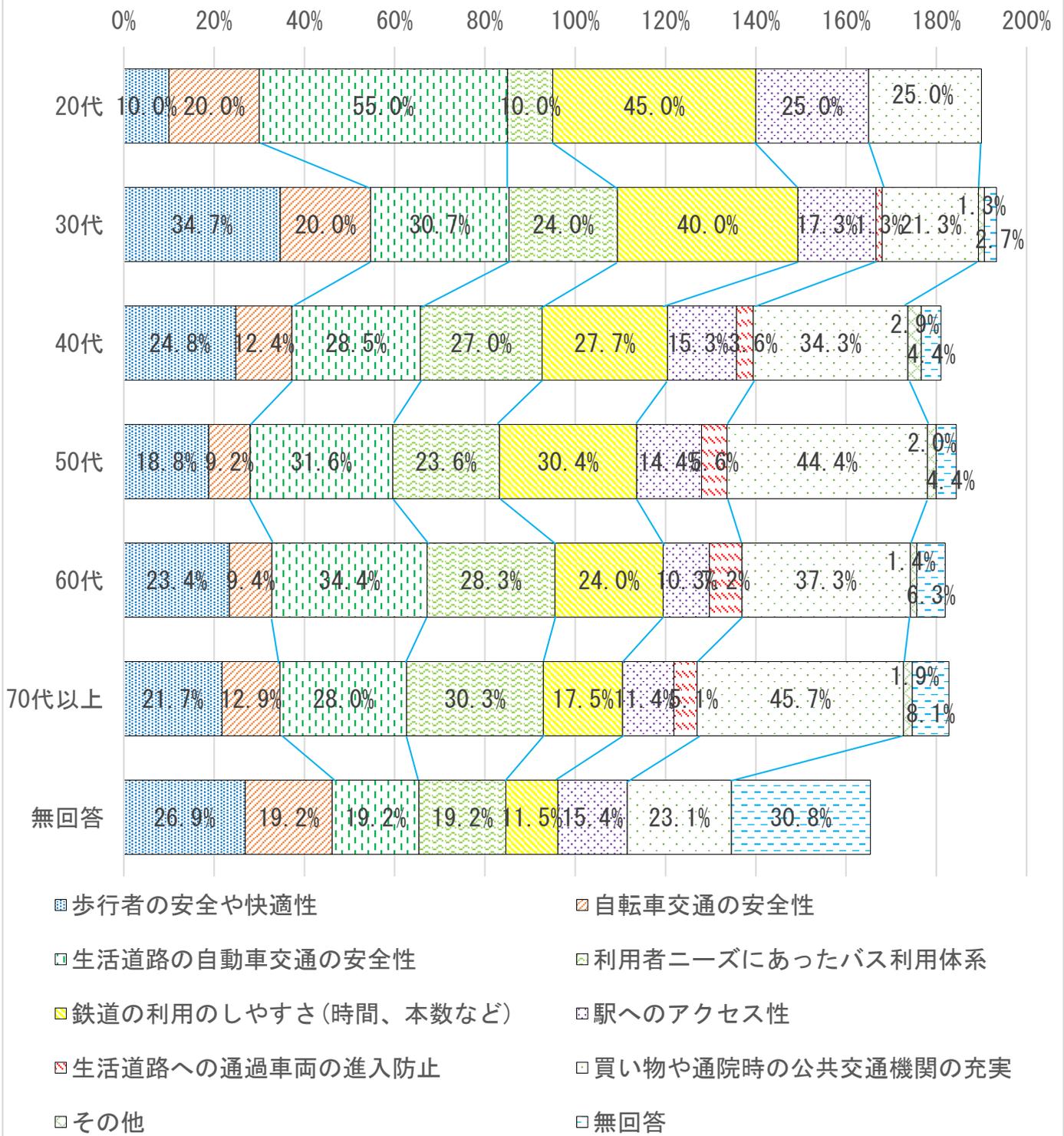


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・ JRに急行を
- ・ 交通マナーの向上や交通ルールの確定
- ・ JR終電までタクシーがあればいい
- ・ 高齢ドライバーの危険運転の指導など
- ・ タクシー利用料金の補助
- ・ 駅の駐車場の出張とか仙台方面に行く人の車の無料化
- ・ 消防車等が入れない道路を無くす事
- ・ 街路灯の充実、防犯灯等の整備
- ・ 草刈りや舗装など道路環境の整備
- ・ 自動運転を中心とした技術革新と受け入れ側（道路やルール e t c）の調和
- ・ 車社会の認識と信号の増設をやめる。歩行者優先は都市部のみ。

交通環境をよくするために重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 交通環境をよくするために重要だと思うこと

	総数	歩行者の安全や 快適性	自転車交通の安全性	生活道路の自動車交通 の安全性	利用者ニーズに あったバス利用体系	鉄道の利用のしやすさ (時間、本数など)	駅への アクセス性	生活道路への通過車両 の進入防止	買い物や通院時の 公共交通機関の充実	その他	無回答
総数	1,730	391	202	535	480	406	212	94	697	31	116
		22.6%	11.7%	30.9%	27.7%	23.5%	12.3%	5.4%	40.3%	1.8%	6.7%
20代	20	2	4	11	2	9	5	0	5	0	0
		10.0%	20.0%	55.0%	10.0%	45.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
30代	75	26	15	23	18	30	13	1	16	1	2
		34.7%	20.0%	30.7%	24.0%	40.0%	17.3%	1.3%	21.3%	1.3%	2.7%
40代	137	34	17	39	37	38	21	5	47	4	6
		24.8%	12.4%	28.5%	27.0%	27.7%	15.3%	3.6%	34.3%	2.9%	4.4%
50代	250	47	23	79	59	76	36	14	111	5	11
		18.8%	9.2%	31.6%	23.6%	30.4%	14.4%	5.6%	44.4%	2.0%	4.4%
60代	555	130	52	191	157	133	57	40	207	8	35
		23.4%	9.4%	34.4%	28.3%	24.0%	10.3%	7.2%	37.3%	1.4%	6.3%
70代以上	667	145	86	187	202	117	76	34	305	13	54
		21.7%	12.9%	28.0%	30.3%	17.5%	11.4%	5.1%	45.7%	1.9%	8.1%
無回答	26	7	5	5	5	3	4	0	6	0	8
		26.9%	19.2%	19.2%	19.2%	11.5%	15.4%	0.0%	23.1%	0.0%	30.8%

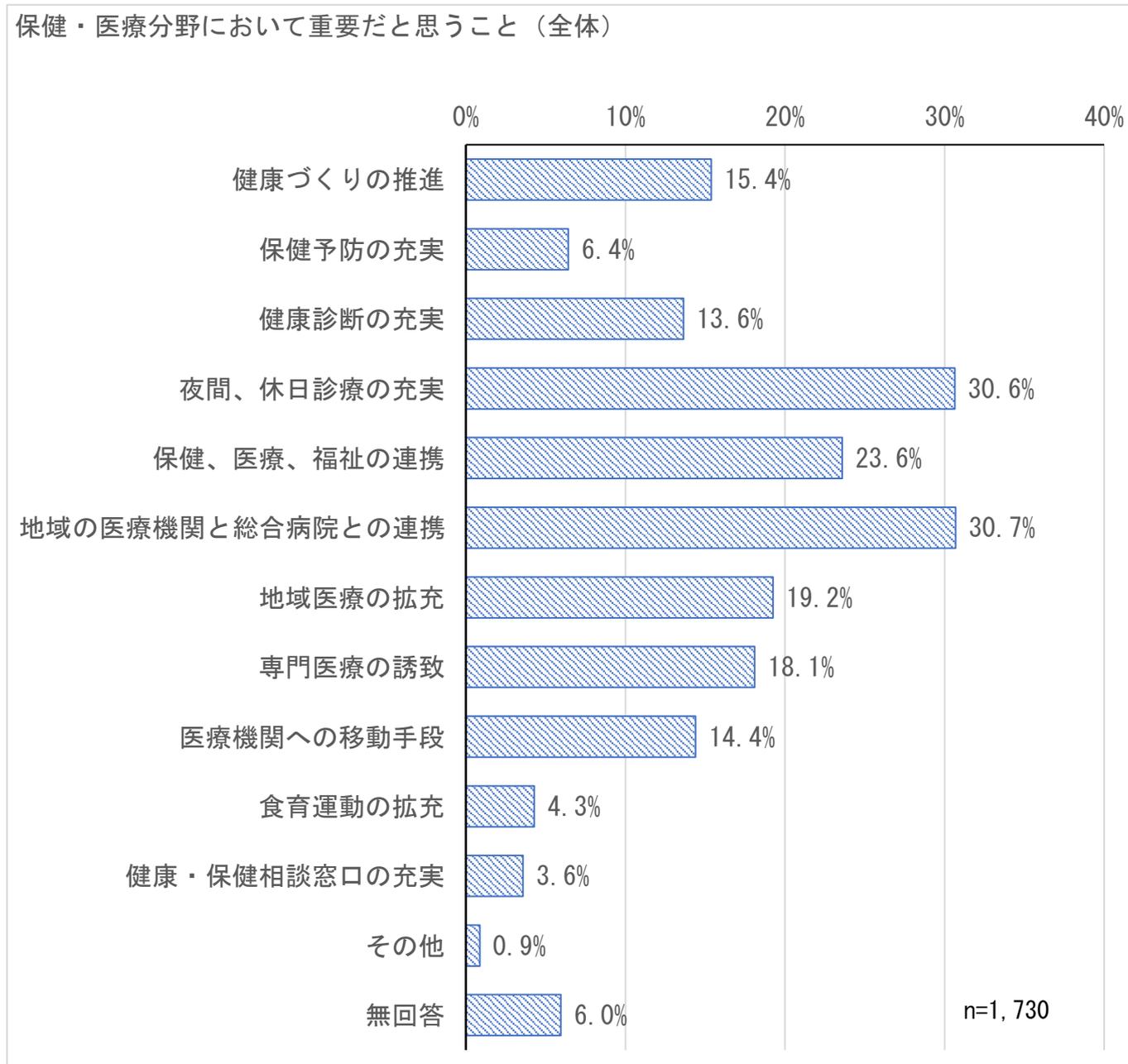
※複数回答のため合計が100%にならない

問 20 保健・医療分野において重要だと思うこと（2つまで選択）

山元町の保健・医療分野において重要だと思うことについて、「地域の医療機関と総合病院との連携」が30.7%と最も高く、次いで「夜間、休日診療の充実」が30.6%となった。

「保健予防の充実」「食育運動の充実」「健康・保健相談窓口の充実」は10%未満と低かった。

年齢別に見ると、若い世代で「地域医療の拡充」の選択率が他の世代と比べて高くなり、高齢の世代では「地域の医療機関と総合病院との連携」の回答割合が高くなった。また、「夜間、休日診療の充実」が30代で重要とされる傾向がみられた。

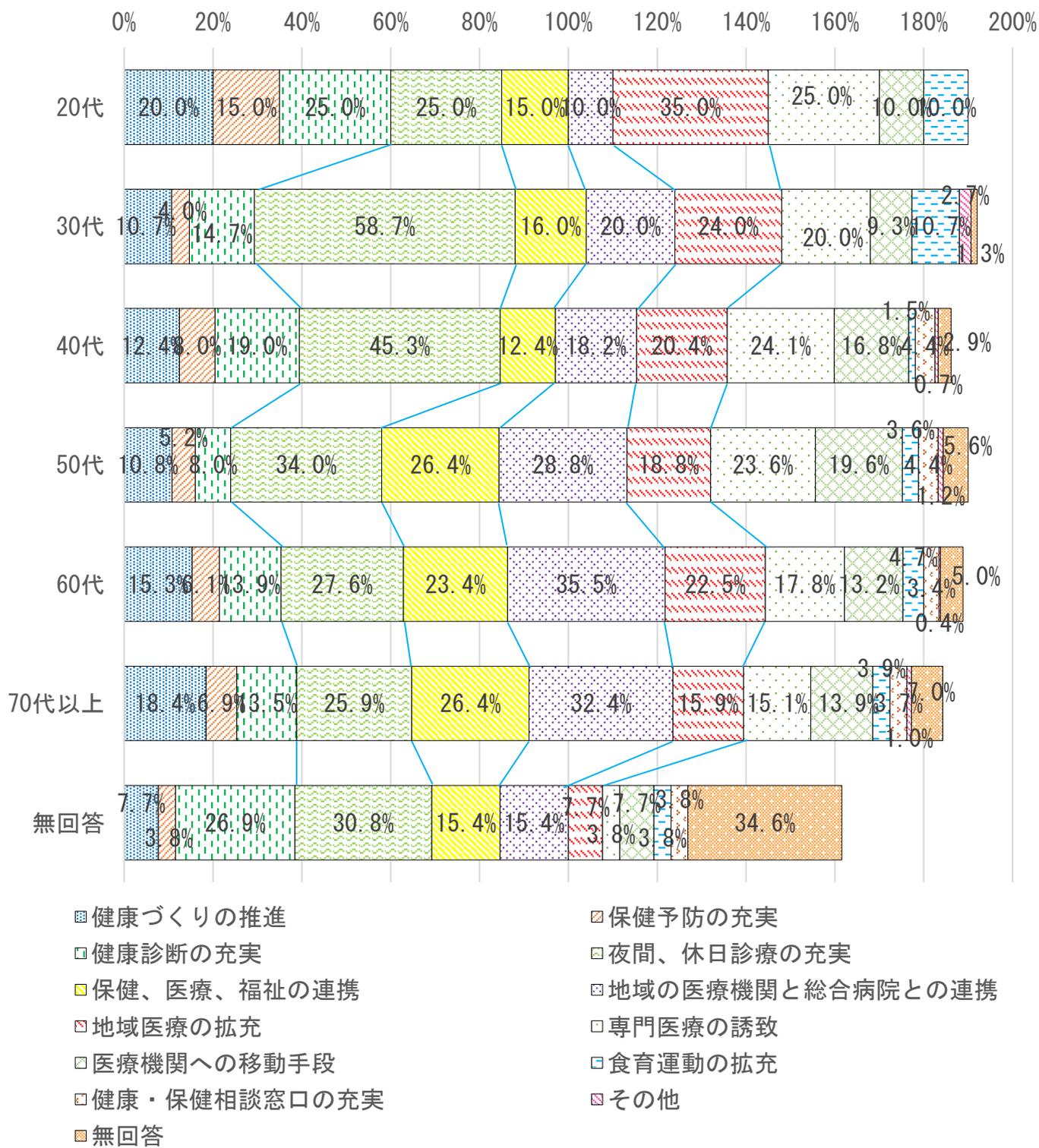


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・小児医療や病児保育の充実
- ・支援による宮城病院のレベルUPや総合病院の拡充
- ・内科、外科、眼科といったニーズが多い医院を一ヶ所に集めたら便利。
- ・今後在宅医療が必要となってくるため、地域での介護補助支援を除々に充実させていく

保健・医療分野について重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 保健・医療分野において重要だと思うこと

	総数	健康づくりの推進	保健予防の充実	健康診断の充実	夜間、休日診療の充実	保健、医療、福祉の連携	地域の医療機関と総合病院との連携	地域医療の拡充	専門医療の誘致	医療機関への移動手段	食育運動の拡充	健康・保健相談窓口の充実	その他	無回答
総数	1,730	266	111	236	530	408	531	333	313	249	74	62	15	103
		15.4%	6.4%	13.6%	30.6%	23.6%	30.7%	19.2%	18.1%	14.4%	4.3%	3.6%	0.9%	6.0%
20代	20	4	3	5	5	3	2	7	5	2	2	0	0	0
		20.0%	15.0%	25.0%	25.0%	15.0%	10.0%	35.0%	25.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代	75	8	3	11	44	12	15	18	15	7	8	0	2	1
		10.7%	4.0%	14.7%	58.7%	16.0%	20.0%	24.0%	20.0%	9.3%	10.7%	0.0%	2.7%	1.3%
40代	137	17	11	26	62	17	25	28	33	23	2	6	1	4
		12.4%	8.0%	19.0%	45.3%	12.4%	18.2%	20.4%	24.1%	16.8%	1.5%	4.4%	0.7%	2.9%
50代	250	27	13	20	85	66	72	47	59	49	9	11	3	14
		10.8%	5.2%	8.0%	34.0%	26.4%	28.8%	18.8%	23.6%	19.6%	3.6%	4.4%	1.2%	5.6%
60代	555	85	34	77	153	130	197	125	99	73	26	19	2	28
		15.3%	6.1%	13.9%	27.6%	23.4%	35.5%	22.5%	17.8%	13.2%	4.7%	3.4%	0.4%	5.0%
70代以上	667	123	46	90	173	176	216	106	101	93	26	25	7	47
		18.4%	6.9%	13.5%	25.9%	26.4%	32.4%	15.9%	15.1%	13.9%	3.9%	3.7%	1.0%	7.0%
無回答	26	2	1	7	8	4	4	2	1	2	1	1	0	9
		7.7%	3.8%	26.9%	30.8%	15.4%	15.4%	7.7%	3.8%	7.7%	3.8%	3.8%	0.0%	34.6%

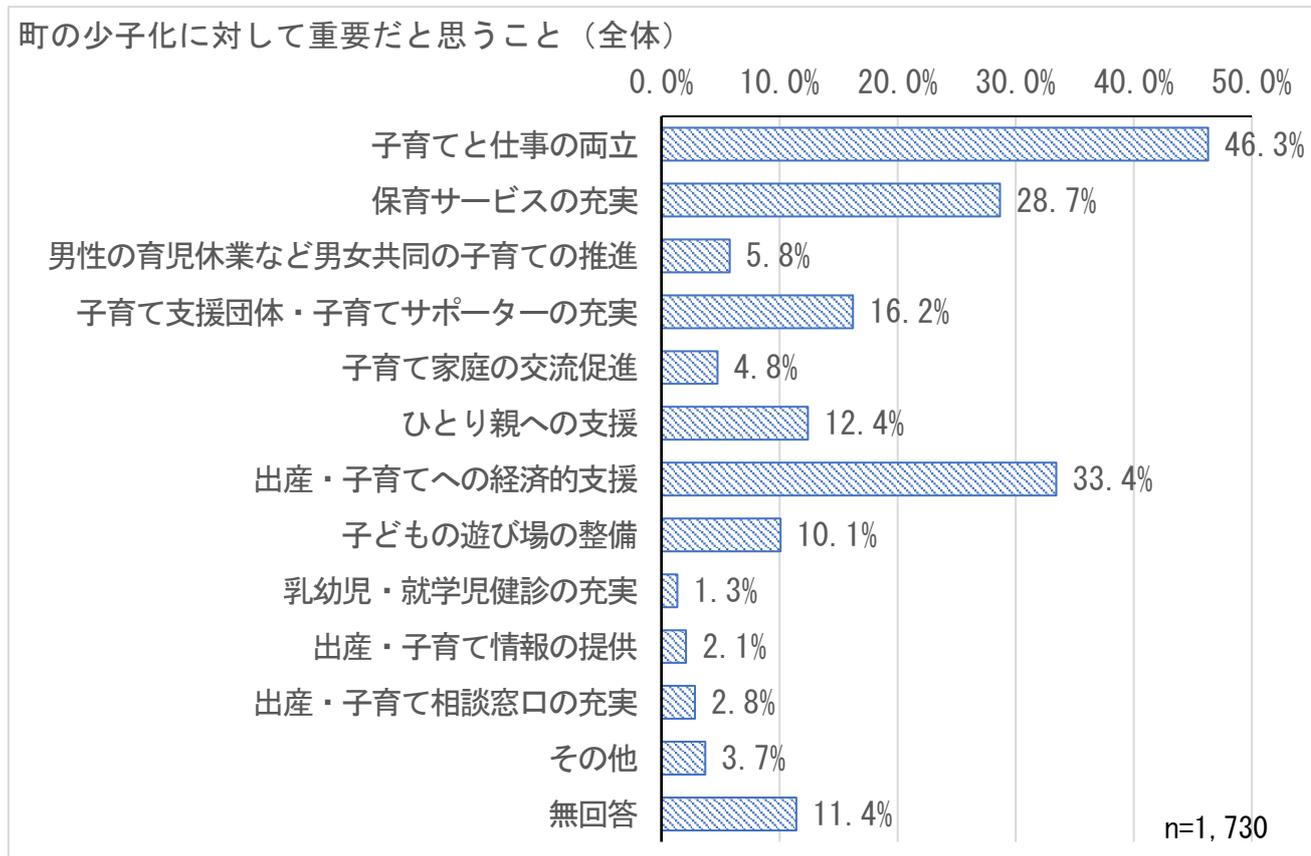
※複数回答のため合計が100%にならない

問 21 少子化に対し重要だと思うこと（2つまで選択）

少子化に対し重要だと思うことについて、「子育てと仕事の両立」が46.3%と最も高く、次いで「出産・子育てへの経済的支援」が33.4%となった。

「乳幼児・就学児健診の充実」「出産・子育て情報の充実」「出産・子育て相談窓口の充実」は3%未満と低くなった。

年齢別に見ると、「子育てと仕事の両立」がすべての年代で重要とされた。30代では「出産・子育てへの経済的支援」が特に高くなり、他の世代で回答割合が高くなった「保育サービスの充実」や「子育て支援団体・子育てサポーターの充実」の回答割合は低かった。

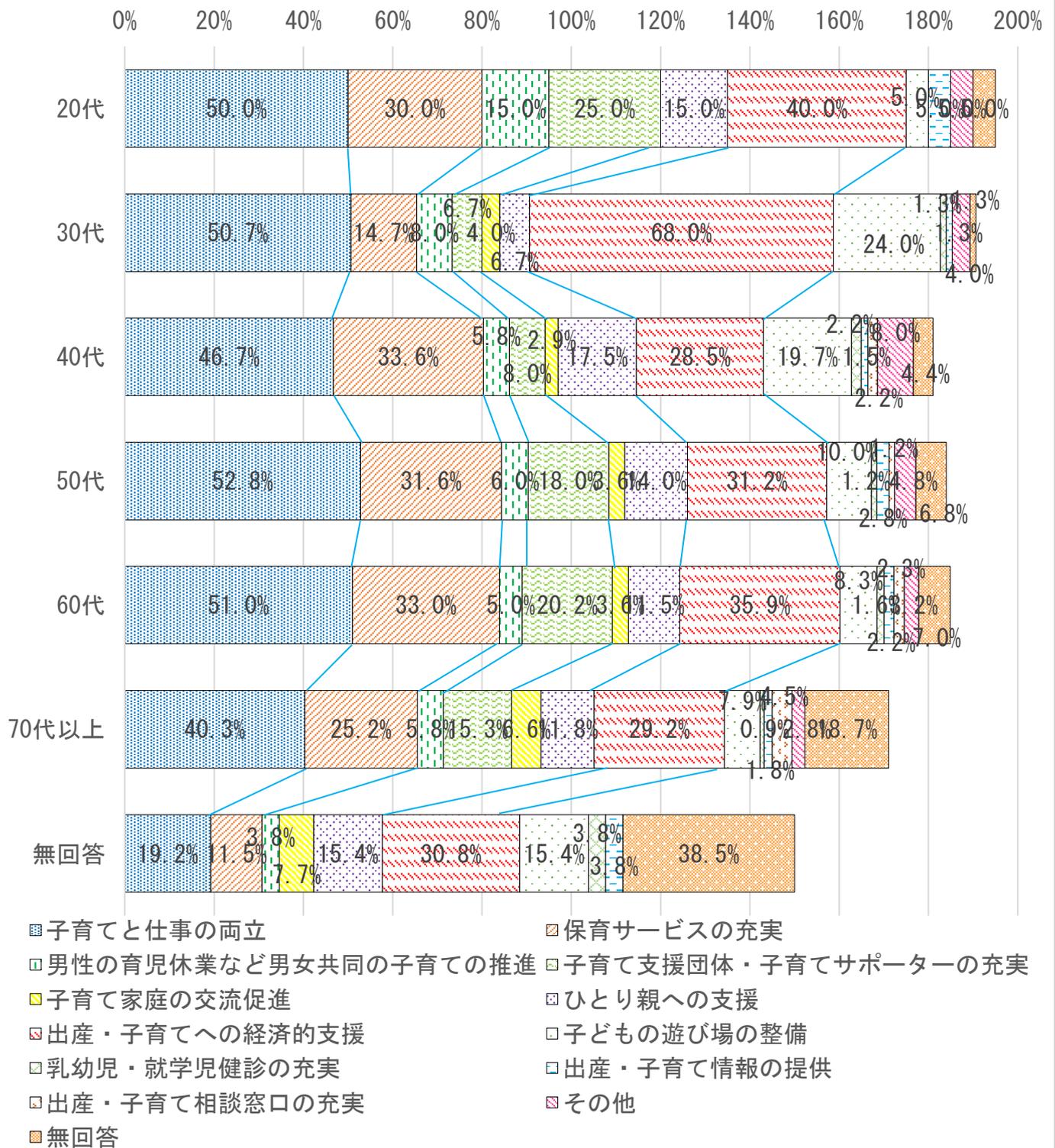


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・教育レベルの向上
- ・婚活パーティー等での結婚の推進
- ・小学校、中学校の再編
- ・高校生でも医療費無償化
- ・設問の項目を全部やらなければならない
- ・病児保育の充実
- ・町外から転入するようなブランド化を図る
- ・若い人達が住みやすいと思えるような町づくり
- ・産婦人科の充実・教育と図書館などの文化的環境の整備。
- ・企業の誘致。大人が働く場所がなければ子どもはふえない。

町の少子化に対して重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 まちの少子化に対して重要だと思うこと

	総数	子育てと仕事の両立	保育サービスの充実	男性の育児休業など 男女共同の子育ての推進	子育て支援団体・子育て サポーターの充実	子育て家庭の交流促進	ひとり親への支援	出産・子育てへの 経済的支援	子どもの遊び場の整備	乳幼児・就学児健診の充実	出産・子育て情報の提供	出産・子育て 相談窓口の充実	その他	無回答
総数	1,730	801	496	100	280	82	214	578	174	23	36	49	64	199
		46.3%	28.7%	5.8%	16.2%	4.7%	12.4%	33.4%	10.1%	1.3%	2.1%	2.8%	3.7%	11.5%
20代	20	10	6	3	5	0	3	8	1	0	1	0	1	1
		50.0%	30.0%	15.0%	25.0%	0.0%	15.0%	40.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%
30代	75	38	11	6	5	3	5	51	18	1	1	0	3	1
		50.7%	14.7%	8.0%	6.7%	4.0%	6.7%	68.0%	24.0%	1.3%	1.3%	0.0%	4.0%	1.3%
40代	137	64	46	8	11	4	24	39	27	3	2	3	11	6
		46.7%	33.6%	5.8%	8.0%	2.9%	17.5%	28.5%	19.7%	2.2%	1.5%	2.2%	8.0%	4.4%
50代	250	132	79	15	45	9	35	78	25	3	7	3	12	17
		52.8%	31.6%	6.0%	18.0%	3.6%	14.0%	31.2%	10.0%	1.2%	2.8%	1.2%	4.8%	6.8%
60代	555	283	183	28	112	20	64	199	46	9	12	13	18	39
		51.0%	33.0%	5.0%	20.2%	3.6%	11.5%	35.9%	8.3%	1.6%	2.2%	2.3%	3.2%	7.0%
70代 以上	667	269	168	39	102	44	79	195	53	6	12	30	19	125
		40.3%	25.2%	5.8%	15.3%	6.6%	11.8%	29.2%	7.9%	0.9%	1.8%	4.5%	2.8%	18.7%
無回答	26	5	3	1	0	2	4	8	4	1	1	0	0	10
		19.2%	11.5%	3.8%	0.0%	7.7%	15.4%	30.8%	15.4%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	38.5%

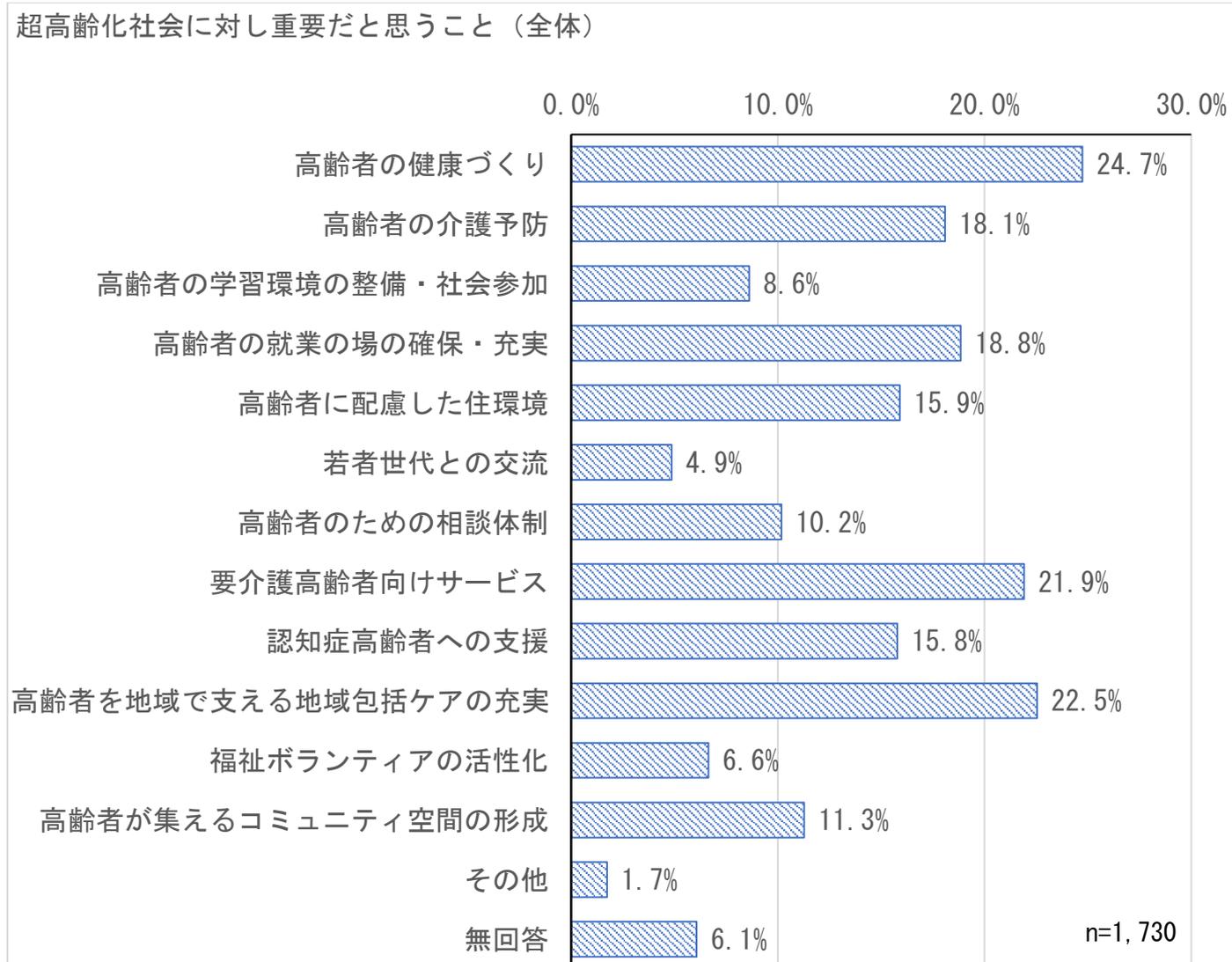
※複数回答のため合計が100%にならない

問 22 超高齢化社会に対し重要だと思うこと（2つまで選択）

超高齢化社会に対し重要だと思うことについて、「高齢者の健康づくり」が24.7%と最も高く、次いで「高齢者を地域で支える地域包括ケアの充実」が22.5%、「要介護高齢者向けサービス」が21.9%となった。

最も低かったのは「若者世代との交流」の4.9%となった。

年齢別に見ると、20代では「高齢者の介護予防」、高齢層では「高齢者の健康づくり」が比較的高くなるなどの傾向はあったが、全体的に偏りは小さく、重要だと思うことが分散する結果となった。

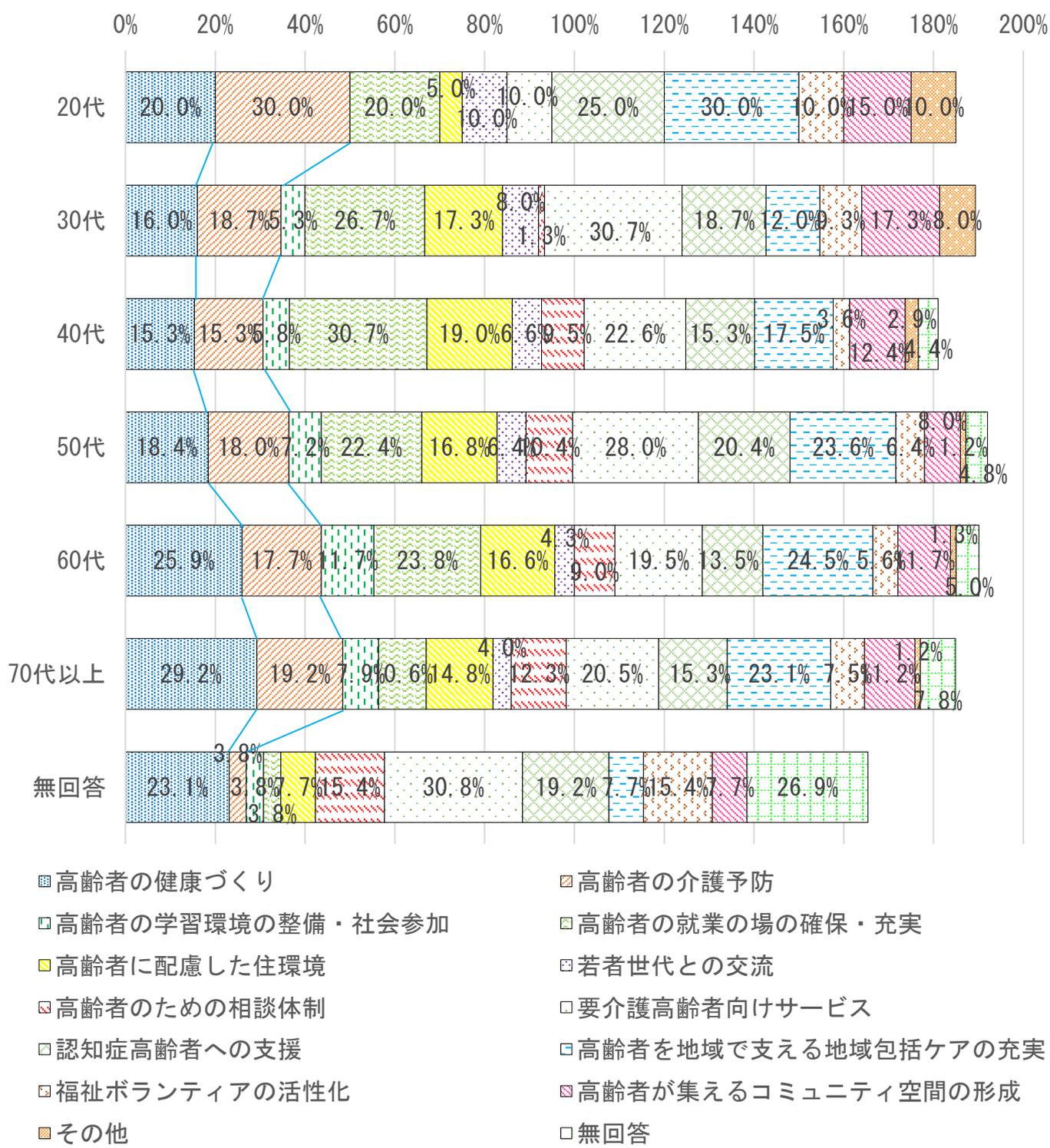


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・ 少子化対策、若者の就業対策
- ・ 高齢者向けの予算の削減（高齢者の自立へ）
- ・ 独居高齢者への支援
- ・ 老人ホーム・介護施設等の値段を安くする
- ・ サポートする人員の増加、増員
- ・ 行政、経済、教育を40代以下の住民が意思決定する
- ・ 高齢者の知識や技術を活用する場所を確保

超高齢化社会に対して重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 超高齢化社会に対して重要だと思うこと

	総数	高齢者の健康づくり	高齢者の介護予防	高齢者の学習環境の整備・社会参加	高齢者の就業の場の確保・充実	高齢者に配慮した住環境	若者世代との交流	高齢者のための相談体制	要介護高齢者向けサービス	認知症高齢者への支援	高齢者を地域で支える地域包括ケアの充実	福祉ボランティアの活性化	高齢者が集えるコミュニティ空間の形成	その他	無回答
総数	1,730	428	313	149	326	275	84	176	379	273	390	115	195	30	105
		24.7%	18.1%	8.6%	18.8%	15.9%	4.9%	10.2%	21.9%	15.8%	22.5%	6.6%	11.3%	1.7%	6.1%
20代	20	4	6	0	4	1	2	0	2	5	6	2	3	2	0
		20.0%	30.0%	0.0%	20.0%	5.0%	10.0%	0.0%	10.0%	25.0%	30.0%	10.0%	15.0%	10.0%	0.0%
30代	75	12	14	4	20	13	6	1	23	14	9	7	13	6	0
		16.0%	18.7%	5.3%	26.7%	17.3%	8.0%	1.3%	30.7%	18.7%	12.0%	9.3%	17.3%	8.0%	0.0%
40代	137	21	21	8	42	26	9	13	31	21	24	5	17	4	6
		15.3%	15.3%	5.8%	30.7%	19.0%	6.6%	9.5%	22.6%	15.3%	17.5%	3.6%	12.4%	2.9%	4.4%
50代	250	46	45	18	56	42	16	26	70	51	59	16	20	3	12
		18.4%	18.0%	7.2%	22.4%	16.8%	6.4%	10.4%	28.0%	20.4%	23.6%	6.4%	8.0%	1.2%	4.8%
60代	555	144	98	65	132	92	24	50	108	75	136	31	65	7	28
		25.9%	17.7%	11.7%	23.8%	16.6%	4.3%	9.0%	19.5%	13.5%	24.5%	5.6%	11.7%	1.3%	5.0%
70代	667	195	128	53	71	99	27	82	137	102	154	50	75	8	52
以上		29.2%	19.2%	7.9%	10.6%	14.8%	4.0%	12.3%	20.5%	15.3%	23.1%	7.5%	11.2%	1.2%	7.8%
無回答	26	6	1	1	1	2	0	4	8	5	2	4	2	0	7
		23.1%	3.8%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%	15.4%	30.8%	19.2%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	26.9%

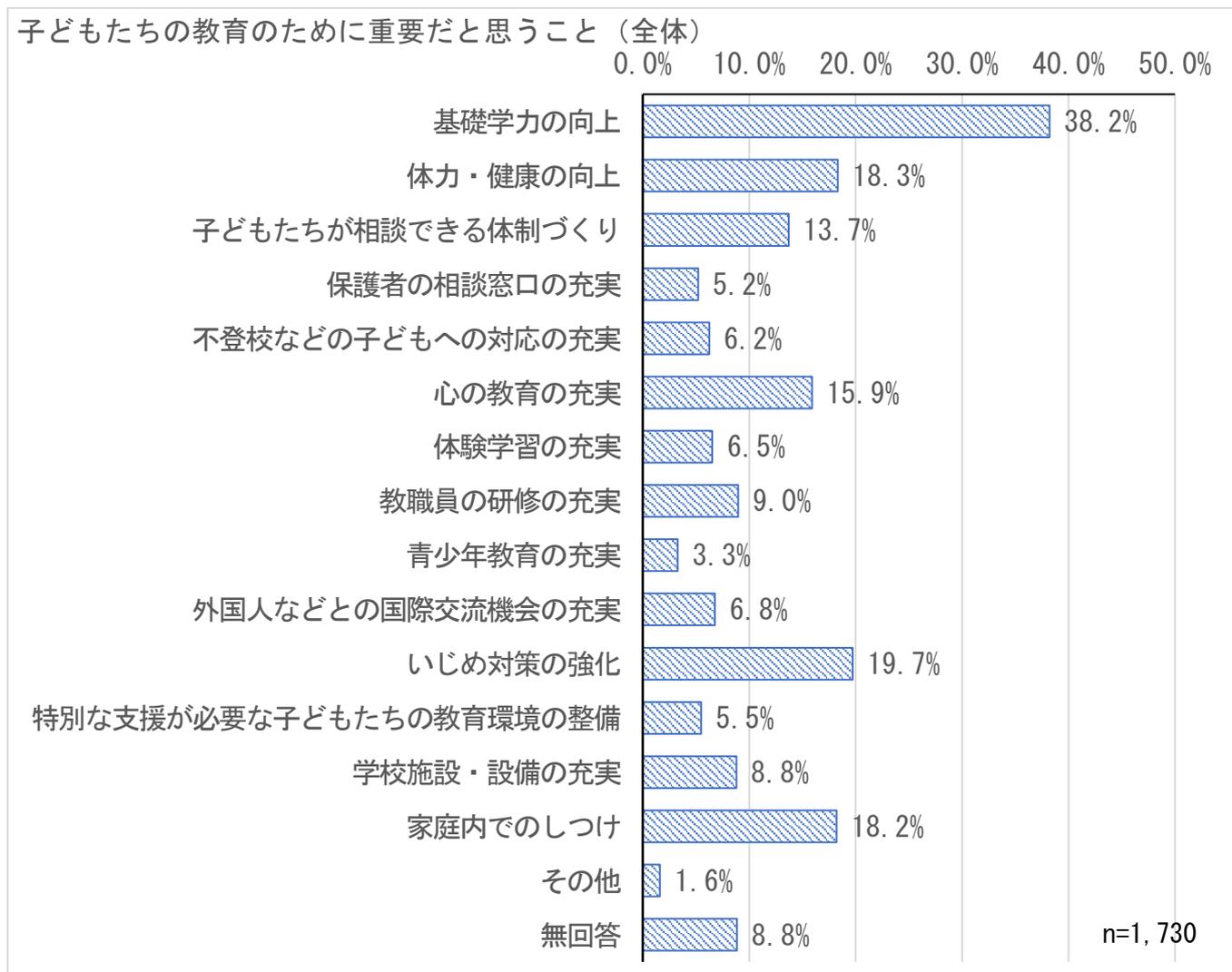
※複数回答のため合計が100%にならない

問 23 子どもたちの教育のために重要だと思うこと（2つまで選択）

子どもたちの教育のために重要だと思うことについて、「基礎学力の向上」が38.2%と最も高く、次いで「いじめ対策の強化」が19.7%となった。

最も低かったのは「青少年教育の充実」の3.3%となった。

年齢別に見ると、「基礎学力の向上」はすべての年代で回答割合が高くなった。20代では「子どもたちが相談できる体制づくり」「不登校などの子どもへの対応の充実」が、他の年代に比べ高く、高齢層では「家庭でのしつけ」の回答割合が高くなった。

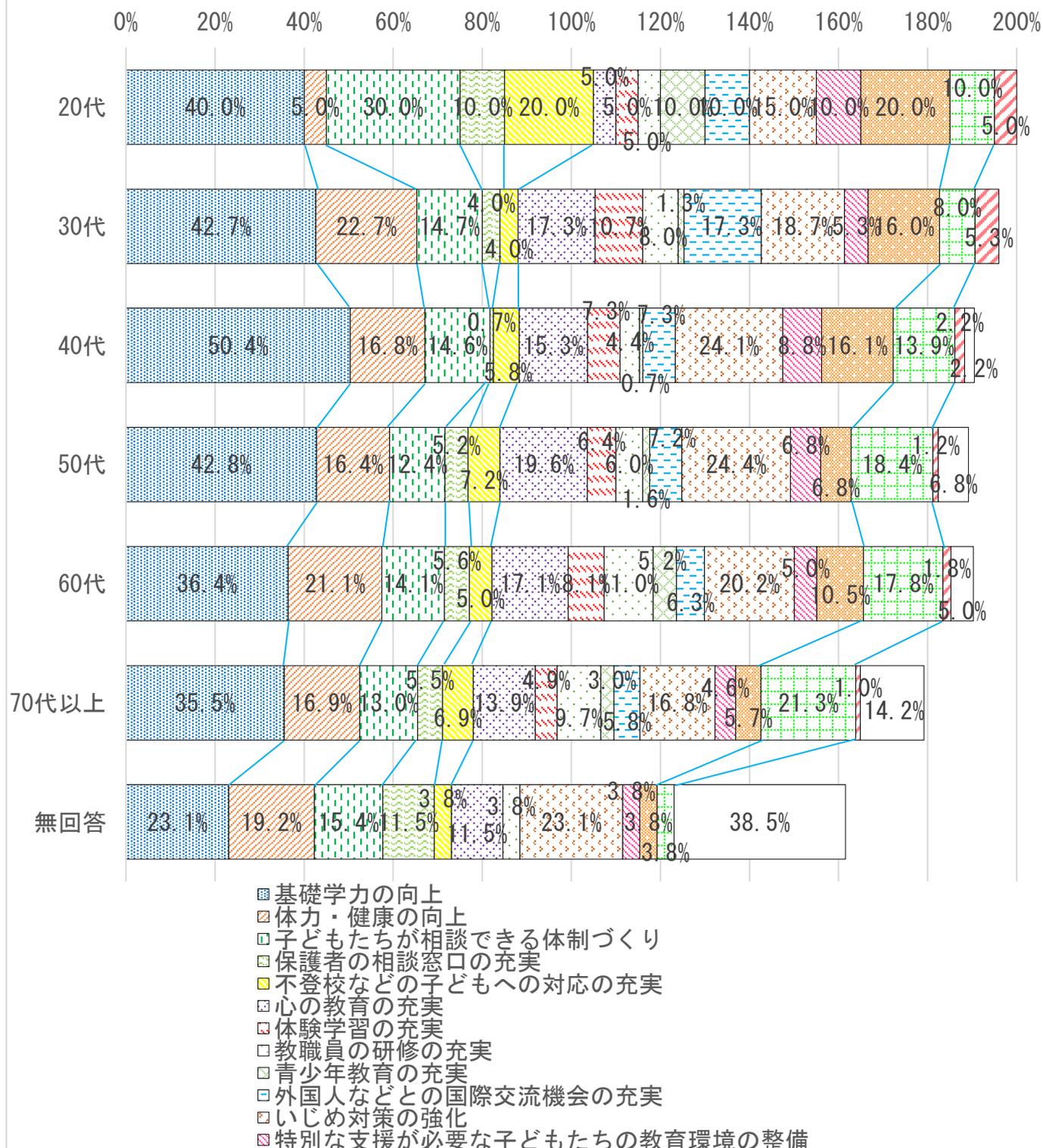


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・安全な通学（スクールバス等）、共働き家庭児童生徒の放課後の充実 父親の教育
- ・廃校施設を利用した、不登校生徒の受入れの学校建設
- ・小学校や中学校を合併させて、たくさんの人とコミュニケーションをとれるようにしてほしい
- ・地域住民や高齢者との交流
- ・高校や大学の研究室の誘致
- ・IT教育の充実。小中各教室に外国語教師の配置。

子どもたちの教育のために重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 教育の充実のために重要だと思うこと

	総数	基礎学力の向上	体力・健康の向上	子どもたちが相談できる体制づくり	保護者の相談窓口の充実	不登校などの子どもへの対応の充実	心の教育の充実	体験学習の充実	教職員の研修の充実	青少年教育の充実	外国人などとの国際交流機会の充実	いじめ対策の強化	特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備	学校施設・設備の充実	家庭内でのしつけ	その他	無回答
総数	1,730	661	317	237	90	108	275	113	155	57	117	341	95	152	315	28	153
		38.2%	18.3%	13.7%	5.2%	6.2%	15.9%	6.5%	9.0%	3.3%	6.8%	19.7%	5.5%	8.8%	18.2%	1.6%	8.8%
20代	20	8	1	6	2	4	1	1	1	2	2	3	2	4	2	1	0
		40.0%	5.0%	30.0%	10.0%	20.0%	5.0%	5.0%	5.0%	10.0%	10.0%	15.0%	10.0%	20.0%	10.0%	5.0%	0.0%
30代	75	32	17	11	3	3	13	8	6	1	13	14	4	12	6	4	0
		42.7%	22.7%	14.7%	4.0%	4.0%	17.3%	10.7%	8.0%	1.3%	17.3%	18.7%	5.3%	16.0%	8.0%	5.3%	0.0%
40代	137	69	23	20	1	8	21	10	6	1	10	33	12	22	19	3	3
		50.4%	16.8%	14.6%	0.7%	5.8%	15.3%	7.3%	4.4%	0.7%	7.3%	24.1%	8.8%	16.1%	13.9%	2.2%	2.2%
50代	250	107	41	31	13	18	49	16	15	4	18	61	17	17	46	3	17
		42.8%	16.4%	12.4%	5.2%	7.2%	19.6%	6.4%	6.0%	1.6%	7.2%	24.4%	6.8%	6.8%	18.4%	1.2%	6.8%
60代	555	202	117	78	31	28	95	45	61	29	35	112	28	58	99	10	28
		36.4%	21.1%	14.1%	5.6%	5.0%	17.1%	8.1%	11.0%	5.2%	6.3%	20.2%	5.0%	10.5%	17.8%	1.8%	5.0%
70代	667	237	113	87	37	46	93	33	65	20	39	112	31	38	142	7	95
以上		35.5%	16.9%	13.0%	5.5%	6.9%	13.9%	4.9%	9.7%	3.0%	5.8%	16.8%	4.6%	5.7%	21.3%	1.0%	14.2%
無回答	26	6	5	4	3	1	3	0	1	0	0	6	1	1	1	0	10
		23.1%	19.2%	15.4%	11.5%	3.8%	11.5%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	23.1%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	38.5%

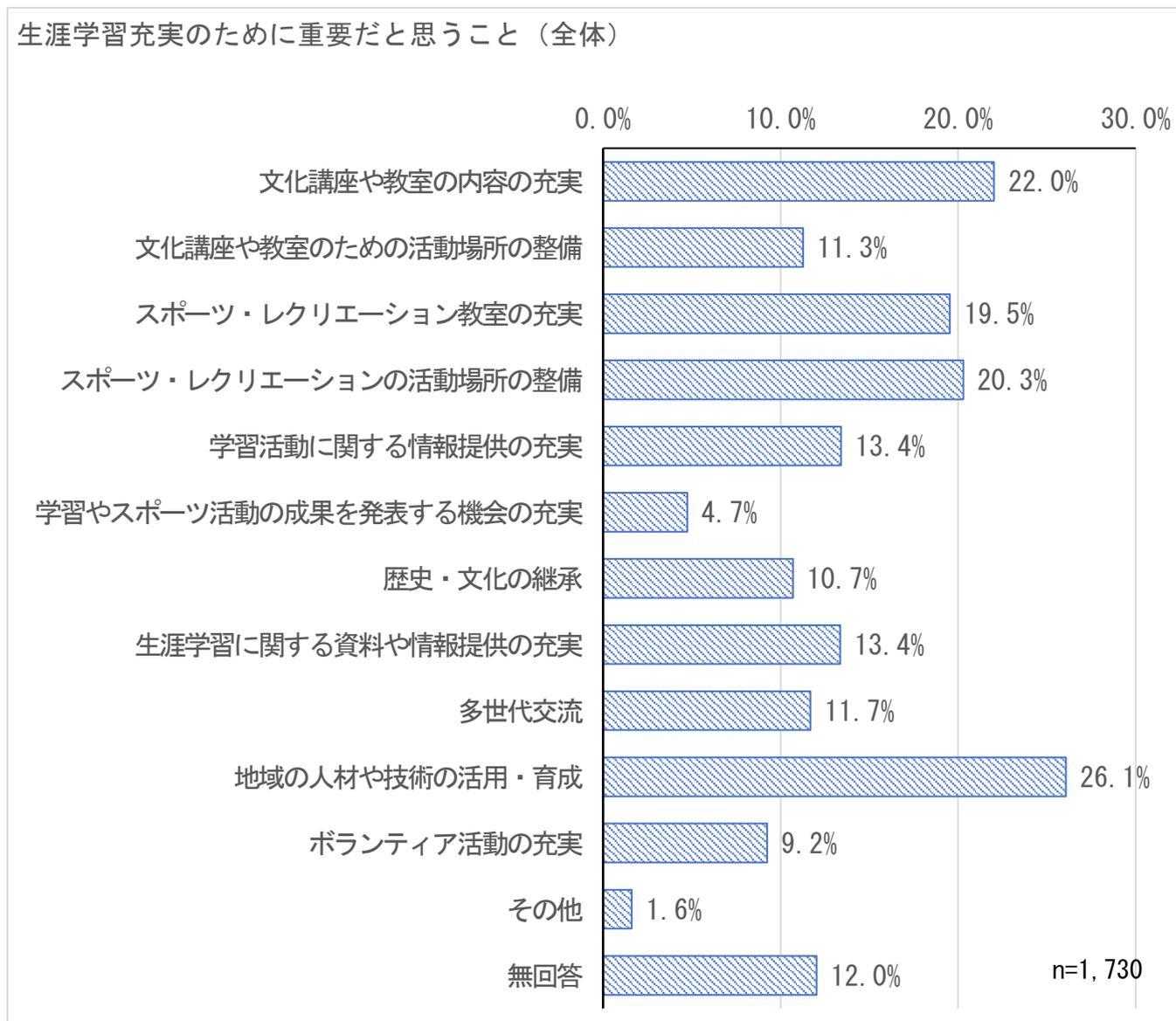
※複数回答のため合計が100%にならない

問 24 生涯学習充実のために重要だと思うこと（2つまで選択）

生涯学習充実のために重要だと思うことについて、「地域の人材や技術の活用・育成」が26.1%と最も高く、次いで「文化講座や教室の内容の充実」が22.0%となった。

「学習やスポーツ活動の成果を発表する機会の充実」は4.7%と低くなった。

年齢別に見ると、30代から40代で「スポーツ・レクリエーション教室の充実」「スポーツ・レクリエーションの活動場所の整備」の回答割合が高くなっており、それ以外は年齢別の偏りは少なく、重要なことは分散する結果となった。

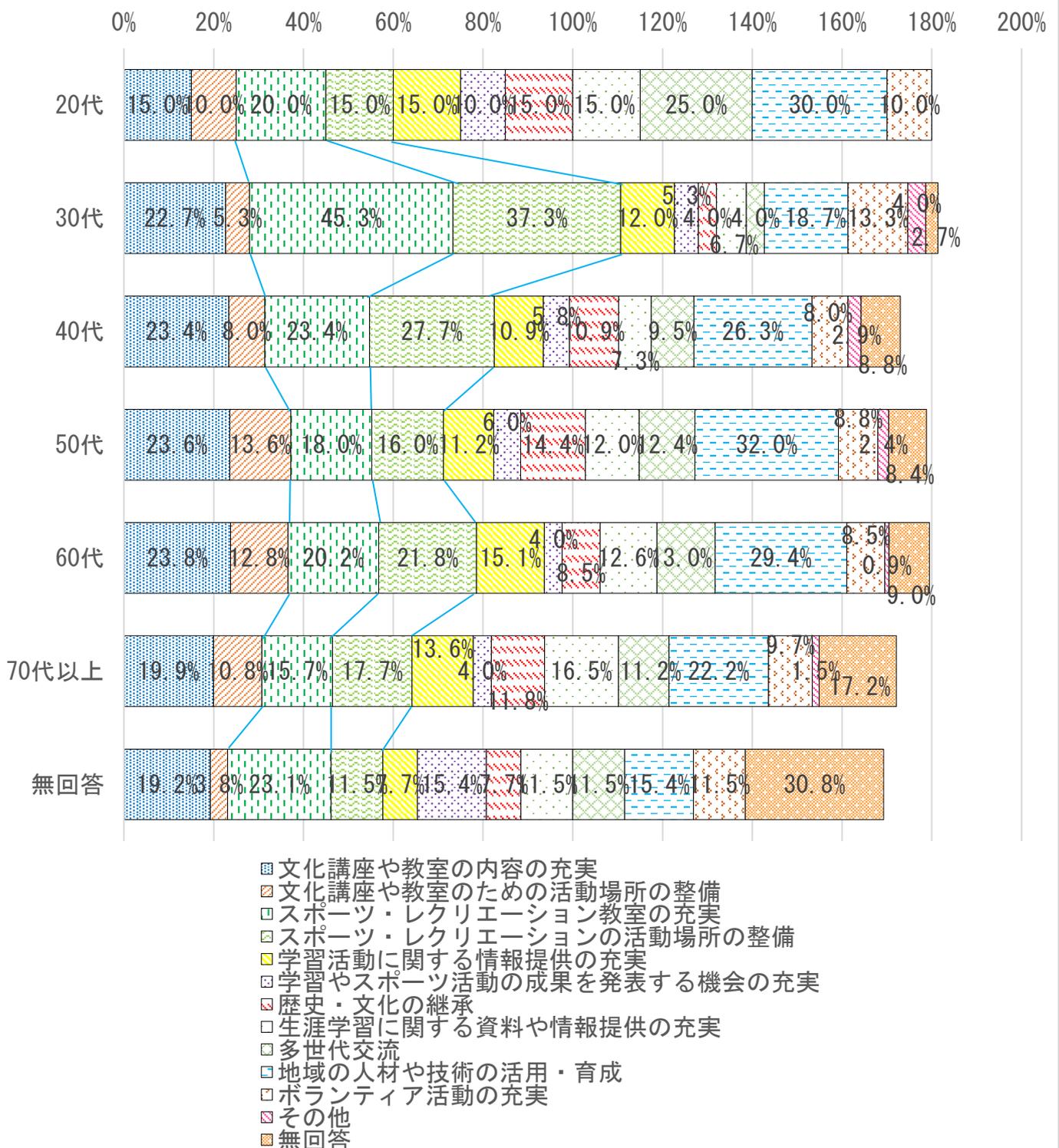


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・活動などを行っている場所への移動手段の確保
- ・小、中、スポーツクラブ等、賞をとったりしたら大々的に情報発信して盛り上げる
- ・ヘタでも発表できる場がほしい。今あるのは上手じゃないとダメみたいな活動ばかり

生涯学習充実のために重要だと思うこと



※複数回答のため合計 100%にならない

表 生涯学習を充実させるために重要だと思うこと

	総数	文化講座や教室の内容の充実	文化講座や教室のための活動場所の整備	スポーツ・レクリエーション教室の充実	スポーツ・レクリエーションの活動場所の整備	学習活動に関する情報提供の充実	学習やスポーツ活動の成果を发表する機会の充実	歴史・文化の継承	生涯学習に関する資料や情報提供の充実	多世代交流	地域の人材や技術の活用・育成	ボランティア活動の充実	その他	無回答
総数	1,730	381	195	338	351	232	82	185	231	202	451	160	28	208
		22.0%	11.3%	19.5%	20.3%	13.4%	4.7%	10.7%	13.4%	11.7%	26.1%	9.2%	1.6%	12.0%
20代	20	3	2	4	3	3	2	3	3	5	6	2	0	0
		15.0%	10.0%	20.0%	15.0%	15.0%	10.0%	15.0%	15.0%	25.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
30代	75	17	4	34	28	9	4	3	5	3	14	10	3	2
		22.7%	5.3%	45.3%	37.3%	12.0%	5.3%	4.0%	6.7%	4.0%	18.7%	13.3%	4.0%	2.7%
40代	137	32	11	32	38	15	8	15	10	13	36	11	4	12
		23.4%	8.0%	23.4%	27.7%	10.9%	5.8%	10.9%	7.3%	9.5%	26.3%	8.0%	2.9%	8.8%
50代	250	59	34	45	40	28	15	36	30	31	80	22	6	21
		23.6%	13.6%	18.0%	16.0%	11.2%	6.0%	14.4%	12.0%	12.4%	32.0%	8.8%	2.4%	8.4%
60代	555	132	71	112	121	84	22	47	70	72	163	47	5	50
		23.8%	12.8%	20.2%	21.8%	15.1%	4.0%	8.5%	12.6%	13.0%	29.4%	8.5%	0.9%	9.0%
70代以上	667	133	72	105	118	91	27	79	110	75	148	65	10	115
		19.9%	10.8%	15.7%	17.7%	13.6%	4.0%	11.8%	16.5%	11.2%	22.2%	9.7%	1.5%	17.2%
無回答	26	5	1	6	3	2	4	2	3	3	4	3	0	8
		19.2%	3.8%	23.1%	11.5%	7.7%	15.4%	7.7%	11.5%	11.5%	15.4%	11.5%	0.0%	30.8%

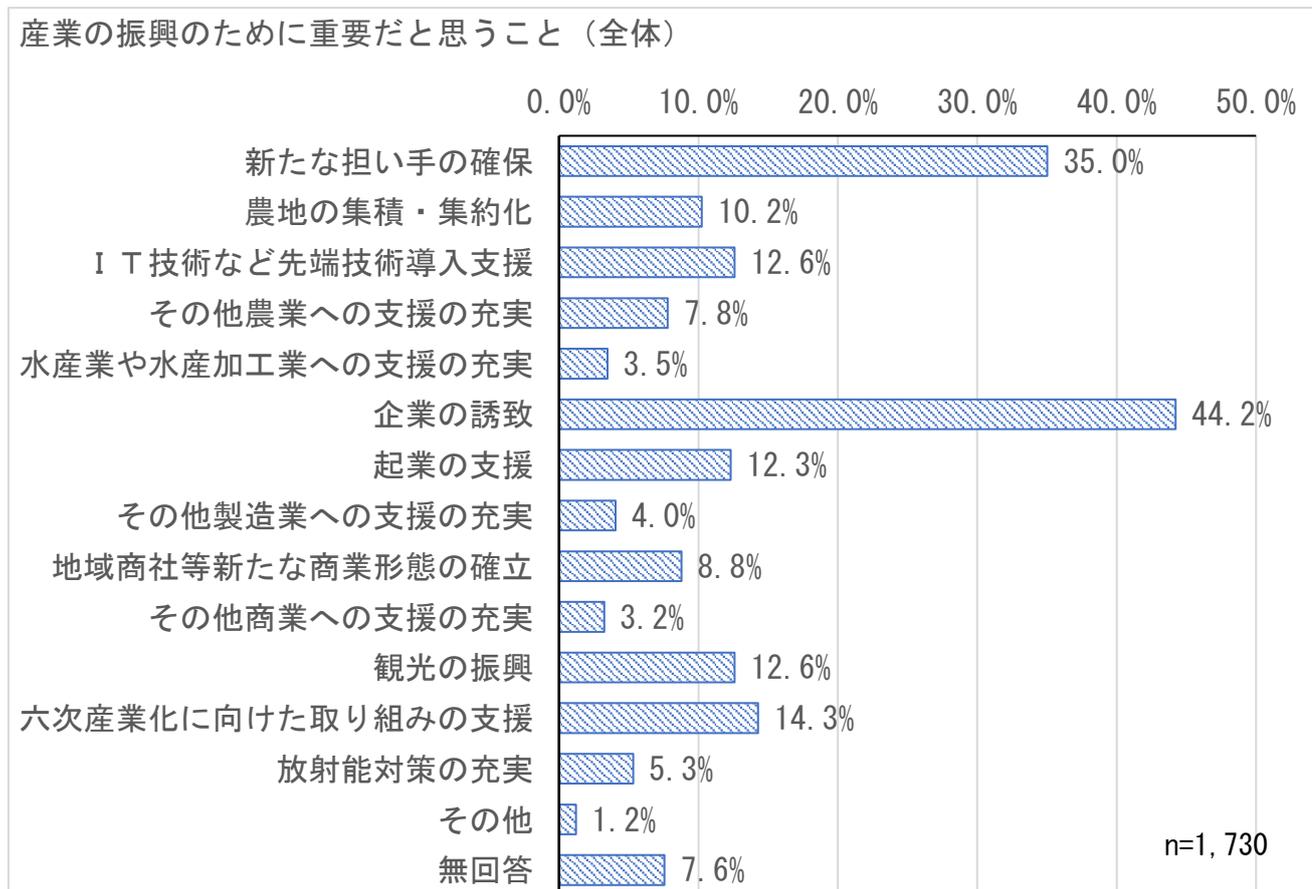
※複数回答のため合計が100%にならない

問 25 産業の振興のために重要だと思うこと（2つまで選択）

山元町の産業の振興のために重要だと思うことについて、「企業の誘致」が44.2%と最も高く、次いで「新たな担い手の確保」が35.0%となり、この2項目が特に高くなった。

「水産業や水産加工業への支援の充実」「その他製造業への支援の充実」「その他商業への支援の充実」は、いずれも5%未満と、低くなった。

年齢別に見ると、「観光の振興」が20代から30代の若い年代で回答割合が高く、30代から70代にかけて「企業の誘致」の回答割合が高くなった。また、すべての年代で「新たな担い手の確保」が重要と考えている人が多いという結果となった。

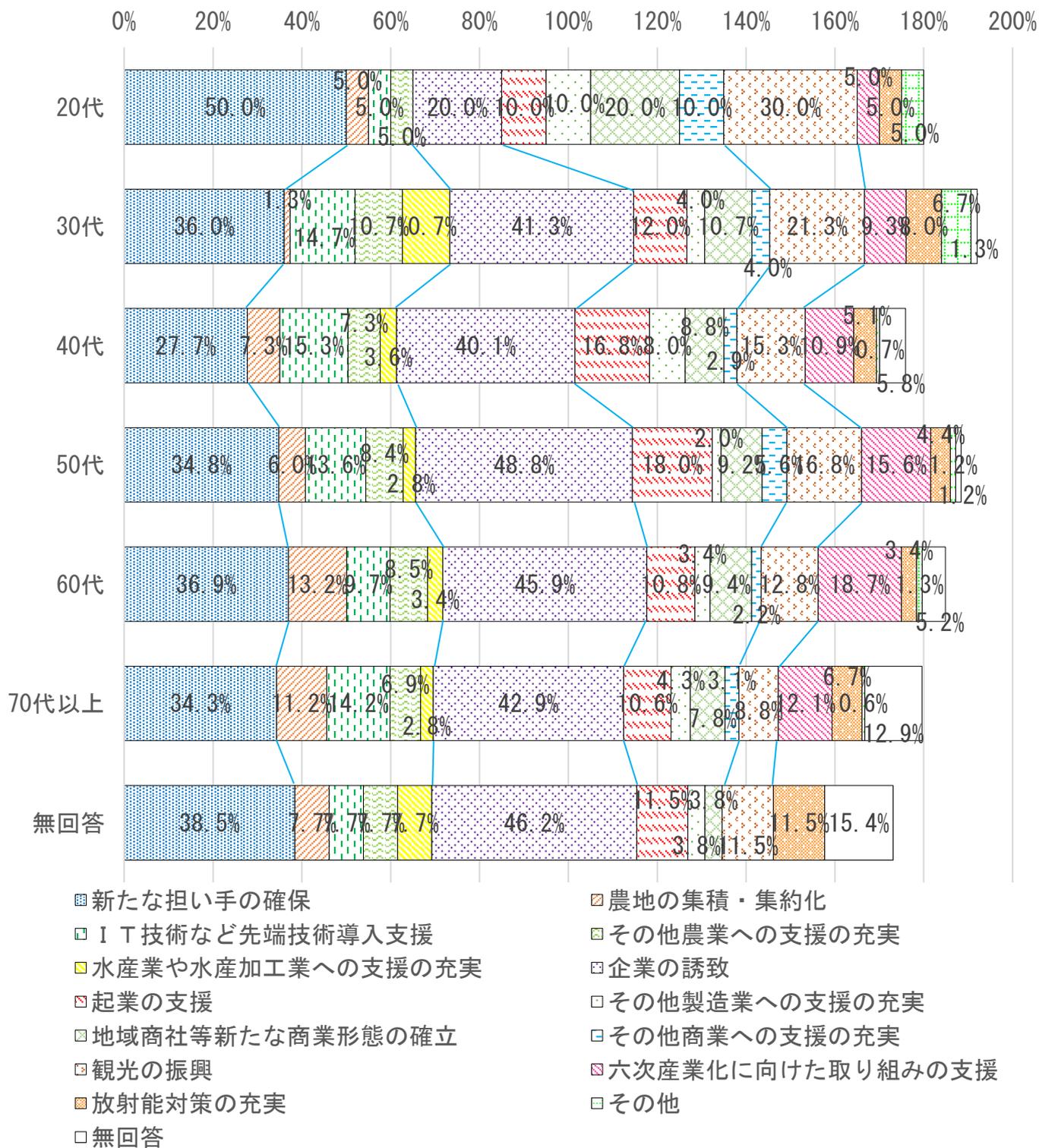


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・規制緩和と官公が経営しないこと ・公共事業の地元への発注 ・農業の第三者継承 ・いちご以外の農家の包括的支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品の開発や発掘 ・小売店が自活出来る支援 ・質の高い商品・サービスの提供 |
|--|--|

産業の振興のために重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 産業振興に重要だと思うこと

	総数	新たな担い手の確保	農地の集積・集約化	IT技術など先端技術導入支援	その他農業への支援の充実	水産業や水産加工業への支援の充実	企業の誘致	起業の支援	その他製造業への支援の充実	地域商社等新たな商業形態の確立	その他商業への支援の充実	観光の振興	六次産業化に向けた取り組みの支援	放射能対策の充実	その他	無回答
総数	1,730	606	177	218	135	60	765	213	70	152	56	218	247	92	21	131
		35.0%	10.2%	12.6%	7.8%	3.5%	44.2%	12.3%	4.0%	8.8%	3.2%	12.6%	14.3%	5.3%	1.2%	7.6%
20代	20	10	1	1	1	0	4	2	2	4	2	6	1	1	1	0
		50.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	30.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%
30代	75	27	1	11	8	8	31	9	3	8	3	16	7	6	5	1
		36.0%	1.3%	14.7%	10.7%	10.7%	41.3%	12.0%	4.0%	10.7%	4.0%	21.3%	9.3%	8.0%	6.7%	1.3%
40代	137	38	10	21	10	5	55	23	11	12	4	21	15	7	1	8
		27.7%	7.3%	15.3%	7.3%	3.6%	40.1%	16.8%	8.0%	8.8%	2.9%	15.3%	10.9%	5.1%	0.7%	5.8%
50代	250	87	15	34	21	7	122	45	5	23	14	42	39	11	3	3
		34.8%	6.0%	13.6%	8.4%	2.8%	48.8%	18.0%	2.0%	9.2%	5.6%	16.8%	15.6%	4.4%	1.2%	1.2%
60代	555	205	73	54	47	19	255	60	19	52	12	71	104	19	7	29
		36.9%	13.2%	9.7%	8.5%	3.4%	45.9%	10.8%	3.4%	9.4%	2.2%	12.8%	18.7%	3.4%	1.3%	5.2%
70代	667	229	75	95	46	19	286	71	29	52	21	59	81	45	4	86
以上		34.3%	11.2%	14.2%	6.9%	2.8%	42.9%	10.6%	4.3%	7.8%	3.1%	8.8%	12.1%	6.7%	0.6%	12.9%
無回答	26	10	2	2	2	2	12	3	1	1	0	3	0	3	0	4
		38.5%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	46.2%	11.5%	3.8%	3.8%	0.0%	11.5%	0.0%	11.5%	0.0%	15.4%

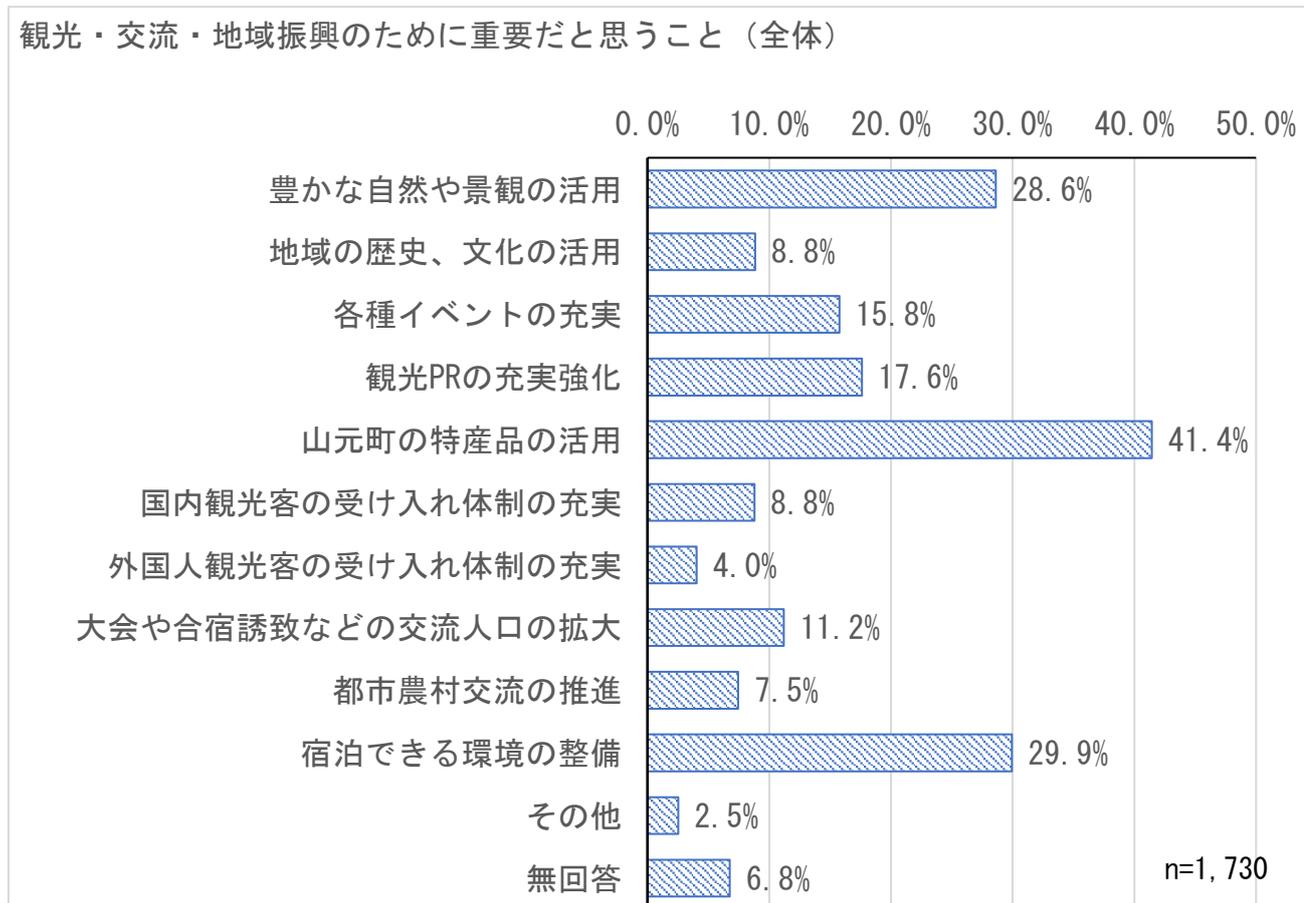
※複数回答のため合計が100%にならない

問 26 観光・交流・地域振興のために重要だと思うこと（2つまで選択）

山元町の観光・交流・地域振興のために重要だと思うことについて、「山元町の特産品の活用」が41.4%と最も高く、次いで「宿泊できる環境の整備」が29.9%、「豊かな自然や景観の活用」が28.6%となった。

「外国人観光客の受け入れ体制の充実」は4.0%と低くなった。

年齢別に見ると、すべての年齢で「山元町の特産品の活用」が重要とされた。30代で「各種イベントの充実」の回答割合が高く、50代以上で「地域の歴史、文化の活用」が重要という意見が多くなった。

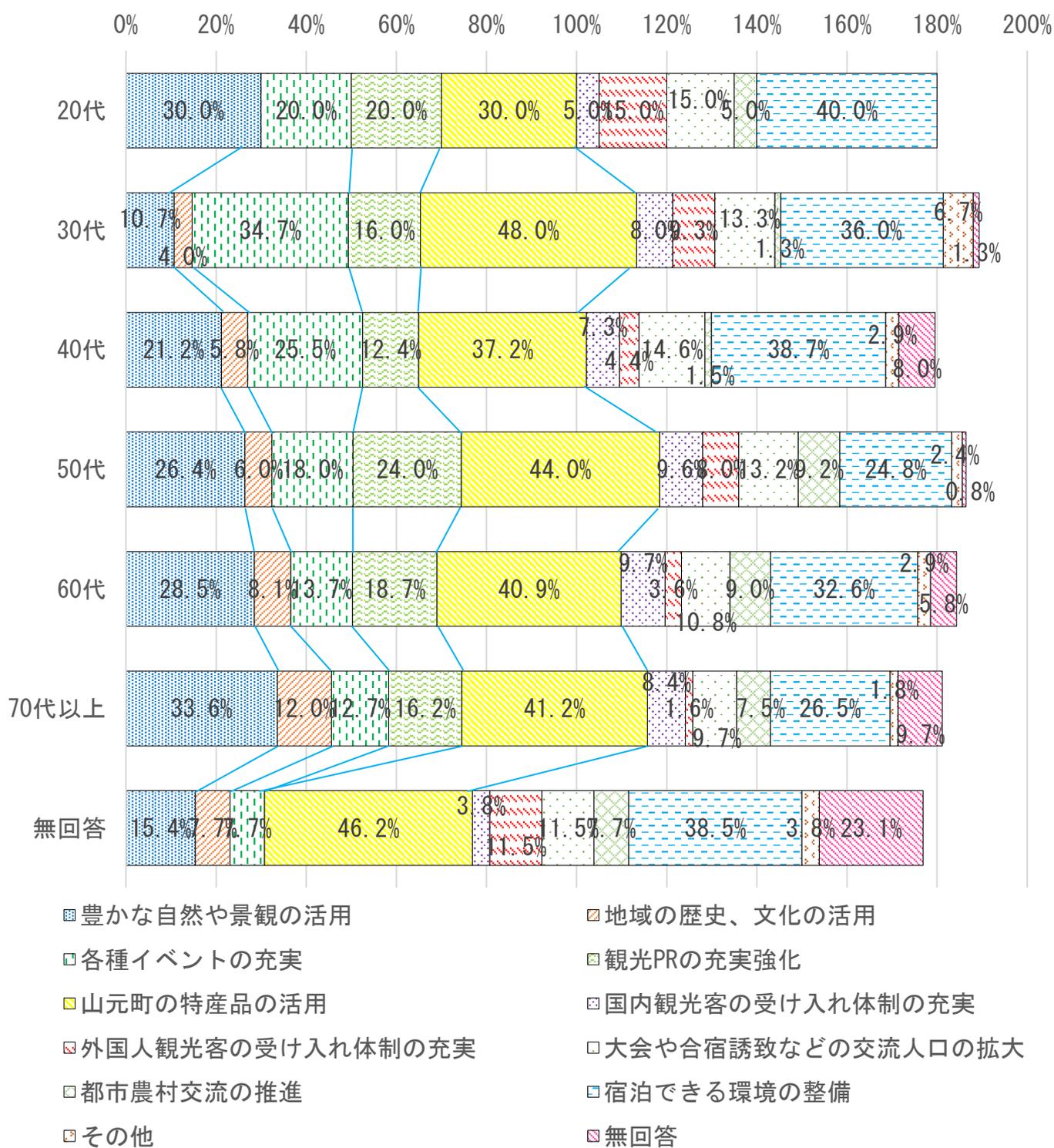


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・親子で楽しめる自然体験等の実施
- ・交通の便の充実・温泉施設をつくる
- ・目玉となるスポーツ施設を作る
- ・町役場内に観光担当課を作ってほしい
- ・いちご以外の新特産品の開発
- ・この町にはひきつけるものが無い
- ・同業同士の連携
- ・山元IC周辺の活用
- ・再訪したいと思ってもらえる雰囲気町のづくり
- ・規模の大きな集約施設の整備
- ・海釣公園の建設、サーファーを引きつける設備、キャンプ場などのアウトドア施設
- ・大型施設（道の駅、アウトレット等）設置による集客力UP
- ・山元町単独では難しい。仙南地区の市町村を含めた広域振興策で地域の活性化を計るべきだ

観光・交流・地域振興のために重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 観光・交流・地域振興のために重要だと思うこと

	総数	豊かな自然や景観の活用	地域の歴史、文化の活用	各種イベントの充実	観光PRの充実強化	山元町の特産品の活用	国内観光客の受け入れ体制の充実	外国人観光客の受け入れ体制の充実	大会や合宿誘致などの交流人口の拡大	都市農村交流の推進	宿泊できる環境の整備	その他	無回答
総数	1,730	495	153	273	305	717	152	70	194	129	518	44	117
		28.6%	8.8%	15.8%	17.6%	41.4%	8.8%	4.0%	11.2%	7.5%	29.9%	2.5%	6.8%
20代	20	6	0	4	4	6	1	3	3	1	8	0	0
		30.0%	0.0%	20.0%	20.0%	30.0%	5.0%	15.0%	15.0%	5.0%	40.0%	0.0%	0.0%
30代	75	8	3	26	12	36	6	7	10	1	27	5	1
		10.7%	4.0%	34.7%	16.0%	48.0%	8.0%	9.3%	13.3%	1.3%	36.0%	6.7%	1.3%
40代	137	29	8	35	17	51	10	6	20	2	53	4	11
		21.2%	5.8%	25.5%	12.4%	37.2%	7.3%	4.4%	14.6%	1.5%	38.7%	2.9%	8.0%
50代	250	66	15	45	60	110	24	20	33	23	62	6	2
		26.4%	6.0%	18.0%	24.0%	44.0%	9.6%	8.0%	13.2%	9.2%	24.8%	2.4%	0.8%
60代	555	158	45	76	104	227	54	20	60	50	181	16	32
		28.5%	8.1%	13.7%	18.7%	40.9%	9.7%	3.6%	10.8%	9.0%	32.6%	2.9%	5.8%
70代	667	224	80	85	108	275	56	11	65	50	177	12	65
以上		33.6%	12.0%	12.7%	16.2%	41.2%	8.4%	1.6%	9.7%	7.5%	26.5%	1.8%	9.7%
無回答	26	4	2	2	0	12	1	3	3	2	10	1	6
		15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	46.2%	3.8%	11.5%	11.5%	7.7%	38.5%	3.8%	23.1%

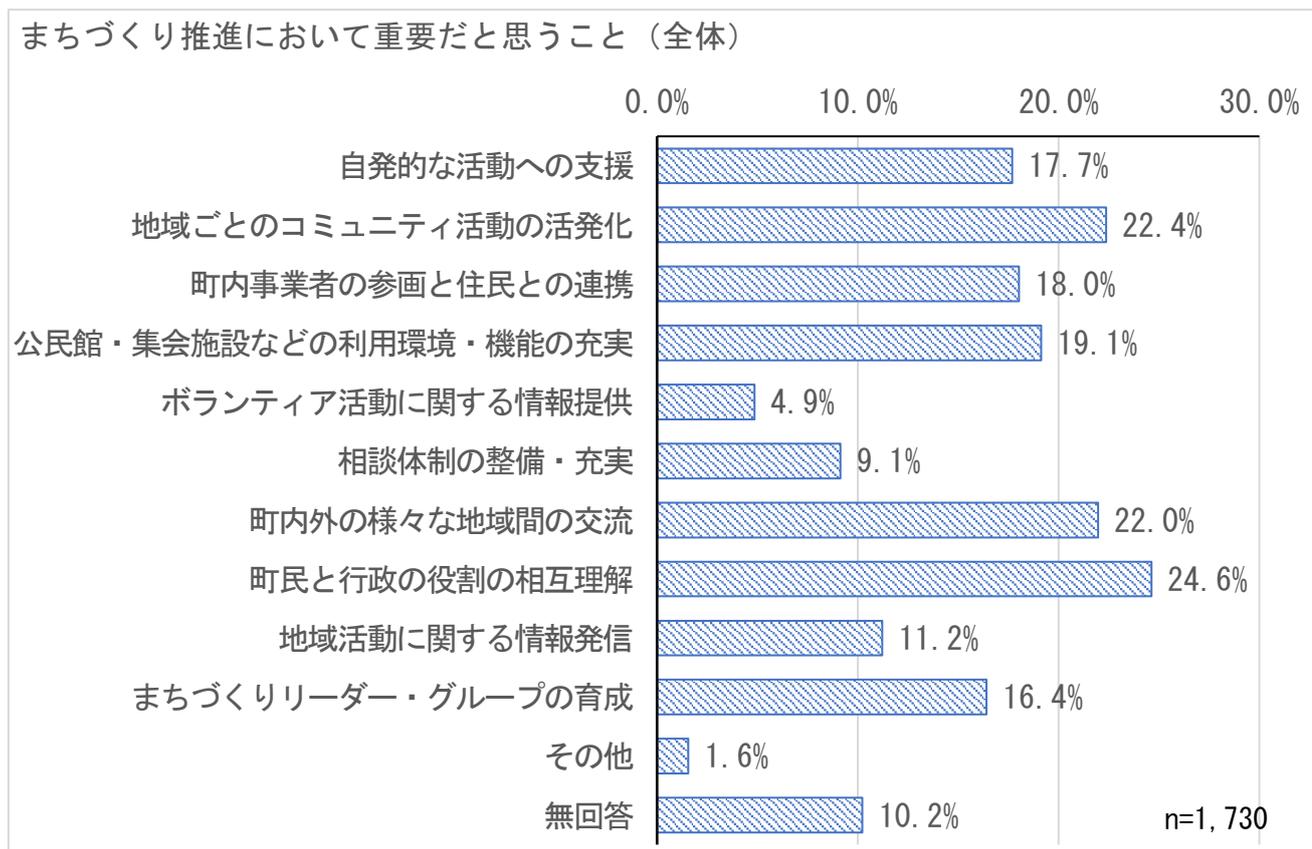
※複数回答のため合計が100%にならない

問 27 まちづくり推進において重要だと思うこと（2つまで選択）

山元町のまちづくり推進のために重要だと思うことについて、「町民と行政の役割の相互理解」が24.6%と最も高く、次いで「地域ごとのコミュニティ活動の活発化」が22.4%、「町内外の様々な地域間の交流」が22.0%となった。

「ボランティア活動に関する情報提供」は4.9%と低くなった。

年齢別に見ると、20代から30代の若い年代で「町内外の様々な地域間の交流」の割合が高く、30代以上では「町民と行政の役割の相互理解」が高くなった。また若い世代ほど「地域活動に関する情報発信」が重要と考えている結果となった。年齢間ではあまり重要と思う項目の偏りは少なく、全体的に重要なことは分散する結果となった。

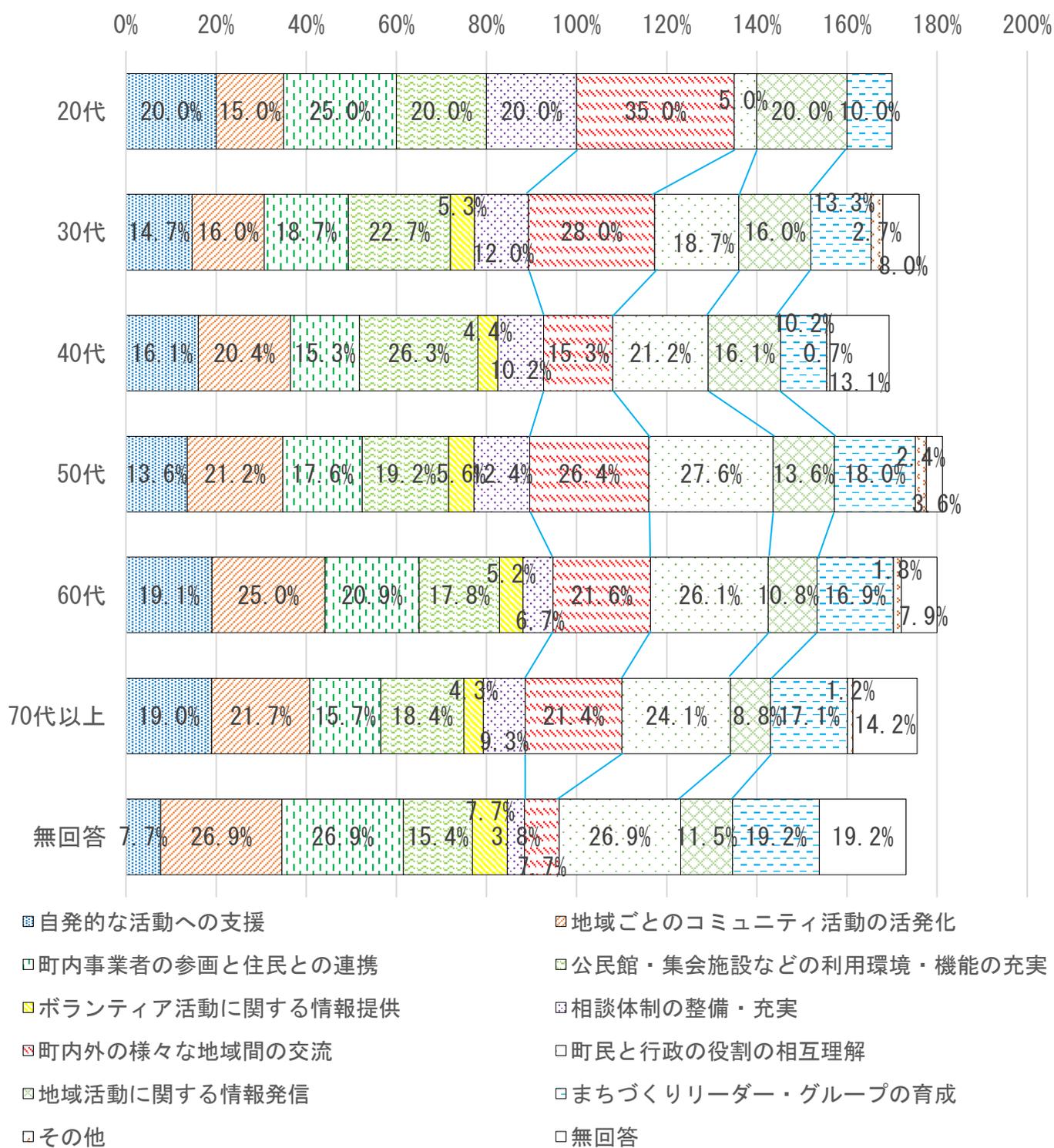


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・交通の利便性がなければ何も出来ない
- ・若者が働き、自分達で運営できる地域にする
- ・山元町行政の効率化、システム化
- ・地域資源を生活向上に活かす生産活動
- ・外国人が働きやすい環境づくり。
- ・町長1人の考えですすめないでほしい。
- ・役場職員の山元町定住化から始める事！
- ・行政や町民のやる気
- ・アイデアを募集すれば良いと思う、賞品付きで
- ・町の助成を住民に周知して起業を推進する
- ・山元町民は「我が町を良くしていこう」という意識がなさすぎる。分裂ばかりだからダメ。
- ・行政が山元町をどんな町にするのか明確なビジョンを町民に知らせなければ町づくりに何が必要か解らない

まちづくり推進において重要だと思うこと（年齢別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 まちづくり推進において重要だと思うこと

	総数	自発的な活動への支援	地域「」とのコミュニティ活動の活発化	町内事業者の参画と住民との連携	公民館・集会施設などの利用環境・機能の充実	ボランティア活動に関する情報提供	相談体制の整備・充実	町内外の様々な地域間の交流	町民と行政の役割の相互理解	地域活動に関する情報発信	まちづくりリーダー・グループの育成	その他	無回答
総数	1,730	306	387	312	331	84	158	380	426	194	284	27	177
		17.7%	22.4%	18.0%	19.1%	4.9%	9.1%	22.0%	24.6%	11.2%	16.4%	1.6%	10.2%
20代	20	4	3	5	4	0	4	7	1	4	2	0	0
		20.0%	15.0%	25.0%	20.0%	0.0%	20.0%	35.0%	5.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
30代	75	11	12	14	17	4	9	21	14	12	10	2	6
		14.7%	16.0%	18.7%	22.7%	5.3%	12.0%	28.0%	18.7%	16.0%	13.3%	2.7%	8.0%
40代	137	22	28	21	36	6	14	21	29	22	14	1	18
		16.1%	20.4%	15.3%	26.3%	4.4%	10.2%	15.3%	21.2%	16.1%	10.2%	0.7%	13.1%
50代	250	34	53	44	48	14	31	66	69	34	45	6	9
		13.6%	21.2%	17.6%	19.2%	5.6%	12.4%	26.4%	27.6%	13.6%	18.0%	2.4%	3.6%
60代	555	106	139	116	99	29	37	120	145	60	94	10	44
		19.1%	25.0%	20.9%	17.8%	5.2%	6.7%	21.6%	26.1%	10.8%	16.9%	1.8%	7.9%
70代以上	667	127	145	105	123	29	62	143	161	59	114	8	95
		19.0%	21.7%	15.7%	18.4%	4.3%	9.3%	21.4%	24.1%	8.8%	17.1%	1.2%	14.2%
無回答	26	2	7	7	4	2	1	2	7	3	5	0	5
		7.7%	26.9%	26.9%	15.4%	7.7%	3.8%	7.7%	26.9%	11.5%	19.2%	0.0%	19.2%

※複数回答のため合計が100%にならない

問 28 山元町のまちづくりに対する意見や提案（自由記入）

山元町のまちづくりに対する主な意見や提案について、以下のような意見があった。

★：記述された数が 10 個以上あった意見内容の項目

☆：記述された数が 5 から 9 個あった意見内容の項目

○：記述された数が 1 から 4 個あった意見内容の項目

分類	意見
まちづくりの方針	<ul style="list-style-type: none"> ★つばめの杜だけでなく、地域の格差がないようもっと広域で町づくりを考える ☆山元町独自の取り組みでまちづくりを行う ○亘理町との合併を行う ○仙台市へのベッドタウン化を進める ○将来に負債を残す無駄な箱物（施設）は作らないようにする ○責任ある若い人がリーダーとなって進めていく ○地域の永い歴史、豊かな文化を活かしたまちづくりを行う ○若い人達が戻って来てくれる様な町づくりを行う ○国際交流として山元町と似ている海外の都市の街づくりをする ○無理せず静かに明るく過せる町を維持する様にするのがベターと考える ○自然環境の流れを人工的に破かいしない自然流れをそのままに町づくりをする事。 ○太平洋を臨んだ地の理を生かし海洋趣味産業への積極的取り組みが必要、温暖な気候と環境の優位性を生かし、日本一健康で長寿の町づくりを目指すべき。 ○安い居住地をつくってほしい。
産業	<ul style="list-style-type: none"> ★新たな特産物を生み出す ★企業誘致と雇用の確保を進める ○工業・工場社宅団地、公営住宅の整備を行う ○海産資源の活用をする ○女性職場の支援など、女性が住んで良かったと思われる町づくりを進める
買い物や商業・公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ★商業施設の充実・大型商業施設を誘致する ☆ファミリーレストランの様な安くて長い時間過ごせる所、気軽にお茶がで きる所、お手軽価格でランチができる所などを充実させる ○交流拠点施設に軽飲食ができる場所が欲しい ○レンタルビデオ店、ホビーショップなどの若者むけのお店がほしい ○道の駅に公衆温泉入浴施設を併設してほしい。長距離トラックの運転手も 利用出来る仮眠室もある施設 ○新鮮な地場産品が買える場所があるとよい。車でないと行くのに不便な場 所を、食材が旬のシーズンだけでもバスのルートにしてみてもどうか ○駅前に書店がほしい ○娯楽施設がほしい ○大型店舗ばかり増やすと、元々山元町にある店舗が大変になってしまうの ではないか ○バラバラだと移動の交通費がかさむので、山下駅前への商業施設を集約す る。 ○牛橋公園のゲートボール場に遊具をうつして、パークゴルフ場整備してほ しい。 ○家、職場、学校以外で過ごせる場が充実すると思う。 ○駅前駐車場の利用料を値下げするか、月極めにして頂きたいです。

<p>出産・子育てについて</p>	<p>★結婚、出産、子育て、若い人達にもっと経済支援をした方が良いと思う。 ☆「待機児童」が解消できない状況で子育てしにくい「山元町」です。 ☆子どもたちを遊ばせる町民プールをもう一度作ってほしい。 ○産婦人科や全ての予防接種可能な病院、子ども用品を多く扱うお店があったら助かります。 ○子育て世代が住みたいと思える町づくりが大切だと思う。 ○授乳スペース作りや、妊娠中から、父親が参加しやすいイベント（例えば妊婦体験など）してほしい ○つばめの社の公園に子どもの休憩用の東屋等を設置してもらえたらと思います。 ○町内に学習塾がないので、誘致できないでしょうか。私は仙台から来ましたが、教育レベルが低いのが心配です。 ○高齢者に迎合し過ぎ。子育て、教育重視の予算配分を！ ○障害者、不登校児、シングルマザー等の弱者支援にもっと力を注いでほしい。</p>
<p>高齢化対策・高齢者の支援</p>	<p>☆健康寿命をいかに維持できるかが重要 ○高齢者を活かす施策が大切だと思います ○高齢者に対する相談支援、書類などの提出などの出張窓口みたいな支援などを行う ○団塊の世代がもっと介護が必要となってくるので、老人ホームなど施設が沢山出来て、安価な賃金で入所出来ます様お願い致します。 ○高齢者の健康づくりに力を入れていることを強く感じます ○高齢者の多い町として、町民が楽しく集える場所娯楽施設が全然無いのは不満です ○高齢化が進むと、ゴミ出しや買い物など大変になる問題も出てくると思います。それを支援するボランティア活動をしていけたらと考えています。 ○民生委員は高齢者宅の訪問をすべきと想う。</p>
<p>学校・教育環境</p>	<p>○山元町の小・中学生の学力向上に本格的な取り組みを実施する ○小学校、中学校の再編を早く進めてほしい。生徒の人数や部活の部員数の少なさを聞くと、山元町の小中学校に子どもを通わせたくない ○小中学生にこの町を好きになってもらうとりくみの実施 ○学校が一本化したら通学が大変になってしまうと思う ○小中学校の教室にクーラーの整備が必要 ○「子育てするなら山元町」と言うけれど、他市町との違いを感じない。たとえば、高校生の定期代を全額町で負担するなど、思い切ったことをすべき。 ○子どもの数が少なくなってクラスの人数が少なくなってしまったが、逆に先生が一人当たり子どもを見る時間が増えたと考え、学力向上のチャンスとする。</p>
<p>交通</p>	<p>★公共交通機関を充実させる ★町民バスの町民バスの本数を通勤通学時間に合わせて増便することや、乗降を自由にできるようにするなどの改善してほしい ☆車がないと生活が出来ない点が多々。とても不便です ☆自動車免許証の返納をすると、買い物・病院などの生活ができなくなるので、車に乗らなくても生活できる交通環境が必要 ○つばめの杜大橋の勾配が急なので自転車では登りづらく、途中から出入りが出来ないなので、その都度中央公園の交差点まで出なければならぬが大変。改善してほしい ○目玉道路として太い道路が欲しい ○仙台までのJRの快速化、本数を増やしてほしい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○農道すべてに橋があれば、浜から岡への道路が何十本と出来避難以外でも農作業の効率化にも一助となると思う ○タクシーを深夜にも使えるようにしてほしい ○山下駅の駐車場の無料化 ○ぐるりん号の運行ルートをもっと町中に張り巡らせてほしい ○バスは赤字なので要らないのでは？
観光・町のPR	<ul style="list-style-type: none"> ☆いちご狩り以外に観光できる所や遊べる所が少なく、せっかく来ても物足りなく感じるので、いちご狩り以外の観光、集客方法も作っていくべき ☆電車で来た人などいちご狩りで観光に来た人が、それで帰るのではなく様々な場所がまわれるようなバスなどあれば、山元町の良さが発見できると思う ☆自然環境を活かした、BBQやキャンプ場、釣りができるアウトドア施設があるといいと思う ○遠くからの観光客、研修生などが宿泊できるビジネスホテルのような施設があると便利だと思う ○歴史的重要な文化財等が眠っているのではないだろうか。これ等のものを掘り下げてその価値を解り易く発信してほしい ○「ホッキーくん」のグッズを作って売り出して山元町を全国にPRする ○山元町交流拠点施設に体験コーナーを設ける（竹を使った玩具、はらこめし、苺ジャム作り、工芸品製作等々） ○ご当地グルメの開発 ○農業体験ができる民泊
イベント・交流	<ul style="list-style-type: none"> ☆結婚出来るような政策とイベント・出会いの場を作る ○料理教室や陶芸教室など、年配の方から若い人まで楽しめるような企画があればいいと思う ○大学との連携（大学の研修施設を設置） ○昔の町内体育大会のような、町全体で盛り上げられる行事があるといい ○近隣の市町村と交流を深め、お互いに情報発進を行い、ウインウインの関係を築けたらより一層発展すると思う ○他市町村から人を呼び寄せるイベントの開催と積極的な発信と、他地域へPRできるイベントへの支援” ○文化講座の種類を増やしてほしい ○山元町ならではの目玉になるイベントなどをもっと増やして、楽しみながら、安心して定住できる町づくりをすれば、他からの移住者が増えるかもしれないね。
医療・健康・運動	<ul style="list-style-type: none"> ☆高齢者が元気に過ごせるように、運動できる場を整備してほしい ☆医療機関の充実（内科、耳鼻科、皮膚科、歯医者、外科）を行う ☆パークゴルフ場とかテニス、グラウンドゴルフなど、スポーツの出来る場所があると良いと思う ○宮城病院の事について！！山元町に住んで長年通院しているにもかかわらず、3ヶ月通院しないと¥3000の初診料を請求されるのは、どんなものでしょう。
公害・衛生・町の美化	<ul style="list-style-type: none"> ★道沿いや空き地の草刈りをしてほしい ☆沿岸地域や糞尿施設近くの異臭問題を解決してほしい ○ゴミの不法投棄が多いため、町を美しくするという町民の意識の改善を行う ○暴力団や暴走族のトラブルが出てきています。対策が必要 ○上下水道の完備 ○6号線の車などの騒音を何とかしてほしい

治安・災害や安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ○豪雨で川の水があふれる場所があり、対策に川の雑草などの整備をしてほしい ○防災無線の設置や街灯の設置の徹底 ○歩道と家が近すぎて歩道から知らない人が入るのは防犯上悪いため、改善が必要 ○災害時の危険か所の点検。など地域に目を向けてほしい
町民関係	<ul style="list-style-type: none"> ○地元愛が強く町民同士とても仲良く素晴らしいと思う ○他の町から来た人に対してはつめたい人間が多い ○山元町独自のルールがあり移住者に親切でない ○町内会費が高いため、安くしてほしい ○各種協同作業体力に見合った作業にし、高齢者に配慮していただきたい
施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> ☆空き家の活用（子連れ可能なc a f eや、高齢者・地域の人が集まれるコミュニティの場所としてなど） ○休耕地の活用（太陽光発電への農地の貸し出しなど） ○中小学校の統合による校舎の活用（コンサート等に活用するなど） ○山下駅の後ろの建物を活用する
行政・役場	<ul style="list-style-type: none"> ☆役場のあいさつ・対応を改善してほしい ○地名やこれまでの歴史にとらわれた地域運営は、町の活性化のさまたげになっていると感じる。歴史は大切だが、それは文献などに残すようにし新しい地域運営を、思いきって行う必要があると強く感じる。 ○大震災後、行政に対し、信頼感がありません ○町民不在の行政色が強いと感じています。事前の説明不足、結果有りきの行政、長年住んでいるが一部の人間の為の行政運営を感じます。 ○役場職員も町に住む等の独自の考案をお願いしたい ○支援が必要な方には、きちんと支援をしてほしい。そして支援の内容をきちんと説明を家族の方にしてほしい。 ○行政のやる気の改革と柔軟な対応 ○5年、10年先の人口を予測し、目先の近年事業も考慮しつつ、背伸びしない無理のない「実現可能」な計画が必要。 ○三地区の復興住宅の管理費、空き家、空き室対策はどのように考えているか知りたい。町民の負担は？ ○山元町長が若い人にならないかぎり、なにをやってもムリ、ムダです。 ○職員の方々の意識改革と町民の意見をよく聞き、お互いに良い町作りをして行きたい ○箱物建設行政で将来へ負担をかけているので山元には将来は期待しません。 ○山元町発展の為、益々施策的がんばって下さい。 ○役場の職場環境が極めて暗い！まるで葬儀場の様。 ○町内の放送が多く、音が大音響なので、外で作業していると、びっくりする事が多々あります ○町会議員の活動、町内を定期的に巡回して、町民と会話して戴きたい。 ○山元町に対しての意見等言っても何も変わらないと思います。町民の事を本当に考えているならば、いろんな面で変化が出来ると思われませんが、今は、山元町には、住みたくない気持ち有り。以上です。 ○この様な町作りでは、将来山元町は発展するとは思えません。他の市町村を見て本当に間違っていない居ませんか？学校縮小の問題時も。 ○震災前の町の発展はあまり（全然）なかったが震災後の町の発展はすばらしい。これも町長のリーダーシップのおかげであると感謝しております。山元町の立地条件は恵まれており（高速道路・常磐線）今後ますます発展するこ

	<p>とが期待されます。まずは人口増を目標に頑張ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町長の独断専行とならぬよう多くに計らい、将来を見据えて計画推進されることを望みます。 ○住民の意見もっときけ、無視するな、弱者いじめか？ ○職員には「職業だより」は必ず読ませろ。あまりにも知識が無さすぎる。町長は、4年間でできることをやれ。選挙のマニフェストがあいまいだ。 ○一般的な質問をして町民の意見としてまとめるのは、いかがなものかと思う。町長みずから、町民の全員の声を聞き、どうあるべきか考えるぐらいのことが必要だと思う。 ○町長の在任期（4年）に方針継続と限らないのだから10年毎ではなく8年毎の作成も検討されてはいかがでしょう。 ○山元町長が若い人にならないかぎり、なにをやってもムリ、ムダです。 ○宮城県で山元町よりはるかに利便性が悪い地域で、いろんな産業が活性化している町があるのを、町長や議員の人はどの様に思い考えて、今後の山元町ありかたを進めて行くのか。その責任をどの様にはたして行くのか？自分から町長及び議員になったのであれば、それなりの責任を持って仕事をしてほしい。 ○町政を担う人は、住民のことをよく考える人でないといけない。 ○坂元に道の駅、誰もが赤字と考えている町民の声と言いながら人の少ない場所に店がなりたつわけがない。北海道夕張になりかねない。考えなおすべきだ。議会が通ればそれでよしではない。努力しても自然災害と同じでどうしようもない分もある。よく考えて？ ○町長の公約＝町づくりありきではない！！各種事業、計画等での説明会ではなく、協議、討論、議論して町づくりをすべきである。このことにより、人材育成、人材発掘にもつながるのである。町長は独裁者ではなく、リーダーであり、リーダーシップを発揮すべきである。町民の声に耳を傾け、町民の声を聞くべし！！ ○コンパクトシティは行政が楽なだけです。住民の幸せを考えたら、それはできないはず！もっとこの町の、この地域の良さを知って住んでいて幸せな町にしてほしい。
--	--

II 第6次山元町総合計画策定に向けた町民意向調査の概要(若者意向調査)

1 調査目的

本調査は、震災からの復旧・復興期を越えて、人口減少・少子高齢化を十分に踏まえながら新たな10年後の町の将来像の提示とその実現に向けた施策体系を内容とする「第6次山元町総合計画」の策定に向けて、将来の山元町のまちづくりを担う若者（15歳から22歳）に対して、まちづくりに対する意見を把握することを目的とする。

2 調査対象

15歳から22歳の山元町町民

3 調査方法

行政文書配達による配布、及び郵送による回収（一般町民アンケートに同封）

4 調査期間

平成30年8月15日から平成30年10月17日（現在）

5 配布回収状況（10月17日現在）

配布数	回収数	有効票数	回収率
4732票（一般町民アンケートに同封のため）	405票	138票	—

※若者の意見のみの抽出を目的とするため、年齢記入欄への回答が15歳から22歳以外、及び無回答であった267票は無効票とする。

報告書に関する説明・読む際の留意点

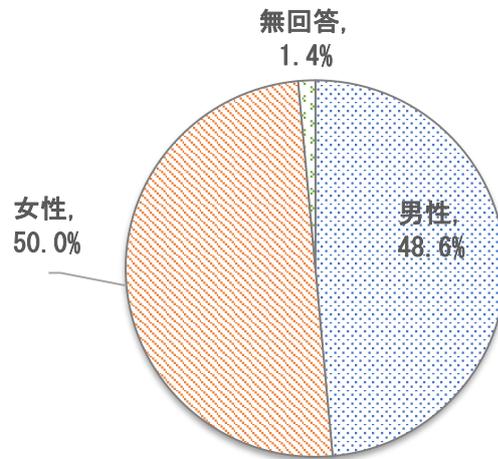
- ・調査結果の図表は、原則として回答者の構成比、百分率（%）で表す。
- ・図表の百分率は回答者を100%として算出しているが、本文及び図表は、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、比率の合計が100%とならない場合がある。また、複数回答の設問の場合、その比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・図表内に示されている「n」は構成比算出の母数（集計された人数の合計）を表す。
- ・設問の中には限定設問（条件の合った回答者のみが回答する設問）があり、その設問の場合、「n」は回答者全数より少ない場合がある。
- ・回答者が皆無の設問項目は、数表中では0.0%と表記されるが、図表中では表記しない。
- ・設問同士を掛け合わせ、回答比率を分析するクロス集計を行うが、その際に構成比算出の母数が少数になる場合があり、各比率に大きな偏り・特徴が発生することがあるため、図表の読み取りには注意が必要である。
- ・集計結果に対する説明文・分析文が設問ごとに記載されているが、具体的な項目に対する回答の特徴を重視するため、原則的に「その他」「無回答」の比率の結果に対しては、特別記載することはない。また、クロス集計において双方の回答が「無回答」であった場合、図表中では表記しない。
- ・図表のタイトルや設問の選択肢の語句はそのまま記載しているが、語句の長いものについては、省略して記載する場合がある。
- ・「その他」を含む自由記入に対しては、文章の書き方に相違があっても内容が同じものであれば同じ意見として扱い、その場合、集計番号の若い意見を代表として記入する。またその際、理解しやすい文章にするため、内容に変化のないように語尾の修正や文章の並び替え、補足・省略を行う場合がある。

(1) 回答者の属性について

性別

回答者の性別について、「男性」が48.6%、女性が50.0%となった。

	回答数	割合
男性	67	48.6%
女性	69	50.0%
無回答	2	1.4%
総数	138	100.0%

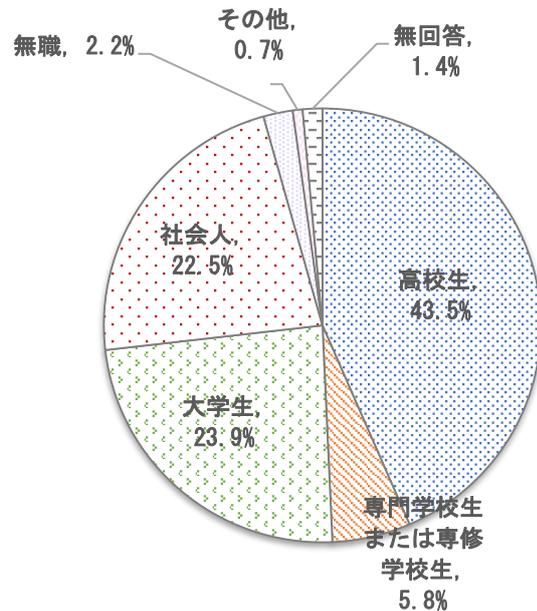


n=138

所属

回答者の所属について、「高校生」が43.5%と最も高く、次いで「大学生」が23.9%、「社会人」が22.5%となった。

	回答数	割合
高校生	60	43.5%
専門学校生または専修学校生	8	5.8%
大学生	33	23.9%
社会人	31	22.5%
無職	3	2.2%
その他	1	0.7%
無回答	2	1.4%
総数	138	100.0%



n=138

その他について

「その他」が選択されていたが、具体的な意見の記入はなかった。

(2) 将来について

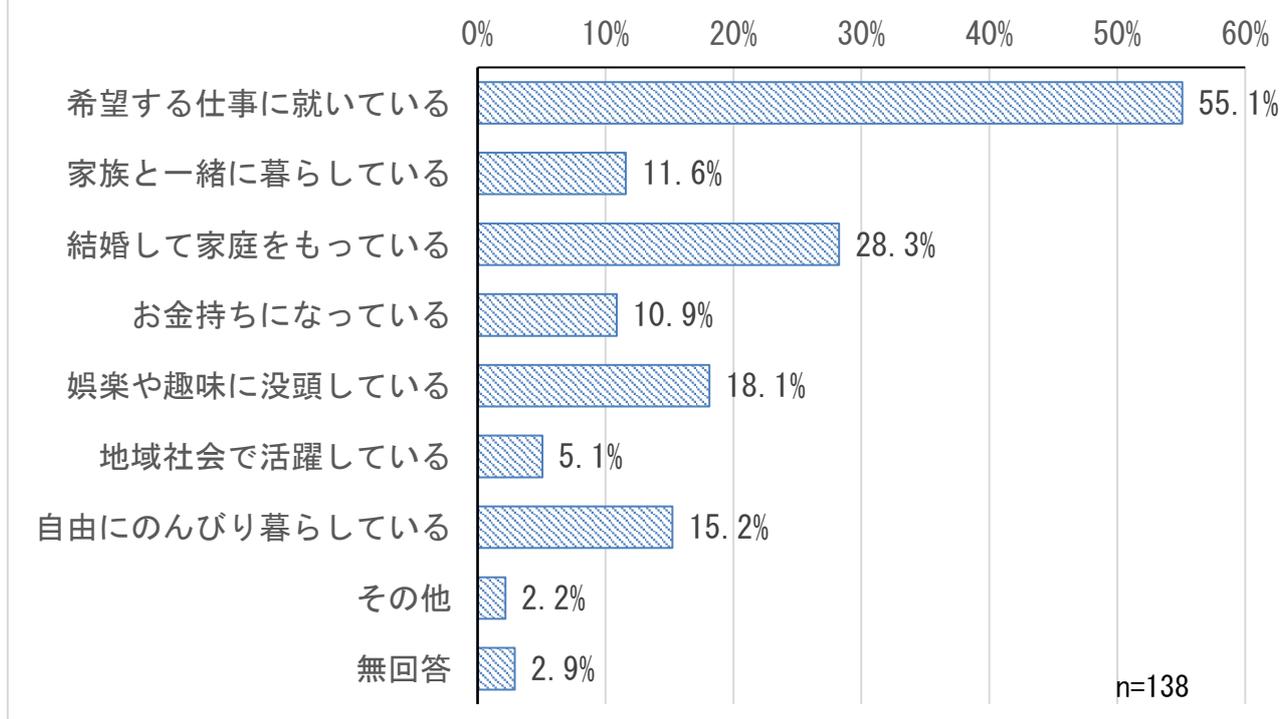
10年後の暮らしイメージ (2つまで選択)

10年後にしていきたい暮らしのイメージについて、「希望する仕事についている」が55.1%と最も高く、次いで「結婚して家庭を持っている」が28.3%となった。

最も低かったのは「地域社会で活躍している」の5.1%となった。

所属別に見ると、この先に就職を控える高校生や専門学校生または専修学校生、大学生で「希望する仕事についているが高くなった。また、専門学校生または専修学校生と社会人で「結婚して家庭を持っている」、高校生と社会人で「娯楽や趣味に没頭している」が高くなった。

10年後、どのような暮らしをしていきたいか (全体)

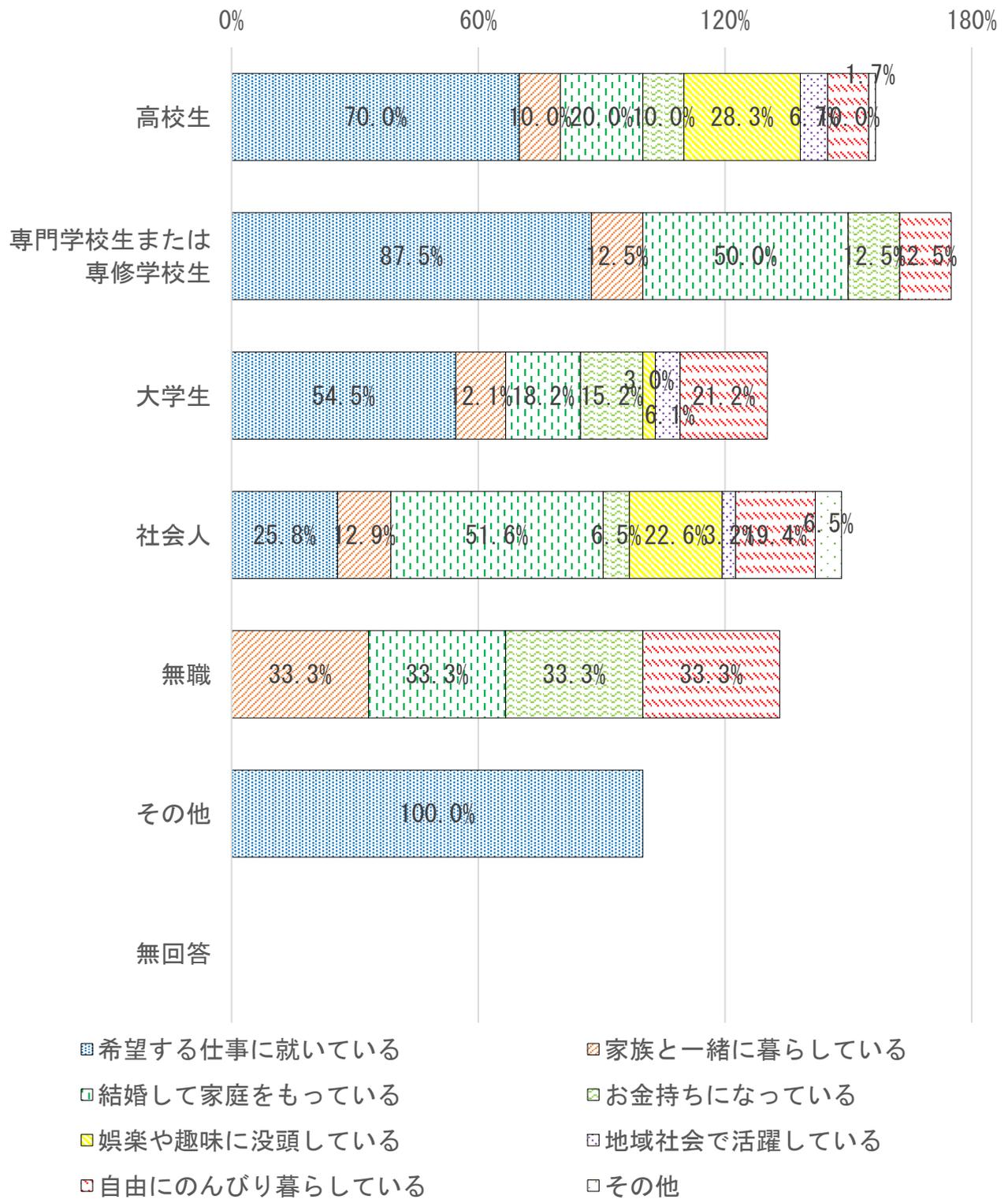


※複数回答のため合計100%にならない

その他について

「その他」が選択されていたが、具体的な意見の記入はなかった。

10年後、どのような暮らしをしていきたいか（所属別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 10年後、どのような暮らしをしたいか

	総数	希望する仕事に就いている	家族と一緒に暮らしている	結婚して家庭をもっている	お金持ちになっている	没頭している 娯楽や趣味に	活躍している 地域社会で	自由のんびり暮らしている	その他	無回答
総数	138	76	16	39	15	25	7	21	3	4
		55.1%	11.6%	28.3%	10.9%	18.1%	5.1%	15.2%	2.2%	2.9%
高校生	60	42	6	12	6	17	4	6	1	1
		70.0%	10.0%	20.0%	10.0%	28.3%	6.7%	10.0%	1.7%	1.7%
専門学校生または専修学校生	8	7	1	4	1	0	0	1	0	0
		87.5%	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
大学生	33	18	4	6	5	1	2	7	0	0
		54.5%	12.1%	18.2%	15.2%	3.0%	6.1%	21.2%	0.0%	0.0%
社会人	31	8	4	16	2	7	1	6	2	1
		25.8%	12.9%	51.6%	6.5%	22.6%	3.2%	19.4%	6.5%	3.2%
無職	3	0	1	1	1	0	0	1	0	0
		0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

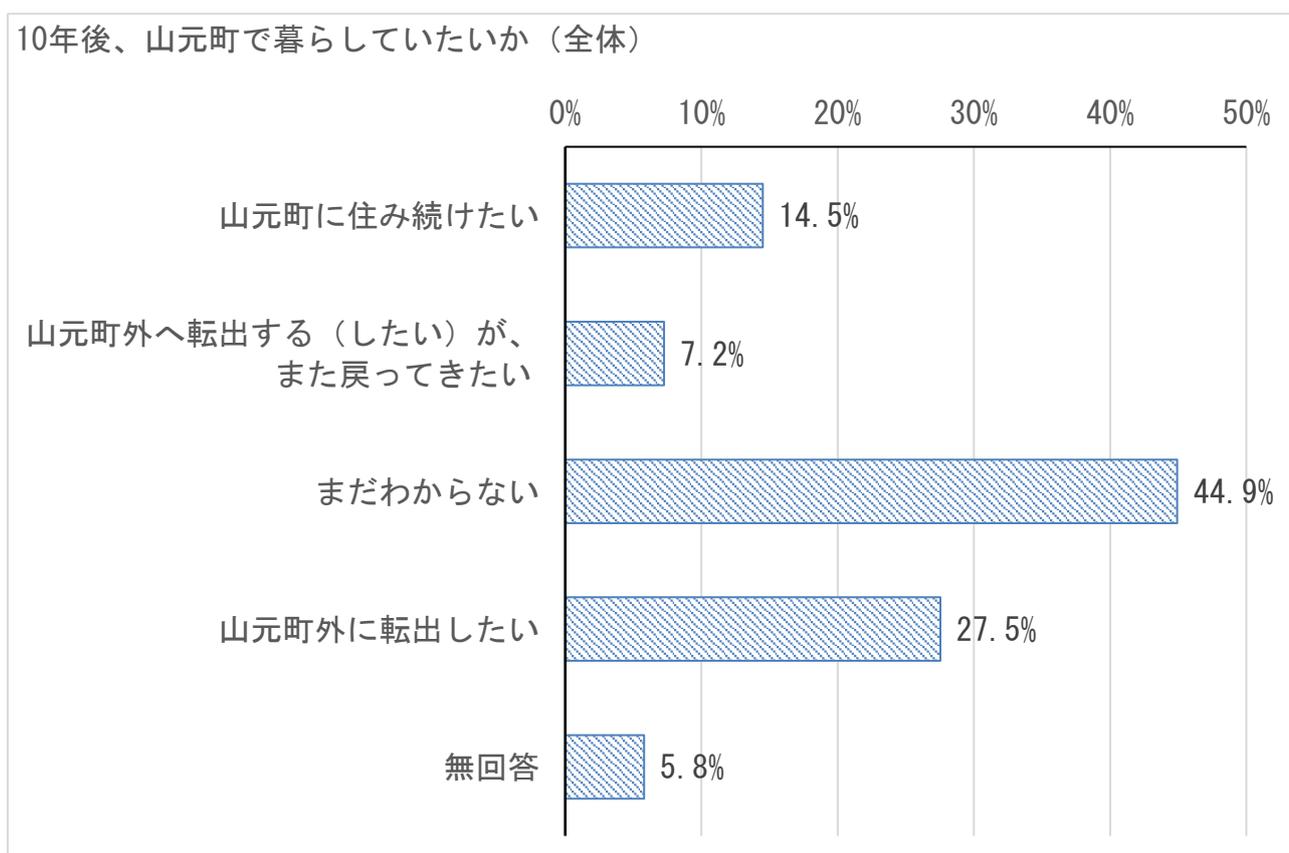
※複数回答のため合計が100%にならない

10年後の居留意向（10年後、山元町で暮らしたいと思うか）

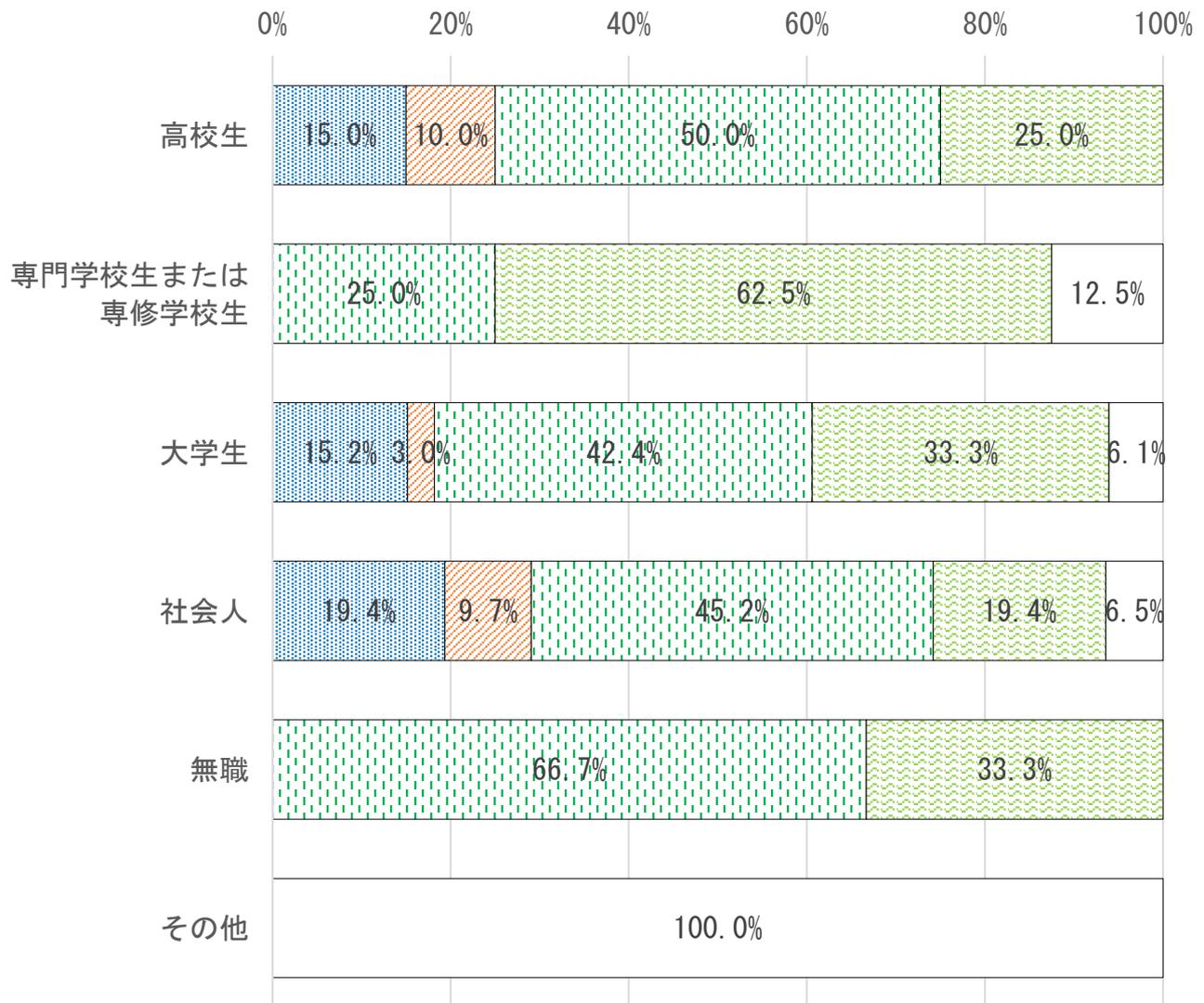
10年後の居留意向について、「まだわからない」が44.9%と最も高く、次いで「山元町外に転出したい」が27.5%となった。

「山元町外へ転出する（したい）が、また戻ってきたい」は7.2%と低かった。

所属別に見ると、高校生と無職で「まだわからない」、専門学校生または専修学校生で「山元町に住み続けたくない」が高くなった。



10年後も山元町で暮らしていきたいと思うか（所属別）



- 山元町に住み続けたい
- 山元町外へ転出する（したい）が、また戻ってきたい
- まだわからない
- 山元町外に転出したい
- 無回答

表 10年後も山元町で暮らしていきたいと思うか

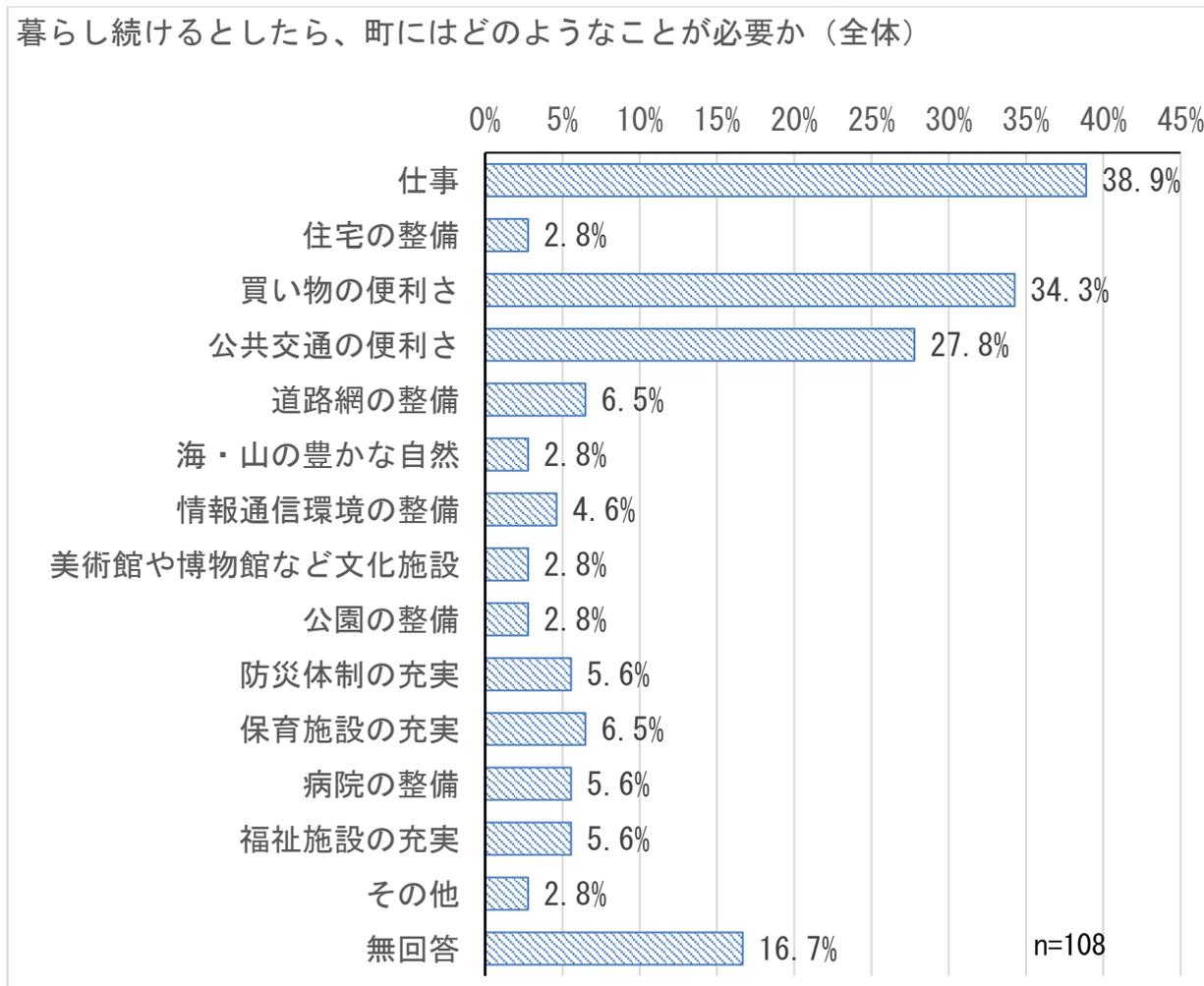
	総数	山元町に住み続けたい	山元町外へ転出する(したい)が、また戻ってきたい	まだわからない	山元町外に転出したい	無回答
総数	138	20	10	62	38	8
	100.0%	14.5%	7.2%	44.9%	27.5%	5.8%
高校生	60	9	6	30	15	0
	100.0%	15.0%	10.0%	50.0%	25.0%	0.0%
専門学校生 または 専修学校生	8	0	0	2	5	1
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%
大学生	33	5	1	14	11	2
	100.0%	15.2%	3.0%	42.4%	33.3%	6.1%
社会人	31	6	3	14	6	2
	100.0%	19.4%	9.7%	45.2%	19.4%	6.5%
無職	3	0	0	2	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
その他	1	0	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	2	0	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

山元町で暮らし続けるとしたら、町にはどのようなことが必要か（2つまで選択）

山元町で暮らし続けることで必要な定住条件として、選択項目の中で最も割合が高かったのは、「仕事」の38.9%となり、次いで「買い物の便利さ」が34.3%、「公共交通の便利さ」の27.8%となった。

最も低かった項目として、「住宅の整備」「海・山の豊かな自然」「公園の整備」が2.8%で並んだ。

所属別に見ると、専門学校生または専修学校生で「公園の整備」「病院の整備」が高く、高校生や大学生、社会人、無職で「買い物の便利さ」「公共交通の便利さ」の回答割合が高くなった。また、無職と無回答以外のすべての所属で「仕事」が重要という回答が高かった。

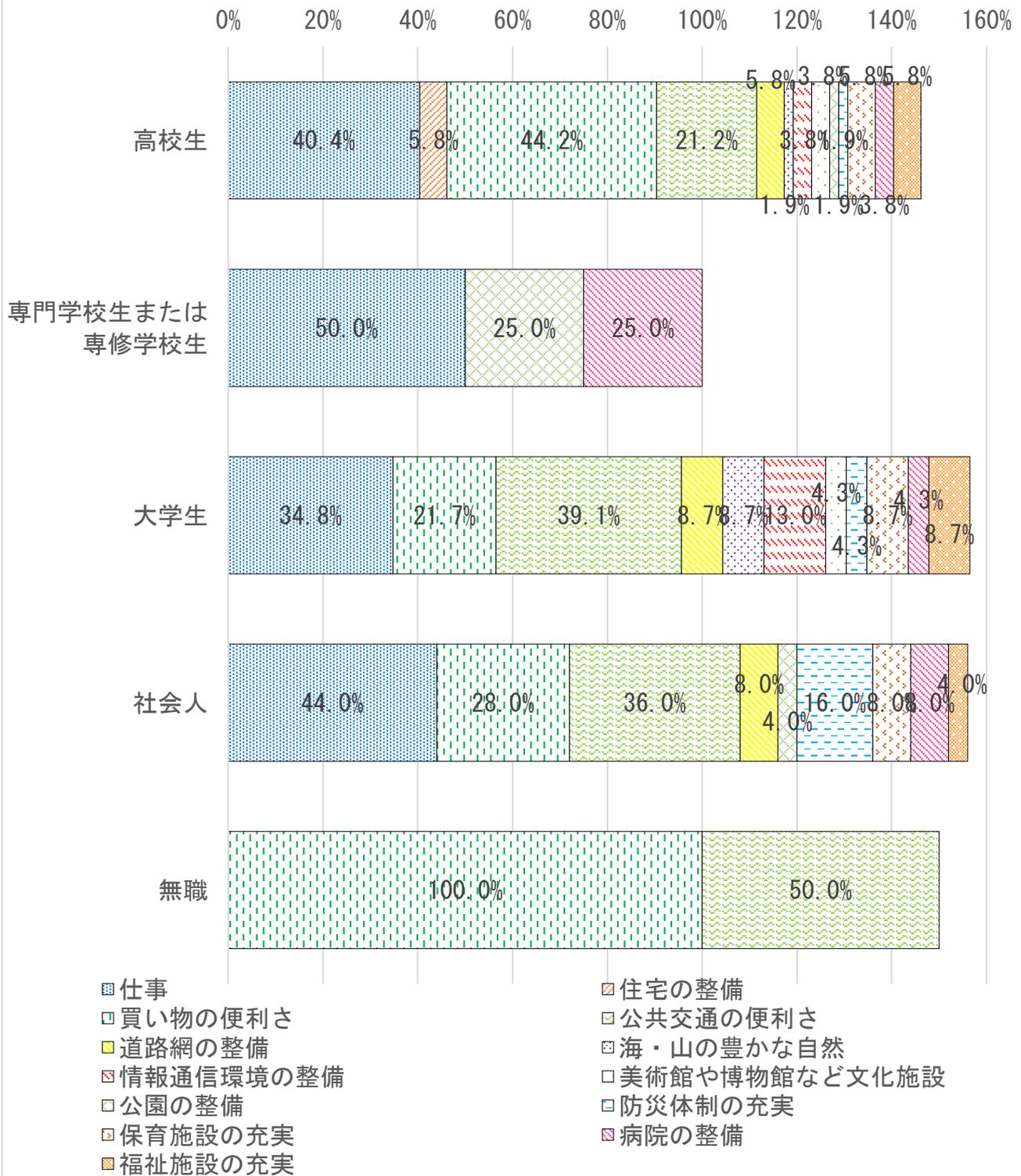


※複数回答のため合計100%にならない

その他について

「その他」が選択されていたが、具体的な意見の記入はなかった。

町で暮らし続けるとしたら、町には何が必要か（所属別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 暮らし続けるとしたら、町にはどのようなことが必要か

	総数	仕事	住宅の整備	買い物の利便さ	公共交通の利便さ	道路網の整備	豊かな自然 海・山の	情報通信環境の 整備	美術館や博物館 など文化施設	公園の整備	防災体制の充実	保育施設の充実	病院の整備	福祉施設の充実	その他	無回答
総数	108	42	3	37	30	7	3	5	3	3	6	7	6	6	3	18
		38.9%	2.8%	34.3%	27.8%	6.5%	2.8%	4.6%	2.8%	2.8%	5.6%	6.5%	5.6%	5.6%	2.8%	16.7%
高校生	52	21	3	23	11	3	1	2	2	1	1	3	2	3	2	9
		40.4%	5.8%	44.2%	21.2%	5.8%	1.9%	3.8%	3.8%	1.9%	1.9%	5.8%	3.8%	5.8%	3.8%	17.3%
専門学校生 または 専修学校生	4	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
大学生	23	8	0	5	9	2	2	3	1	0	1	2	1	2	0	3
		34.8%	0.0%	21.7%	39.1%	8.7%	8.7%	13.0%	4.3%	0.0%	4.3%	8.7%	4.3%	8.7%	0.0%	13.0%
社会人	25	11	0	7	9	2	0	0	0	1	4	2	2	1	1	2
		44.0%	0.0%	28.0%	36.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	16.0%	8.0%	8.0%	4.0%	4.0%	8.0%
無職	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他																
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

※複数回答のため合計が100%にならない

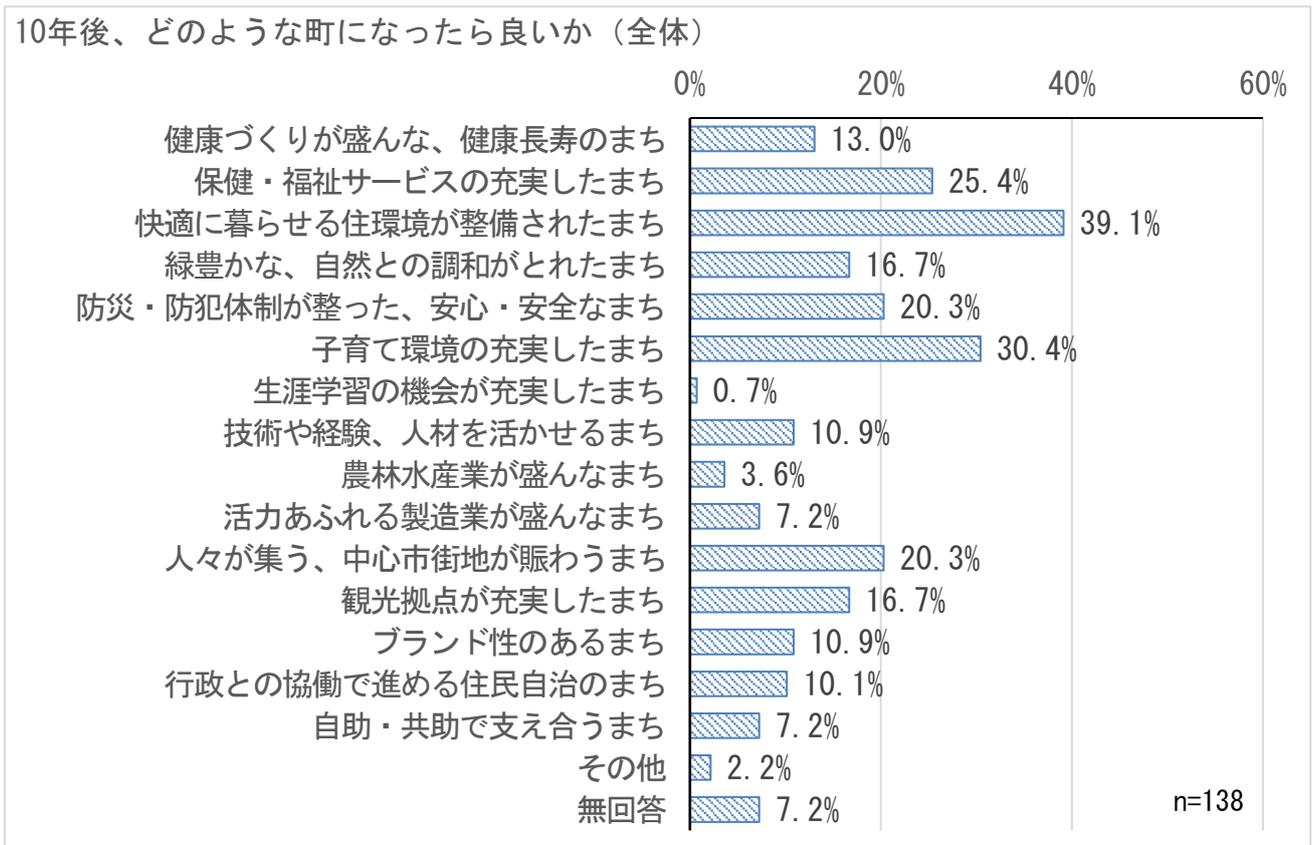
この設問は限定設問であるため、「n」（集計された人数）が少なくなっている。

10年後の山元町はどのような町になったら良いか（3つまで選択）

10年後になっていたら良い山元町のイメージとして、「快適に暮らせる住環境が整備されたまち」が39.1%と最も高く、次いで「保健・福祉サービスの充実したまち」の30.4%となった。

最も低かったのは「生涯学習の充実したまち」の0.7%となった。

所属別に見ると、全体的になっていたら良いイメージは分散しており、偏りは比較的小さいが、専門学校生または専修学校生で「ブランド性のあるまち」、大学生で「子育て環境の充実したまち」、社会人で「防犯・防災体制が整った、安心・安全なまち」が比較的に高くなるなどの特徴があった。

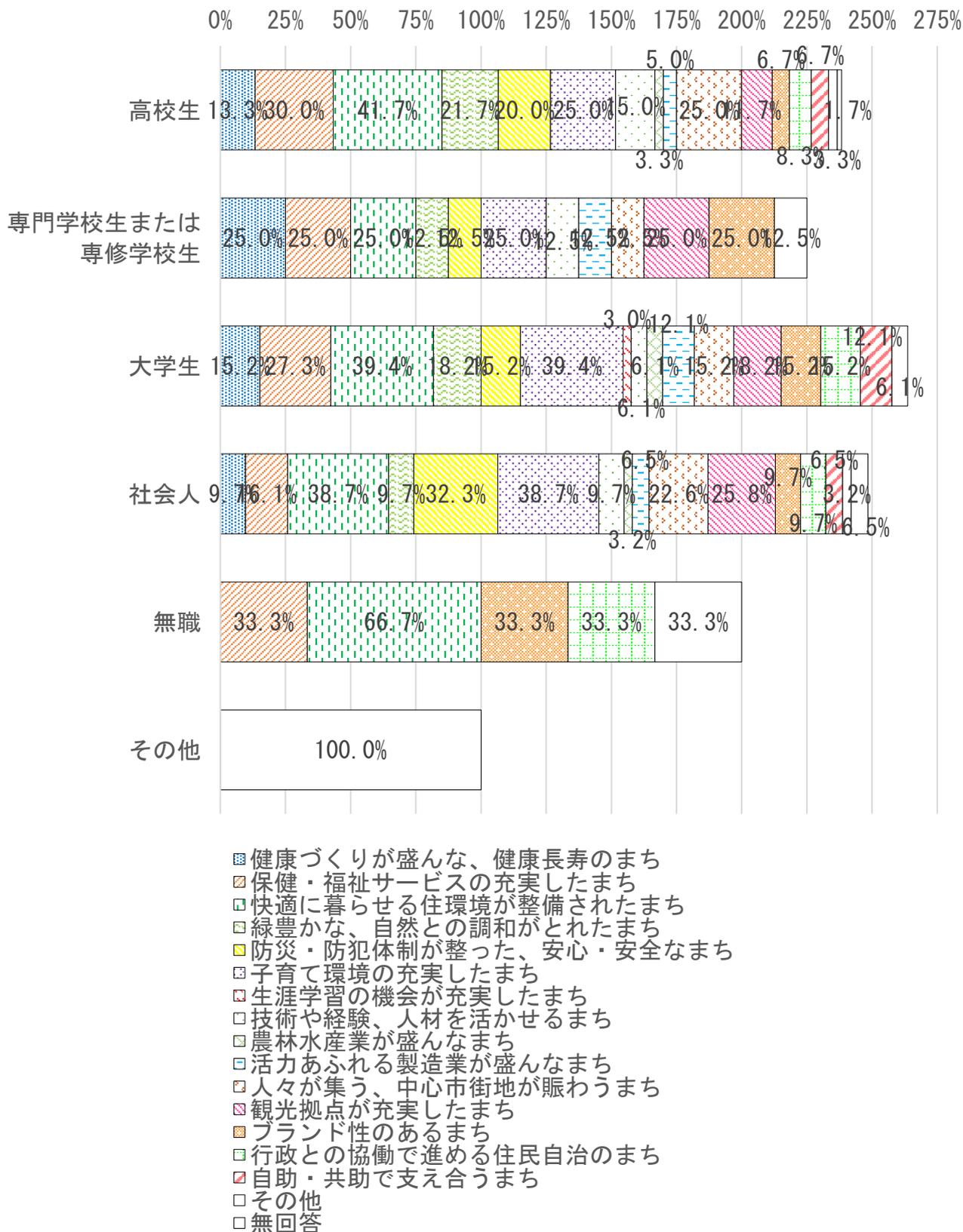


※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見として以下のようなものがあった。

- ・生き物を大切にする町
- ・何もわからない

10年後、どのような町になったら良いか（所属別）



※複数回答のため合計 100%にならない

表 10年後、どのような町になったら良いか

	総数	健康づくりが盛んな、健康長寿のまち	保健・福祉サービスの充実したまち	快適に暮らせる住環境が整備されたまち	緑豊かな、自然との調和がとれたまち	防災・防犯体制が整った、安心・安全なまち	子育て環境の充実したまち	生涯学習の機会が充実したまち	技術や経験、人材を活かせるまち	農林水産業が盛んなまち	活力あふれる製造業が盛んなまち	人々が集う、中心市街地が賑わうまち	観光拠点が充実したまち	ブランド性のあるまち	行政との協働で進める住民自治のまち	自助・共助で支え合うまち	その他	無回答
総数	138	18	35	54	23	28	42	1	15	5	10	28	23	15	14	10	3	10
		13.0%	25.4%	39.1%	16.7%	20.3%	30.4%	0.7%	10.9%	3.6%	7.2%	20.3%	16.7%	10.9%	10.1%	7.2%	2.2%	7.2%
高校生	60	8	18	25	13	12	15	0	9	2	3	15	7	4	5	4	2	1
		13.3%	30.0%	41.7%	21.7%	20.0%	25.0%	0.0%	15.0%	3.3%	5.0%	25.0%	11.7%	6.7%	8.3%	6.7%	3.3%	1.7%
専門学校生または専修学校生	8	2	2	2	1	1	2	0	1	0	1	1	2	2	0	0	0	1
		25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
大学生	33	5	9	13	6	5	13	1	2	2	4	5	6	5	5	4	0	2
		15.2%	27.3%	39.4%	18.2%	15.2%	39.4%	3.0%	6.1%	6.1%	12.1%	15.2%	18.2%	15.2%	15.2%	12.1%	0.0%	6.1%
社会人	31	3	5	12	3	10	12	0	3	1	2	7	8	3	3	2	1	2
		9.7%	16.1%	38.7%	9.7%	32.3%	38.7%	0.0%	9.7%	3.2%	6.5%	22.6%	25.8%	9.7%	9.7%	6.5%	3.2%	6.5%
無職	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
		0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

※複数回答のため合計が100%にならない

まちづくりに関する意見や提案（自由記入）

山元町のまちづくりに対しての主な意見や提案について、以下のような意見があった。

（文章の書き方に相違があっても内容が同じ回答であれば同じ意見として扱い、その場合、集計番号の若い意見を代表として記入する。またその際、理解しやすい文章にするため、内容に変化のないように語尾の修正や文章の並び替え・補足を行う場合がある。）

★：記述された数が10個以上あった意見内容の項目

☆：記述された数が5から9個あった意見内容の項目

○：記述された数が1から4個あった意見内容の項目

店・商業 について	<ul style="list-style-type: none"> ○ミニストップを坂元に作ってほしい ○書店が欲しい ○店を増やしてほしい ○山下駅周辺だけではなく山一小周辺もお店がほしい ○コンビニエンスストアもあると、更に便利になると思う ○企業誘致をすることにより、活気のある町になるのでは！
施設・設備 について	<ul style="list-style-type: none"> ○花釜にも公園が欲しい。これまでのまちづくりにおいて、歩道の整備は良かった ○駅付近に静かな図書館があると良いと思う ○スポーツ関連の新しい施設を作ってほしい ○医療病院の整備が足りないと思う 町外にほとんど頼っている状態なので不安です
まちづくりの 方針について	<ul style="list-style-type: none"> ○山下地区ばかり力を入れるのではなく、他の地区の整備にも力を入れてほしい。友人たちに自分の町をPRできるものがない ○町として発展するには、若者をよびこまなければいけないと思います
自然・環境 について	<ul style="list-style-type: none"> ○町の活性化のために色々なものを作るのは良い事だと思いますが、もっと緑を大切にしたい ○ムーミン谷のような自然のある町
安心・安全 について	<ul style="list-style-type: none"> ○雨や台風の影響で道路がいたんでいても工事が遅く危険な所がある。早くすすめてほしい！！1年経ってもそのままの所がある ○県道について街灯が暗い。農道の街灯もほぼなく、安全安心なまちづくりのため、充実させてほしい。夜間は危険で通学時など困っている
地域の繋がり について	<ul style="list-style-type: none"> ○震災後新たに転入した単独世帯や核家族世帯の住民は孤立しがちであると思います。参加しやすい交流の機会や工夫を今後より検討していただけるとありがたいです
役場・行政 について	<ul style="list-style-type: none"> ○町の放送がとにかく多すぎる。7月中毎朝7:30に人権の放送など、住民の生活や子育てにとって迷惑になるものを控えてほしい ○町の行政が今よりも町民の声に耳を傾けてくれれば良いのではと思います。町のトップが町民の為の政治をしてくれればよいと思います ○様々な町のアンケートに回答していますが、何も改善されていないのでとても残念に思います ○施設や観光資源を充実させ町全体の暮らしやすさを追求するために、住民の声を深く聞き、可能な範囲で取り組み、長期的な計画づくりに取り組むことが大切
生活環境 について	<ul style="list-style-type: none"> ○とにかく不便です ○歩道がない道をもう少しキレイにしてほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○町に期待していない。

Ⅲ 第6次山元町総合計画策定に向けた町民意向調査の概要(中学生意向調査)

1 調査目的

本調査は、震災からの復旧・復興期を越えて、人口減少・少子高齢化を十分に踏まえながら新たな10年後の町の将来像の提示とその実現に向けた施策体系を内容とする「第6次山元町総合計画」の策定に向けて、現行施策の成果や町の将来像等に関する町民の考え・意見を把握し、計画に反映させることを目的に実施する。

2 調査対象

山下中学校、坂元中学校の全生徒、計271名（平成30年4月1日時点）

3 調査方法

学校での直接配布、及び回収

4 調査期間

平成30年10月4日から平成30年10月17日

5 配布回収状況

配布数	回収数	有効票数	回収率
271票	251票	251票	92.6%

報告書に関する説明・読む際の留意点

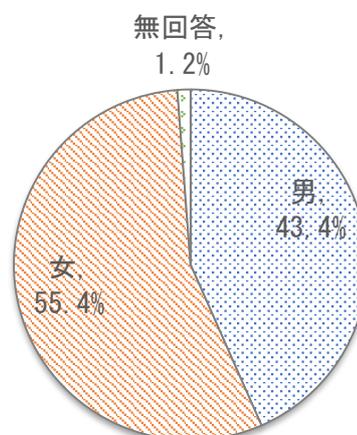
- ・調査結果の図表は、原則として回答者の構成比、百分率(%)で表す。
- ・図表の百分率は回答者を100%として算出しているが、本文及び図表は、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、比率の合計が100%とならない場合がある。また、複数回答の設問の場合、その比率の合計が100%を超える場合がある
- ・図表内に示されている「n」は構成比算出の母数(集計された人数の合計)を表す。
- ・設問の中には限定設問(条件の合った回答者のみが回答する設問)があり、その設問の場合、「n」は回答者全数より少ない場合がある。
- ・回答者が皆無の設問項目は、数表中では0.0%と表記されるが、図表中では表記しない。
- ・設問同士を掛け合わせ、回答比率を分析するクロス集計を行うが、その際に構成比算出の母数が少数になる場合があり、各比率に大きな偏り・特徴が発生することがあるため、図表の読み取りには注意が必要である。
- ・集計結果に対する説明文・分析文が設問ごとに記載されているが、具体的な項目に対する回答の特徴を重視するため、原則的に「その他」「無回答」の比率の結果に対しては、特別記載することはない。
- ・図表のタイトルや設問の選択肢の語句はそのまま記載しているが、語句の長いものについては、省略して記載する場合がある。
- ・「その他」を含む自由記入に対しては、文章の書き方に相違があっても内容が同じものであれば同じ意見として扱い、その場合、集計番号の若い意見を代表として記入する。またその際、理解しやすい文章にするため、内容に変化のないように語尾の修正や文章の並び替え、補足・省略を行う場合がある。

(1) 回答者の属性について

性別

回答者の性別について、男子が43.4%、女子が55.4%となった。

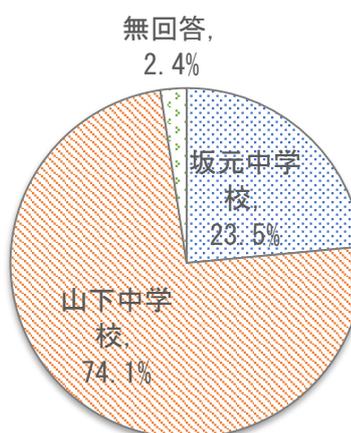
	回答数	割合
男	109	43.4%
女	139	55.4%
無回答	3	1.2%
総数	251	100.0%



通っている中学校

回答者の通っている中学校について、坂元中学校が23.5%、山下中学校が74.1%となった。

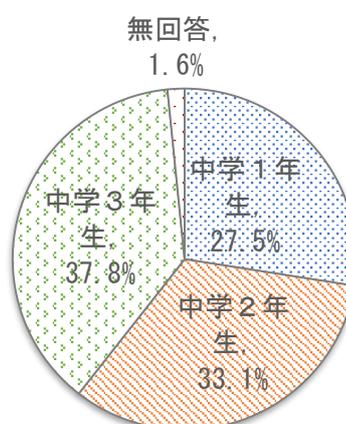
	回答数	割合
坂元中学校	59	23.5%
山下中学校	186	74.1%
無回答	6	2.4%
総数	251	100.0%



学年

回答者の学年について、中学1年生が27.5%、中学2年生が33.1%、中学3年生が37.8%となった。

	回答数	割合
中学1年生	69	27.5%
中学2年生	83	33.1%
中学3年生	95	37.8%
無回答	4	1.6%
総数	251	100.0%

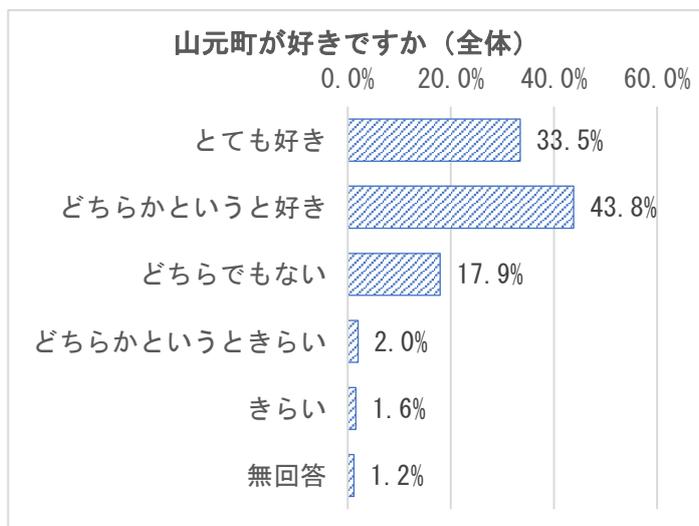


(2) 山元町について

あなたは、山元町が好きですか？

山元町が好きかについて、「とても好き」、「どちらかというとき好き」を合わせると、77.3%に達している。

	回答数	割合
とても好き	84	33.5%
どちらかというとき好き	110	43.8%
どちらでもない	45	17.9%
どちらかというとき嫌い	5	2.0%
嫌い	4	1.6%
無回答	3	1.2%
総数	251	100.0%

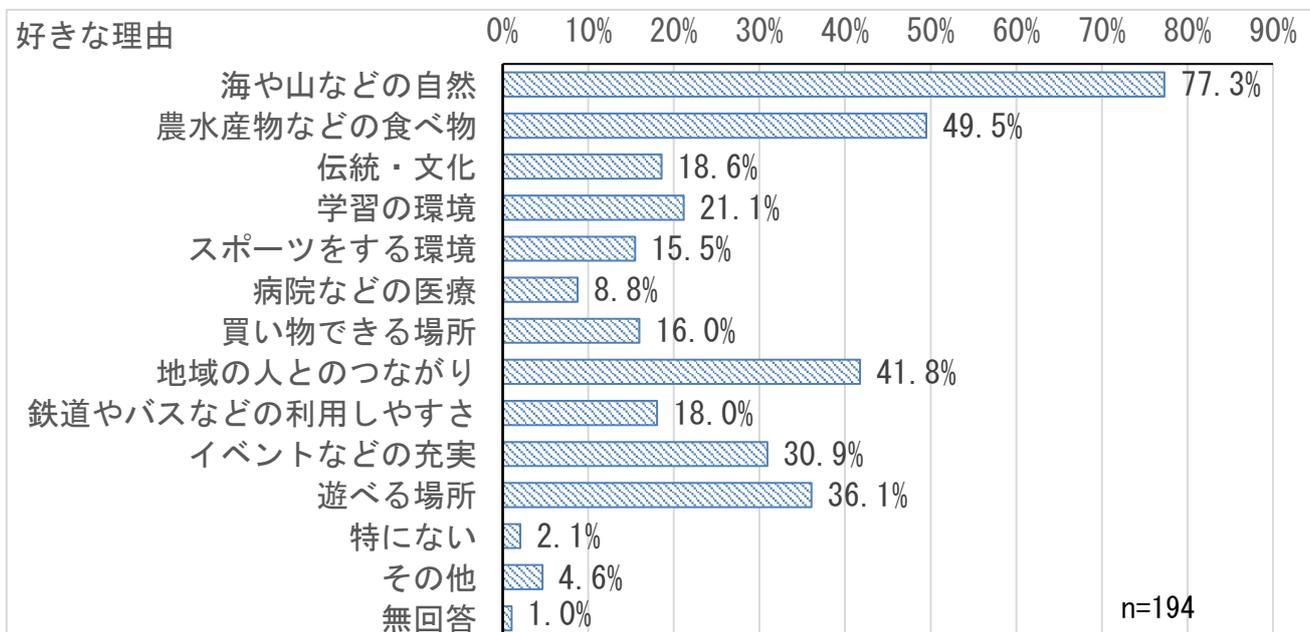


それは、山元町のどのようなところですか？（当てはまるものすべてを選択）

（上記設問で、「とても好き」「どちらかというとき好き」と回答した人は「好きな理由」、「嫌い」「どちらかというとき嫌い」と回答した人は「きれいな理由」を回答している。）

・「好き」「どちらかというとき好き」を選んだ場合の理由

山元町を「好き」または「どちらかというとき好き」である理由について、「海や山などの自然」が77.3%と最も高く、次いで「農水産物などの食べ物」が49.5%となった。



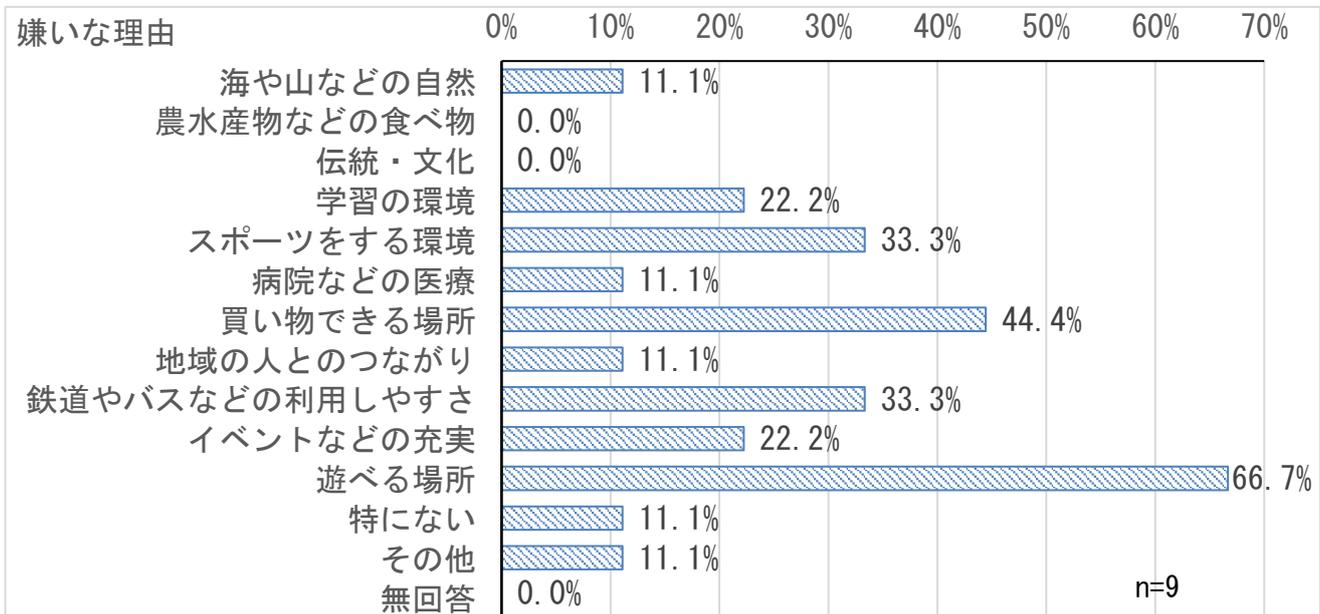
※複数回答のため合計100%にならない

その他の意見

- ・ 空気が良い
- ・ 地域の方々の優しさ、温かさ
- ・ 静かな雰囲気
- ・ 田舎と都会の中間
- ・ ずっと住んでいるから

・「きれい」「どちらかというときらい」を選んだ場合の理由

山元町を「きれい」または「どちらかというときらい」である理由について、「遊べる場所」が68.7%と最も高く、次いで「買い物できる場所の「44.4%」となった。



※複数回答のため合計100%にならない

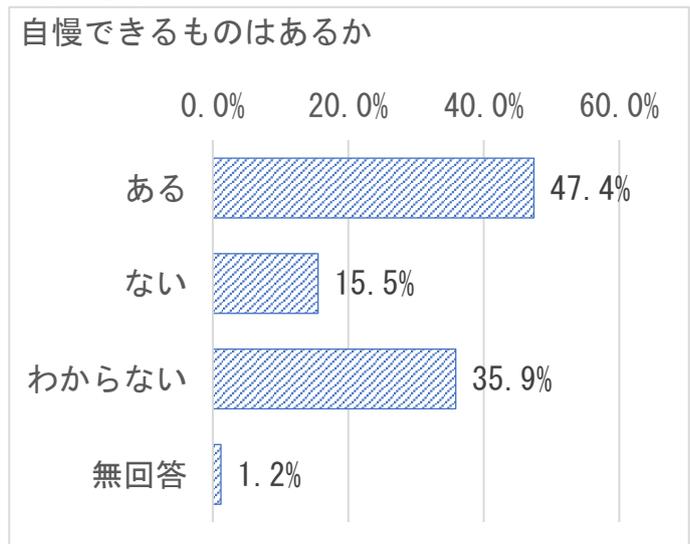
その他の意見

遊ぶところが限られているし、あってもつまらない。何もすることない

山元町外の人に、山元町に自慢できるものはありますか？

山元町に自慢できるものはあるかについて、「ある」が47.4%と最も高く、次いで「わからない」の35.9%となった。「ない」の回答は15.5%となった。

	回答数	割合
ある	119	47.4%
ない	39	15.5%
わからない	90	35.9%
無回答	3	1.2%
総数	251	100.0%



その理由

山元町に自慢できるものがあると答えた理由として、以下のようなものがあった。

★：記述された数が 10 個以上あった意見内容の項目

☆：記述された数が 5 から 9 個あった意見内容の項目

○：記述された数が 1 から 4 個あった意見内容の項目

分類	意見
食べ物や特産品について	<ul style="list-style-type: none"> ★おいしい食べ物がたくさんある ★イチゴやホッキ、はらこめしなどのおいしい特産品が豊富 ○ギョウザがものすごくおいしい、金ちゃんラーメン
自然環境について	<ul style="list-style-type: none"> ★自然が豊かなところ ☆人がごちゃごちゃしてなくて空気がおいしい ☆空気が澄んでいて、星空が綺麗だから ○海風がきもちよい ○紅葉がきれい（深山など）
地域の人とのつながりについて	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の人がとても優しい。 ☆人々との交流の場が多いこと ○道ですれ違っただけでもあいさつを交わすこと ○地域の基盤が小さいから、知っている人が多く、つながりが深いこと ○地域のみんなが協力していること
イベントや行事について	<ul style="list-style-type: none"> ☆たくさんのイベントがあり、充実している ○産業祭などのイベントで山元町の良いところを多くの人に PR できる ○季節ごとに祭りがたくさん行われている町 ○面白いイベントがある
まちづくり街並みについて	<ul style="list-style-type: none"> ○「復興」というものについてとても集中的にしているところ ○施設や公園などが新しい ○自由に借りて遊べる場所などがある。 ○駅がある ○静かで高齢の方に優しい町 ○活気あふれる町 ○山下中学校が立派
気候について	<ul style="list-style-type: none"> ○自然現象による被害が少ない ○一年中過ごしやすい気温だから
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○遺跡が多い ○ごみ、騒音 ○逆に何も無い所 ○医療費がかからないところ ○農業が盛ん

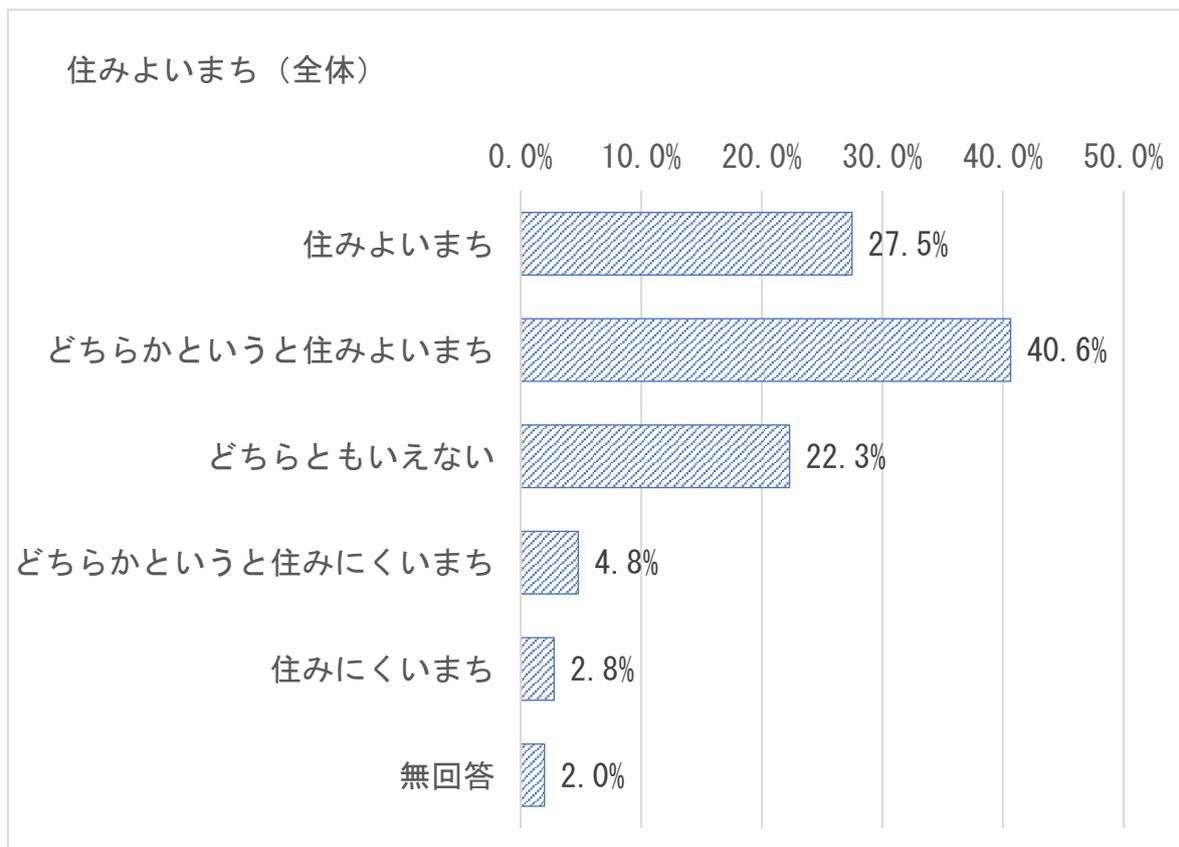
(3) 山元町のまちづくりについて

あなたにとって、山元町は住みやすいまちですか？

山元町の住みよさについて、「どちらかというに住みよいまち」が40.6%と最も高く、次いで「住みよいまち」が27.5%となった。「住みよいまち」及び「どちらかというに住みよいまち」を合わせた回答は、合計で68.1%となっている。

一方、「住みにくいまち」「どちらかというに住みにくいまち」は5%未満と少なくなった。

	回答数	割合
住みよいまち	69	27.5%
どちらかというに住みよいまち	102	40.6%
どちらともいえない	56	22.3%
どちらかというに住みにくいまち	12	4.8%
住みにくいまち	7	2.8%
無回答	5	2.0%
総数	251	100.0%



現在の山元町について、どのように思いますか？

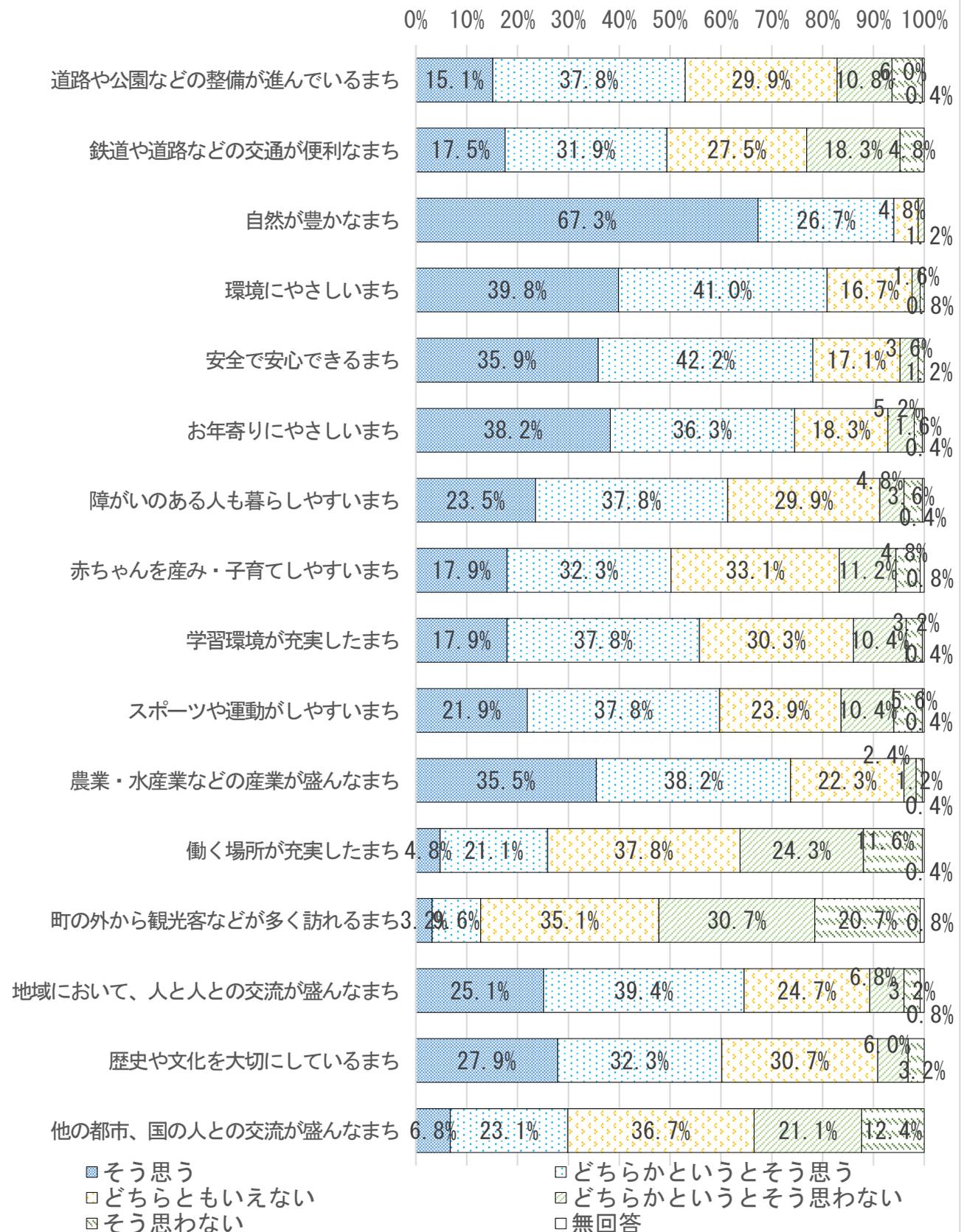
現在の山元町について、どのように思うかについて、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計の回答割合が最も高かったのは、「自然豊かな町」となり、94.0%が山元町を自然豊かなまちと思っている結果となった。次いで高かったのは、「環境にやさしいまち」の80.8%、「安全で安心できるまち」の78.1%となった。

一方、「そう思わない」「どちらかというと思わない」を足した回答割合が最も高かったのは「町の外から観光客などが多く訪れる町」が50.4%となり、半数以上が山元町を観光客が多く訪れないまちと思っている結果となった。次いで高かったのは「働く場所が充実したまち」の35.9%、「他の都市、国の人との交流が盛んなまち」の33.5%となった。

表 現在の山元町についてどのように思うか

	そう思う		どちらかというと思う		どちらともいえない		どちらかというと思わない		そう思わない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
道路や公園などの整備が進んでいるまち	38	15.1%	95	37.8%	75	29.9%	27	10.8%	15	6.0%	1	0.4%
鉄道や道路などの交通が便利なまち	44	17.5%	80	31.9%	69	27.5%	46	18.3%	12	4.8%	0	0.0%
自然が豊かなまち	169	67.3%	67	26.7%	12	4.8%	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
環境にやさしいまち	100	39.8%	103	41.0%	42	16.7%	4	1.6%	2	0.8%	0	0.0%
安全で安心できるまち	90	35.9%	106	42.2%	43	17.1%	9	3.6%	3	1.2%	0	0.0%
お年寄りにやさしいまち	96	38.2%	91	36.3%	46	18.3%	13	5.2%	4	1.6%	1	0.4%
障がいのある人も暮らしやすいまち	59	23.5%	95	37.8%	75	29.9%	12	4.8%	9	3.6%	1	0.4%
赤ちゃんを産み・子育てしやすいまち	45	17.9%	81	32.3%	83	33.1%	28	11.2%	12	4.8%	2	0.8%
学習環境が充実したまち	45	17.9%	95	37.8%	76	30.3%	26	10.4%	8	3.2%	1	0.4%
スポーツや運動がしやすいまち	55	21.9%	95	37.8%	60	23.9%	26	10.4%	14	5.6%	1	0.4%
農業・水産業などの産業が盛んなまち	89	35.5%	96	38.2%	56	22.3%	6	2.4%	3	1.2%	1	0.4%
働く場所が充実したまち	12	4.8%	53	21.1%	95	37.8%	61	24.3%	29	11.6%	1	0.4%
町の外から観光客などが多く訪れるまち	8	3.2%	24	9.6%	88	35.1%	77	30.7%	52	20.7%	2	0.8%
地域において、人と人との交流が盛んなまち	63	25.1%	99	39.4%	62	24.7%	17	6.8%	8	3.2%	2	0.8%
歴史や文化を大切にしているまち	70	27.9%	81	32.3%	77	30.7%	15	6.0%	8	3.2%	0	0.0%
他の都市、国の人との交流が盛んなまち	17	6.8%	58	23.1%	92	36.7%	53	21.1%	31	12.4%	0	0.0%

図 現在の山元町についてどのように思うか

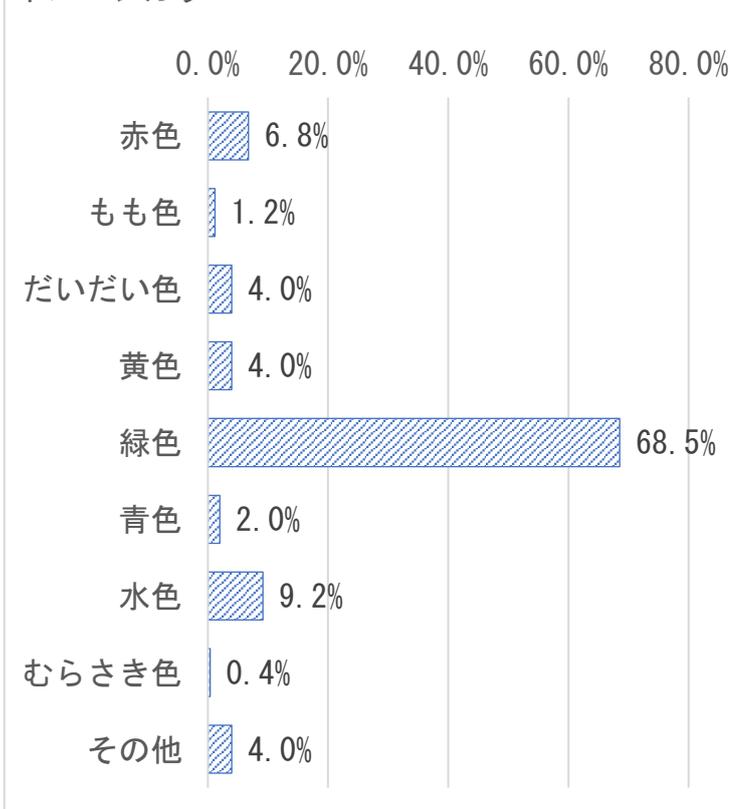


山元町の色でイメージすると何色ですか？

山元町のイメージカラーについて、最も回答割合が高くなったのは「緑色」の68.5%となった。緑色以外の項目はすべて10%未満となった。

	回答数	割合
赤色	17	6.8%
もも色	3	1.2%
だいたい色	10	4.0%
黄色	10	4.0%
緑色	172	68.5%
青色	5	2.0%
水色	23	9.2%
むらさき色	1	0.4%
その他	10	4.0%
無回答	0	0.0%
総数	251	100.0%

イメージカラー



理由

イメージカラーの主な理由として以下のようなものがあった。

- ★：記述された数が10個以上あった意見内容の項目
- ☆：記述された数が5から9個あった意見内容の項目
- ：記述された数が1から4個あった意見内容の項目

色	理由
赤色	★イチゴやはらご飯、リンゴなど、赤い食べ物が特産品で有名だから。 ○復興のシンボルである朝日の色から。
もも色	○すぐく町の人がやさしいから ○いつでも明るいイメージだから ○地域の人たちがとても優しく、あたたかい山元町をつつんでくれている色
だいたい色	☆町の人があたたかいから ○明るいイメージがあったからです。 ○落ち着けるから ○地域の人たちとの交流があって、楽しくて明るい町だから。助け合いがあるから ○笑顔があふれているので笑顔はだいたい色のイメージがあるからです。
黄色	○みんな明るく、暖かいイメージと自然が豊かなイメージがあるから ○人が笑っている色 ○ほっきー君 ○黄色は青を混ぜると緑、赤を混ぜるとオレンジになる。今も良い町だけど、工夫次第でさらに良い町になるから

色	理由
緑色	<ul style="list-style-type: none"> ★自然豊かな町 ★自然の木々をイメージした ☆自然が多くて、動物もいるから、緑が似合うと思いました ○田んぼが多いから、山元町といえば田畑を思った。田畑は緑っぽいから ○山元町の自然なところをなくさないように ○山元町は自然が多く、優しい感じの色が合うと思ったから。 ○自然がたくさんあるし街並みが緑っぽいから ○山は緑で人との交流があって挨拶とかがよくあるから ○野菜などがとてもおいしいから ○山中のジャージが緑だったから ○漢字のイメージで ○つばめの杜ができたから
青色	<ul style="list-style-type: none"> ○海が近いから「青色」 ○草、動物、水をイメージした色 ○海産物が豊富だから
水色	<ul style="list-style-type: none"> ☆海や透き通っている空の色 ○明るい色だと思うから。 ○空と海の色が同じで、とてもきれいな町という意味です ○ホッキー君が水色っぽいイメージがある（海とか） ○人があまり集まっていない
むらさき色	<ul style="list-style-type: none"> ○交通網などの整備が進んでいる山下（赤）と豊かな自然が美しい坂元（青）を合わせると紫色になるから
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○黄緑・緑が多いから（自然豊か） <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かなイメージをして ○白色・白いキャンパスに絵をかけるようにもっと発展していける町かなと思ったから <ul style="list-style-type: none"> ・白いから ・まだ発展の途中なので、何にも染まっていない白が良いかなと思いました ・まだどんな色にもなれる発展途上の町。これから色が付くことを期待しています。 ○金色・輝く町になってほしいから ○虹色・それぞれの色があっという ○無色・何色にも染まらない町

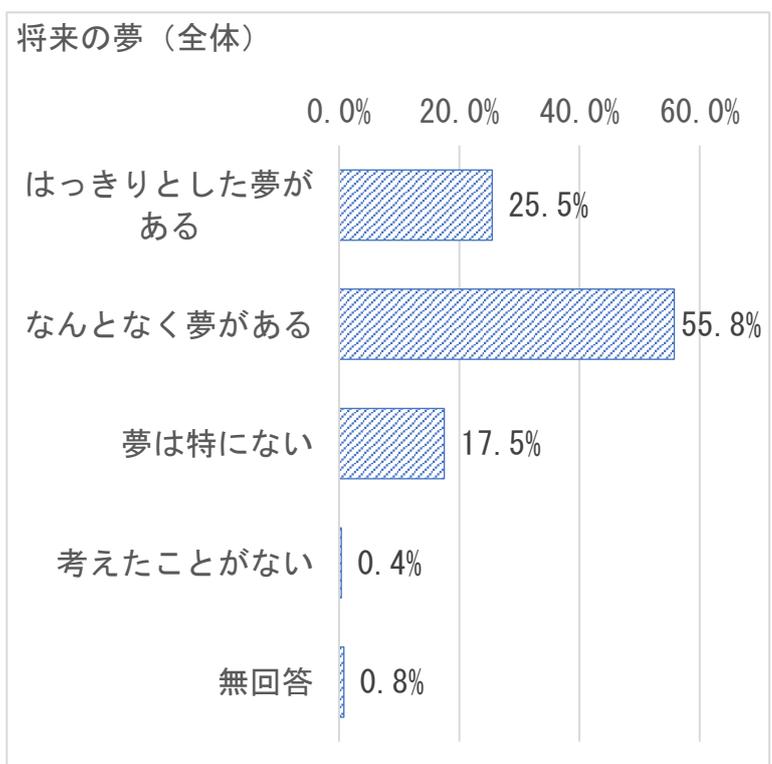
(4) あなたの夢や進路について

将来の夢を持っていますか？

将来の夢を持っているかについて、「なんとなく夢がある」が55.8%と最も高く、次いで「はっきりと夢がある」の25.5%となり、合計が81.3%となった。

「考えたことがない」は0.4%と非常に少なかった。

	回答数	割合
はっきりとした夢がある	64	25.5%
なんとなく夢がある	140	55.8%
夢は特にない	44	17.5%
考えたことがない	1	0.4%
無回答	2	0.8%
総数	251	100.0%

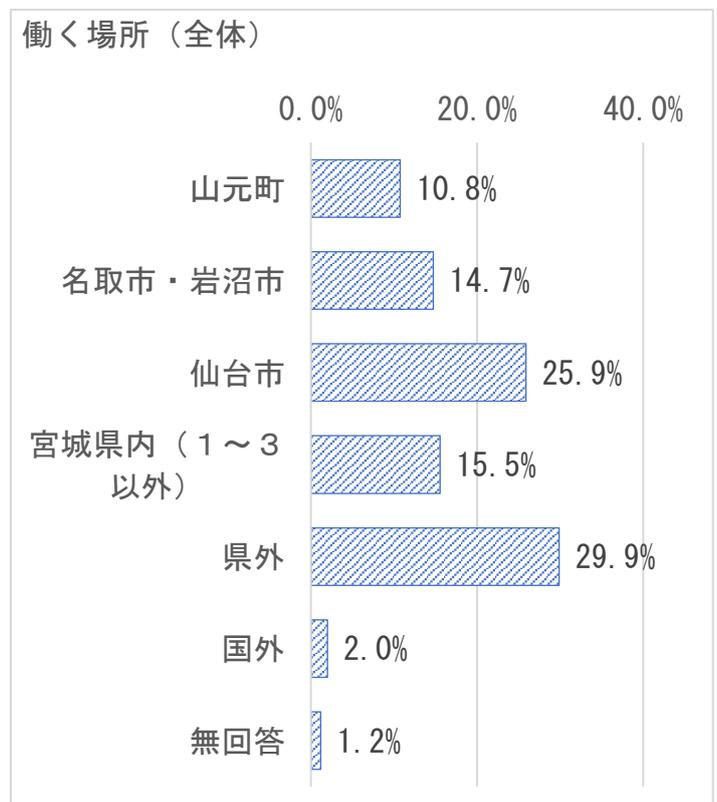


大人になったらどこで働きたいですか？

大人になったらどこで働きたいかについて、「県外」29.9%と最も高く、次いで「仙台市」の25.9%となった。

最も少なかったのは「国外」の2.0%となり、次いで「山元町」の10.8%となった。

	回答数	割合
山元町	27	10.8%
名取市・岩沼市	37	14.7%
仙台市	65	25.9%
宮城県内（1から3以外）	39	15.5%
県外	75	29.9%
国外	5	2.0%
無回答	3	1.2%
総数	251	100.0%



(5) これからの山元町について

10年後にどのようなまちになったらいいか（自由記入）

山元町のまちづくりに対しての主な意見や提案について、以下のような意見があった。

- ★：記述された数が10個以上あった意見内容の項目
- ☆：記述された数が5から9個あった意見内容の項目
- ：記述された数が1から4個あった意見内容の項目
- ・：意見内容の項目から代表して記入

分類	意見
な っ て ほ し い 町 の 姿	<p>★住みやすい・暮らしやすい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人でも住みやすい町 ・若い人から、お年寄りの方々も過ごしやすく、あたたかい町 ・誰が住んでも「山元町っていいな」と思えるまち <p>★笑顔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔があふれる町 ・町の人全員が笑顔になれる町 ・地域が仲良しで笑顔が絶えないまち <p>★自然・緑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑が多いまち ・自然も特産物も豊かな町 ・落ち着ける田舎 <p>★安心・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子からお年寄りまで、安心・安全に過ごせるまち ・犯罪や事故など悪いことがないようなまち ・どこにでも外灯があって夜でも明るい町 <p>★お店・商業施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店が色んな所に充実している町 ・震災前の山元町のように、パン屋さんとか、お年寄りの人が行きやすいお店ができていること ・人口が増えて大きな店などができた町 <p>☆発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会な町 ・つばめの森周辺だけでなく、ほかの地域も発展している町 ・まんべんなく田舎orまんべんなく便利な町 <p>☆こども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズと同じく、子育てがしやすい町 ・子どもの教育、運動が充実したまち ・子どもがたくさん遊べる町 <p>☆交流・地域の助け合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外や、国外との交流を大切にするまち ・地域の人々の交流が盛んなまち <p>☆便利</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不便だと思えることが少ない町 ・もっと交通が便利で移動しやすく、車がないと買い物が困難じゃない町 <p>☆優しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りに優しい町 ・障がい者にももっと優しい町 <p>☆観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客がたくさん来る町 ・東京とかバリバリの都会じゃなくて、外国人などの目線で伝統的な山元

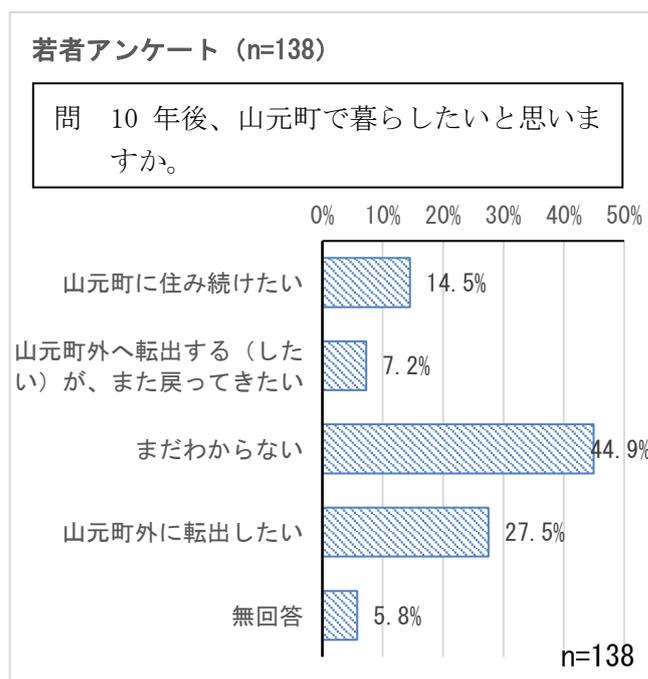
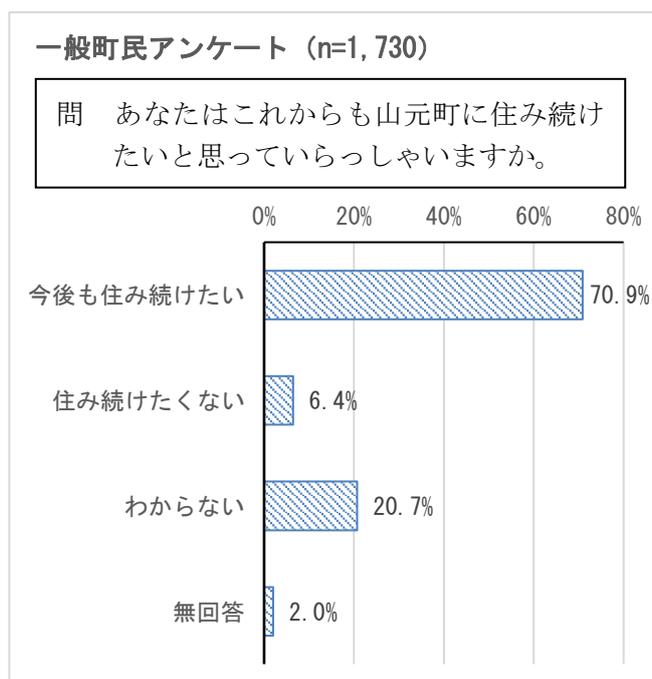
	<p>町の文化で人を呼ぶ</p> <p>☆スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツがいっぱいできて、健康に過ごせる町 ・体育文化センターのような体育館や、公園にバスケットゴールがあり、スポーツがしやすい町 <p>☆産業・仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事がたくさんあり、活気のあるまち ・農業や漁業が発展している町 <p>☆人口増加・若者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が増えてにぎやかになった町 ・若い人が増え、山元町を盛り上げている町 <p>☆活気・にぎやか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町全体が明るく活気ある町 ・駅前だけじゃなく町全体で活気がある <p>○行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長がきちんと働くまち ・今以上に誰にでもやさしく接してくれる役場の人っていて、相談してストレスがあまりたまらない町 <p>○夢・希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの夢と希望が叶うまち ・みんなが幸せになれる町 <p>○有名・人気</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で有名であり、産業祭は、今までより活気づいて、県外、国外からも観光客が訪れる人々から人気の町 ・今有名なユーチューバーとかが来て動画とかが出せるような町 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度町を出た人でもまた帰りたいたいと思える町 ・とてもきれいな町
<p>残ってほしい(守る)もの</p>	<p>○自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の自然をずっとキープして発展して行ってほしい ・道路などの整備をしてほしいが、自然も多く町に残してほしい <p>○このままが良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで通りの町 ・10年後もこのままでいいと思います。 <p>○伝統・文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山元町の伝統・文化は薄れず、自然などを見て、「これぞ山元町」と思えるような山元町 ・発展はしていくが、その中でも伝統を守り続ける町 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波で流された所を、残っていてほしい。 ・合併しないでほしい
<p>あると良いもの・したら良いこと・改善すること</p>	<p>★店・商業施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店、商業施設が増えてほしい ・有名な飲食店や娯楽施設、ショッピングモールなどがあるといい <p>☆安心・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外灯があつたらいい ・電灯があまりないから、夜でも安全に歩ける町 <p>☆施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設などが増えていけばいいと思います

	<ul style="list-style-type: none"> ・外に時計がある町の方が住みやすく、時計があった方が小中学生は時間をわかりやすく、公園などでも時間を守って遊びやすい ・公園の整備や遊具を増やしてほしい ○交流 <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りから若い人達まで楽しめる場所があるといい ・ショッピングでは町を豊かには出来ないと思うので、海水浴場を作って盛り上げればいい ○観光・PR 活動 <ul style="list-style-type: none"> ・特産品をもっと PR して、多くの人に知ってもらう ・人口を増やすために、山元町外の人が「住みたい」と思うような PR をしていけば、もっと住みやすい町になると思う ○交通・道路 <ul style="list-style-type: none"> ・電車やバスの本数をもっと増やしてほしい ・道路を整備してほしい ○地域間の格差 <ul style="list-style-type: none"> ・つばめの杜と坂元のような、地域によって発展の差がある地区をなくす ・観光客が来ないような地区でも目を向け、山元町民 1 人 1 人に「ずっと山元町にいたい」という意志を持ってもらう ○学校 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校と小学校が多くなっていて、高校があるといい ・小・中・高のエアコンの取り付けを早くした方が良い ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・復興して、整備などもきちんとそろっていてほしい ・お祭りなどは出店が少ないので、もっと盛大にしたい ・町の人が必要としている施設がつかれるような町にしてほしい ・医療がもっと発展してほしい
--	--

IV 居住継続意向について

1 一般町民と若者の居住継続意向の比較

今後の居住継続意向について、一般町民と若者で比較すると、60歳以上の回答が多い一般町民アンケートでは「今後も住み続けたい」という回答が7割を超えている。一方で、若者アンケートでは、「山元町に住み続けたい」が14.5%、「山元町外へ転出（したい）が、また戻ってきたい」が7.2%と、10年後山元町に住みたいと考える若者は約2割程度にとどまっている。一方で、最も割合が高かったのは、「まだわからない」の44.9%であり、この層が山元町に住みたいという意向に切り替わっていくことが重要である。



町民全体と若者では、居住継続意向が大きく異なる。
10年後、山元町で暮らすか「まだわからない」若者が多い。

- 町民にとってどのようなまちづくりの満足度が高いのか。
- 住み続けたいと考える人が増えてもらうために、どのような課題を解決しなければならないか。
- 将来の山元町を担う若者が、これからも山元町で暮らし続けたいと思えるようにするためには、どのようなまちづくりが必要か。

- まちづくりに対する町民の現在の満足度、将来の必要度の分析
- 若者が求める将来像やニーズの把握

V まちづくりに対する町民の現在の満足度、将来の必要度の分析

1 分析の目的

「まちづくりに対する町民の現在の満足度、将来の必要度の分析」では、町の取組に対して、「平成23年度～現在のまちづくりの満足度（以下、満足度）」と「将来の必要度（以下、必要度）」における町民の評価を把握・分析し、各項目に対する今後の対策の方向性を検討するものである。

2 アンケート記入方法

アンケート調査において、51の取り組み内容に対して、「満足度」と「必要度」それぞれ5段階で評価してもらった。

問12 町が実施している取組内容（施策等）について、①平成23年度から現在にかけて実施したまちづくりの満足度と、②将来の必要度についてお尋ねします。それぞれの取組内容（施策等）ごとに当てはまるもの1つに○をつけてください。

取組内容（施策等）	満足度・必要度		①平成23年度～現在のまちづくりの満足度					②将来の必要度				
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	必要	やや必要	どちらでもない	やや不要	不要		
	(回答例) OOの整備	5	4	3	②	1	5	④	3	2	1	
V C 環境	1 道路・橋梁・河川の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	2 公園・緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	3 上下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	4 生活排水対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	5 公営住宅の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	6 住宅地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	7 町民バスなどの公共交通の利便さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	8 高速道路の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	9 日常の買物の利便さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	10 ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	11 騒音・振動・悪臭等の環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	12 美しい自然景観や街並み景観の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	13 自然環境の保全と活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	14 中心市街地や公共ゾーンの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	15 駅前広場などの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	

図 アンケート表抜粋

3 分析フロー

入力したアンケートは、以下のフローにより分析を行う。

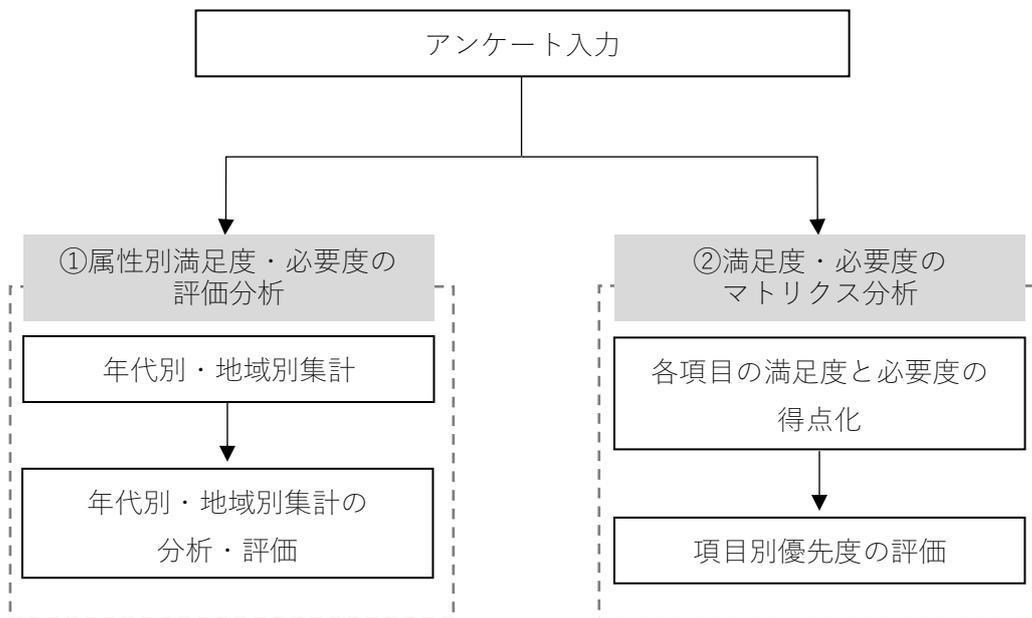


図 分析フロー

4 平均得点算出方法

平均得点を算出するにあたり、満足度・必要度それぞれにおいて項目間の差を明確にするために、重み付けをして算出を行った。算出方法は以下のとおりである。

(満足度の場合)

$$\text{平均得点} = (5 \times (\text{「満足」回答者数}) + 4 \times (\text{「やや満足」回答者数}) + 3 \times (\text{「どちらでもない」回答者数}) + 2 \times (\text{「やや不満」回答者数}) + 1 \times (\text{「不満」回答者数})) \div \text{回答者総数}$$

※集計にあたっては、一部の項目のみに回答がある場合も集計対象としたため、項目別の回答数が異なる場合がある。また、無回答の項目は、算出の対象外とした。

5 まちづくりに対する満足度評価の概要

■全体の傾向

- 全体で最も満足度が高い項目は、「高速道路の利便性」で3.89、最も満足度が低い項目は、「町民バスなどの公共交通の便利さ」で2.37となった。
- 「くらし・環境」に分類される項目の得点が高い一方で、「産業」に分類される項目の得点が低い傾向にある。

■年代別の傾向

- 「公園・緑地の整備」や「高速道路の利便性」、「ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備」、「騒音・振動・悪臭等の環境」、「美しい自然景観や街並み景観の形成」、「中心市街地や公共ゾーンの整備」、「駅前広場などの整備」は、すべての年代において満足度が高い結果が得られた。
- 全体の傾向として、20代や30代の満足度は、60代以上の満足度よりも高い傾向にある。
- 「上下水道の整備」や「ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備」、「駅前広場などの整備」、「健康づくりの推進」、「保健・医療福祉サービスの充実」は、70代以上での満足度が、他の項目に比べると高くなっている。

■震災前の居住の有無別の傾向

- 震災前に山元町に住んでいた人と、住んでいなかった人では、項目でそれほど大きな差はみられなかったが、全体的に震災前に山元町に住んでいなかった人の方が、満足度が高い傾向にある。

■居住年数別の傾向

- 票数は少ないものの、「定住促進」や「子育て支援サービスの充実」など、居住年数が「1年未満」の人の満足度が高い。
- 「健康づくりの推進」においては、「11年以上」山元町に住んでいる人で、平均の3.0点を上回っているが、「10年未満」の人は低い傾向にある。

6 まちづくりに対する必要度評価の概要

■全体の傾向

- 全体で最も必要度が高い項目は、「雇用の場の確保」で4.28、最も必要度が低い項目は、「公営住宅の整備」で3.49となった。
- 「高齢者福祉サービスの充実」や「保健・医療サービスの充実」など、医療・福祉に関連する項目も必要度が高い傾向にある。

■年代別の傾向

- ほぼすべての項目で平均得点が3ポイント（平均）以上であり、町民にとって取り組む必要があるという認識であるという結果が得られた。
- 「町民バスなどの公共交通の便利さ」や「日常の買物の便利さ」はどの年代でもポイントが高い。
- 「子育て・教育」に分類される項目は、20・30代など、若い世代でポイントが高い傾向にある。

■震災前の居住の有無別の傾向

- 震災前に山元町に住んでいた人と、住んでいなかった人では、項目でそれほど大きな差はみられなかったが、全体的に震災前に山元町に住んでいなかった人の方が、必要度が高い傾向にある。特に、「定住促進」や「空き家・空地活用の推進」の得点が高い。

■居住年数別の傾向

- 居住年数が短い人にとって、「高速道路の利便性」や「美しい自然景観や街並み景観の形成」、「定住促進」の得点が、他の居住年数と比較すると得点が高い。
- 全体的に、「6年～10年」の人の必要度が低い傾向にある。

図 全体の満足度・必要度のクロス評価

下図は、「現在の満足度」と「将来の必要度」の平均得点を折れ線で示している。横軸の項目については、必要度と満足度の差を算出し、その差が大きい順に示している。例えば、満足度が低く、必要度が高い場合には、ポイントの差は大きくなり、取組の重要性が高いといえる。

結果として、最も取組の重要性が高い項目は、「雇用の場の確保」(差:1.83ポイント)となった。次いで、「企業誘致などの工業振興」、「空き家・空き地活用の推進」、「町民バスなどの公共交通の便利さ」、「日常の買物の便利さ」、「起業支援の推進」等が上位に挙がっている。これらの項目は、全体として町民の満足度も低く、町民のニーズに対応できていない分野であるといえる。一方で、「高速道路の利便性」や「駅前広場などの整備」、「公営住宅の整備」、「ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備」、「騒音・振動・悪臭等の環境」については、満足度と必要度の差が小さく、これまでの取組として、町民のニーズに応えられていると考えられる。

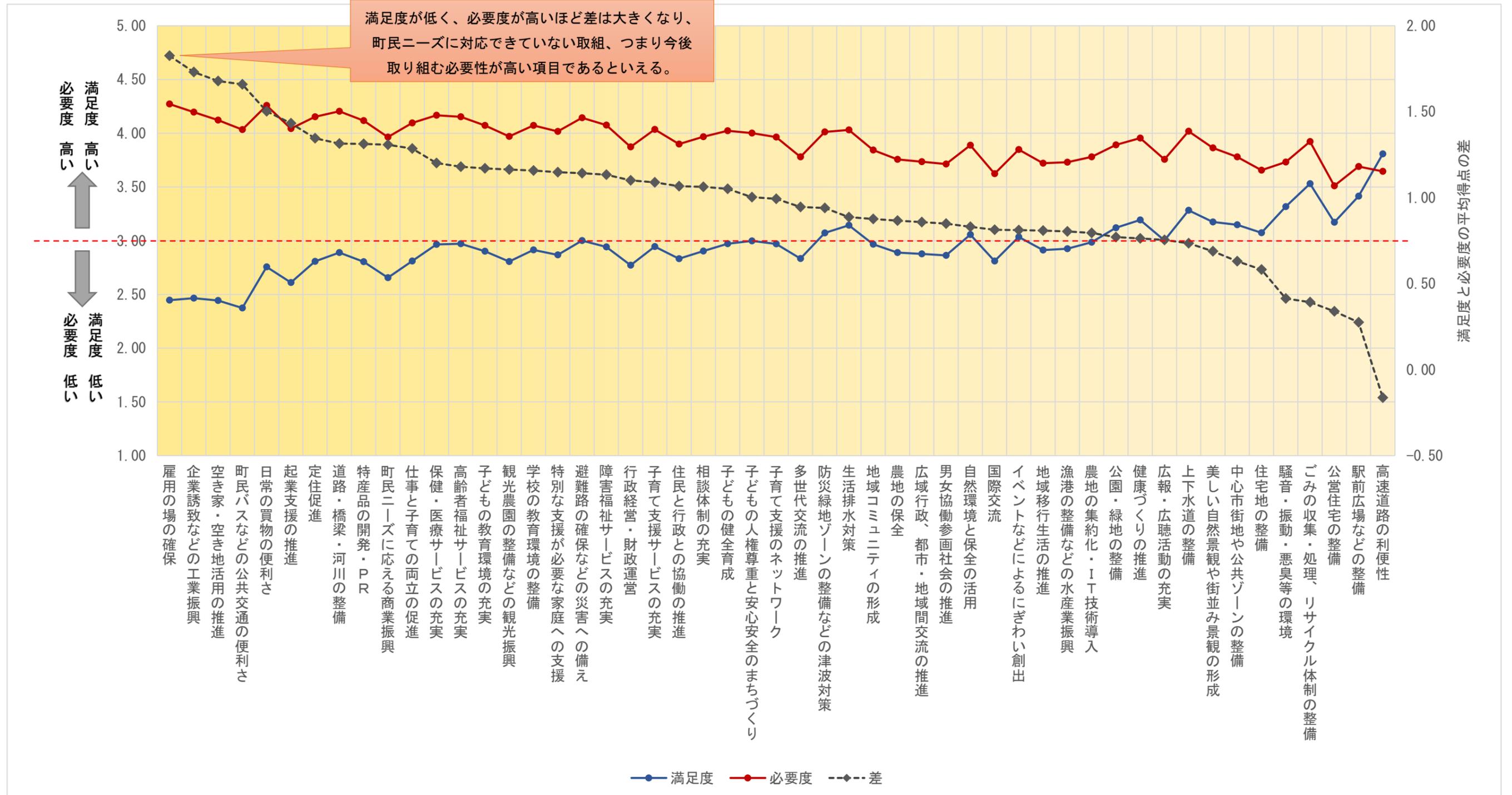


図 満足度平均得点（年代別）

「公園・緑地の整備」や「高速道路の利便性」、「ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備」、「騒音・振動・悪臭等の環境」、「美しい自然景観や街並み景観の形成」、「中心市街地や公共ゾーンの整備」、「駅前広場などの整備」は、すべての年代において満足度が高い結果が得られた。

全体の傾向として、20代や30代の満足度は、60代以上の満足度よりも高い傾向にある。そのなかで、「上下水道の整備」や「ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備」、「駅前広場などの整備」、「健康づくりの推進」、「保健・医療福祉サービスの充実」は、70代以上の満足度が、他の項目に比べると高くなっている。

※横軸は、分類ごとの項目順で示す。

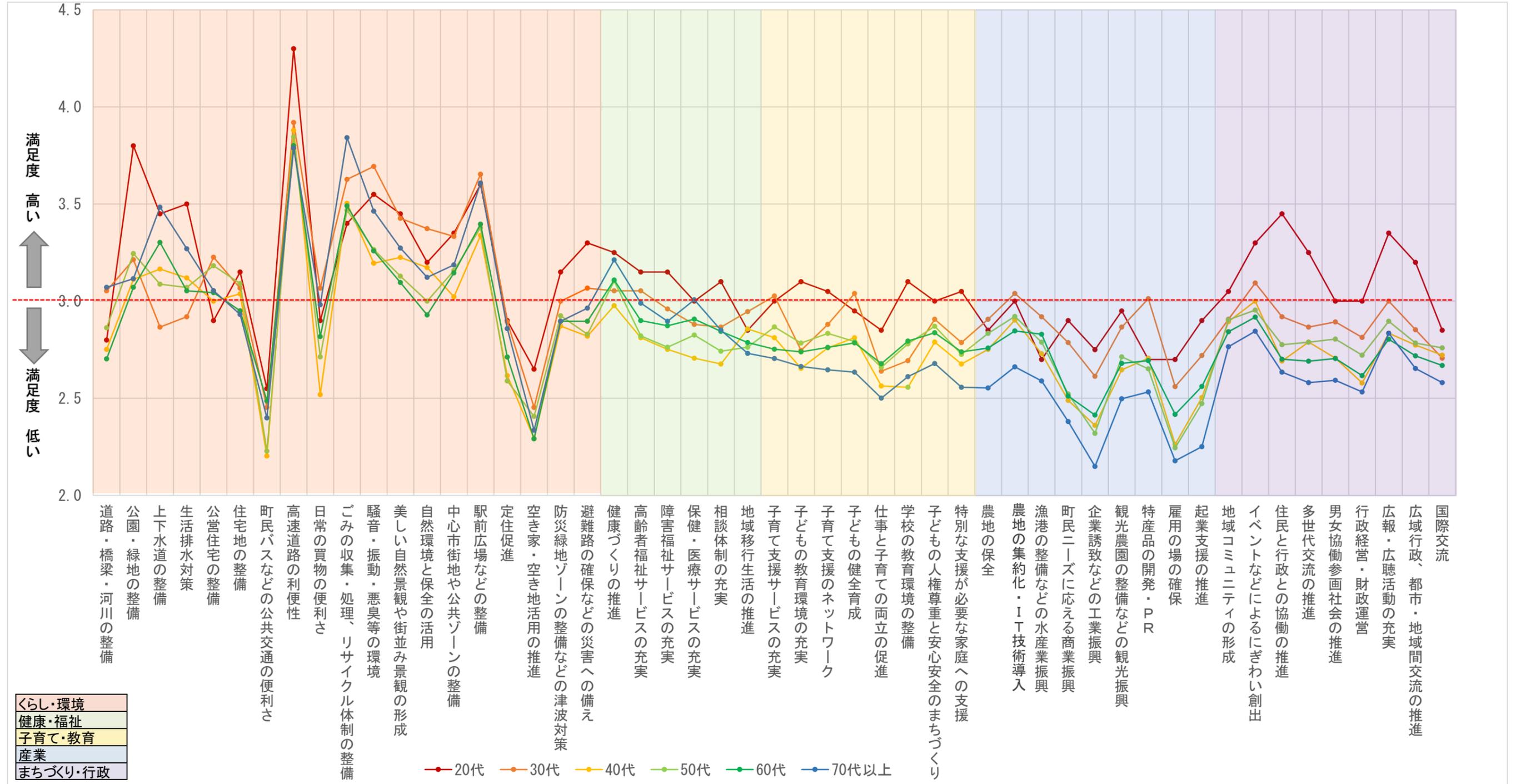


図 必要度平均得点（年代別）

20代の「上下水道の整備」を除いて、すべての項目で平均得点が3ポイント以上であり、町民にとって取り組む必要があるという認識であるという結果が得られた。そのなかでも、「町民バスなどの公共交通の便利さ」や「日常の買物の便利さ」はどの年代でもポイントが高い。そのほか、「子育て・教育」に分類される項目は、20・30代など、若い世代でポイントが高い傾向にある。

※横軸は、分類ごとの項目順で示す。

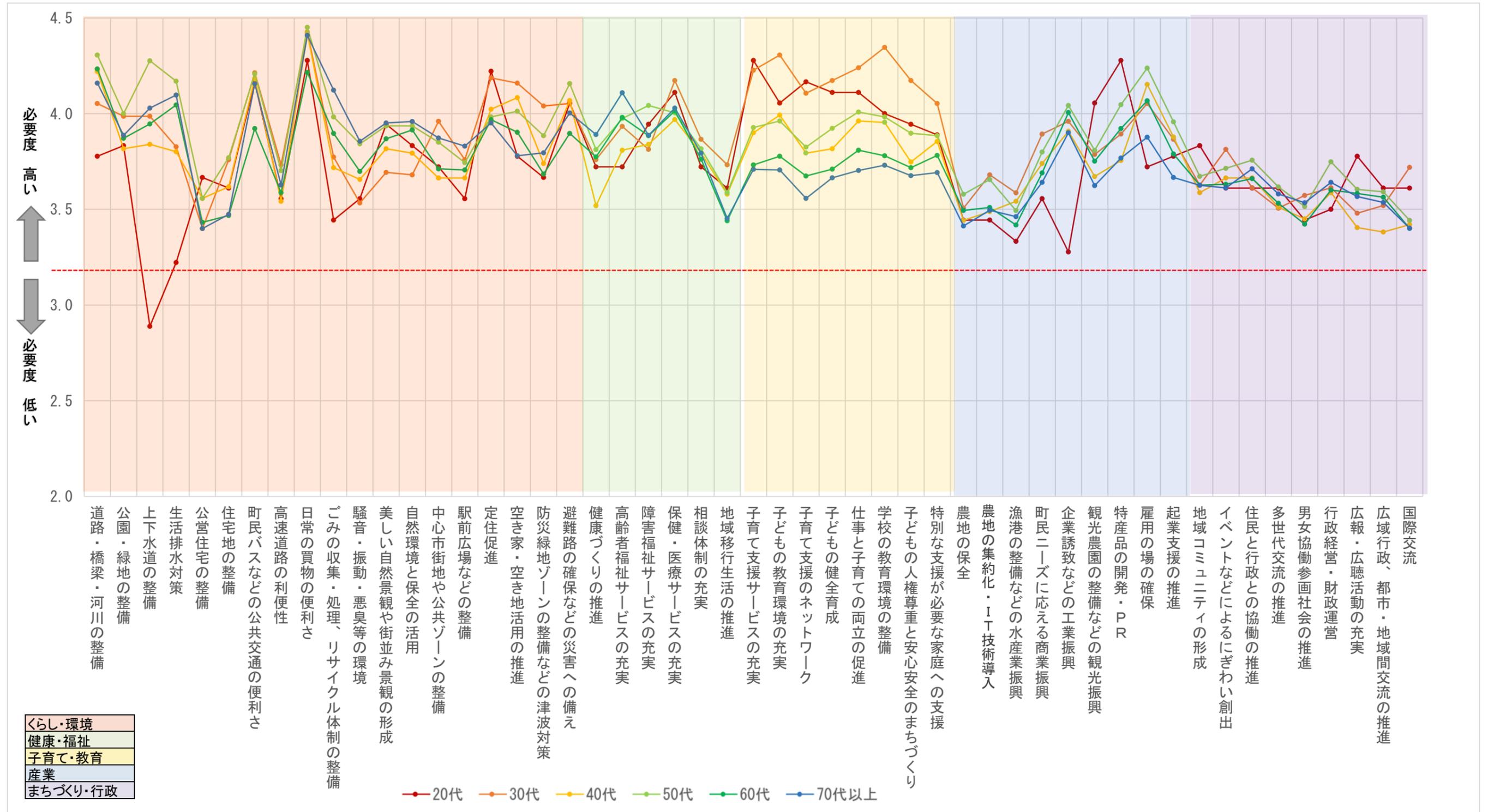


図 満足度平均得点（震災前の居住の有無）

ほぼすべての項目で、「いいえ（震災以降に住み始めた）」の平均満足度は「はい（震災前から住んでいる）」を上回る結果となり、数は少ないが、「上下水道の整備」「健康づくりの推進」「保健・医療サービスの充実」の項目では、震災以降から住んでいる町民の満足度が、震災以前から住んでいる町民の満足度の平均得点を上回っている。くらし・環境に関連する項目では「町民バスなどの公共交通の便利さ」や「空き家・空き地活用の推進」など、満足度が著しく低い項目はあるが、比較的満足度は高く、子育て・教育や産業に関する項目では、すべての項目で3ポイントを下回り、満足度は低くなっている。

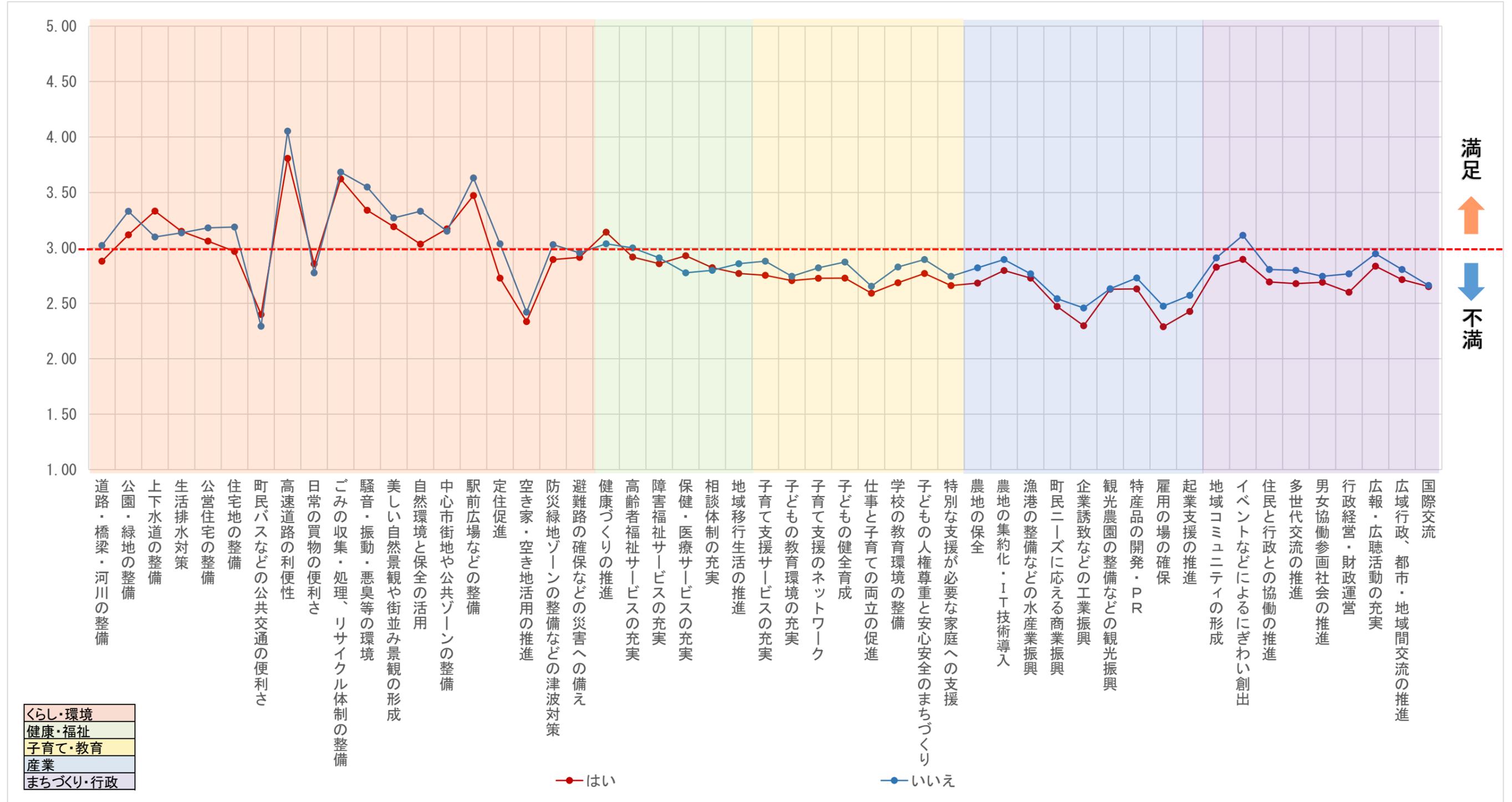


図 必要度平均得点（震災前の居住の有無）

すべての項目で、平均得点が3ポイントを上回り、将来に向け、すべての項目が必要とされていることが明らかとなった。特に「町民バスなどの公共交通の便利さ」「日常の買い物の便利さ」「生涯福祉サービスの充実」「雇用の場の創出」は、「はい（震災前から住んでいる）」と「いいえ（震災以降に住み始めた）」の双方が必要度を4ポイント以上となっており、特に必要とされていることが分かった。震災以前の居住による必要度の差は、くらし・環境に関する項目で比較的大きく、「公共住宅の整備」「町民バスなどの公共交通の便利さ」「美しい自然環境や街並み景観の形成」「定住促進」などで差が顕著に見られる。

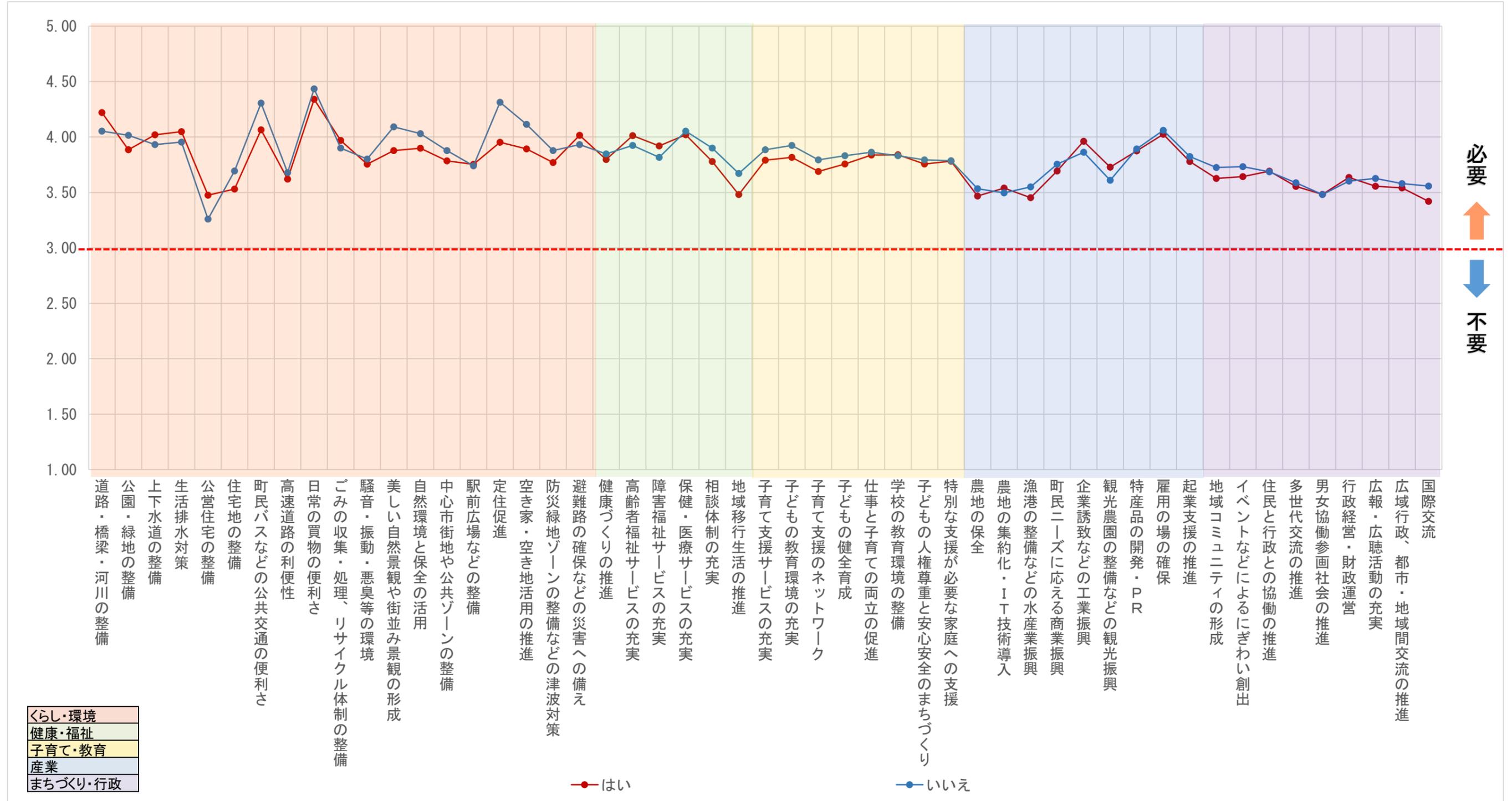


図 満足度平均得点（居住年数）

居住年数別の満足度の平均得点について、居住「1年未満」が全体的に満足度の点数が高くなっている。サンプル数として「1年未満」はかなり少なく意見に偏りがあることも考えられるが、傾向としてくらし・環境に関する項目、健康・福祉に関する項目、子育て・教育に関する項目で他の世代と比較し、満足度は高くなっている。また、全体的に産業に関する項目とまちづくり・行政に関する項目の満足度が低く、「1年未満」以外では、健康・福祉に関する項目と子育て・教育に関する項目の満足度の平均得点も低くなっており、多くの世代で不満の意見が多いことが明らかになった。

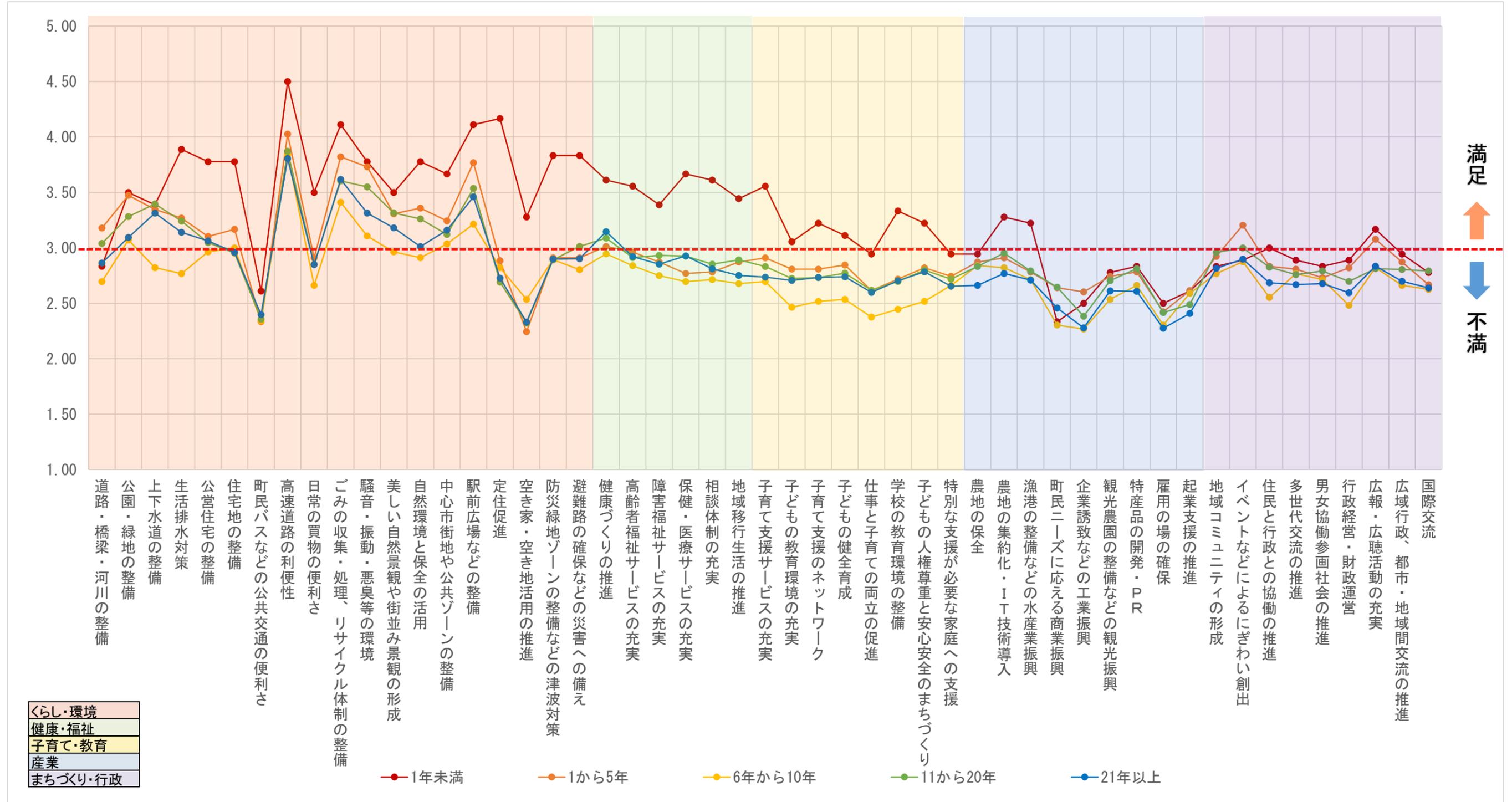
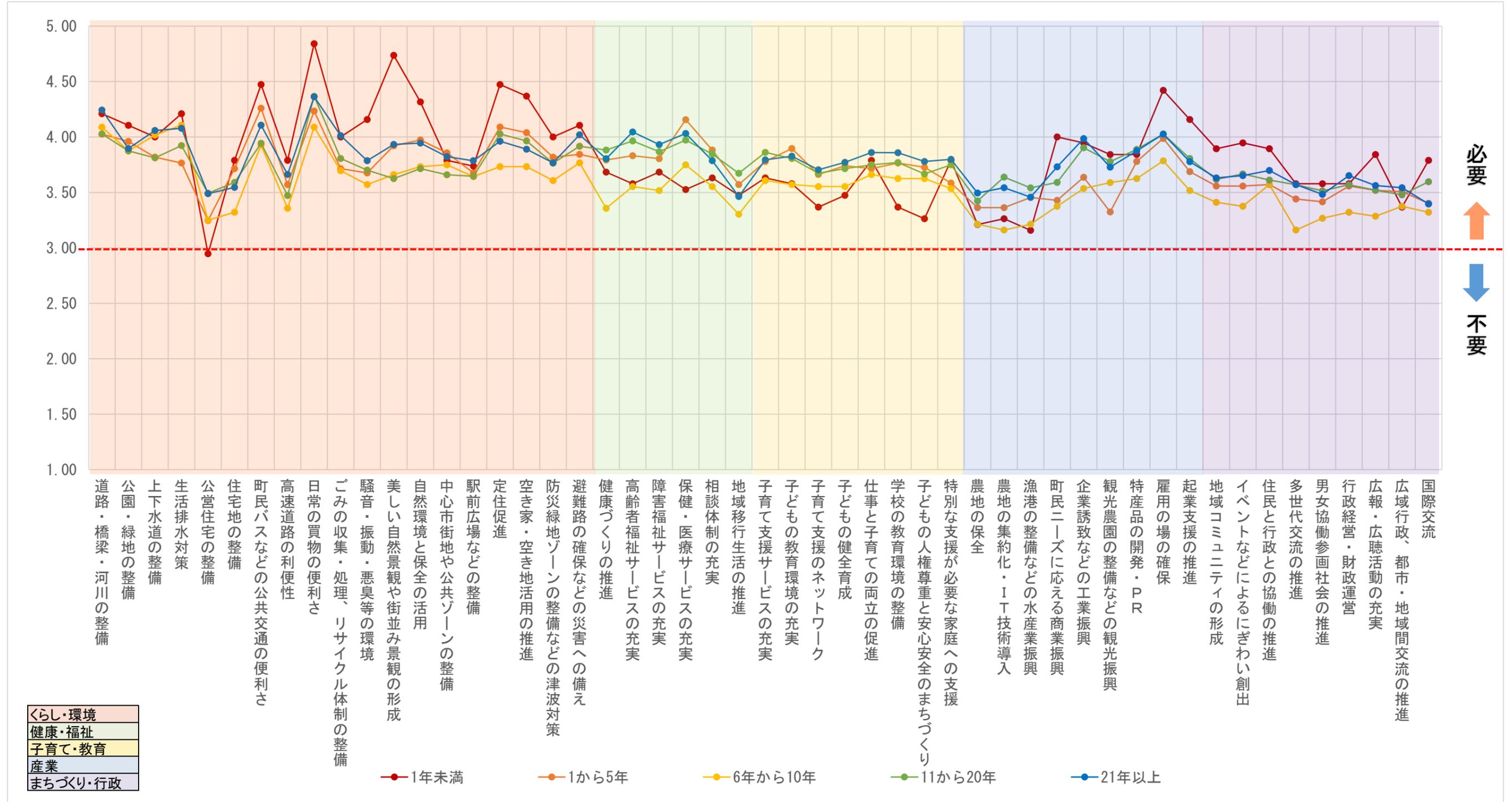


図 必要度平均得点（居住年数）

居住年数別の必要度に関して、居住年数に関わりなく、すべての項目で将来的に必要なと考えられていることが明らかとなった。唯一、居住年数が「1年未満」の得点で「公共住宅の整備」が3ポイントを下回っているが、その他の居住年数ごとの得点では3ポイントを上回り、全体的な傾向として必要と考えられていると言える。また、「6年から10年」の必要度の平均得点は比較的低くなった。最も高くなったのは、「1年未満」の「日常の買い物の便利さ」となり、次いで、同じく「1年未満」の「定住促進」となり、「日常の買い物の便利さ」は、どの居住年数の回答者の中でも必要度が高くなった。



7 マトリクス分析

満足度と必要度の得点の分布から、まちづくりの取組に対する方向性を4つに分類する。

1 改善・向上領域

満足度が低く、必要度が高い項目は、事業の抜本的な見直しや重点的な取組が必要と考えられる領域である。

2 維持・向上領域

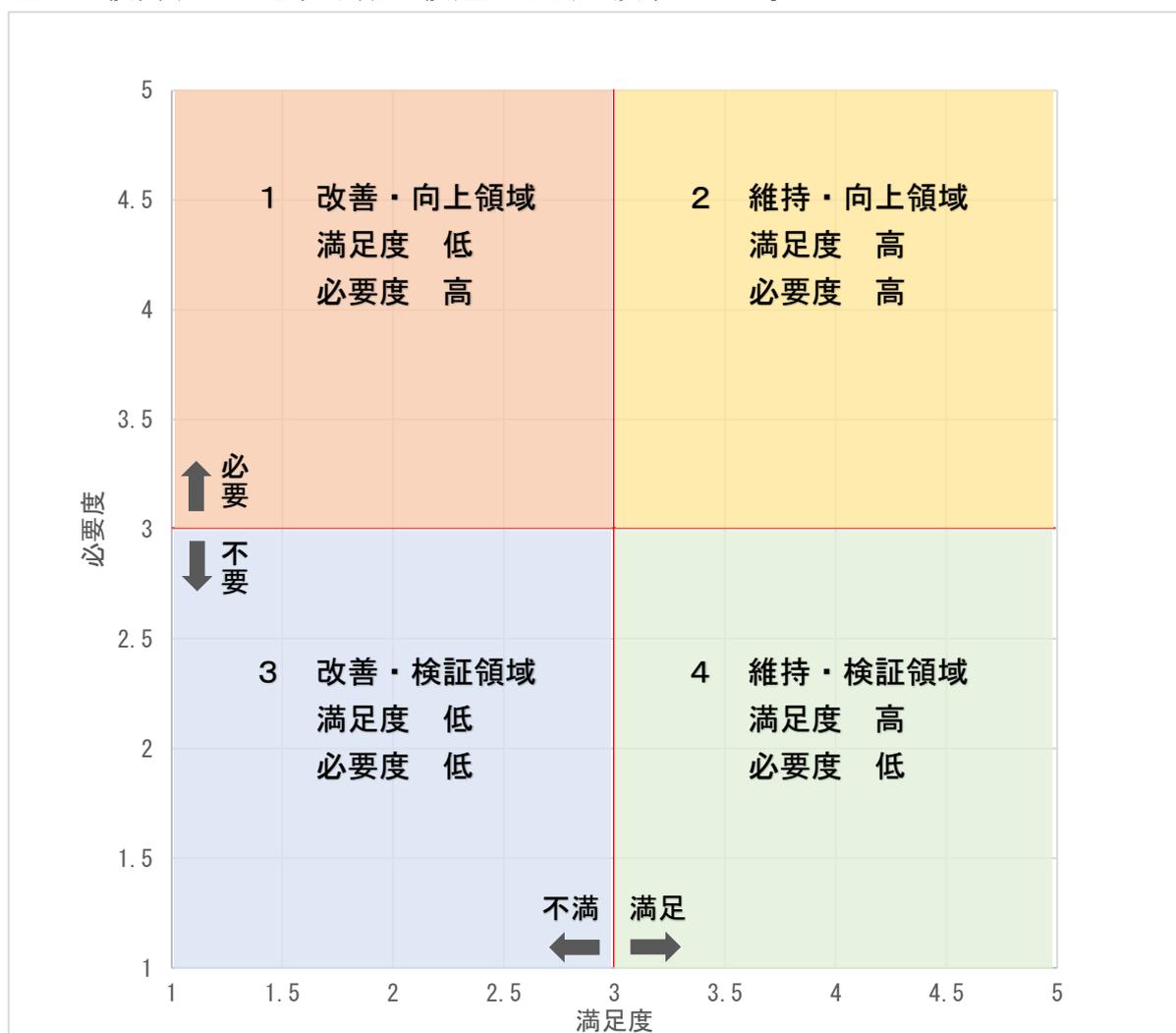
満足度・必要度ともに高い項目は、町の大きな強みであり、その強みを生かしながら、現在の事業を継続・発展させていくことが求められる領域である。

3 改善・検証領域

満足度・必要度ともに低い項目は、町民のニーズを意識しながら、事業の検証を行い、改善を進めていく必要がある領域である。

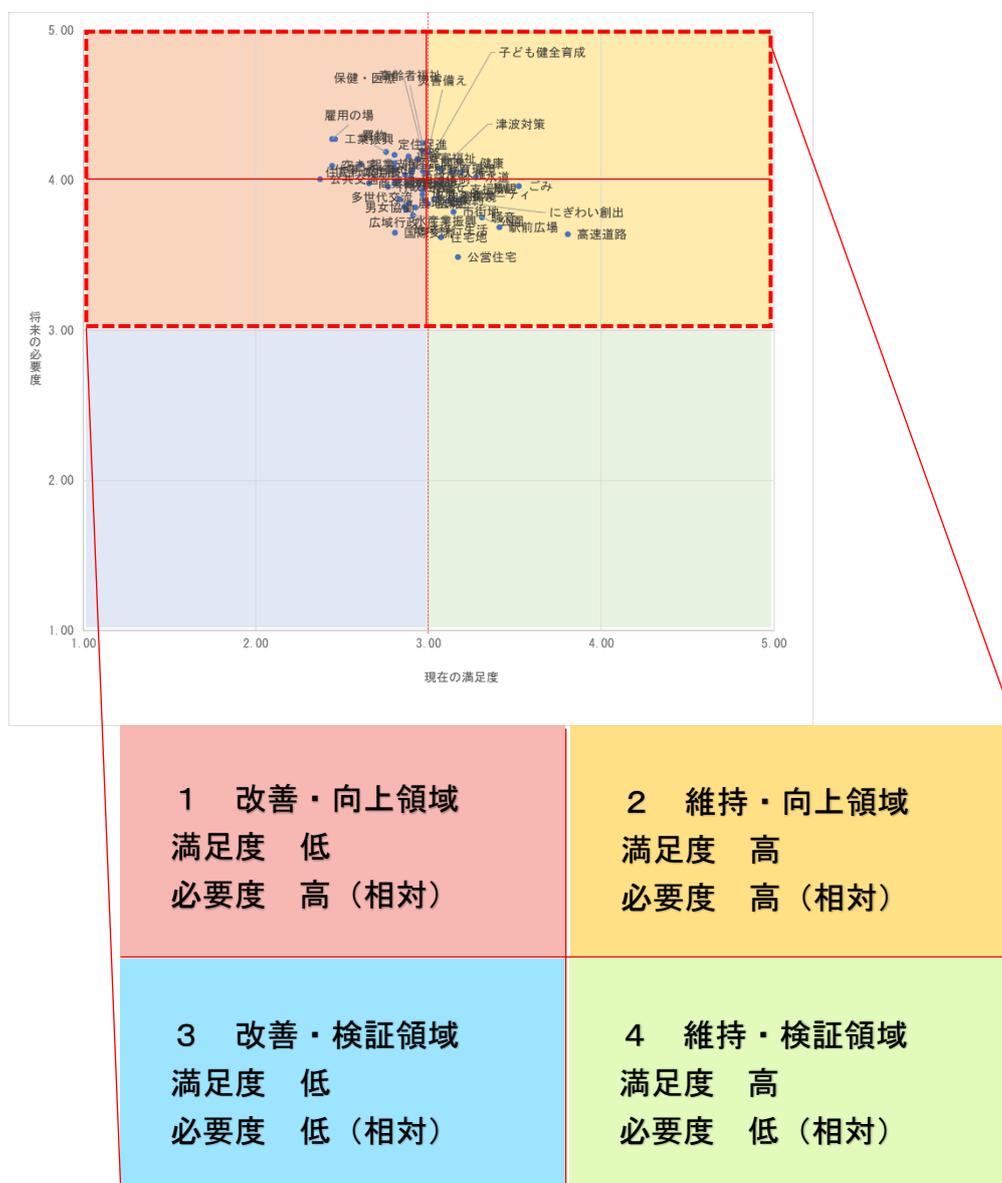
4 維持・検証領域

満足度が高く、必要度が低い項目は、現在の事業を維持しつつも、他の分野への注力を検討するなど、事業の検証が必要な領域である。

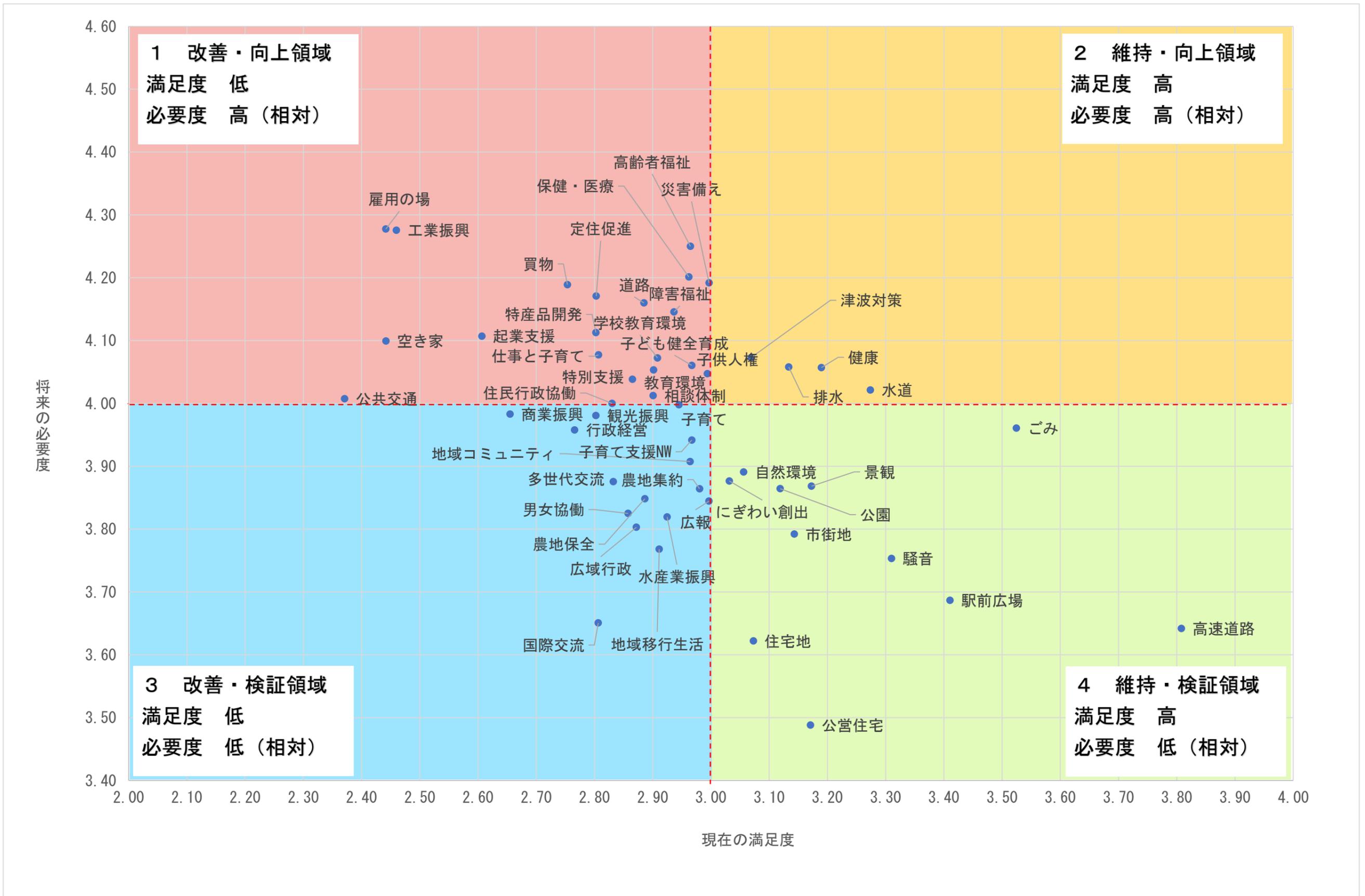


分析の結果、満足度については、平均の3ポイントを上回る項目、下回る項目それぞれ分類された。一方で、必要度については、すべての項目において、3ポイントを上回る結果となった。つまり、町民にとって、どの項目もまちづくりには必要、重要であるという認識である。そのため、2つの象限に分類される結果となった。

しかし、将来のまちづくりにおいて、町民のニーズの応える事業をより効果的に実施・検討するためには、必要度を詳細に分類し、項目間の優先順位を把握することが必要である。そこで、すべての項目が属する2つの象限について再度、細分化を行い、4つに区分し、「1 改善・向上領域」「2 維持・向上領域」「3 改善・検証領域」「4 維持・検証領域」と再区分を行った。細分化するにあたっては、必要度4で区分した。



■ 満足度・必要度マトリクス分析結果（全体）



8 一般町民と中学生のまちづくりに対する満足度の比較

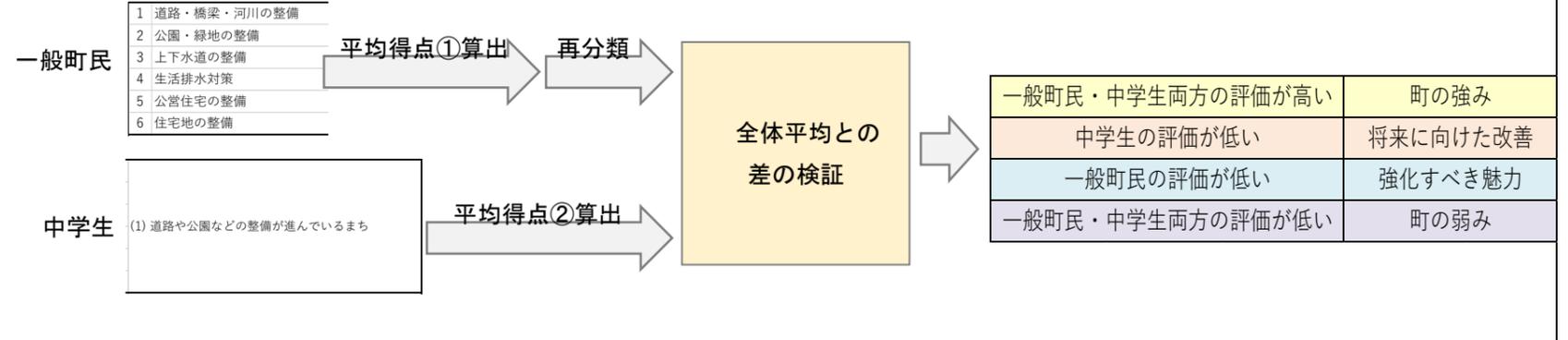
一般アンケート	中学生アンケート
1 道路・橋梁・河川の整備	
2 公園・緑地の整備	
3 上下水道の整備	(1) 道路や公園などの整備が進んでいるまち
4 生活排水対策	
5 公営住宅の整備	
6 住宅地の整備	
7 町民バスなどの公共交通の便利さ	(2) 鉄道や道路などの交通が便利なまち
8 高速道路の利便性	
9 日常の買物の便利さ	該当なし
10 ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備	(4) 環境にやさしいまち
11 騒音・振動・悪臭等の環境	
12 美しい自然景観や街並み景観の形成	(3) 自然が豊かなまち
13 自然環境の保全と活用	
14 中心市街地や公共ゾーンの整備	
15 駅前広場などの整備	該当なし
16 定住促進	
17 空き家・空き地活用の推進	
18 防災緑地ゾーンの整備などの津波対策	(5) 安全で安心できるまち
19 避難路の確保などの災害への備え	
20 健康づくりの推進	(10) スポーツや運動がしやすいまち
21 高齢者福祉サービスの充実	(6) お年寄りにやさしいまち
22 障害福祉サービスの充実	(7) 障がいのある人も暮らしやすいまち
23 保健・医療サービスの充実	
24 相談体制の充実	該当なし
25 地域移行生活の推進	
26 子育て支援サービスの充実	
27 子どもの教育環境の充実	
28 子育て支援のネットワーク	(8) 赤ちゃんを産み・子育てしやすいまち
29 子どもの健全育成	
30 仕事と子育ての両立の促進	
31 学校の教育環境の整備	(9) 学習環境が充実したまち
32 子どもの人権尊重と安心安全のまちづくり	該当なし
33 特別な支援が必要な家庭への支援	
34 農地の保全	
35 農地の集約化・IT技術導入などによる農業振興	(11) 農業・水産業などの産業が盛んなまち
36 漁港の整備などの水産業振興	
37 町民ニーズに応える商業振興	
38 企業誘致などの工業振興	
39 観光農園の整備などの観光振興	(13) 町の外から観光客などが多く訪れるまち
40 イベントなどによるにぎわい創出	
41 特産品の開発・PR	該当なし
42 雇用の場の確保	(12) 働く場所が充実したまち
43 起業支援の推進	
44 地域コミュニティの形成	(14) 地域において、人と人との交流が盛んなまち
45 住民と行政との協働の推進	
46 多世代交流の推進	
47 男女協働参画社会の推進	該当なし
48 行政経営・財政運営	
49 広報・広聴活動の充実	
50 広域行政、都市・地域間交流の推進	(16) 他の都市、国の人との交流が盛んなまち
51 国際交流	

【検証方法】

一般町民と中学生の、現在の山元町に対する満足度の違いを検証するにあたり、各項目における平均得点の差を算出した。まず、一般町民と中学生アンケートでは項目が異なるため、それぞれのアンケート項目の分類について、左表のように整理を行った。

次に、一般町民アンケートにおいて再分類された各項目の平均得点①と、中学生アンケートの平均得点②を算出した。

さらに、各項目の満足度について、全体平均との差を取ることで、満足度の高低の検証を行った。



【得点一覧】

項目\平均得点	平均得点		全体平均との差	
	一般町民	中学生	一般町民	中学生
道路や公園などの整備が進んでいるまち	3.11	3.46	0.13	-0.16
鉄道や道路などの交通が便利なまち	3.09	3.39	0.11	-0.23
自然が豊かなまち	3.11	4.60	0.13	0.98
環境にやさしいまち	3.42	4.18	0.43	0.56
安全で安心できるまち	3.03	4.08	0.05	0.46
お年寄りにやさしいまち	2.96	4.05	-0.02	0.43
障がいのある人も暮らしやすいまち	2.94	3.73	-0.05	0.11
赤ちゃんを産み・子育てしやすいまち	2.92	3.48	-0.07	-0.14
学習環境が充実したまち	2.91	3.57	-0.08	-0.05
スポーツや運動がしやすいまち	3.19	3.60	0.21	-0.01
農業・水産業などの産業が盛んなまち	2.78	4.05	-0.20	0.43
働く場所が充実したまち	2.79	2.83	-0.20	-0.79
町の外から観光客などが多く訪れるまち	2.63	2.43	-0.35	-1.18
地域において、人と人との交流が盛んなまち	3.03	3.77	0.05	0.15
歴史や文化を大切にしているまち		3.76		0.14
他の都市、国の人との交流が盛んなまち	2.84	2.91	-0.14	-0.71
全体平均	2.98	3.62		

【検証結果】

● 全体として、一般町民よりも中学生の町に対する評価が高い。

<町の強み>

● 自然や環境、安全、交流については、一般町民、中学生ともに評価が全体平均よりも高く、町の強みとして、今後一層の強化を図ることが求められる。

<将来に向けた改善>

● 車を利用する町民が多い本町において、高速道路開通など、交通が便利な町として評価される一方で、車を利用できない中学生については、交通に関する評価は低くなっている。車を利用できない層への、移動手段の確保が求められる。

<強化すべき魅力>

● 高齢者に優しく障がい者が暮らしやすいことや、農業・水産業などの産業については、一般町民の評価は低いものの、中学生の評価は高くなっている。中学生にとっては、町の大きな魅力である一方、安定した収入の確保や、若者が働きやすい環境など、安心して働ける基盤が整備されていないことが、評価の差につながっていると考えられる。

<町の弱み>

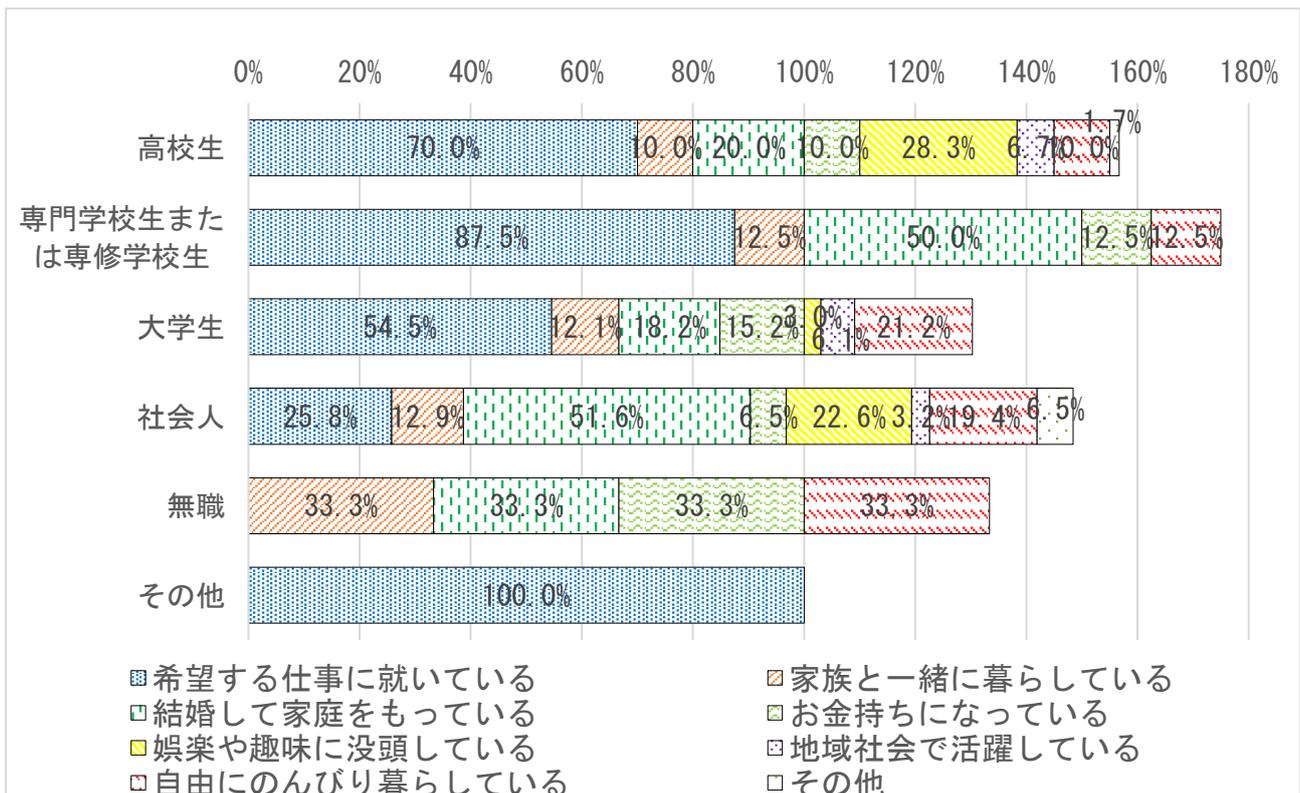
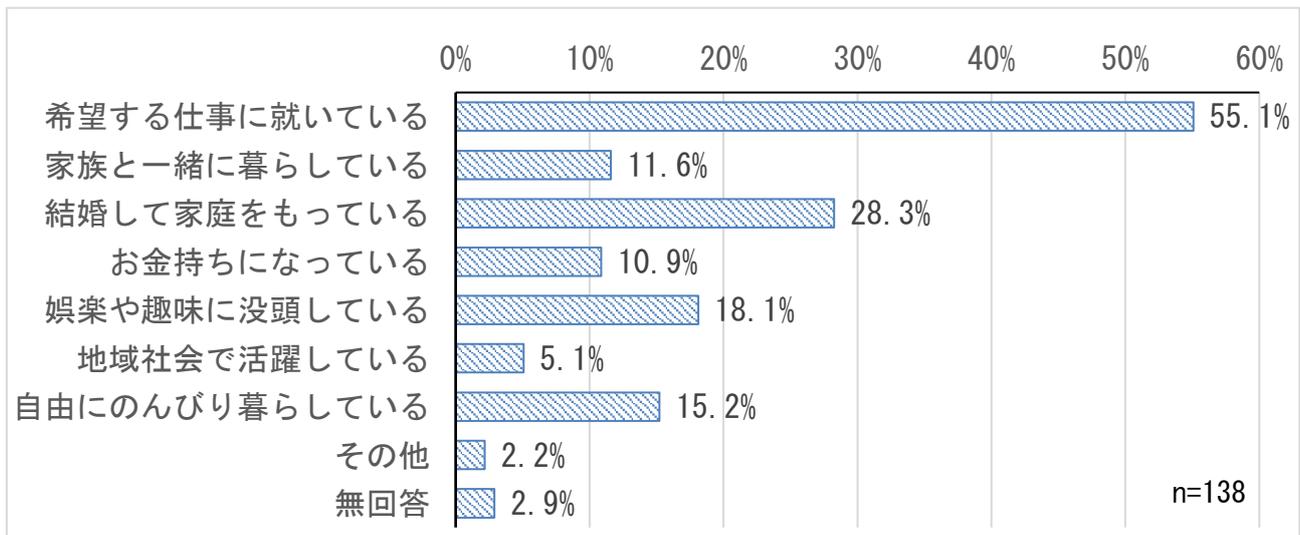
● 子育てや学習環境、働く場、観光、広域的な交流については、一般町民、中学生ともに評価が全体平均よりも低く、改善を行い、町民の不安を解消することが求められる。

VI 若者が求める将来像の把握

1 10年後にしていきたい暮らしのイメージ（再掲）

10年後にしていきたい暮らしのイメージについて、「希望する仕事についている」が55.1%と最も高く、次いで「結婚して家庭を持っている」が28.3%となった。最も低かったのは「地域社会で活躍している」の5.1%となった。

所属別に見ると、この先に就職を控える高校生や専門学校生または専修学校生、大学生で「希望する仕事についている」が高くなった。また、専門学校生または専修学校生と社会人で「結婚して家庭を持っている」、高校生と社会人で「娯楽や趣味に没頭している」が高くなった。

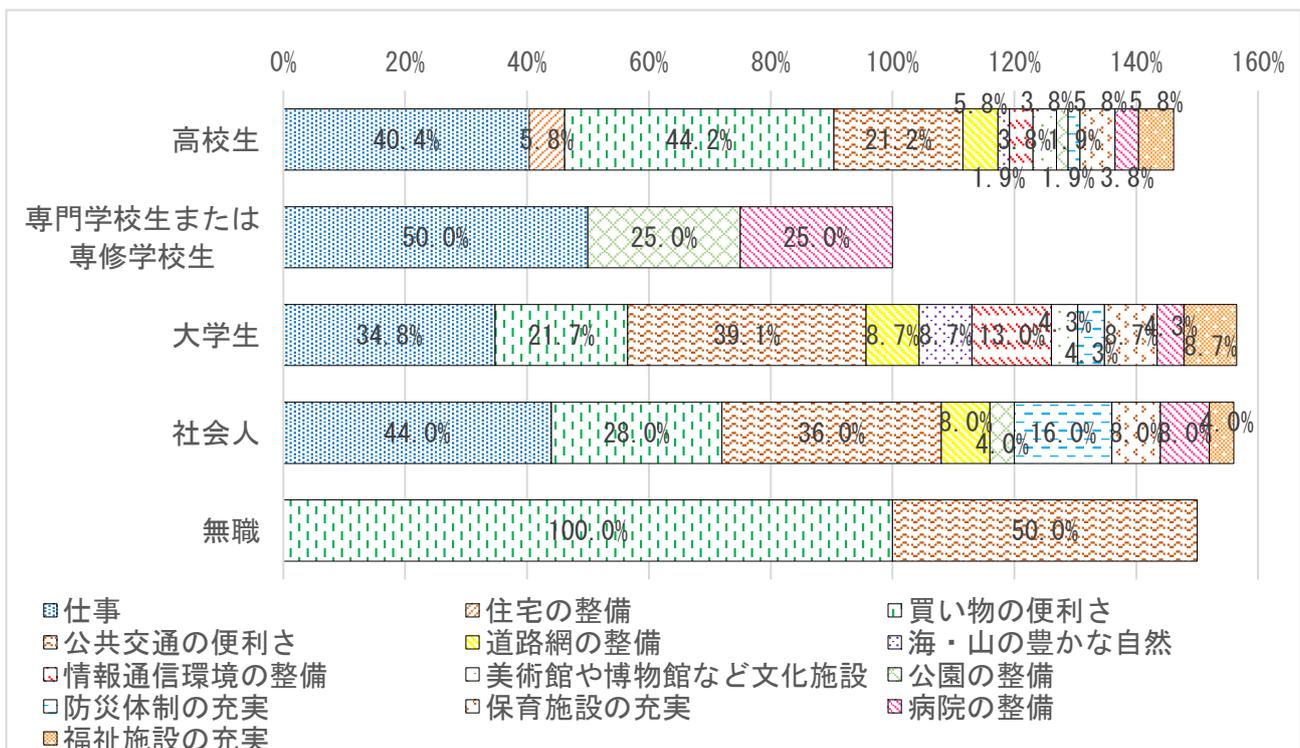
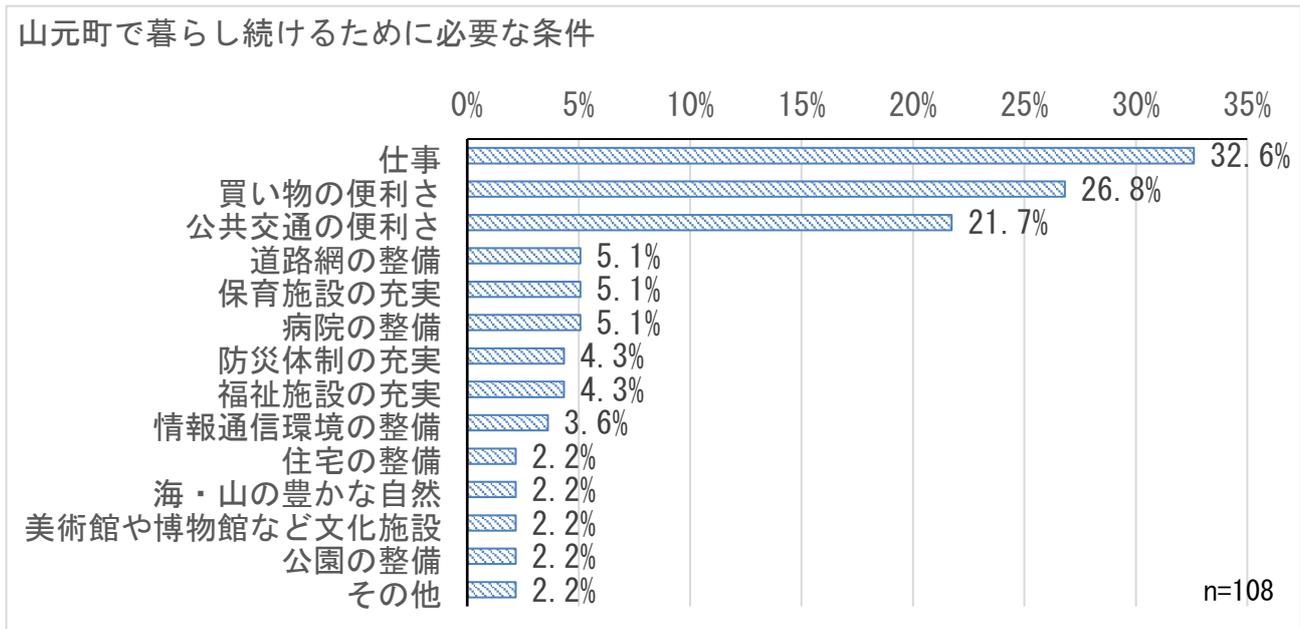


2 山元町で暮らし続けるために必要な条件（再掲）

山元町で暮らし続けることで必要な条件として、最も割合が高かったのは、「仕事」の38.9%となり、次いで「買い物の便利さ」が34.3%、「公共交通の便利さ」の27.8%となった。

最も低かった項目として、「住宅の整備」「海・山の豊かな自然」「公園の整備」が2.8%となった。

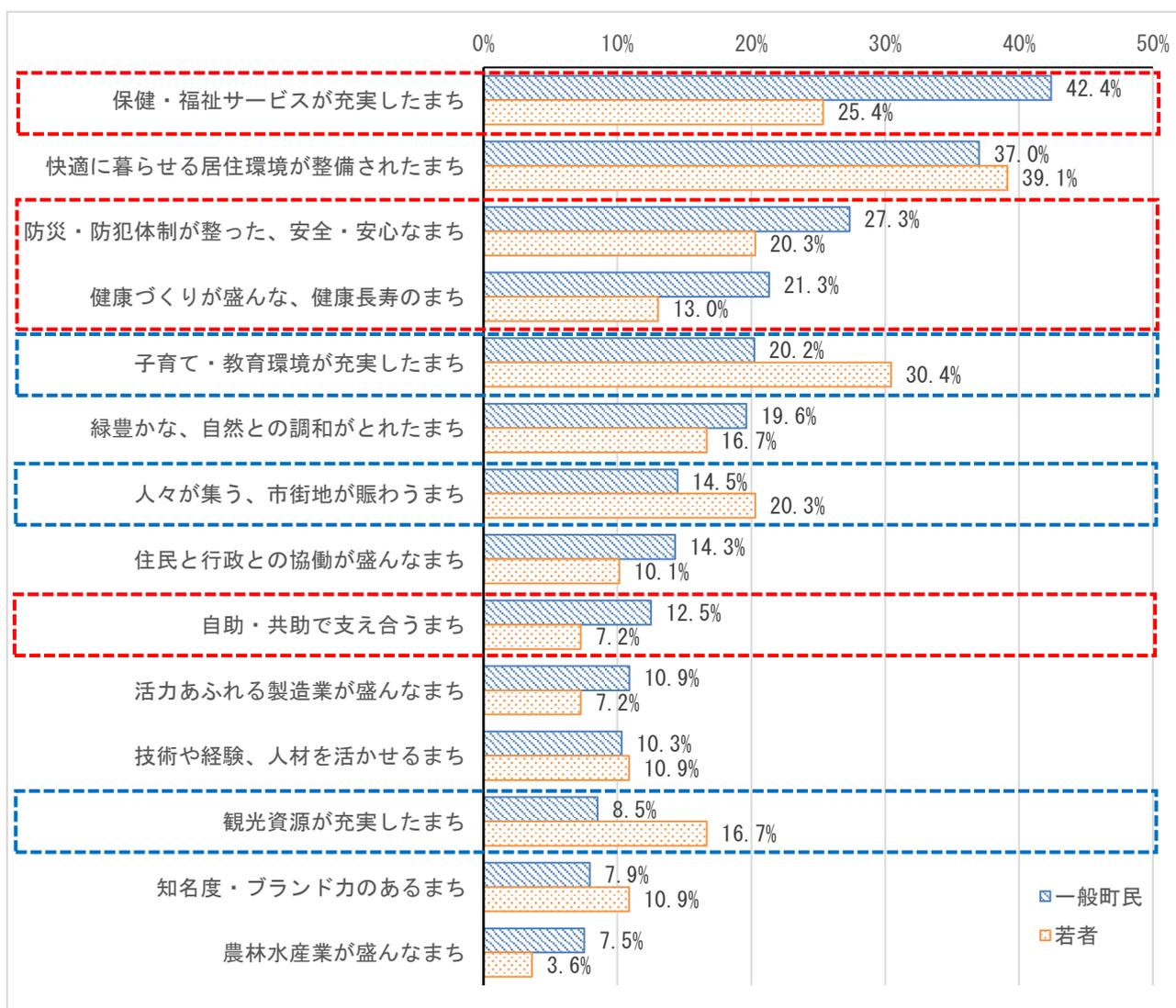
所属別に見ると、高校生や大学生、社会人、無職で「買い物の便利さ」「公共交通の便利さ」の回答割合が高く、専門学校生または専修学校生で「公園の整備」「病院の整備」が高くなった。



3 一般町民と若者における理想とする町の将来像の違い

10年後、山元町がどのようなまちになっていたら良いかに対する一般町民と若者の意識の違いについて、理想とするまちの将来像で最も差がみられたのは、「保健・福祉サービスが充実したまち」の17.0%となり、若者に比べ、一般町民の方が「保健・福祉サービスが充実したまち」になっていることを重要としている結果となった。次いで一般町民と若者の回答割合に差がみられたのは「子育て・教育環境が充実したまち」の10.2%となり、この項目に対しては、一般町民に比べ若者が重要としている結果となった。

一方、「快適に暮らせる居住環境が整備されたまち」「緑豊かな、自然との調和がとれたまち」「技術や経験、人材を活かせるまち」の回答割合の差は3%未満と、一般町民と若者の意識の差は小さくなった。



一般町民の方が、5ポイント以上高い項目（保健・福祉、安全・安心、健康長寿、自助・共助）

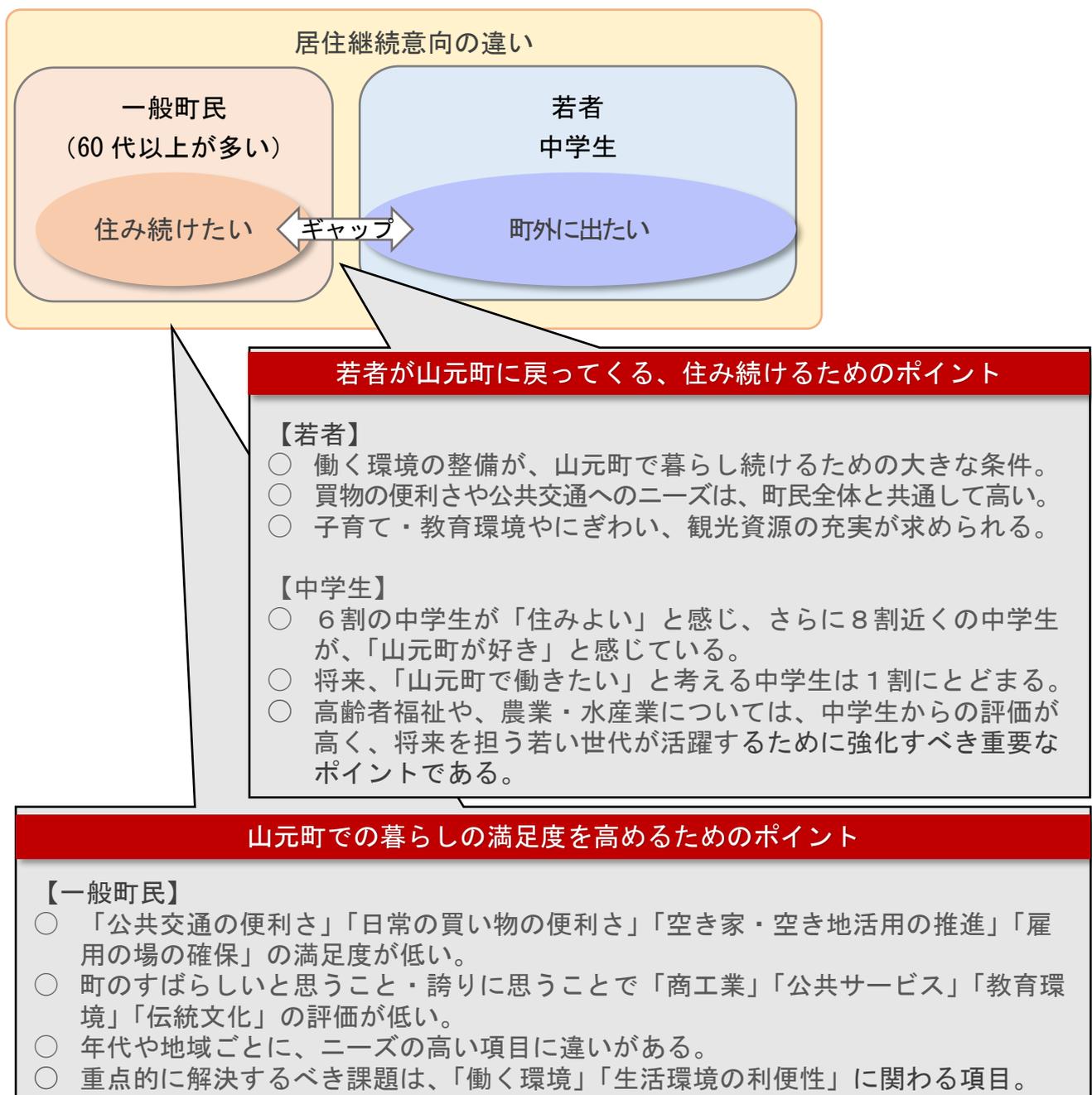
若者の方が、5ポイント以上高い項目（子育て・教育環境、賑わい、観光資源）

VII アンケート調査結果総括

一般町民、若者、中学生アンケートの結果から、一般町民と若者・中学生では、それぞれ山元町に対する満足度が高い項目や、求める将来像が異なることが把握できた。

さらに、60代以上の回答が多かった一般町民アンケートでは、居住継続意向が高いものの、若者や中学生アンケートでは、居住継続意向が低い傾向がみられた。その一方で、多くの中学生は、「住みやすい」「山元町が好きである」と回答している。

山元町の将来を考えるうえで、町民全員のニーズを的確にとらえ、そのニーズに応えるための施策を展開する一方で、若者が住み続けたいと考えるまちづくりを展開する必要がある。そのためには、一般町民と共通して必要であるという共通認識のある「公共交通」や「買物の利便性」、「雇用の場」の整備に加え、「子育て」や「にぎわい」といった要素も重要であると考えられる。



山元町のこれからのまちづくりについて、みなさんの声を聞かせてください。

アンケート調査票

＜アンケート調査へのご協力をお願い＞

日ごろから町政の運営にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。さて、山元町では平成23年（2011年）の震災以降、「山元町震災復興計画（第5次山元町総合計画）」を策定し、震災復興と、住みよいまちづくりに取り組んできました。

このたび、上記計画の計画期間が今年度末までとなることから、各計画の進捗状況を把握するとともに、次なる計画の策定に向けて検討を進めることとしました。計画策定にあたっては、町民の皆様から幅広く、これからのまちづくりに対するご意見を伺い、皆様に寄り添った、計画づくりをすべく取り組んでいきます。

つきましては、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

※ 別紙若者アンケートは、お宅に高校生、専門学校生、大学生など15歳～22歳までの方がいらっしゃいましたら、あわせてご回答いただくようお願いいたします。

平成30年8月

山元町長 齋藤 俊夫

ご記入にあたってのお願い

ご回答は、ボールペン、鉛筆、サインペンなどで、設問ごとの指示により、該当する番号に“○”をつけるか、その他の欄がある場合などには回答欄に直接ご記入ください。

回答期限・返送方法

ご記入いただいた調査票は、平成30年9月14日（金）まで、同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）

【お問合せ先】

山元町 企画財政課 企画班

〒：989-2292 宮城県亶理郡山元町浅生原字作田山 32

Tel：0223-37-1118 Fax：0223-37-4144

※ アンケート調査の結果は、全て統計的に処理し、総合計画策定等以外に利用することはありません。個人が特定できるような情報は公表いたしません。

あなた【ご自身】についてお聞きします。

問1 あなたの性別についてどちらかに○をつけてください。

1	男性	2	女性
---	----	---	----

問2 あなたの年齢について当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	10代	2	20代	3	30代	4	40代
5	50代	6	60代	7	70代～		

問3 あなたの世帯主からみでの続柄について当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	本人(世帯主)	2	配偶者	3	親	4	子
5	その他()						

問4 あなたの職業について当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	自営業(農林水産業)	2	自営業(製造業・工業)	3	自営業(商業・サービス業)
4	会社員・団体職員	5	公務員	6	派遣社員
7	パート・アルバイト	8	専業主婦(専業主夫)	9	学生
10	無職	11	その他()		

あなたの【世帯】についてお聞きします。

問5 あなたの①世帯(家族構成)と、②世帯内の子ども・高齢者の人数について当てはまるものそれぞれに○をつけてください。

①世帯(家族構成)

1	ひとり暮らし(単身世帯)
2	夫婦のみ
3	2世代(親と子)
4	3世代(祖父母と親と子)
5	その他()

②世帯内の子ども・高齢者の人数 (人)

未就学児(小学生以下)	1	2	3	4	5
小・中学生	1	2	3	4	5
高校生	1	2	3	4	5
65歳以上	1	2	3	4	5

問6 あなたは東日本大震災(平成23年3月)以前から山元町にお住まいですか。どちらかに○をつけてください。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問7 あなたは山元町に何年お住まいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
※山元町を離れたことのある方は、通算した(合計)年数をお答えください

1	1年未満	2	1～5年	3	6～10年	4	11年～20年	5	21年以上
---	------	---	------	---	-------	---	---------	---	-------

問8 現在のお住まいは、どの行政区(地区含む)ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	八手庭	2	横山	3	大平	4	小平	5	鷺足
6	山寺	7	山下	8	つばめの杜西	9	つばめの杜東	10	浅生原
11	高瀬	12	合戦原(療養所・桜塚含む)	13	真庭	14	久保間		
15	中山	16	下郷	17	町	18	上平	19	磯
20	中浜	21	笠野	22	花釜	23	牛橋		

問9 現在お住まいの住宅について当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	一戸建て（持ち家）	2	一戸建て（賃貸）	3	アパート
4	会社の寮や社宅	5	公的賃貸住宅（町営住宅、復興公営住宅）		
6	その他（ ）				

山元町での【暮らし】についてお聞きします。

問10 あなたはこれからも山元町に住み続けたいと思っていच्छいますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	今後も住み続けたい	2	住み続けたくない	3	わからない
---	-----------	---	----------	---	-------

問11 山元町の暮らしやすさについて当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	暮らしやすい	2	まあまあ暮らしやすい	3	どちらでもない
4	どちらかという 暮らしにくい	5	暮らしにくい		

問12 町が実施している取組み内容（施策等）について、①平成23年度から現在にかけて実施したまちづくりの満足度と、②将来の必要度についてお尋ねします。それぞれの取組み内容（施策等）ごとに当てはまるもの1つに○をつけてください。

満足度・必要度		①平成23年度～現在のまちづくりの満足度					②将来の必要度					
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	必要	やや必要	どちらでもない	やや不要	不要	
取組み内容（施策等）												
（回答例） ○○の整備		5	4	3	②	1	5	④	3	2	1	
V ・ 環 境	1 道路・橋梁・河川の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	2 公園・緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	3 上下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	4 生活排水対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	5 公営住宅の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	6 住宅地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	7 町民バスなどの公共交通の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	8 高速道路の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	9 日常の買物の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	10 ごみの収集・処理、リサイクル体制の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	11 騒音・振動・悪臭等の環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	12 美しい自然景観や街並み景観の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	13 自然環境の保全と活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	14 中心市街地や公共ゾーンの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	15 駅前広場などの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	

		①平成23年度～現在のまちづくりの満足度					②将来の必要度				
		満足	やや満足	ない まちづくり 満足	やや不満	不満	必要	やや必要	ない まちづくり 必要	やや不要	不要
	16 定住促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	17 空き家・空き地活用の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	18 防災緑地ゾーンの整備などの津波対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	19 避難路の確保などの災害への備え	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
健康・福祉	20 健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	21 高齢者福祉サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	22 障害福祉サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	23 保健・医療サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	24 相談体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	25 地域移行生活の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
子育て・教育	26 子育て支援サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	27 子どもの教育環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	28 子育て支援のネットワーク	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	29 子どもの健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	30 仕事と子育ての両立の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	31 学校の教育環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	32 子どもの人権尊重と安心安全のまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	33 特別な支援が必要な家庭への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
産業	34 農地の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	35 農地の集約化・IT技術導入などによる農業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	36 漁港の整備などの水産業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	37 町民ニーズに応える商業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	38 企業誘致などの工業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	39 観光農園の整備などの観光振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	40 特産品の開発・PR	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	41 雇用の場の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	42 起業支援の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	まちづくり・行政	43 地域コミュニティの形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2
44 イベントなどによるにぎわい創出		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
45 住民と行政との協働の推進		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
46 多世代交流の推進		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
47 男女協働参画社会の推進		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
48 行政経営・財政運営		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
49 広報・広聴活動の充実		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
50 広域行政、都市・地域間交流の推進		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
51 国際交流		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 13 山元町において、素晴らしいと思うこと、誇りに思うことはどんなことですか。
当てはまるもの2つまで○をつけてください。

1	自然環境	2	歴史的資源	3	伝統文化
4	特産品	5	農林水産業	6	商工業
7	住宅環境	8	公共サービス	9	教育環境
10	子育て環境	11	交流活動	12	防災・防犯体制
13	生活利便性	14	その他()		

問 14 あなたの通勤・通学先と主な日用品の買い物先、医療機関はどこですか。また、その時の主な交通手段は何ですか。それぞれについて当てはまるもの1つに○をつけてください。

	生活場所			主な交通手段					
	山元町内	山元町外	該当なし	徒歩	自転車	自動車・バイク	町民バス※	鉄道	その他
回答例 通勤通学先	1	②	3	1	2	③	4	5	6
1. 通勤通学先	1	2	3	1	2	3	4	5	6
2. 日用品の買い物場所	1	2	3	1	2	3	4	5	6
3. 医療機関	1	2	3	1	2	3	4	5	6

※ デマンド型乗合タクシー含む

地域での【助け合いや諸活動】についてお聞きします。

問 15 次の質問それぞれについてどちらかに○をつけてください。

	はい	いいえ
1 地域に気軽に相談できる方はいますか	1	2
2 地域の集会には世帯の誰かが参加していますか	1	2
3 地域の役員を引き受けたことがありますか	1	2
4 地域でのボランティア活動をしていますか	1	2
5 災害時に地域のみんなで助け合えると思いますか	1	2

問 16 あなたは、地域でどのような活動なら参加してもよいと思いますか。当てはまるもの2つまで○をつけてください。

1	保健・福祉に関する活動	2	環境の保全に関する活動
3	安全・安心なまちづくりに関する活動	4	生涯学習、文化、スポーツに関する活動
5	子どもの健全育成に関する活動	6	イベントや交流に関する活動
7	様々な計画づくりに関する活動	8	参加したい活動はない
9	その他()		

山元町の【今後のまちづくり】についてお聞きします。

問 17 10年後の山元町はどのようなまちになったら良いと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

1	健康づくりが盛んな、 <u>健康長寿</u> のまち	2	<u>保健・福祉サービスが充実</u> したまち
3	快適に暮らせる <u>居住環境が整備</u> されたまち	4	緑豊かな、 <u>自然との調和</u> がとれたまち
5	防災・防犯体制が整った、 <u>安全・安心</u> なまち	6	<u>子育て・教育環境が充実</u> したまち
7	<u>生涯学習の機会が充実</u> したまち	8	<u>技術や経験、人材を活かせる</u> まち
9	<u>農林水産業が盛ん</u> なまち	10	活力あふれる <u>製造業が盛ん</u> なまち
11	人々が集う、 <u>市街地が賑わう</u> まち	12	<u>観光資源が充実</u> したまち
13	<u>知名度・ブランド力のある</u> まち	14	<u>住民と行政との協働が盛ん</u> なまち
15	<u>自助・共助で支え合う</u> まち	16	その他 ()

問 18 町の環境保全のために、あなたが重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	海や川、森などの自然環境の保全	2	農地や農業用ため池などの保全
3	無秩序な開発の抑制	4	自動車からの騒音や振動の抑制
5	生活排水などの下水処理環境の整備	6	ゴミの不法投棄の防止
7	家畜の糞尿処理の徹底	8	3R(※1)などの循環型社会づくり
9	再生可能エネルギー(※2)の利用	10	水素エネルギーなど新たなエネルギーの利用
11	環境活動への支援	12	空き家の解消
13	その他 ()		

※1 3R：リデュース(ごみの削減)、リユース(再使用)、リサイクル(再利用)

※2 再生可能エネルギー：太陽光や水力、風力など

問 19 交通環境をよくするために、重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	歩行者の安全や快適性	2	自転車交通の安全性
3	生活道路の自動車交通の安全性	4	利用者ニーズにあったバス利用体系
5	鉄道の利用のしやすさ(時間、本数など)	6	駅へのアクセス性
7	生活道路への通過車両の進入防止	8	買い物や通院時の公共交通(※1)の充実
9	その他 ()		

※1 町民バスやデマンド型乗合タクシーなど

問 20 保健や医療分野についてあなたが重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	健康づくりの推進	2	保健予防の充実
3	健康診断の充実	4	夜間、休日診療の充実
5	保健、医療、福祉の連携	6	地域の医療機関と総合病院との連携
7	地域医療の拡充	8	専門医療の誘致
9	医療機関への移手段	10	食育運動の拡充

11	健康・保健相談窓口の充実	12	その他（ ）
----	--------------	----	--------

問 21 まちの少子化に対し、重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	子育てと仕事の両立	2	保育サービスの充実
3	男性の育児休業など男女共同の子育ての推進	4	子育て支援団体・子育てサポーターの充実
5	子育て家庭の交流促進	6	ひとり親への支援
7	出産・子育てへの経済的支援	8	子どもの遊び場の整備
9	乳幼児・就学児健診の充実	10	出産・子育て情報の提供
11	出産・子育て相談窓口の充実	12	その他（ ）

問 22 これからの超高齢化社会に対し、重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	高齢者の健康づくり	2	高齢者の介護予防
3	高齢者の学習環境の整備・社会参加	4	高齢者の就業の場の確保・充実
5	高齢者に配慮した住環境	6	若者世代との交流
7	高齢者のための相談体制	8	要介護高齢者向けサービス
9	認知症高齢者への支援	10	高齢者を地域で支える地域包括ケアの充実
11	福祉ボランティアの活性化	12	高齢者が集えるコミュニティ空間の形成
13	その他（ ）		

問 23 子どもたちの教育のために、重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	基礎学力の向上	2	体力・健康の向上
3	子どもたちが相談できる体制づくり	4	保護者の相談窓口の充実
5	不登校などの子どもへの対応の充実	6	心の教育の充実
7	体験学習の充実	8	教職員の研修の充実
9	青少年教育の充実	10	外国人などとの国際交流機会の充実
11	いじめ対策の強化	12	特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備
13	学校施設・設備の充実	14	家庭内でのしつけ
15	その他（ ）		

問 24 生涯学習充実のために、重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	文化講座や教室の内容の充実	2	文化講座や教室のための活動場所の整備
3	スポーツ・レクリエーション教室の充実	4	スポーツ・レクリエーションの活動場所の整備
5	学習活動に関する情報提供の充実	6	学習やスポーツ活動の成果を発表する機会の充実
7	歴史・文化の継承	8	生涯学習に関する資料や情報提供の充実
9	多世代交流	10	地域の人材や技術の活用・育成
11	ボランティア活動の充実	12	その他（ ）

問 25 産業の振興のために、重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	新たな担い手の確保	2	農地の集積・集約化
3	I T技術など先端技術導入支援	4	その他農業への支援の充実
5	水産業や水産加工業への支援の充実	6	企業の誘致
7	起業の支援	8	その他製造業への支援の充実
9	地域商社（※1）等新たな商業形態の確立	10	その他商業への支援の充実
11	観光の振興	12	六次産業化（※2）に向けた取り組みの支援
13	放射能対策の充実	14	その他（ ）

※1 地域の魅力ある産品を販路開拓するほか、他地域や観光などの異分野との連携等を行う企業や団体。
 ※2 農業や水産業（第一次産業）が食品加工（第二次産業）と流通販売（第三次産業）にも業務展開した経営の多角化を指す言葉で、第一次産業の「1」と第二次産業の「2」、第三次産業の「3」を足し算すると「6」になることからきた造語

問 26 観光・交流、地域振興のために、重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	豊かな自然や景観の活用	2	地域の歴史、文化の活用
3	各種イベントの充実	4	観光 PR の充実強化
5	山元町の特産品の活用	6	国内観光客の受け入れ体制の充実
7	外国人観光客の受け入れ体制の充実	8	大会や合宿誘致などの交流人口の拡大
9	都市農村交流の推進	10	宿泊できる環境の整備
11	その他（ ）		

問 27 まちづくり推進において、重要だと感じるキーワードに2つまで○をつけてください。

1	自発的な活動への支援	2	地域ごとのコミュニティ活動の活発化
3	町内事業者の参画と住民との連携	4	公民館・集会施設などの利用環境機能の充実
5	ボランティア活動に関する情報提供	6	相談体制の整備・充実
7	町内外の様々な地域間の交流	8	町民と行政の役割の相互理解
9	地域活動に関する情報発信	10	まちづくりリーダー・グループの育成
11	その他（ ）		

問 28 山元町のまちづくりに対して、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

若者アンケート調査票

＜アンケート調査へのご協力のお願ひ＞

町では、これからの10年後を目標とした「第6次山元町総合計画」の策定にあたり、町の将来を担う若者の皆さんから、これからの山元町のまちづくりに対する意見を伺うアンケート調査を実施することにしました。

つきましては、お宅に**高校生、専門学校生、大学生など15歳～22歳までの方**がいらっしゃいましたら、このアンケート調査にご協力いただきますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

平成30年8月

山元町長 齋藤 俊夫

回答は、平成30年9月14日（金）まで、別紙の一般用アンケートと一緒に返信用封筒に入れてポストに投函してください。

★ この調査票は2名まで回答することができます。

回答にあたっては、該当する番号を回答欄に記入してください。

※ 3名以上の場合は、この調査票のコピーをとっていただくか、企画財政課および坂元支所各窓口にて調査用紙を備え付けておりますので、それぞれにお答えいただくようお願いいたします。

問1 あなたの性別について当てはまる番号**1つ**を回答欄に記入してください。

1	男性	2	女性
---	----	---	----

回答欄	1人目	2人目
-----	-----	-----

問2 あなたの年齢を教えてください。

回答欄	1人目	歳	2人目	歳
-----	-----	---	-----	---

問3 あなたは以下のどれに当てはまりますか。当てはまる番号**1つ**を回答欄に記入してください。

1	高校生	2	専門学校生または専修学校生	3	大学生
4	社会人	5	無職	6	その他（ ）

回答欄	1人目	2人目
-----	-----	-----

問4 あなたは10年後どのような暮らしをしたいですか。当てはまる番号**2つまで**を回答欄に記入してください。

1	希望する仕事に就いている	2	家族と一緒に暮らしている
3	結婚して家庭をもっている	4	お金持ちになっている
5	娯楽や趣味に没頭している	6	地域社会で活躍している
7	自由にのんびり暮らしている	8	その他（ ）

回答欄	1人目	2人目
-----	-----	-----

(次のページに続きます)

(前のページから続きます)

問5 10年後、山元町で暮らしたいと思いませんか。当てはまる番号**1つ**を回答欄に記入してください。

1	山元町に住み続けたい	2	山元町外へ転出する(したい)が、また戻ってきたい
3	まだわからない	4	山元町外へ転出したい

回答欄	1人目	2人目
-----	-----	-----

問6 問5で「1」や「2」又は「3」と答えた方におたずねします。あなたが山元町で暮らし続けるとしたら、町にはどのようなことが必要になると思いませんか。当てはまる番号**2つまで**を回答欄に記入してください。

1	仕事	2	住宅の整備	3	買い物の便利さ
4	公共交通の便利さ	5	道路網の整備	6	海・山の豊かな自然
7	情報通信環境の整備	8	美術館や博物館など文化施設	9	公園の整備
10	防災体制の整備	11	保育施設の充実	12	病院の整備
13	福祉施設の充実	14	その他()		

回答欄	1人目	2人目
-----	-----	-----

問7 全ての方におたずねします。10年後の山元町はどのようなまちになったら良いと思いませんか。当てはまる番号**3つまで**を回答欄に記入してください。

1	健康づくりが盛んな、 <u>健康長寿</u> のまち	2	<u>保健・福祉サービスが充実</u> したまち
3	快適に暮らせる <u>居住環境が整備</u> されたまち	4	緑豊かな、 <u>自然との調和</u> がとれたまち
5	防災・防犯体制が整った、 <u>安全・安心</u> なまち	6	<u>子育て・教育環境が充実</u> したまち
7	<u>生涯学習の機会が充実</u> したまち	8	<u>技術や経験、人材を活かせる</u> まち
9	<u>農林水産業が盛ん</u> なまち	10	活力あふれる <u>製造業が盛ん</u> なまち
11	人々が集う、 <u>市街地が賑わう</u> まち	12	<u>観光資源が充実</u> したまち
13	<u>知名度・ブランド力のある</u> まち	14	<u>住民と行政との協働が盛ん</u> なまち
15	<u>自助・共助で支え合う</u> まち	16	その他()

回答欄	1人目	2人目
-----	-----	-----

問8 山元町のまちづくりに対して、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

“山元町のまちづくり”

について意見をお聞かせください

山元町では、「これからの10年を目標としたまちづくりの計画（第6次総合計画）」の計画づくりの参考とするため、将来を担う中学生のみなさん^{にな}を対象としたアンケート調査を行うこととしました。

このアンケート調査では、みなさんがいつも思っていることや、これからのまちづくりに対する思いなどを書いていただきたいと思います。

みなさんのご協力をよろしくお願いします。

平成30年10月 山元町長 齋藤 俊夫

お 願 い

- お名前を書く必要はありません。他の人と相談せず、あなたの意見を記入してください。
- みなさんのアンケートの答えやプライバシーにかかわる内容が、公表されることは一切ありません。素直な思いを記入してください。
- 設問ごとに、「1つに〇」などの指示があります。設問をよく読み、説明にしたがって、回答してください。
- 答えは、鉛筆^{えんぴつ}またはボールペンで記入してください。
- 書き終わったアンケート用紙は、アンケートの入っていた封筒^{ふうとう}に入れ、シールで閉じて、提出してください。

お 問 合 せ 先

山元町 企画財政課 企画班
〒989-2292 宮城県亶理郡山元町浅生原字作田山32
電話：0223-37-1118 ファックス：0223-37-4144



1 あなたご自身について

問1 あなたの性別はどちらですか？ <1つに〇をつけてください>

1 男

2 女

問2 あなたの通う中学校はどちらですか？ <1つに○をつけてください>

1	坂元中学校	2	山下中学校
---	-------	---	-------

問3 あなたは何年生ですか？ <1つに○をつけてください>

1	1年生	2	2年生	3	3年生
---	-----	---	-----	---	-----

2 山元町について

問4 あなたは、“山元町”が好きですか？<1つに○をつけてください>

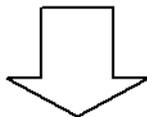
1	とても好き	2	どちらかという と好き	3	どちらでもない
4	どちらかという と嫌い	5	嫌い		

それは、山元町のどのようなところですか？<あてはまるものすべてに○をつけてください>

1	海や山などの自然	2	農水産物などの食 べ物	3	伝統・文化
4	学習の環境	5	スポーツをする環境	6	病院などの医療 ^{いりょう}
7	買い物できる場所	8	地域の人とのつながり	9	鉄道やバスなどの 利用しやすさ
10	イベントなどの充実	11	遊べる場所	12	特にない
13	その他 ()				

問5 あなたは、山元町外の人に“山元町について”^{じまん}自慢できるものはありますか？
<1つに○をつけてください>

1	ある	2	ない	3	わからない
---	----	---	----	---	-------



「1 ある」を選んだ人にお聞きします。それはどんなもの、どんなことです

理由：

3 山元町のまちづくりについて

問6 あなたにとって、山元町は「住みよいまち」ですか？<1つに○をつけてください>

1	住みよいまち	2	どちらかという住みよいまち
3	どちらともいえない	4	どちらかという住みにくいまち
5	住みにくいまち		

問7 現在の山元町について、どのように思いますか？

<(1)から(16)まで、それぞれ1つに○をつけてください>

山元町はどんなまちか	どのように思っているか (満足度)				
	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	そう思わない
記入例 (3) 自然が豊かなまち	5	4	3	2	1
(1) 道路や公園などの整備が進んでいるまち	5	4	3	2	1
(2) 鉄道やバス、道路などの交通が便利なまち	5	4	3	2	1
(3) 自然が豊かなまち	5	4	3	2	1
(4) 環境にやさしいまち	5	4	3	2	1
(5) 安全で安心して暮らせるまち	5	4	3	2	1
(6) お年寄りにやさしいまち	5	4	3	2	1
(7) 障がいのある人も暮らしやすいまち	5	4	3	2	1
(8) 赤ちゃんを産み・子育てしやすいまち	5	4	3	2	1
(9) 学習環境が充実したまち	5	4	3	2	1
(10) スポーツや運動がしやすいまち	5	4	3	2	1
(11) 農業・水産業などの産業が盛んなまち	5	4	3	2	1
(12) 働く場所が充実したまち	5	4	3	2	1
(13) 町の外から観光客などが多く訪れるまち	5	4	3	2	1
(14) 地域において、人と人との交流が盛んなまち	5	4	3	2	1
(15) 歴史や文化を大切にしているまち	5	4	3	2	1
(16) 他の都市、国の人との交流が盛んなまち	5	4	3	2	1

問8 山元町を色でイメージすると何色ですか？ <1つに○をつけてください>

1	赤色	2	もも色	3	だいたい色
4	黄色	5	緑色	6	青色
7	水色	8	むらさき色	9	その他 ()

あなたは、山元町の何をイメージして、その色を選びましたか？

その色を選んだ理由：

4 あなたの夢や進路について

問9 あなたは、将来の夢をもっていますか？ <1つに○をつけてください>

1	はっきりとした夢がある	2	なんとなく夢がある
3	夢は特にない	4	考えたことがない

問10 あなたは、大人になったら、どこで働きたいですか？ <1つに○をつけてください>

1	山元町	2	名取市・岩沼市	3	仙台市
4	宮城県内(1~3以外)	5	県外	6	国外

5 これからの山元町について

問11 あなたは10年後の山元町が、どのようなまちになったらよいと思いますか。

山元町が「こうなったらいいな」と思うイメージなどを、自由に記入してください。

(例えば)「みんなの希望と笑顔がかがやくまち」

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

